

統合ビデオ管理システムマニ ュアル

<https://manual.amnimo.com>

2025年4月23日に印刷しました

目次

[はじめに](#)

[基本仕様](#)

[権限表](#)

[1. デバイスを有効化する](#)

[2. VMS の認証情報を設定する](#)

[3. カメラを検出する](#)

[4. カメラの認証情報を設定する](#)

[デバイス名を変更する](#)

[デバイスを無効化する](#)

[デバイスを再起動する](#)

[カメラ電源 \(PoE\) を操作する](#)

[カメラ映像を閲覧する](#)

[ズーム機能](#)

[カメラの検索と表示](#)

[カメラのフォルダ管理](#)

[カメラの表示名を変更する](#)

[カメラの認証情報を更新する](#)

[カメラヘタグを追加する](#)

[魚眼補正設定をする](#)

[画面の切り替えと初期映像の保存](#)

[カメラを削除する](#)

[サムネイルを操作する](#)

[LIVE 映像の再生](#)

[スナップショットを取得する](#)

[ビデオクリップを取得する](#)

[DIRECTモードへ移行し VOD 再生する](#)

[イベント発生時の映像を操作する](#)

[アムニモポータブルの録画映像を再生する](#)

[その他の機能](#)

[映像を再生する](#)

[PTZ 操作をする](#)

[スマートサーチ](#)

[カメラの音声を聞く](#)

[スナップショットを取得する](#)

[ビデオクリップを取得する](#)

[マップ上にカメラアイコンを登録する](#)

[カメラアイコンを編集する](#)

[カメラアイコンを削除する](#)

[マップの初期表示位置を設定する](#)

[カスタムマップの設定をする](#)

[カスタムマップを操作する](#)

[マップ上でのカメライベントを検知する](#)

[上位のマップから下位のマップを開く](#)

[エリアやアイコンを変更/削除する](#)

[いろいろな場所からカスタムマップを開く](#)

[タイムラプス動画を作成する](#)
[レポートを作成する](#)
[ビデオウォールにビューアー、カメラを追加する](#)
[ビューアーを削除する](#)
[サムネイルの配置と画面の切り替え速度を変更する](#)
[ビデオウォールの設定をする](#)
[ビデオウォール画面の再生](#)
[ストーリーミング機能を有効にする](#)
[未対応のアラート](#)
[ビデオウォールからカメラ詳細画面に遷移する](#)
[保存された動画や画像を再生する](#)
[動画をカメラ詳細ページで再生する](#)
[動画 や画像を詳細検索する](#)
[保存された動画の音声を再生する](#)
[動画や画像をダウンロードする](#)
[動画や画像の名前を変更する](#)
[動画や画像を削除する](#)
[動画や画像を並び替える](#)
[魚眼補正された映像の表示を切り替える](#)
[一括ダウンロードとは](#)
[一括ダウンロードのリクエストを作成する](#)
[リクエストの一時停止、再開、キャンセル、詳細](#)
[リクエストの完了時の結果](#)
[イベント通知設定をする](#)
[イベント通知アイコンと通知音](#)
[イベントのステータスを変更する](#)
[イベントが生じたカメラの場所をマップで確認する](#)
[イベント発生時の動画からスナップショットを取得する](#)
[イベント発生時の動画をダウンロードする](#)
[補正画面とオリジナル画面を切り替える（魚眼補正された映像）](#)
[イベント通知画面の映像をDirect モードで再生する](#)
[イベントを検索する](#)
[イベントを再生する](#)
[イベントが生じたカメラの場所をマップで確認する](#)
[イベント発生時の動画からスナップショットを取得する](#)
[イベント発生時の動画をダウンロードする](#)
[イベントへ対応内容を入力する](#)
[イベント情報をレポートとして出力する（本機能をお申込みされている場合）](#)
[イベントステータスを変更する](#)
[複数のイベントステータスを一度に変更する](#)
[イベント通知画面からステータスを変更する](#)
[カメラ巡回を追加する](#)
[カメラ巡回を実行する](#)
[カメラ巡回を編集する](#)
[カメラ巡回を削除する](#)
[個人設定](#)
[共通設定](#)
[ユーザー管理](#)
[ヘルプ](#)

はじめに

2024年6月3日

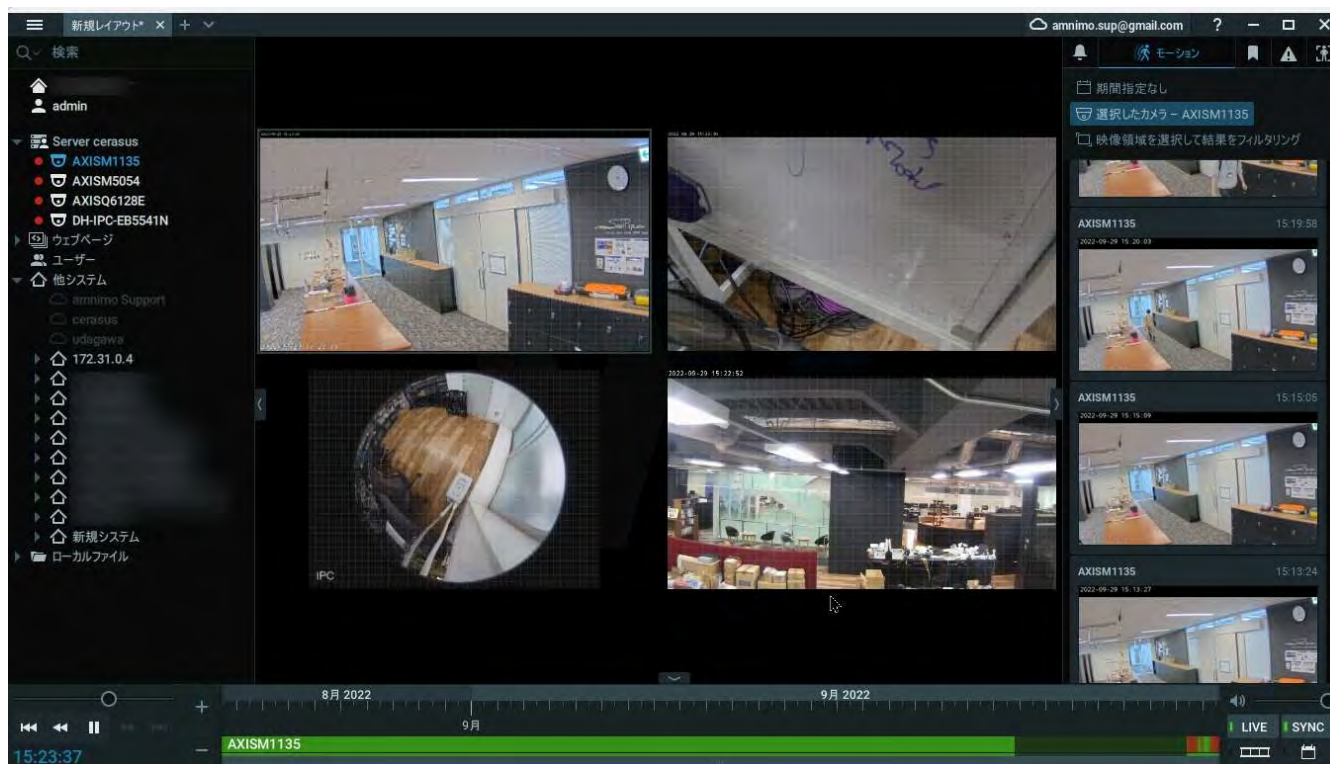
このマニュアルでは、統合ビデオ管理システムの使用方法について説明します。

統合ビデオ管理システムでできること

統合ビデオ管理システムでは、以下の機能の利用ができます。

- カメラ映像の再生
- スナップショット・ビデオクリップの取得
- ビデオウォールによる複数カメラのサムネイル一覧表示

録画スケジュールやイベントの設定は Nx Witness デスクトップクライアントをご利用ください。Nx Witness のマニュアルは [こちら](#) をご確認ください。

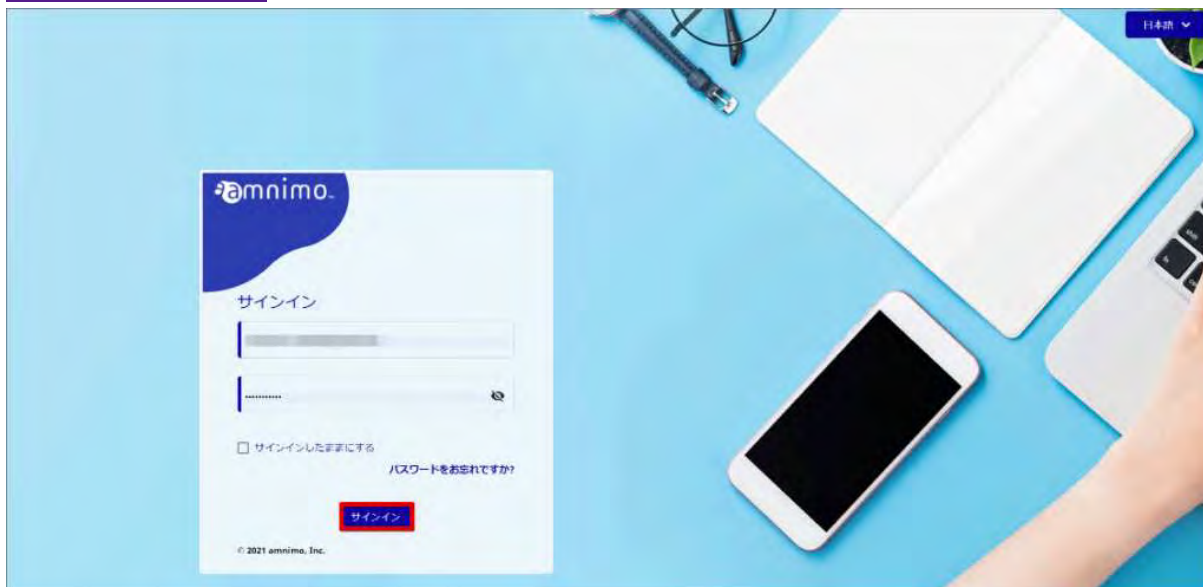


Nx Witness デスクトップクライアント画面

統合ビデオ管理システムへのアクセス

統合ビデオ管理システムへのアクセス手順について。

1. [サービス管理ポータル](#) にアクセスし、サインインをします。

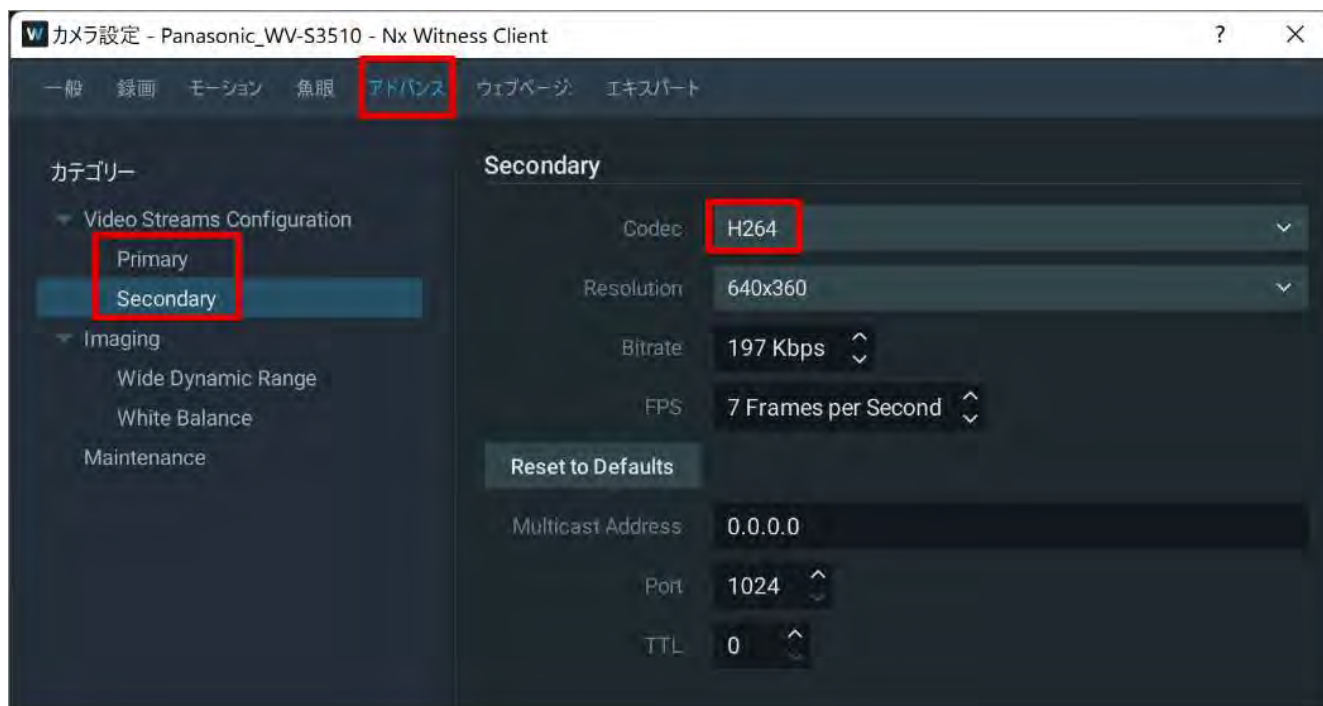


2. [統合ビデオ管理システム] を選択すると、統合ビデオ管理システムのページに遷移します。



ご利用上の注意

統合ビデオ管理システムでは、H264 のみサポートしているため、カメラのストリーミングプロファイル（Primary/Secondary 共）のコーデックを H264 に指定してください。



▲ Nx Witness 設定例 – カメラ > カメラ設定 > アドバンス

1.5.x 以前のバージョンのファームウェアをご利用の場合

Secondary を H264 に指定しない場合、イベント発生時に自動取得された、もしくは手動で取得したビデオクリップが再生できない場合があります。

ダウンロードしたビデオクリップは Windows Media Player や Windows にプレインストールされたメディアプレーヤーでは再生できません。

VLC Media Player (<https://www.videolan.org/index.ja.html>) 等のメディアプレーヤーを利用する必要があります。

基本仕様

2024年6月13日

統合ビデオ管理システムの基本仕様は以下の通りです。

- **ユーザー制限**

アプリケーション管理者：設定等すべての機能が利用可能です。

オペレーター：映像の閲覧等が利用可能です。各種設定変更はできません。

- **表示言語**

日本語、English

- **動作環境の条件**

Windows 10以降、Google Chrome（最新版）

※ スマートフォンやタブレットでのご利用はサポート対象外です。

権限表

2024年7月12日

統合ビデオ管理システムのユーザーの種類は以下の 2 種類です。

- アプリケーション管理者
- オペレーター

それぞれの権限は以下の表の通りです。

操作		権限	
カテゴリ	機能	アプリケーション管理者	オペレーター
デバイス設定	-	○	×
カメラ詳細	閲覧	○	○
	カメラ設定	○	×
	スナップショット取得	○	○
	ビデオクリップ取得	○	○
	カメラの削除	○	×
Webマップ	閲覧	○	○
	設定	○	×
カスタムマップ	閲覧	○	○
	設定	○	×
ビデオウォール	閲覧	○	○
	設定	○	×
クラウド保存動画 / 画像	閲覧	○	○
	ダウンロード	○	○
一括ダウンロード	閲覧	○	○
	ダウンロード	○	○
イベント一覧	閲覧	○	○
	ステータスの変更	○	○
カメラ巡回	閲覧	○	○
	設定	○	×
設定	個人設定	○	○
	共通設定	○	×
	ユーザー管理	○	×

1. デバイスを有効化する

2024年7月12日

メモ

VMS として amnimo VMS を利用される場合は、CLI にて amnimo VMS を有効化（amnimo VMS の有効化する手順は [こちら](#)）した後に、以下手順を進めてください。

ここでは、デバイスを有効化する手順について説明します。

- ▼をクリックし、[デバイス]を選択後①）、[準備中のデバイスを表示]をクリックします②）。



- 有効化したいデバイスの [有効化] をクリックします。

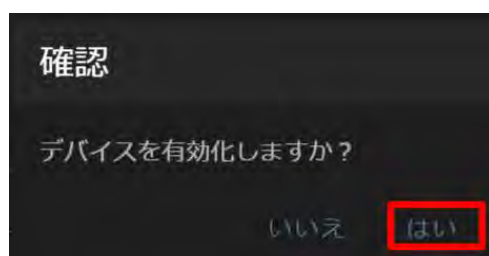
準備中のデバイス一覧から有効化



設定画面から有効化



- 確認画面が開くので [はい] をクリックします。（この作業には数分かかることがあります。）



- 4 表示が「有効化中」に変わります。



- 5 有効化が完了すると、「非有効化」ボタンがアクティブになります。



- 6 カメラ詳細画面のサイドバーに、有効化が完了したデバイスが表示されます。



2. VMS の認証情報を設定する

2024年7月12日

ここでは、ゲートウェイ設定から VMS の認証情報を設定する手順について説明します。

! WARNING

VMS 認証はカメラの認証とは異なります。認証には Nx Witness の管理者アカウント情報が必要です。

NOTE

以下を利用する場合は、VMS認証情報の登録は不要です。『[3. カメラを検出する](#)』に進んでください。

- amnimo VMS
- アムニモポータブル

1 デバイスの横にあるアイコンをクリックし、「ゲートウェイ設定」をクリックします。



2 「その他」から「VMS認証情報」をクリックします。



3 認証画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力して「設定」をクリックします。



3. カメラを検出する

2024年7月12日

ここでは、ゲートウェイ設定からカメラを検出する手順について説明します。

NOTE

- 既にデバイスにカメラが接続されている場合、デバイスを有効化すればカメラは自動で検出されます。
- カメラが検出されている場合は、『[4. カメラの認証と録画の設定をする](#)』に進んでください。
- デバイスの CLI で VMS の変更（Nx witness から amnimo VMS 等、変更方法は[こちら](#)）した場合、既に検出されているカメラ（既にカメラ一覧にあるカメラ）があれば、一度すべて削除してから再度カメラを検出してください。

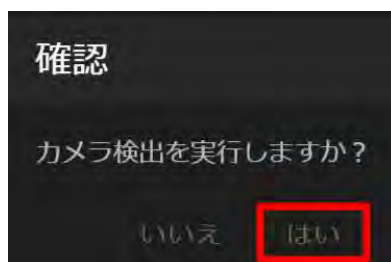
- 1 デバイスの横にあるアイコンをクリックし、「ゲートウェイ設定」をクリックします。



- 2 「その他」から「カメラ検出」をクリックします。



- 3 確認画面が表示されるので「はい」をクリックします。



- 4 サイドバーにカメラが表示されたことを確認します。
(スナップショットを取得するまでサムネイルは表示されません。)



4. カメラの認証情報を設定する

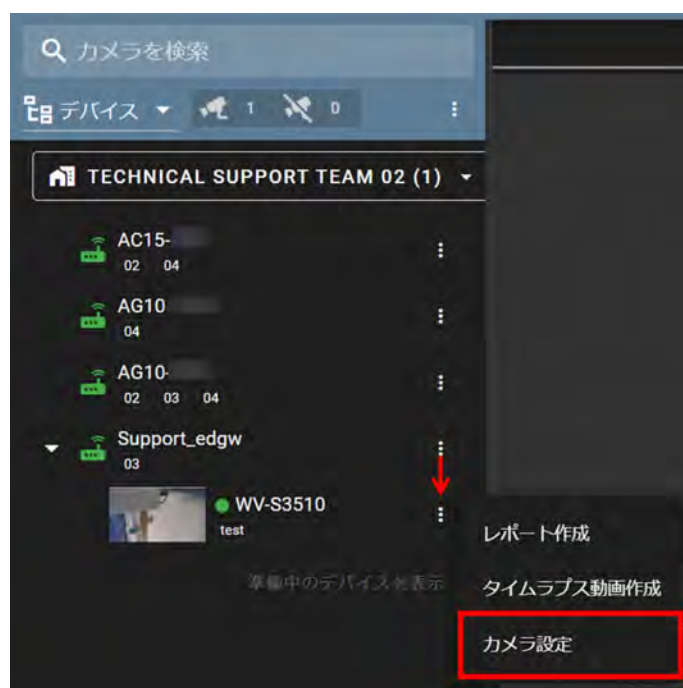
2024年7月12日

ここでは、カメラの認証情報の設定をする手順について説明します。

NOTE

アムニモポータブルを利用する場合は、カメラの認証情報の設定は不要です。

- 1 検出されたカメラの横のアイコンをクリックし、「カメラ設定」をクリックします。

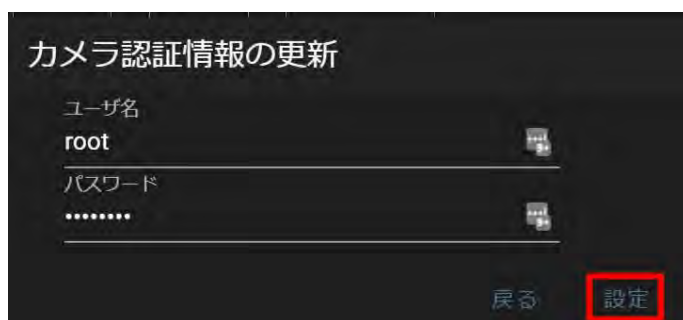


- 2 「一般」タブにて、「カメラ認証情報」の「設定」をクリックします。



3 ユーザー名とパスワードを入力したら「設定」をクリックし、画面を閉じます。

ユーザー名とパスワードは、カメラ初期設定時にご自身で設定したものを入力してください。



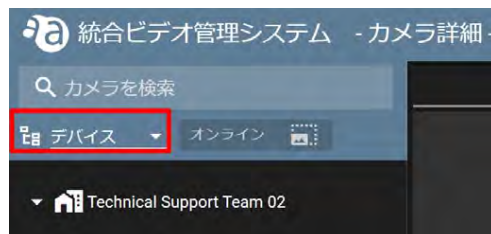
4 追加したカメラを選択し、DIRECT タブをクリックして映像が表示されることを確認します。



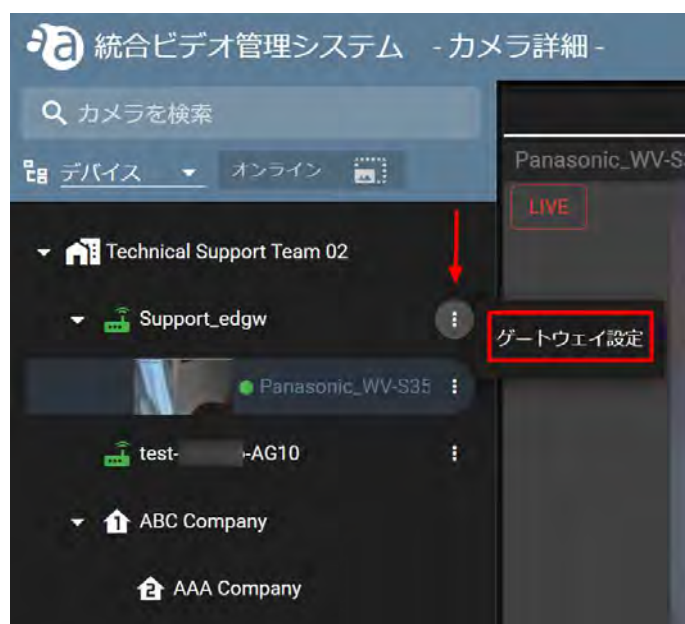
デバイス名を変更する

2024年7月12日

▼をクリックし、「デバイス」を選択します。



対象のデバイスの横のアイコンをクリックし、「ゲートウェイ設定」をクリックします。



デバイス名で名前を変更したら、保存アイコンをクリックします。
変更を反映しない場合は、キャンセルアイコンをクリックします。

Support_edgwの設定

● 正常

デバイス名
Support_edgw-1

デバイスタイプ
AG10

デバイス操作:

カメラ電源操作 (PoE) :

ポート	リンク状態	給電状態	説明	アクション
LAN0	アップ	ON	Camera1	ON OFF リセット
LAN1	ダウン	OFF	POE Port 1	ON OFF リセット
LAN2	ダウン	OFF	POE Port 2	ON OFF リセット
LAN3	ダウン	OFF	POE Port 3	ON OFF リセット
USB1	不明	ON	USB Port 1	ON OFF リセット
ETH0	アップ	不明	Ethernet Port 0	

デバイスを無効化する

2024年7月12日

▼をクリックし、「デバイス」を選択します。



無効化したいデバイスの横のアイコンをクリックし、「ゲートウェイ設定」をクリックします。



設定画面が開くので「非有効化」をクリックします。



- 4 確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



- 5 非有効化が完了すると、デバイスは準備中となります。



デバイスを再起動する

2024年7月12日

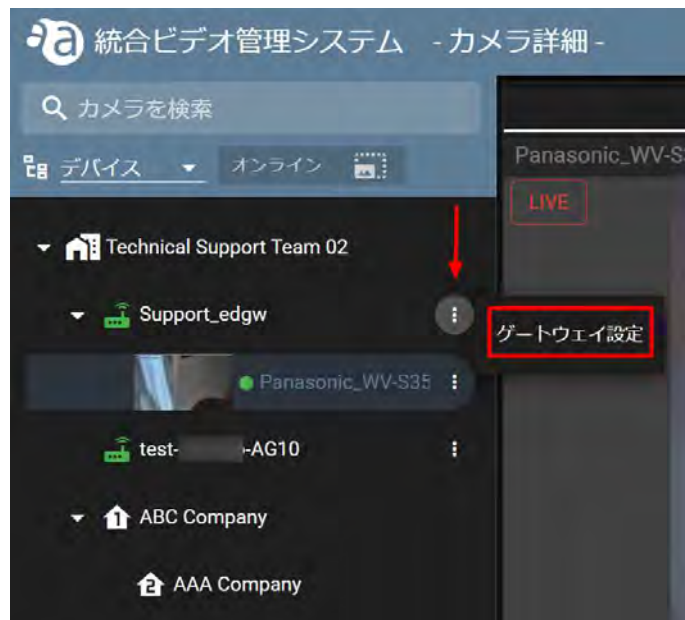
! WARNING

アムニモポータブルについて、本ページに載っている機能は利用できません。

- ▼をクリックし、「デバイス」を選択します。



- 再起動したいデバイスの横のアイコンをクリックし、「ゲートウェイ設定」をクリックします。

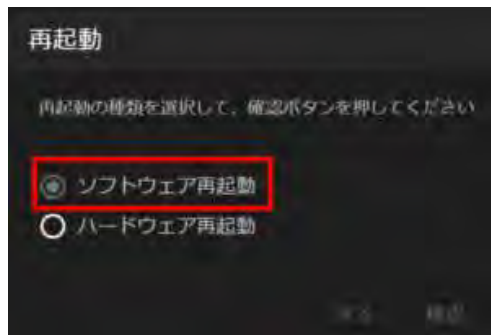


- 「再起動」をクリックします。

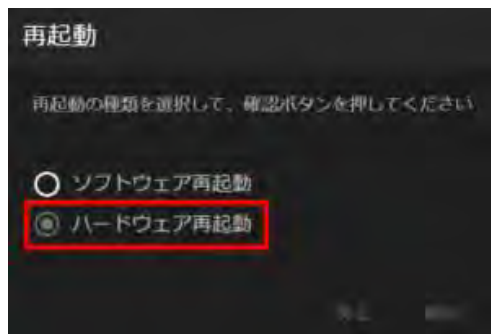


4 ソフトウェア再起動、またはハードウェア再起動を選択します。

- ソフトウェア再起動

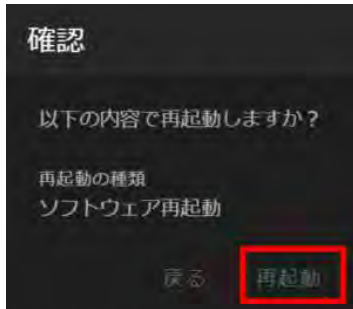


- ハードウェア再起動



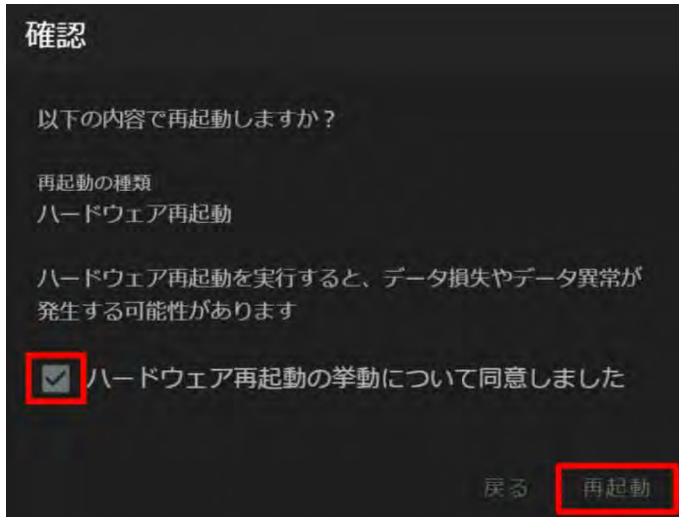
5 確認画面が表示されるので、それぞれについて「再起動」をクリックします。

- ソフトウェア再起動



- ハードウェア再起動

注意事項を確認し、同意事項にチェックを入れて、[再起動]をクリックすると、再起動されます。



カメラ電源（PoE）を操作する

2024年7月12日

ゲートウェイ設定からは、以下のようなカメラ電源（PoE）の操作が行えます。

- PoE 給電の開始 / 停止 / リセット
- USB 給電の開始 / 停止 / リセット



- ① ポート
- ② リンク状態
- ③ 給電状態
- ④ 説明
- ⑤ アクション

! WARNING

アムニモポータブルについて、本ページに載っている機能は利用できません。

PoE 給電 ON/OFF リセット

- 1 対象のポートに対して、実施したいボタンをクリックします。

他のポートの給電機能を リセット / ON / OFF 中に、別のポートでアクションを実行することも可能です。



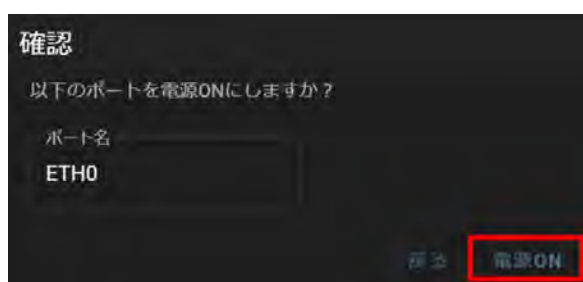
リセット：給電機能を指定した時間（リセット時間）だけ無効にして、指定時間経過後に自動的に有効にします。

ON：給電機能を有効にします。

OFF：給電機能を無効にします。

- ・ LAN ポート：1 秒 ～ 60 分（初期設定値 1 分）
- ・ USB ポート：1 秒 ～ 60 分（初期設定値 10 秒）

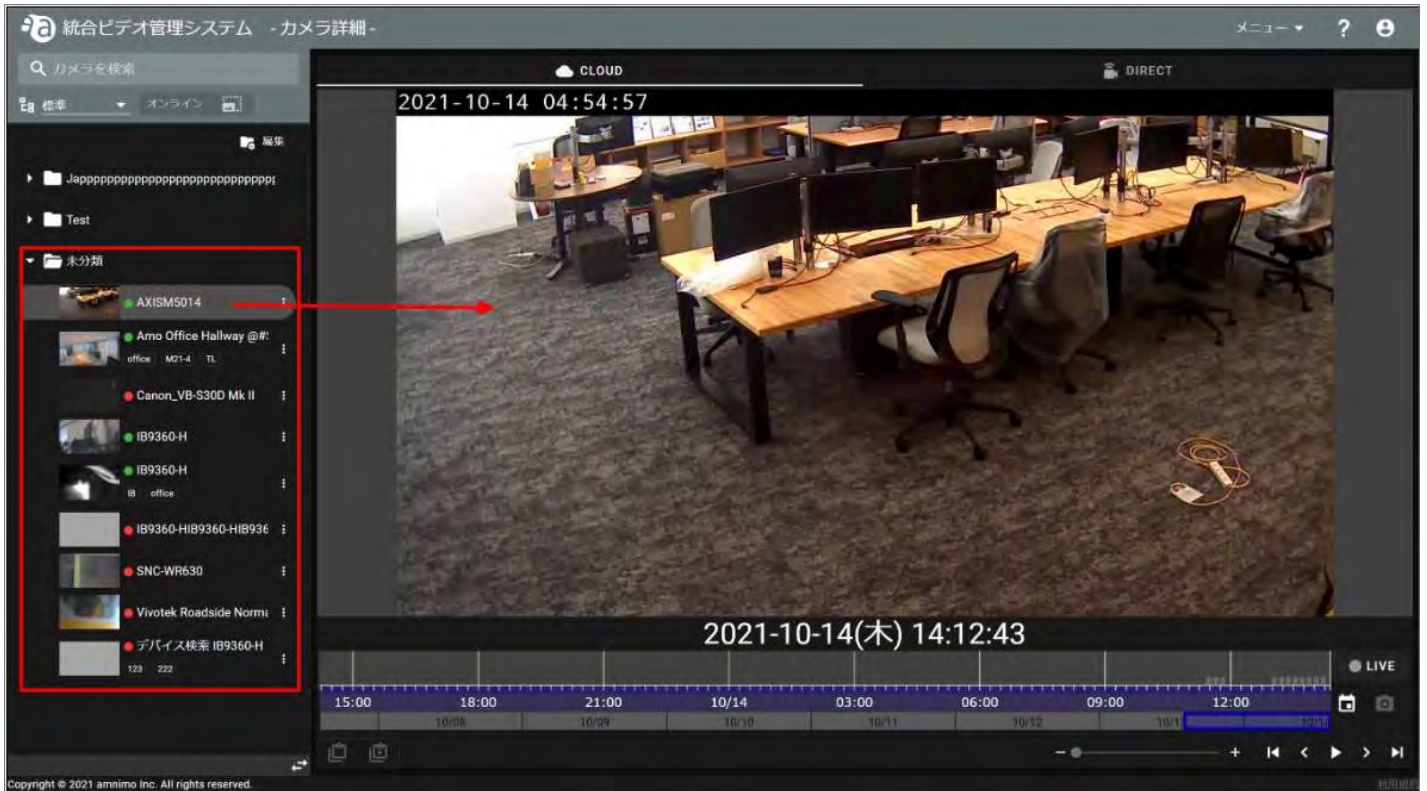
確認画面が表示されるので、**電源ON** または **電源OFF** をクリックします。
リセットの場合は、待ち時間を指定して **リセット** をクリックします。



カメラ映像を閲覧する

2024年7月12日

表示されているカメラ名をクリックして、映像を確認できます。



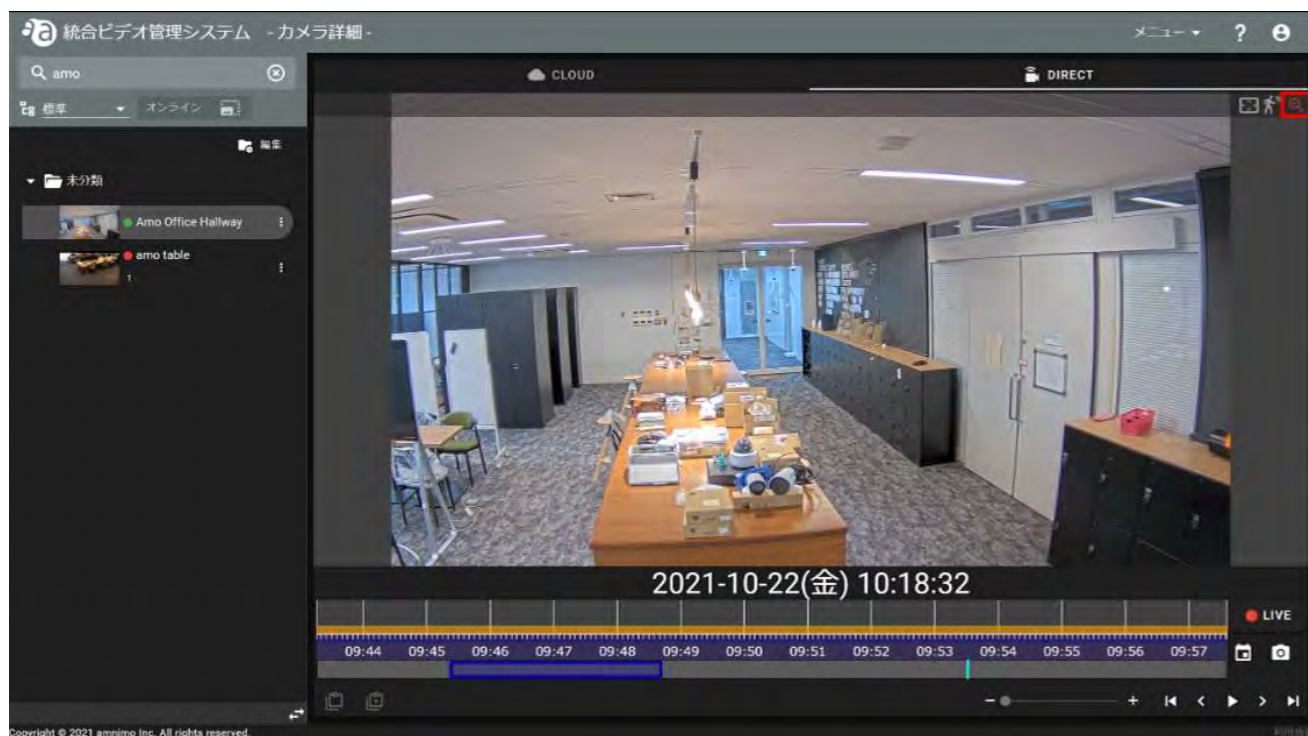
カメラ詳細画面

ズーム機能

2024年7月12日

CLOUDモードのLIVE映像再生時およびDIRECTモードでは、ズーム機能を利用して、動画を拡大や縮小することができます。

- 1 操作するカメラを選択し、画面右上のズームアイコンをクリックします。



- 2 各種操作をします。

マウスホイールでの操作



ズームした状態でドラッグ

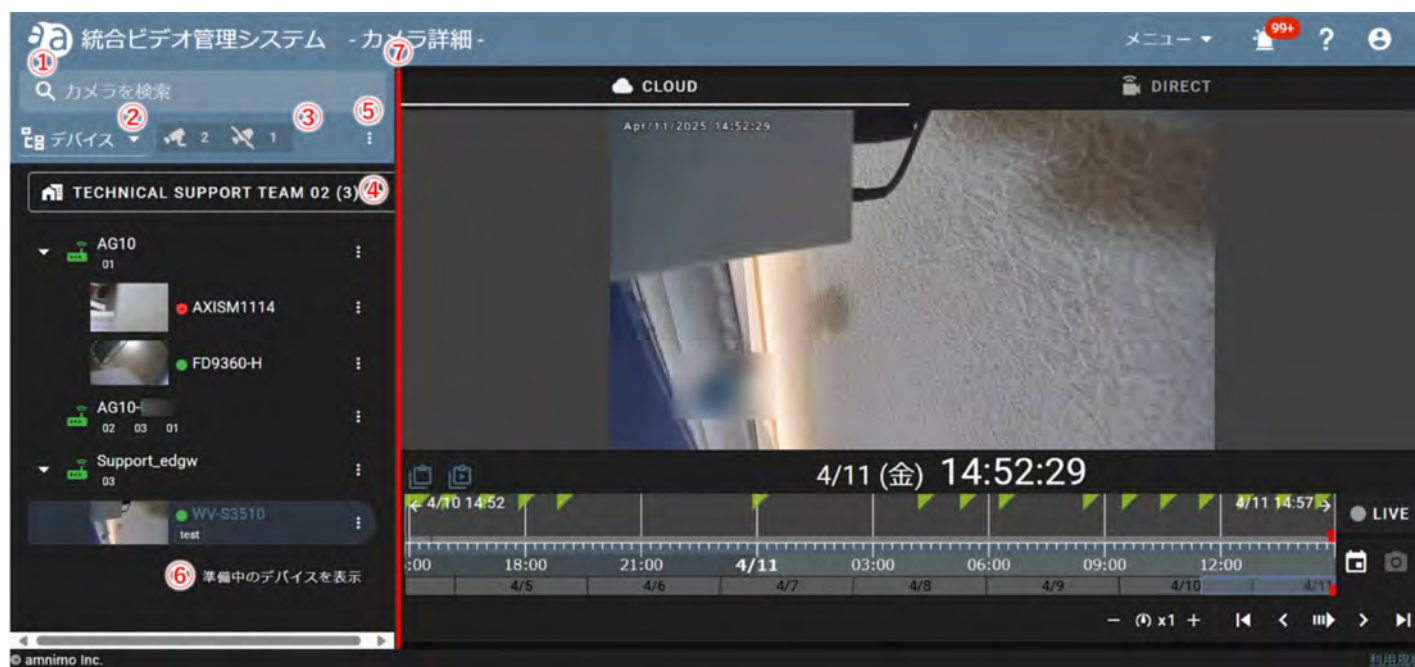


- 3 もう一度、ズームアイコンをクリックすると、ズーム操作が終了します。



カメラの検索と表示

2024年7月12日



カメラ詳細画面

以下の通りフィルタリングして検索したり、一覧表示の仕方を変更することができます。

- ① 検索ボックス
- ② 表示切り替え
- ③ オンライン/オフライン 選択
- ④ テナント切り替え
- ⑤ サムネイル表示・カメラツリー展開
- ⑥ 準備中のデバイスを表示
- ⑦ カメラツリー領域の拡大縮小

カメラのフォルダ管理

2024年7月12日

複数のカメラがある場合など、フォルダを作成してカメラを整理することができます。

ここでは、フォルダ管理（フォルダとサブフォルダの作成と編集、フォルダの削除）の手順、カメラ管理（カメラの追加と削除）の手順について説明します。

フォルダ管理

フォルダを作成する

表示切替で「標準」を選択します。（下図 ①）

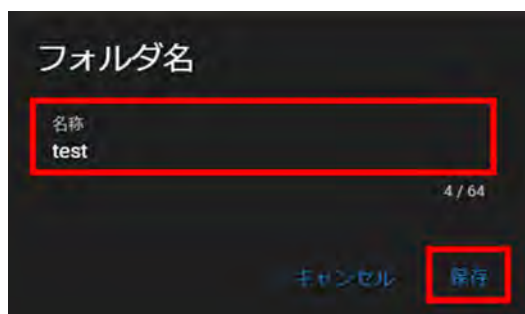
「編集」をクリックします。（下図 ②）



「ルートフォルダを追加」というボタンが表示されるのでクリックします。



「フォルダ名を入力し、」保存」をクリックします。



- 4 [保存] をクリックし、新しく作成したフォルダを保存します。



- 5 新しいフォルダにカメラが保存されました。



サブフォルダを作成する

既存のフォルダに対して、サブフォルダを作成することができます。
ここでは、サブフォルダを作成する手順について説明します。

- 1 表示切替で「標準」を選択します。（下図 ①）
カメラリストで、「編集」をクリックします。（下図 ②）



- 2 「サブフォルダを作成」をクリックします。



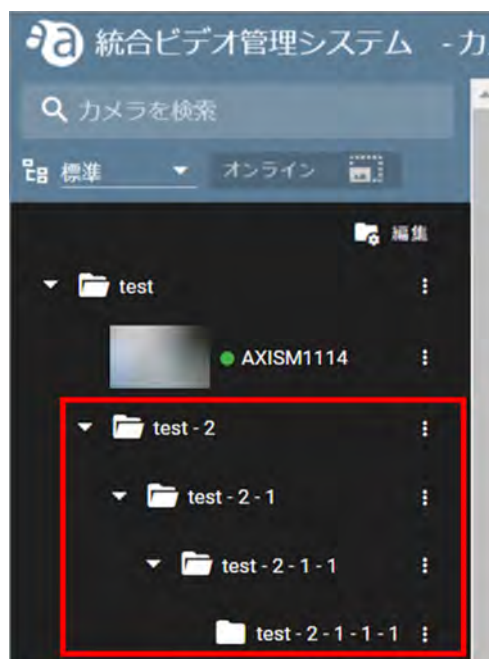
- 3 下図のように、「親フォルダ名-2」として、サブフォルダが作成されます。

をクリックすると、フォルダ名を変更できます。



必要に応じてカメラをドラッグして新しいサブフォルダに移動したら、[保存] をクリックして変更を保存します。

サブフォルダは、4階層まで作成できます。



フォルダを削除する

表示切替で「標準」を選択します。(下図 ①)

カメラリストで、「編集」をクリックします。(下図 ②)



- 2 削除したいフォルダに表示されている、ゴミ箱アイコンをクリックします。フォルダは即座に削除されます。
カメラが格納されているフォルダはゴミ箱アイコンが表示されず削除できません。

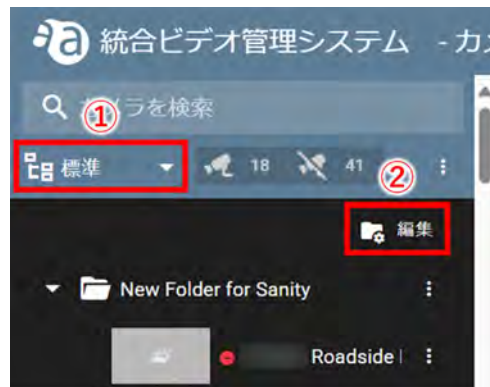


カメラ管理

フォルダへのカメラの追加

カメラをドラッグして追加

- 1 表示切替で「標準」を選択します。（下図 ①）
「編集」をクリックします。（下図 ②）



- 2 「未分類」フォルダからカメラをフォルダの下にドラッグして移動します。



- 3 [保存] をクリックして変更を保存します。



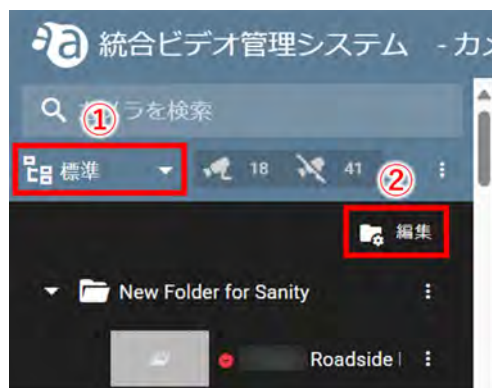
- 4 カメラの追加が完了しました。

カメラを一覧から選択して追加

複数のカメラを同時にフォルダへ追加する場合は、以下の手順を行うと便利です。

表示切替で「標準」を選択します。（下図 ①）

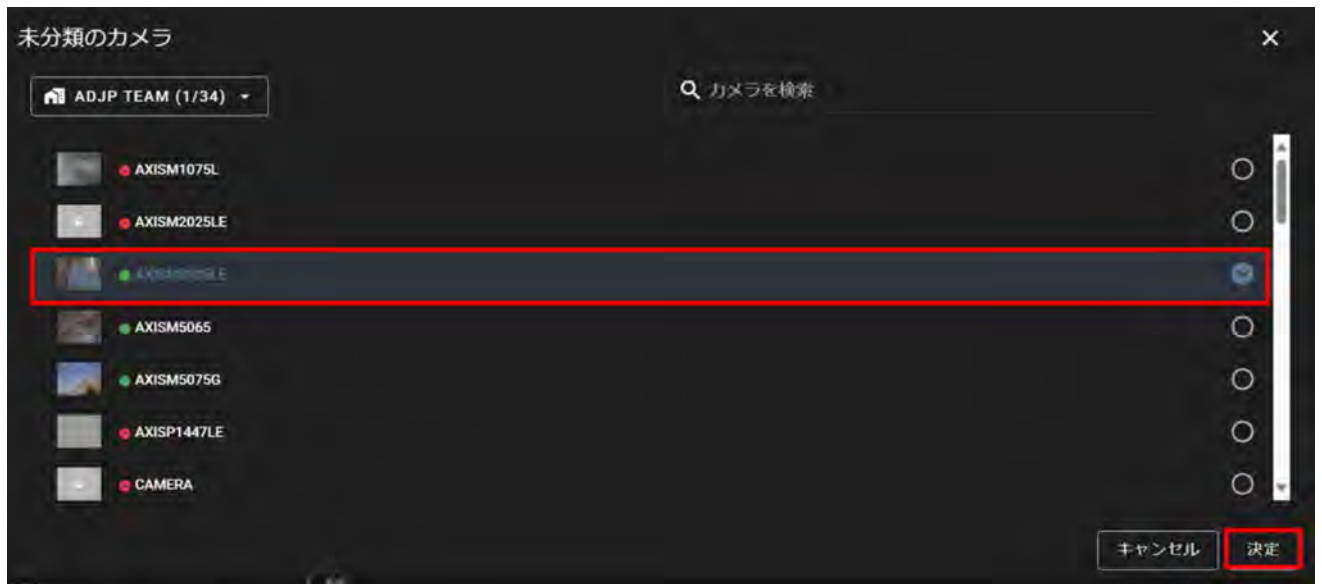
「編集」をクリックします。（下図 ②）



「カメラをこのフォルダに追加」をクリックします。



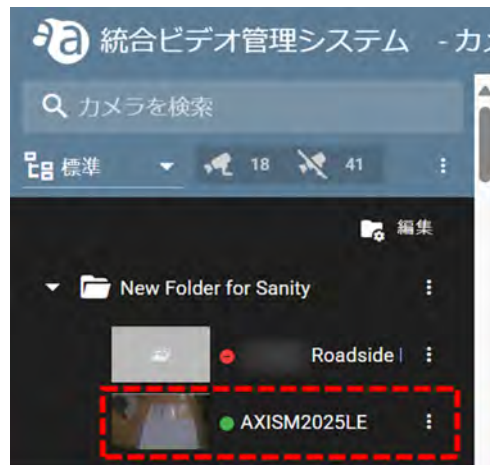
フォルダに追加したいカメラを選択し（複数選択可）、「決定」をクリックします。



4 「保存」をクリックして変更を保存します。



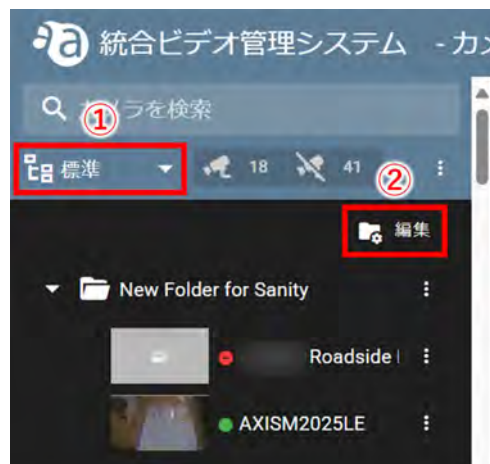
5 カメラの追加が完了しました。



フォルダからのカメラの削除

表示切替で「標準」を選択します。（下図 ①）

「編集」をクリックします。（下図 ②）



「未分類へ移動」をクリックします。



3

【保存】をクリックします。



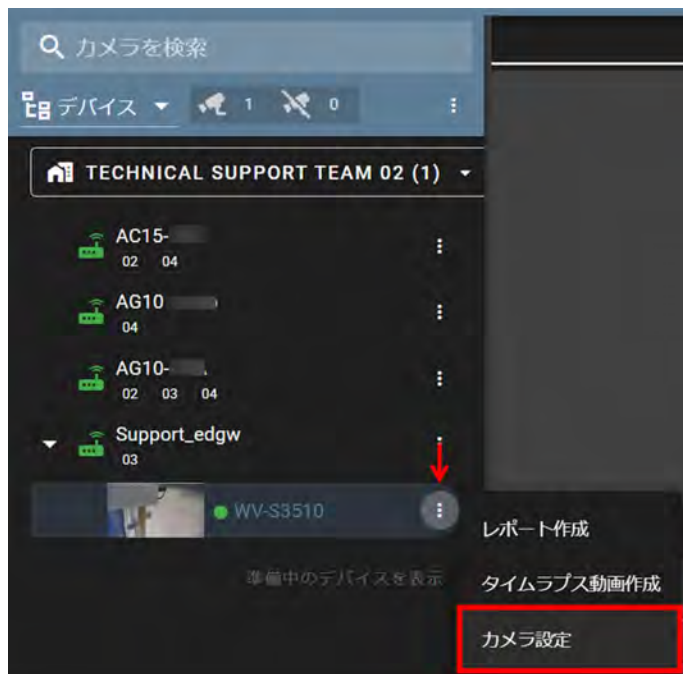
4

カメラの削除が完了しました。

カメラの表示名を変更する

2024年7月12日

1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[カメラ設定] をクリックします。

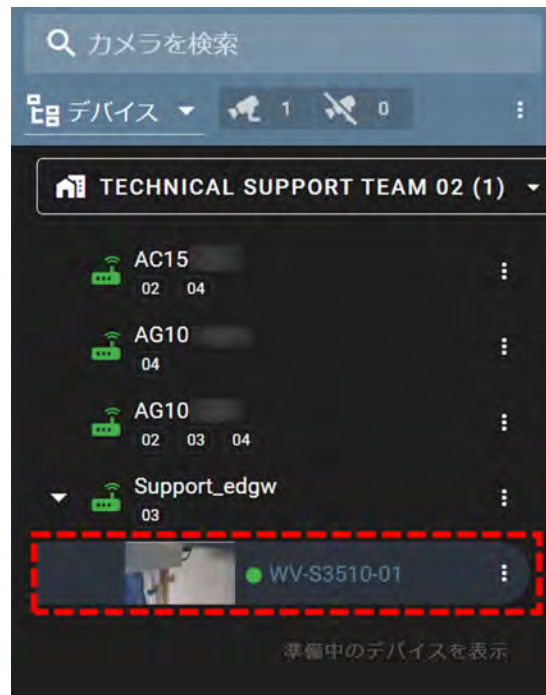


2 「一般」タブにて、カメラ表示名を好きな名前に変更し、保存アイコンをクリックします。

変更を反映しない場合は、キャンセルアイコンをクリックします。



3 名前が変更されたことを確認します。



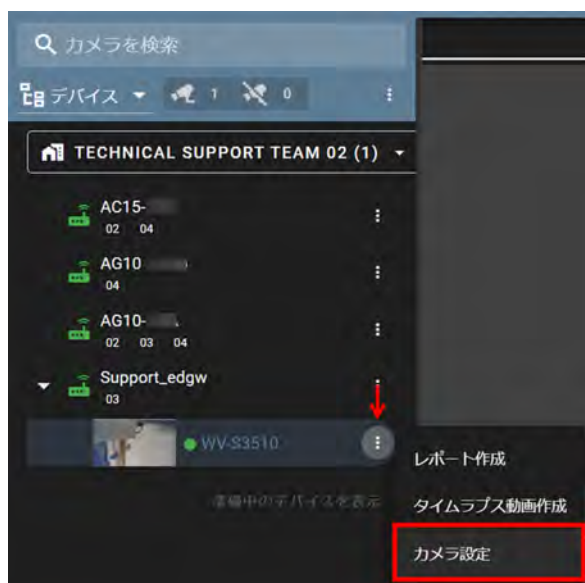
カメラの認証情報を更新する

2024年7月12日

各カメラには認証情報が必要な場合があります。

統合ビデオ管理システムから認証情報を更新すると、Nx Witness で設定した内容が上書きされます。

- 1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[カメラ設定] をクリックします。



- 2 「一般」タブにて、「カメラ認証情報」の[設定]ボタンをクリックします。



- 3 カメラの認証情報を入力し、[設定] をクリックします。

カメラ認証情報の更新

ユーザ名
root

パスワード

戻る 認証

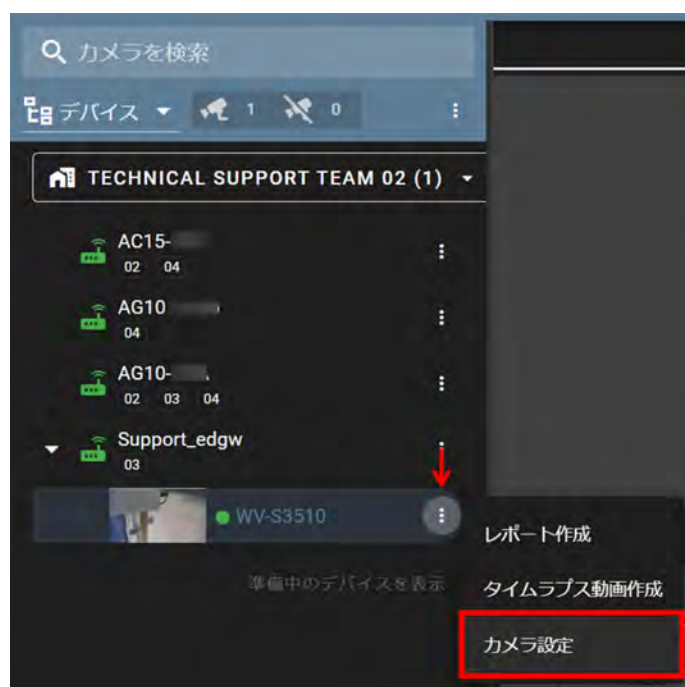
カメラヘタグを追加する

2024年7月12日

カメラには、好きなタグを 8 個まで登録することができます。タグは検索のキーワードとしても利用できます。
例) 場所、部署名、会社名、人名など

ここでは、カメラのタグを登録する手順を説明します。

1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[カメラ設定] をクリックします。



2 「一般」タブにて、「カメラタグ」の[+] をクリックします。



テキストボックスに好きなタグを入力しキーボードで Enter を押して確定します。
(例は、「test」と入力したところ。)



タグが登録されると、以下のように表示されます。

タグにある × をクリックすると、即時に削除されます。

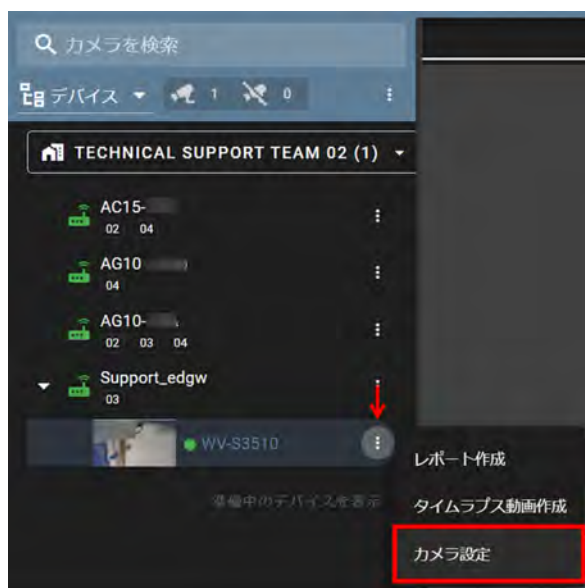


魚眼補正設定をする

2024年7月12日

魚眼補正を有効にした場合、対象のカメラに魚眼補正設定をすることが出来ます。設定した魚眼補正内容は、LIVE モードや DIRECT モードに反映されます。

- 1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[カメラ設定] をクリックします。



- 2 「魚眼補正」タブにて、補正設定と表示設定を行います。（後述）
それぞれについて設定を実施したら、最後に「保存」をクリックして設定を反映します。

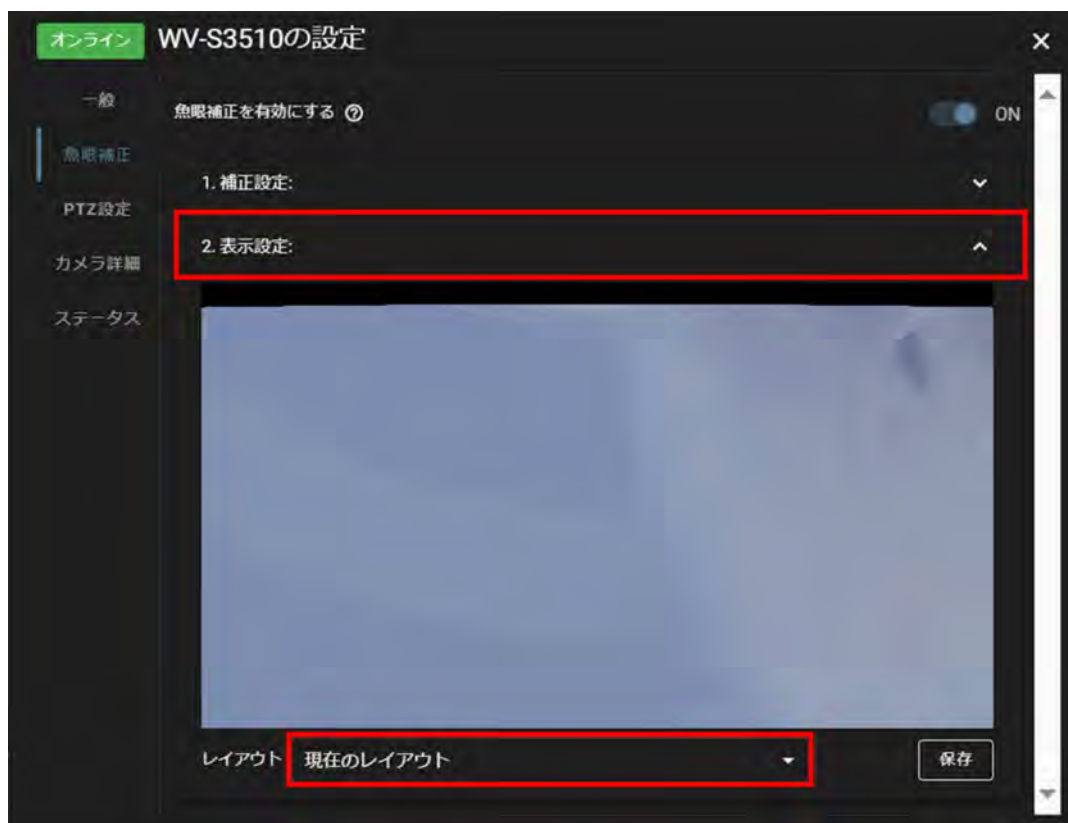
補正設定



- ① 魚眼補正を有効にする
- ② 位置調整（自動検出）
- ③ 位置調整（手動設定）
- ④ 射影方式
- ⑤ 取付向き
- ⑥ 取付角度
- ⑦ プレイヤー

表示設定

レイアウトのドロップダウンリストから、表示したいレイアウトが選択できます。
ここで設定したレイアウトは、LIVE モードや DIRECT モードに反映されます。



レイアウトの種類

テンプレート1：4分割 各90度表示

テンプレート2：上下2分割 各180度表示

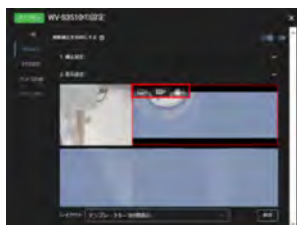
テンプレート3：5分割表示

自由レイアウト

表示モードの変更

映像の表示モードは自由に変更することが出来ます。

映像にカーソルを合わせると、下図のように[エリア表示]、[パノラマ表示]、[オリジナル（魚眼）表示] ボタンが表示されるので、表示したいモードをクリックします。



エリア表示



パノラマ表示



オリジナル（魚眼）表示

映像の拡大縮小と、角度の調整

エリア表示とパノラマ表示の映像については、拡大縮小や角度を調整した状態で保存することが出来ます。マウスで以下のように調整したあと、[保存] をクリックして反映します。

- 画像の拡大縮小 - マウスホイールで調整
- 画像の角度の調整 – マウスでドラッグ

画面の切り替えと初期映像の保存

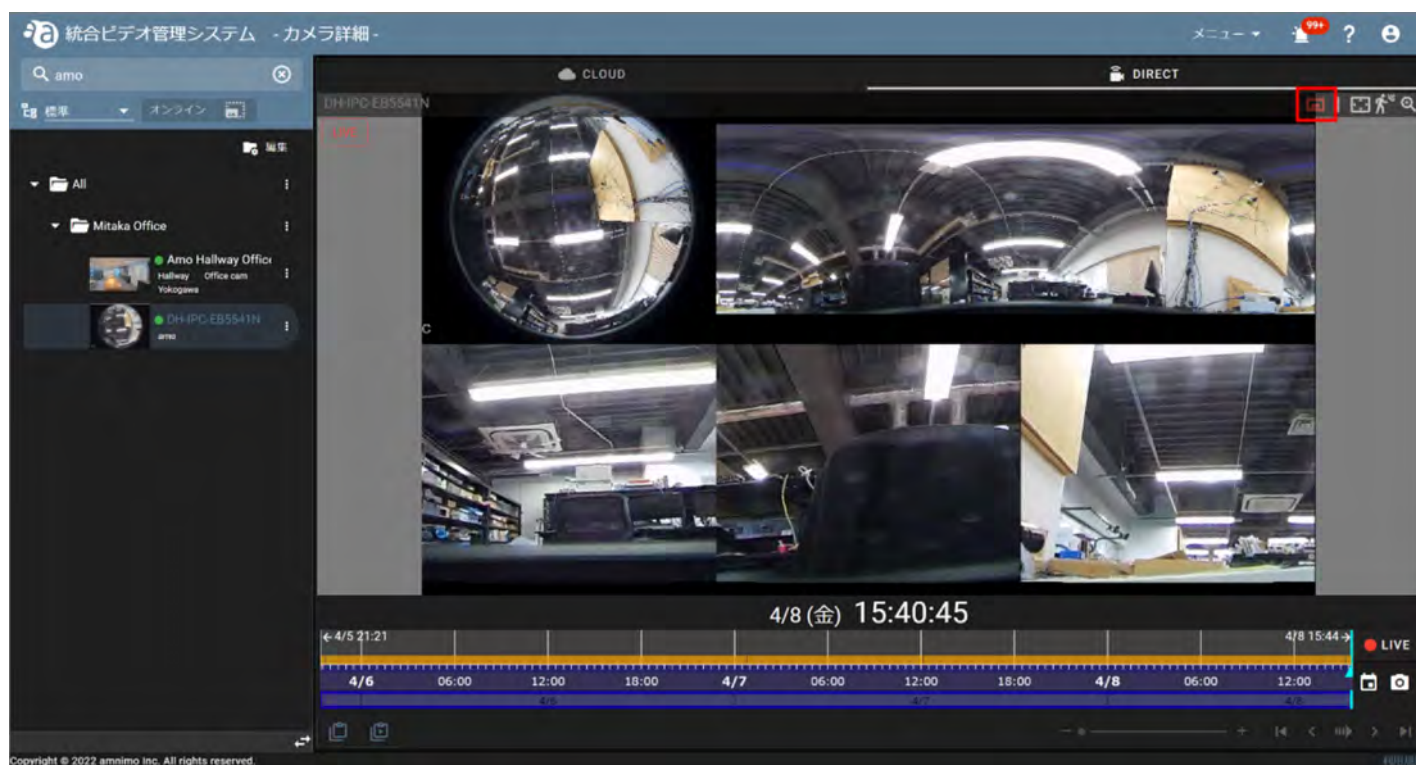
2024年6月13日

CLOUDモードのLIVE映像再生時およびDIRECTモードでは、魚眼補正を有効にしている場合、オリジナルの魚眼映像と魚眼補正された映像を切り替えることが出来ます。

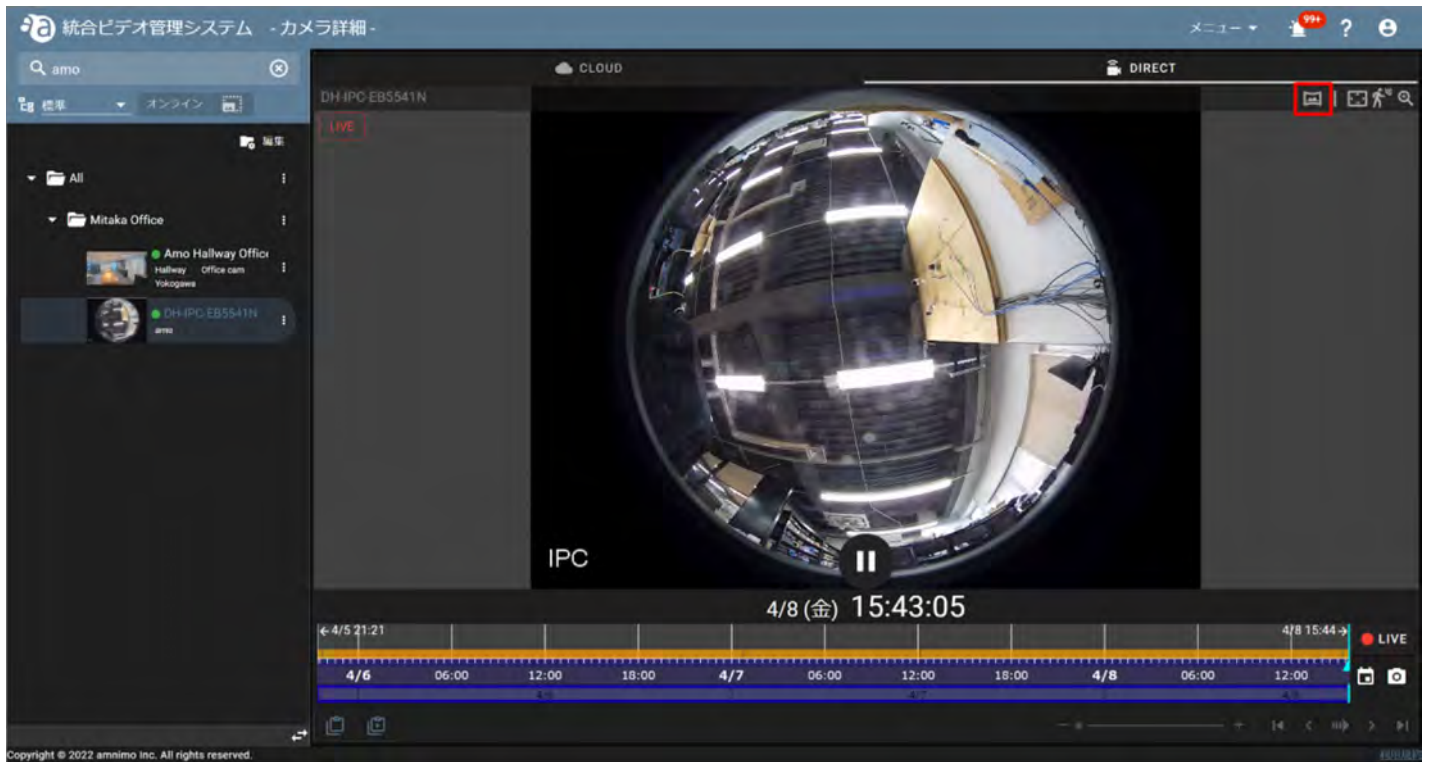
また、カメラをクリックしたときの初期映像をお好みの状態で保存しておくことが出来ます。

補正画面とオリジナル画面の切り替え

魚眼補正アイコンをクリックすると、魚眼補正されたレイアウトと、オリジナル（魚眼）の映像が切り替わります。

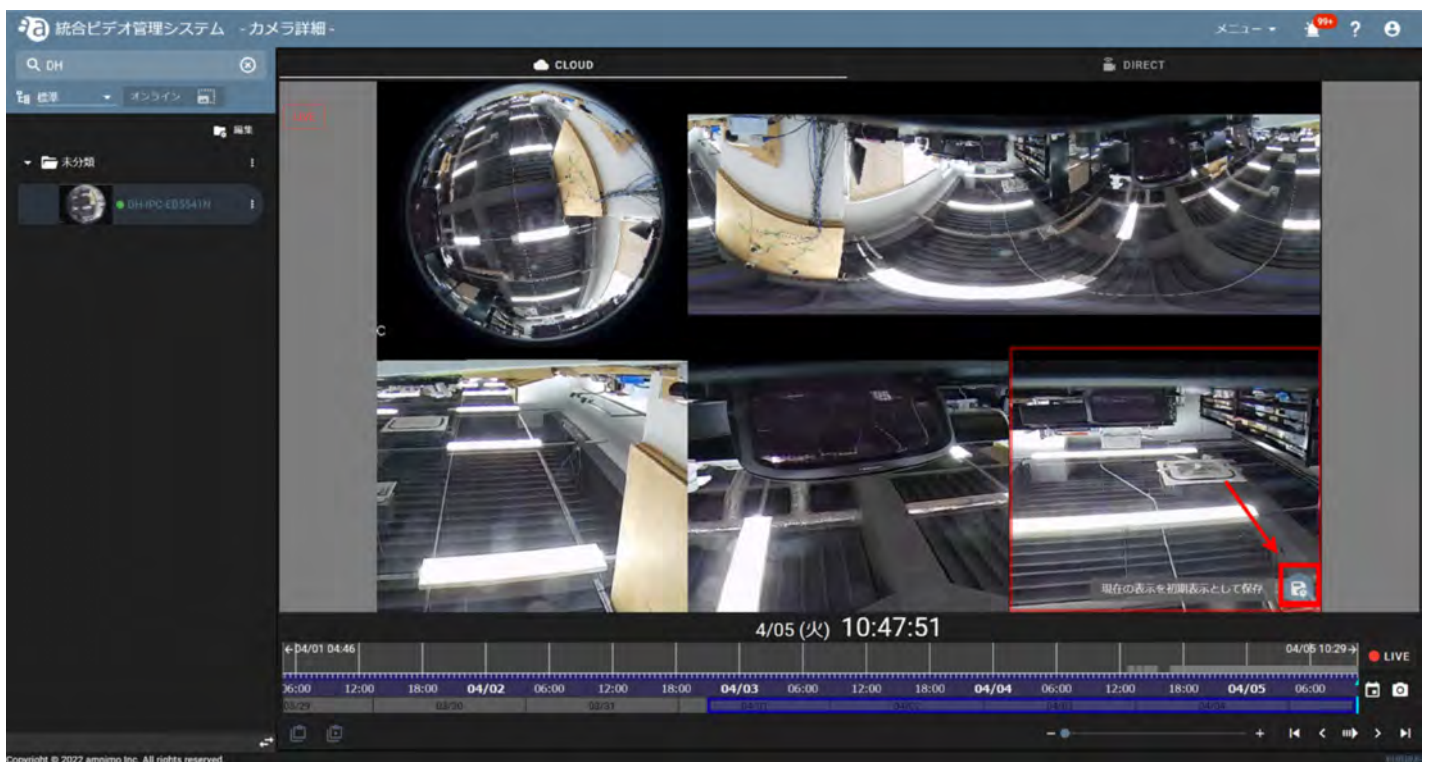


魚眼補正アイコンをクリックした後の画像



現在の表示を初期表示として保存

画面右下の保存アイコンをクリックすると、現在表示されている画面を初期表示として保存します。



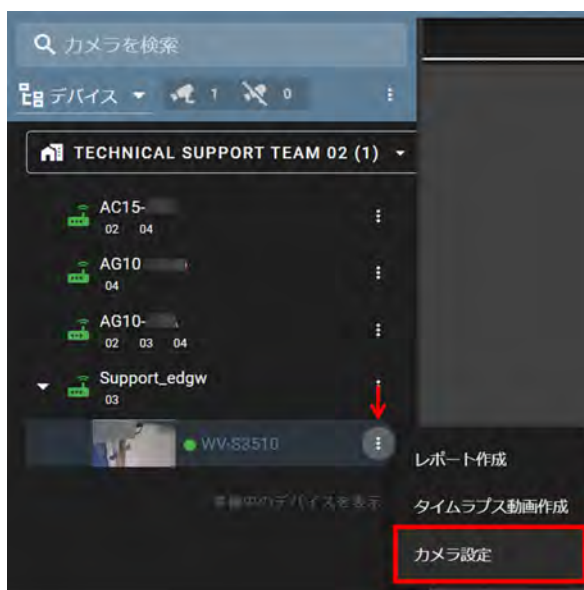
カメラを削除する

2024年7月12日

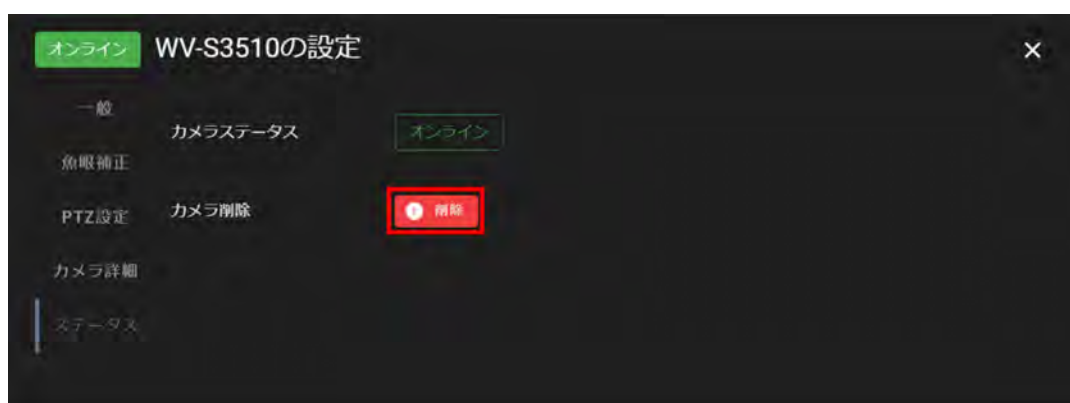
! WARNING

カメラを削除すると、ビデオクリップやスナップショットも削除されます。

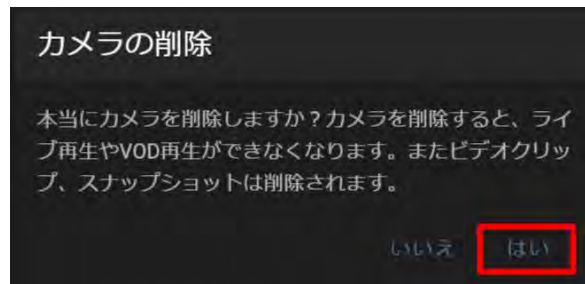
1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、「カメラ設定」をクリックします。



2 「ステータス」タブにて、「カメラ削除」の「削除」をクリックします。

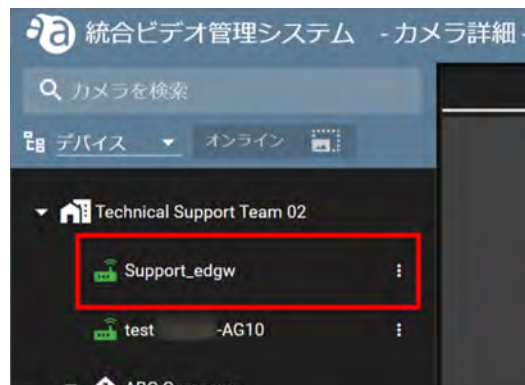


3 注意事項が表示されるので、確認の上「はい」をクリックします。



4

対象のカメラが削除されたことを確認します。



サムネイルを操作する

2024年7月12日

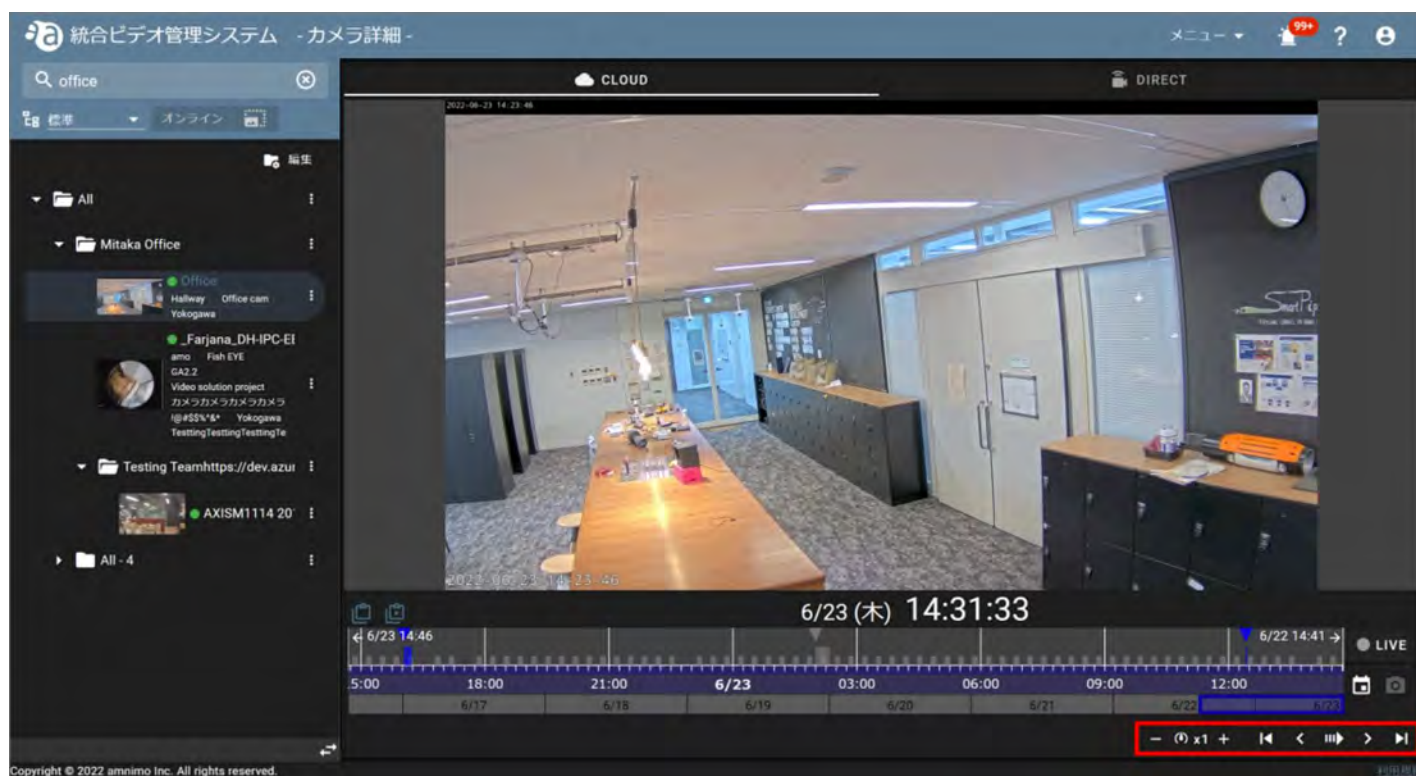
CLOUD タブでは、サムネイルの更新周期に沿って取得したサムネイルをコマ送りで再生することが出来ます。

サムネイルを再生する

クラウドに保存されたサムネイルをコマ送りで連続再生する方法を説明します。

NOTE

サムネイルの取得頻度は、[共通設定](#) のサムネイル更新周期で変更することができます。



カメラ詳細画面> クラウドモード

1 操作するカメラを選択し、サムネイルを再生したい日時を選択します。

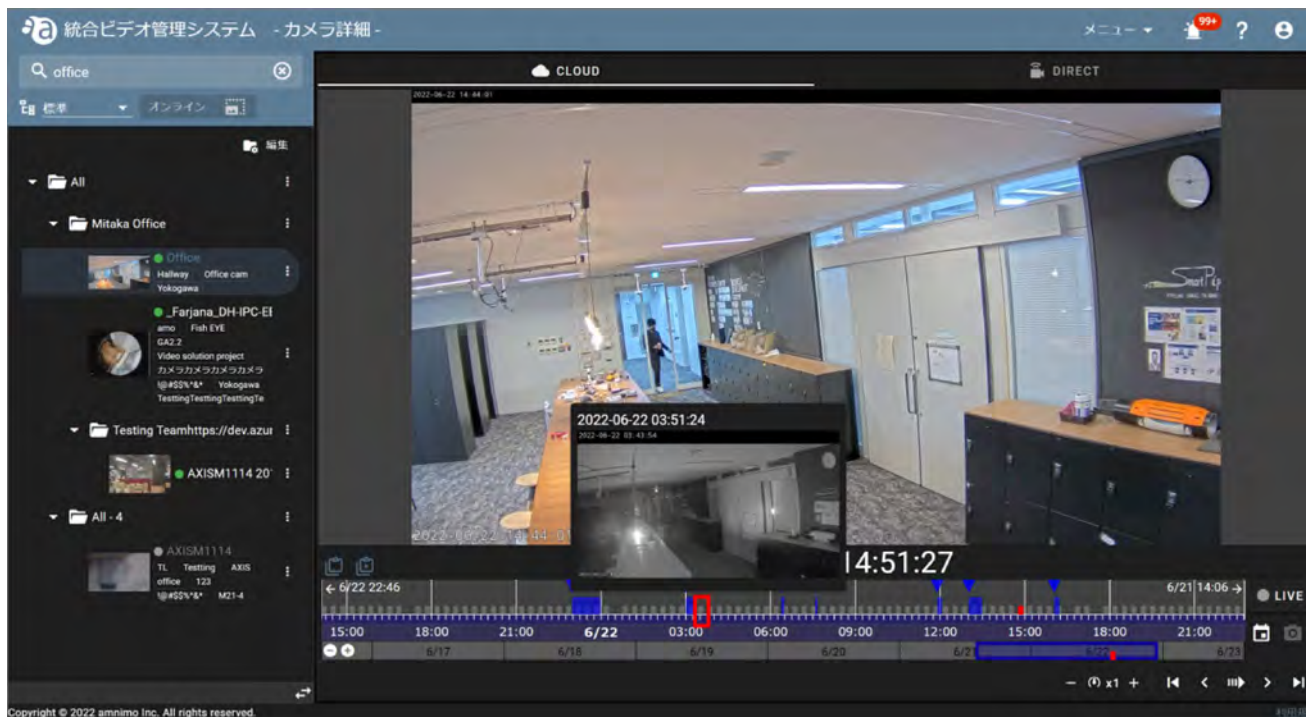
カレンダーから日時を選択する場合

▼

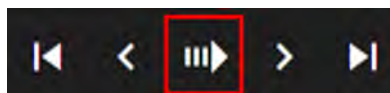
タイムラインバー上で日時を選択する場合

▼

- 2 サムネイルを取得した時刻（グレーで表示されている部分）をクリックし、サムネイルを表示します。



- 3 再生をクリックすると、サムネイルが再生されます。



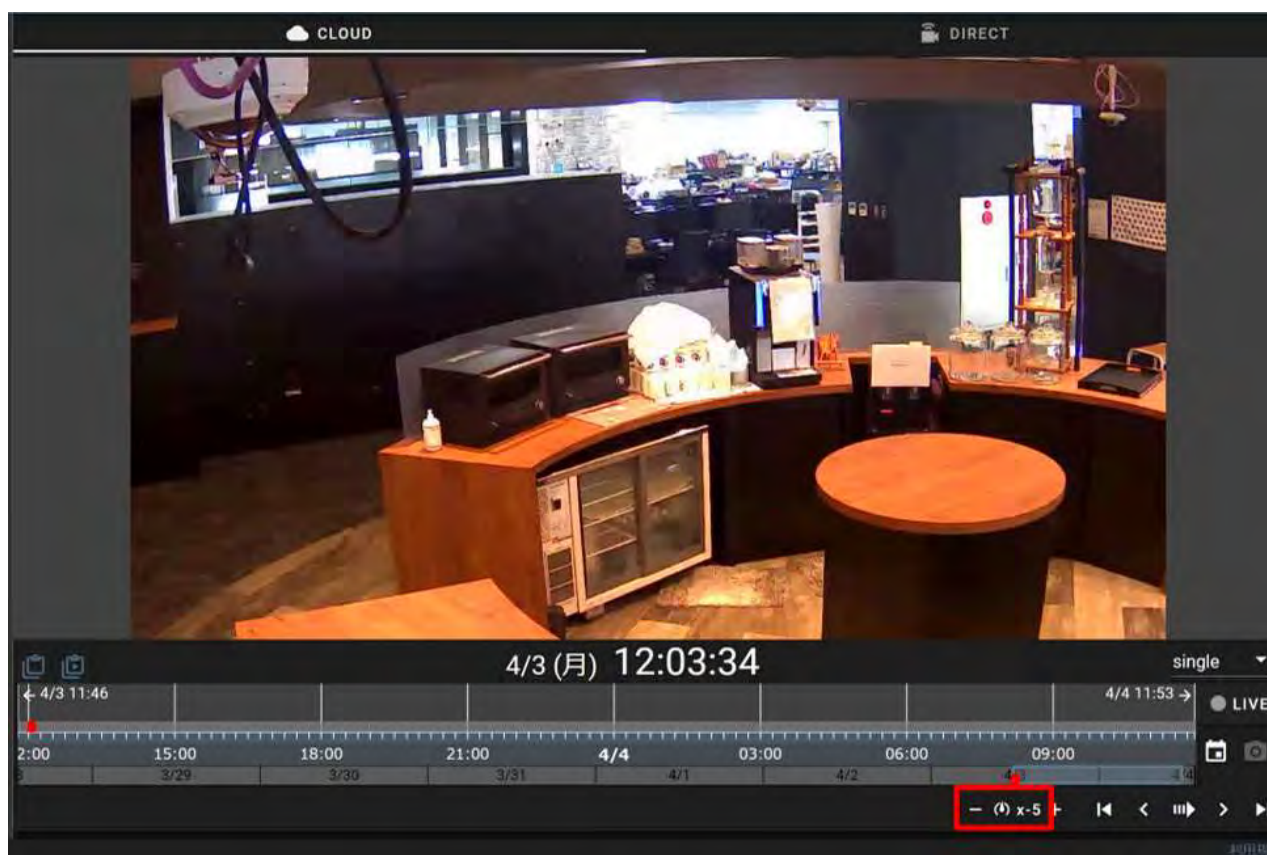
	一番古い / 一番新しいサムネイルを表示します。
	サムネイルを再生/停止します。
	1つ前 / 1つ後のサムネイルを表示します。

	再生速度を変更できます。 最大20倍まで再生速度を変更することが出来ます。 －で減速、＋で加速できます。 にカーソルを合わせて、インジケータで速度を調整することもできます。
--	---

サムネイルの逆再生

サムネイルは逆再生することも可能です。

下図のように、等倍速 (x1) の状態からマイナス表示 (-) をクリックしてマイナスの倍速を指定し、再生ボタンをクリックします。



サムネイルをコマ送りで再生する

↑

映像にカーソルを合わせると図のようなアイコンが表示されるので、これらをクリックして1コマずつ再生、または逆再生することが出来ます。

- > : 再生
- < : 逆再生

また、画面上でマウスのホイールをスクロールすると、同様にコマ送りと逆再生を行うことが出来ます

サムネイル表示のレイアウトの切り替え

サムネイルの表示方法は、1枚だけを表示する1枚表示モード（初期値）の他に、選択したサムネイルを中心に前後のサムネイルと合わせ9枚で表示する9枚表示モードと、複数のサムネイルを一覧で時系列上に表示できるリスト表示モードがあります。

9枚表示モード

↓

リスト表示モード

↓

LIVE 映像の再生

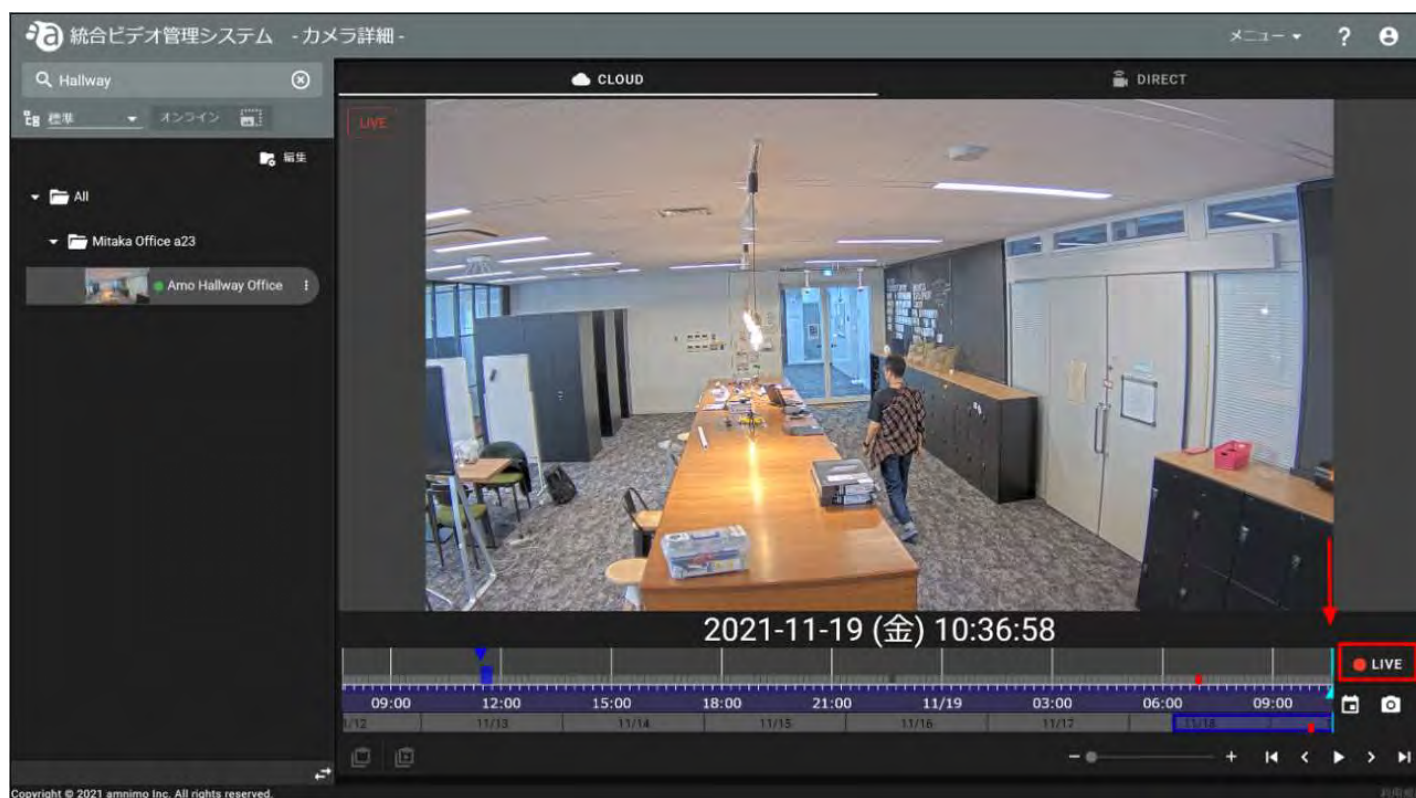
2024年7月12日

ライブ映像を再生したいカメラを選択し、[LIVE] をクリックすると、最新の動画をストリーミング再生します。図の水色のバーは再生位置を表示しています。

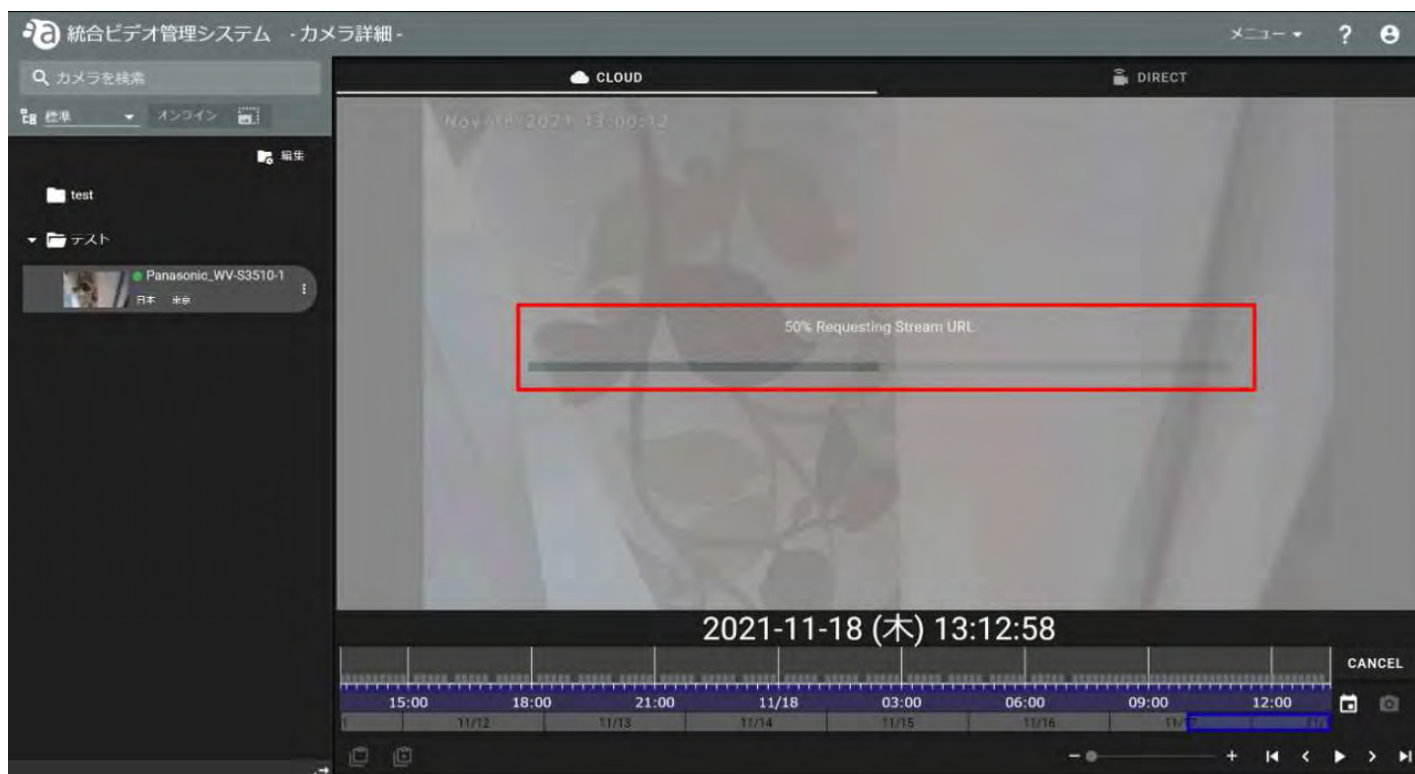
NOTE

複数ユーザが同時に再生することができますが、録画した映像の再生やスマートサーチ機能は使用できません。

また、[LIVE] が有効になっている状態で、画面上をマウスのホイールでスクロールすると、画面のズームインやズームアウトが出来ます。



[LIVE] ボタンをクリックすると、ストリーミングが開始されるまでの間、プログレスバーが表示されます。途中で停止する場合は [CANCEL] ボタンで停止します。



停止する

画面上にカーソルを移動すると、一時停止ボタンが表示されるのでクリックして停止します。



再生する

もういちど再生するには、画面上にカーソルを移動し再生ボタンをクリックします。



スナップショットを取得する

2024年7月12日

スナップショットとは、現在閲覧している動画の瞬間を画像として保存したもののことを言います。
ここでは、スナップショットを取得する2種類の手順について説明します。

任意の時刻のスナップショットを取得する

- 1 スナップショットを取得したいカメラを選択し、スナップショットアイコンをクリックします。



- 2 タイムラインバー上で日時を選択するか、取得日時をクリックしてカレンダーから日時を選択します。スナップショットの任意の名称を入力したら、「取得」をクリックします。

タイムラインをクリックして日時を選択



カレンダーから日時を選択



- 3 取得したスナップショットは、[クラウド保存動画 / 画像 ページ](#)で確認することができます。
なお、クラウド保存動画 / 画像 ページは、メニューからアクセス可能です。



表示中のカメラ映像のスナップショットを取得する

- 1 [CLOUD] タブで [LIVE] ボタン（下図①）をクリックします。
LIVE の状態になったら、カメラアイコン（下図②）をクリックします。



取得したスナップショットは、[クラウド保存動画 / 画像ページ](#)で確認することができます。
なお、クラウド保存動画 / 画像ページは、メニューからアクセス可能です。



ビデオクリップを取得する

2024年7月12日

ビデオクリップとは、動画の一部を切り出して保存したもののことを言います。
ここでは、ビデオクリップの取得方法について説明します。

- 1 ビデオクリップを取得したいカメラを選択し、ビデオクリップアイコンをクリックします。



- 2 タイムラインバー上で日時を選択するか、取得日時をクリックしてカレンダーから日時を選択します。ビデオクリップの任意の名称を入力したら、「取得」をクリックします。

タイムラインをクリックして日時を選択



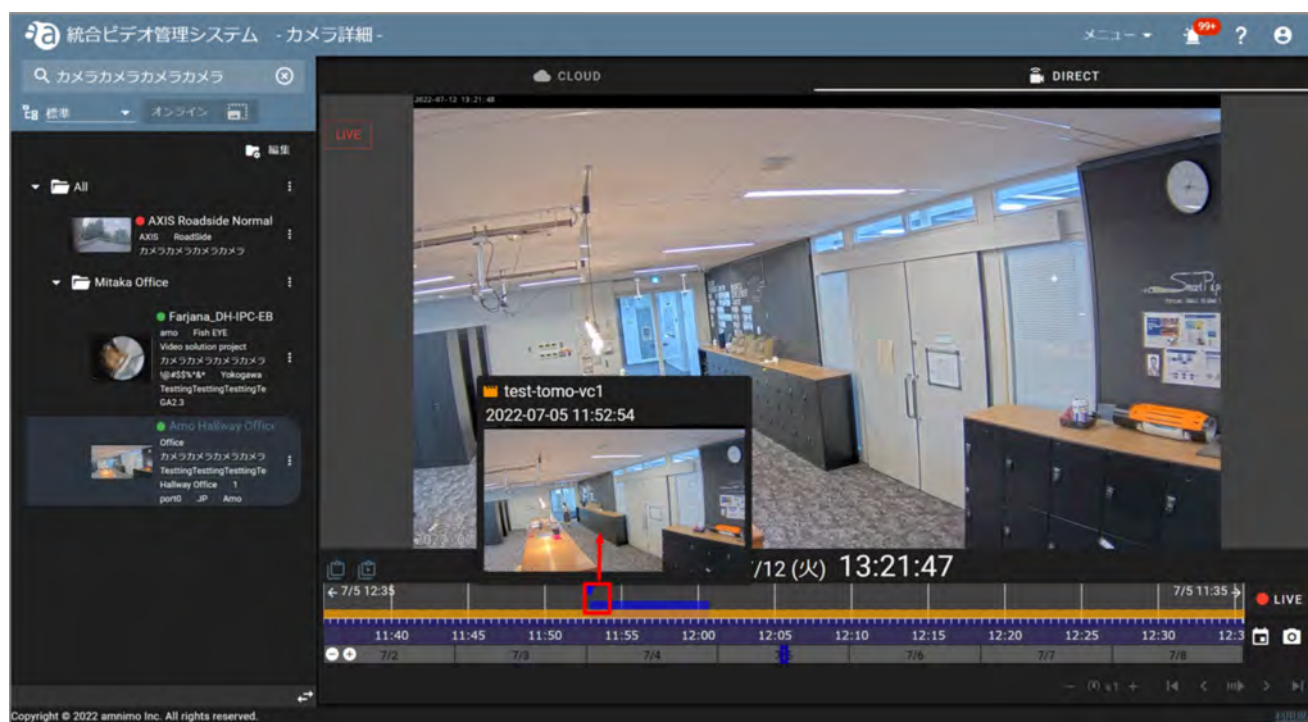
カレンダーから日時を選択



- 3 タイムラインバー上で、ビデオクリップの取得対象として選択した時間帯（破線で表示されている部分）にカーソルを合わせると、「取得中」という表示が現れます。



ビデオクリップの取得完了後、タイムラインバー上でビデオクリップを取得した時間帯（青く表示されている部分）をクリックすると、取得したビデオクリップを再生することができます。



また、取得したビデオクリップは、[クラウド保存動画 / 画像 ページ](#)でも確認することができます。
 なお、クラウド保存動画 / 画像 ページは、メニューからアクセス可能です。

DIRECTモードへ移行し VOD 再生する

2024年7月12日

Video On Demand（以下、VOD）の再生日時を指定することで、CLOUD モードから DIRECT モードへ移行し VOD を再生します。

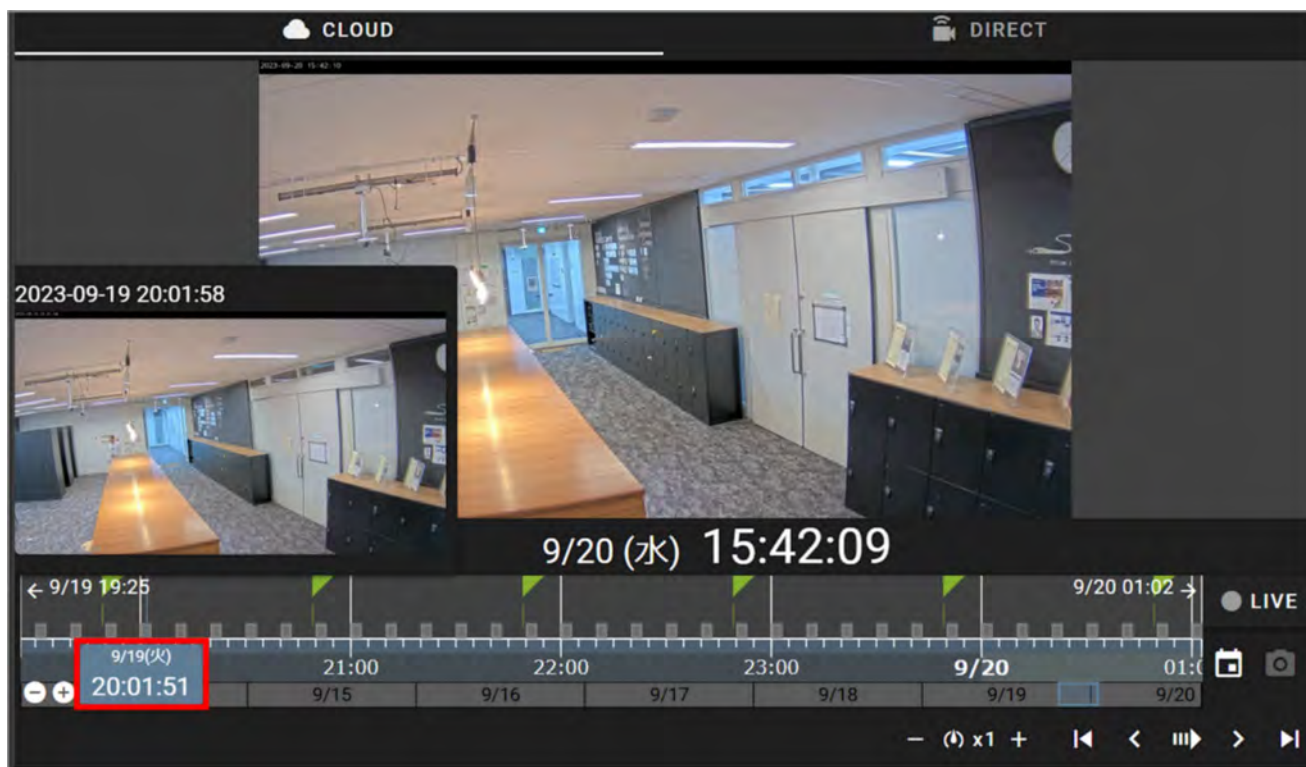
ここでは、DIRECT モードへ移行して VOD を再生する方法について説明します。

! WARNING

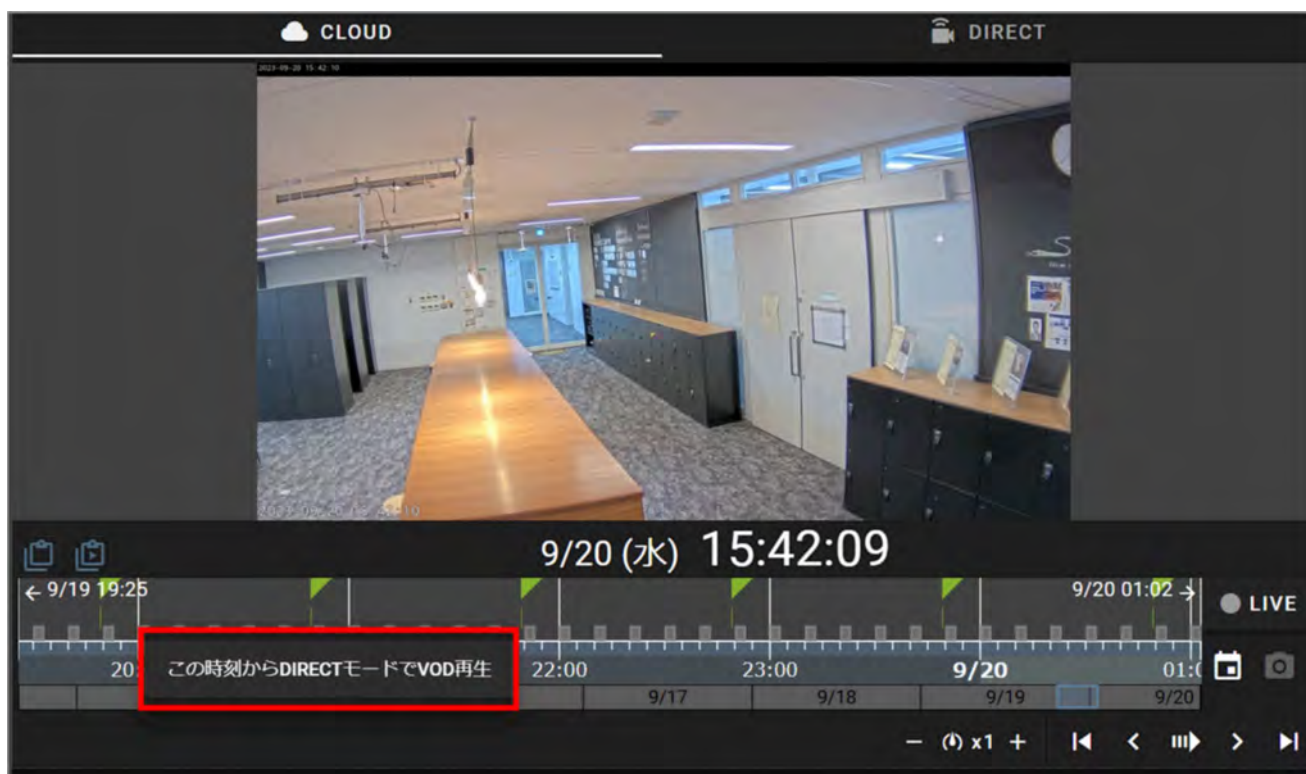
アムニモポータブルについて、DIRECT モードが無効であるため、本ページに載っている機能は利用できません。
代替りとして、CLOUD モードで VOD の再生ができます。

⇒ [『アムニモポータブルの録画映像を再生する』](#)

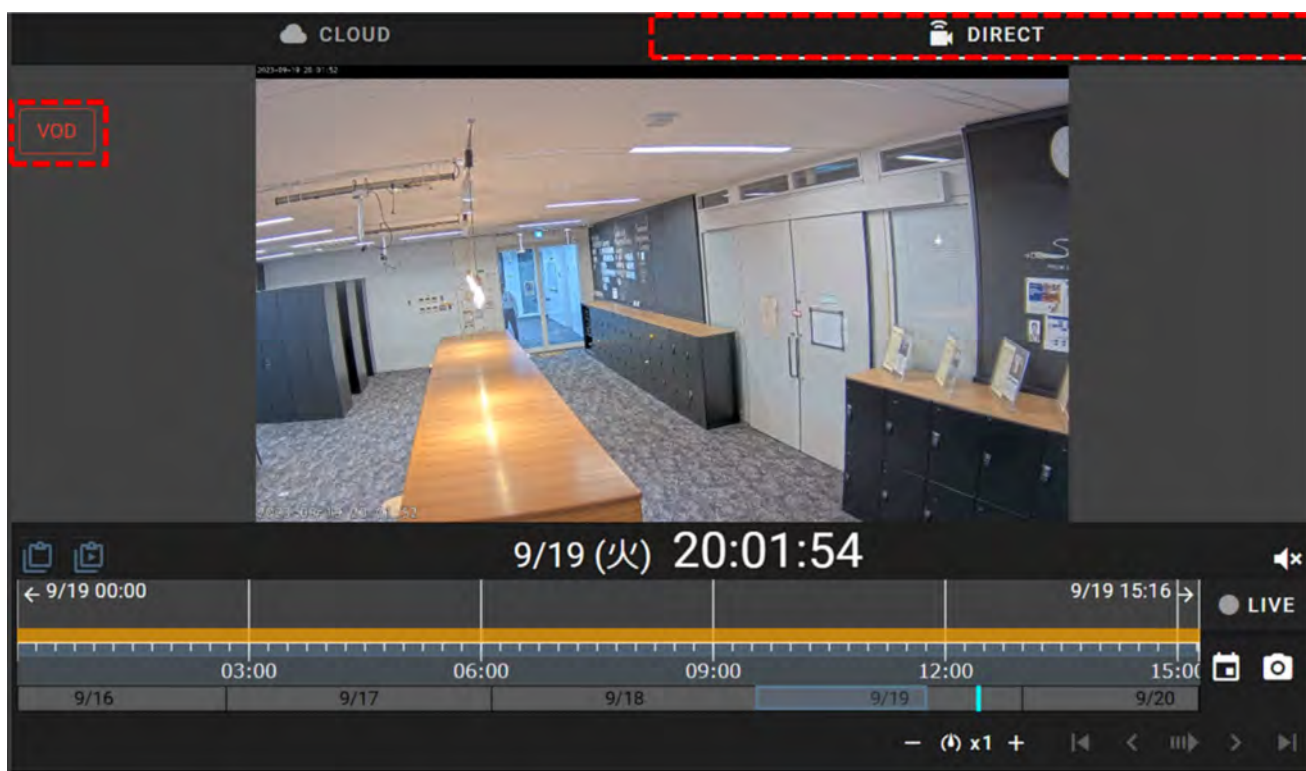
1 VOD を再生したいカメラを選択し、タイムライン上で VOD を再生したい日時にカーソルを合わせて右クリックします。



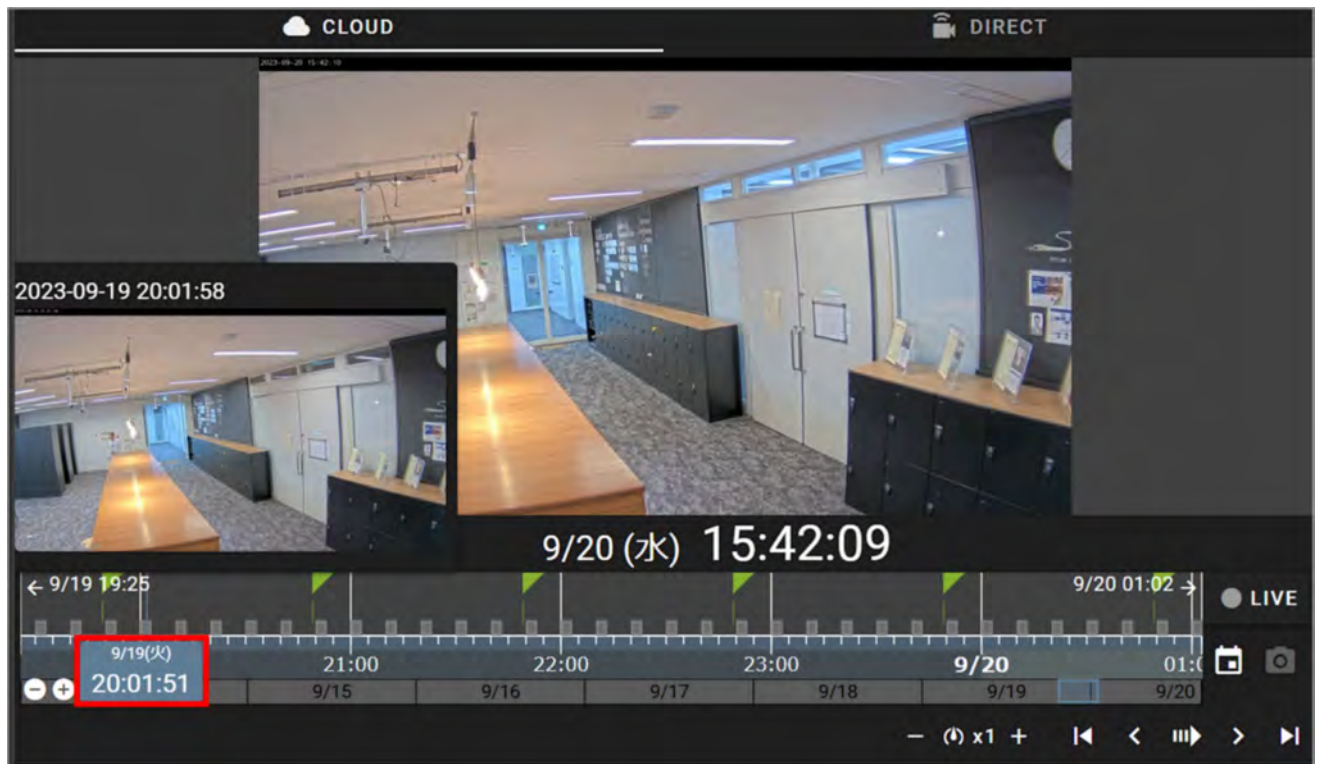
2 [この時刻から DIRECT モードで VOD 再生] をクリックします。



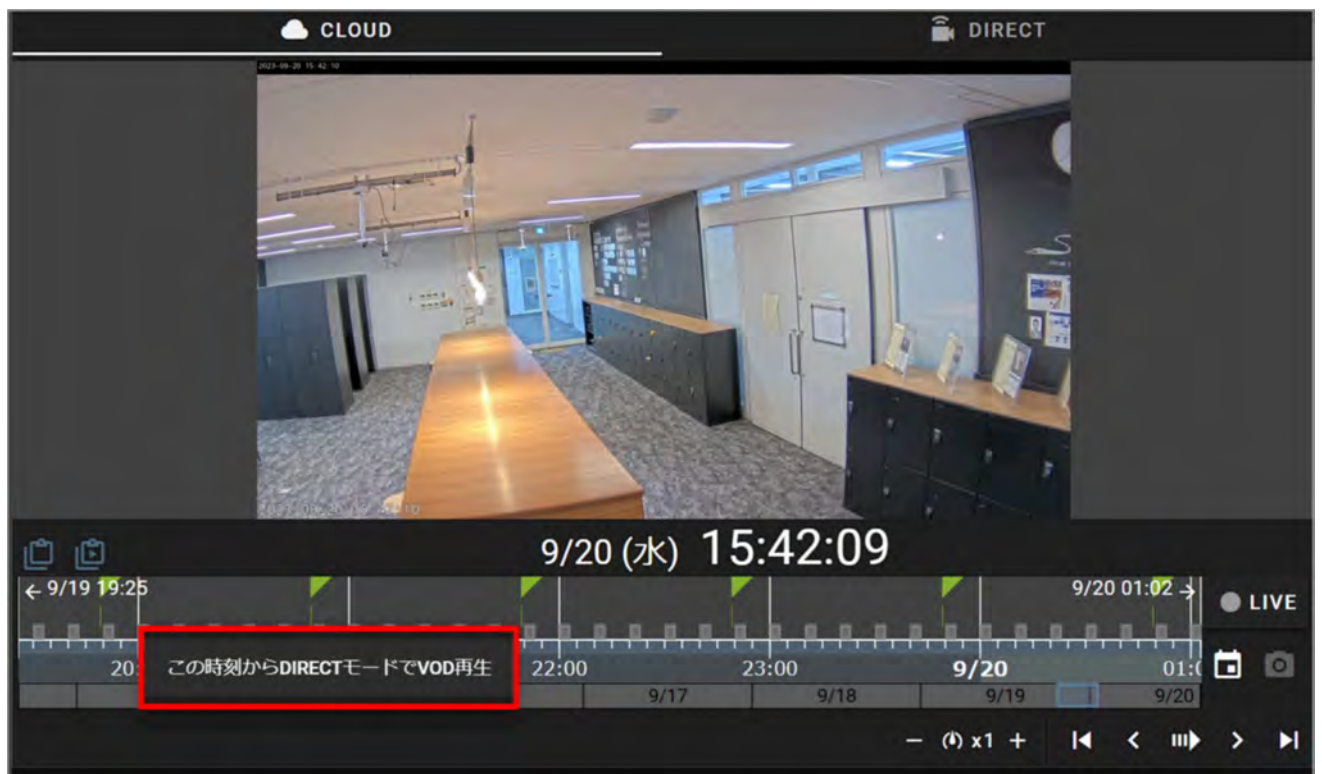
3 DIRECT モードへ移行し、VOD を再生することができました。



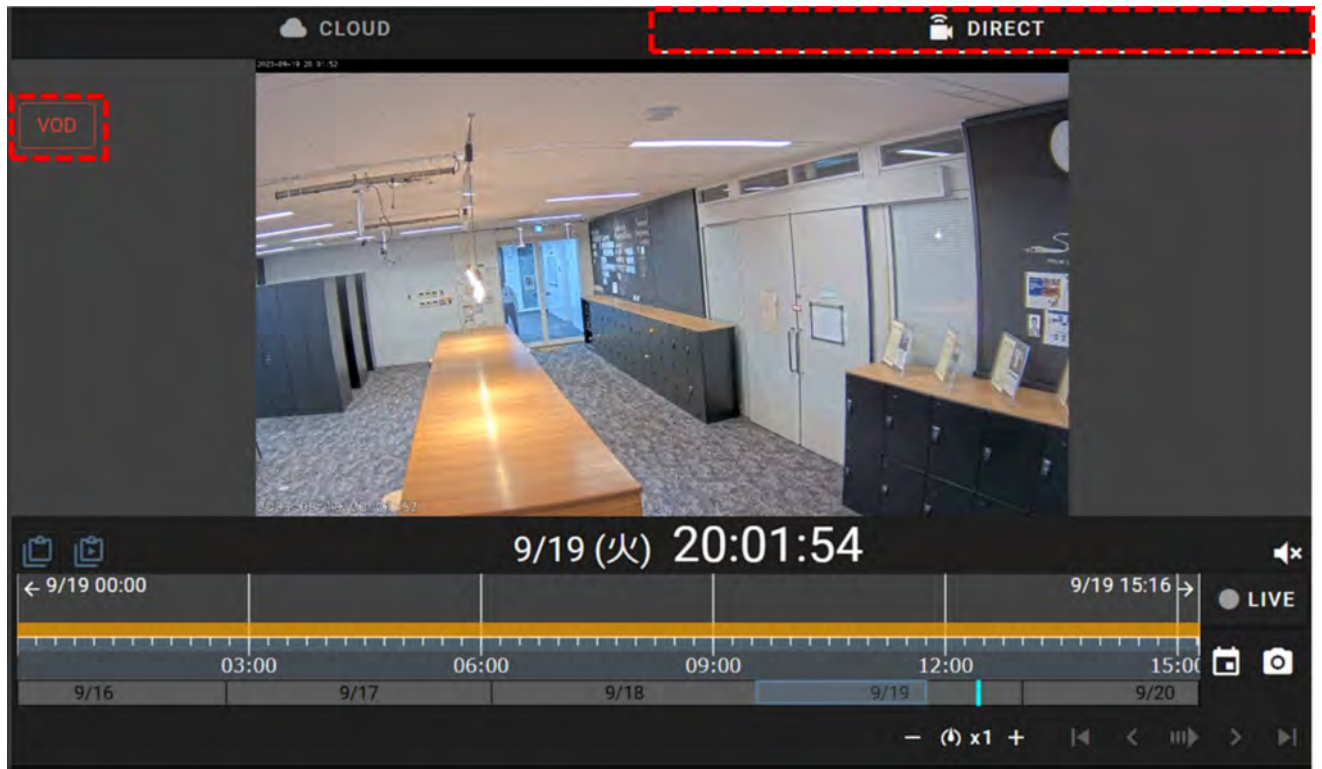
1 VOD を再生したいカメラを選択し、タイムライン上で VOD を再生したい日時にカーソルを合わせて右クリックします。



2 【この時刻から DIRECT モードで VOD 再生】をクリックします。



3 DIRECT モードへ移行し、VOD を再生することができました。



イベント発生時の映像を操作する

2024年7月12日

クラウドモードからイベント発生時の映像を再生することができます。

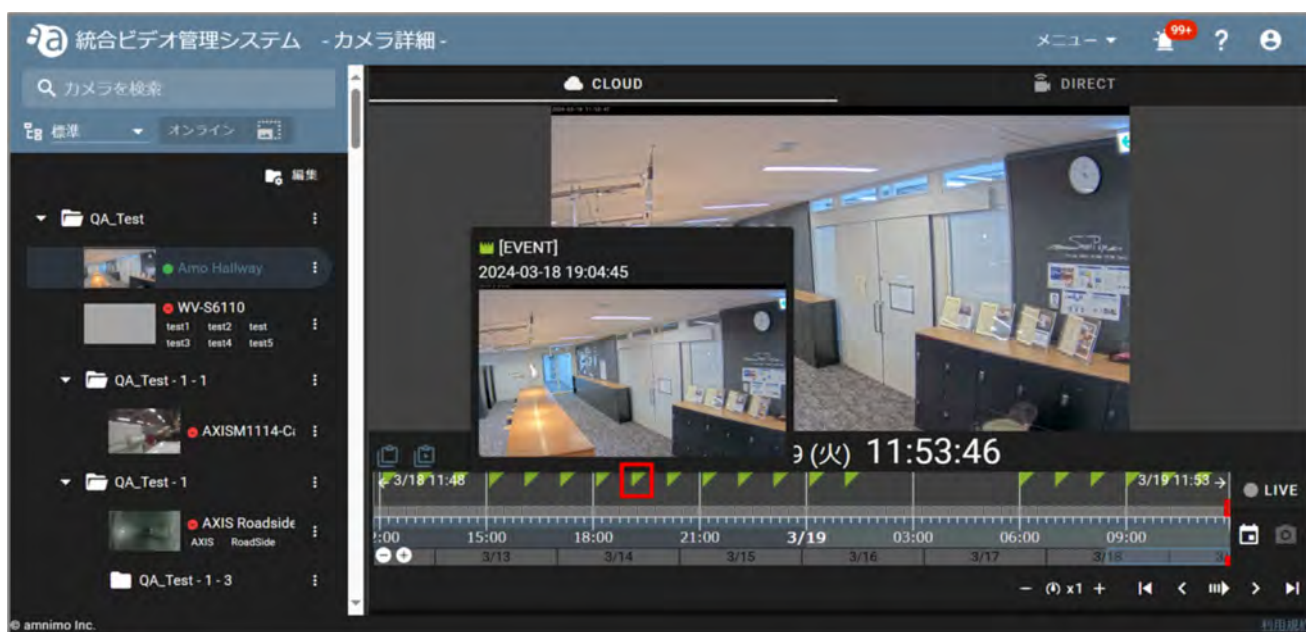
ここでは、クラウドモード上でのイベント発生時の映像に関する操作について説明します。

! WARNING

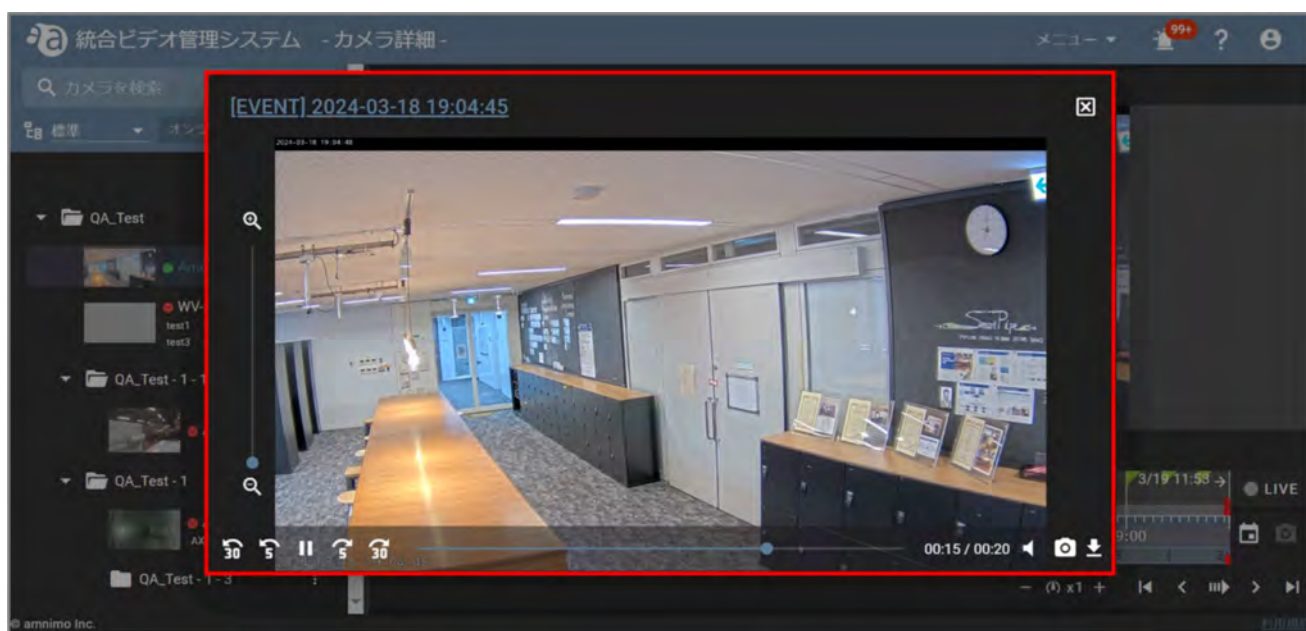
アムニモポータブルは Nx Witness が搭載されていないため、イベントに関する機能は利用できません。

イベント発生時の映像を再生する

- 1 イベント発生時の映像を再生したいカメラを選択し、タイムラインからイベントを選択します。

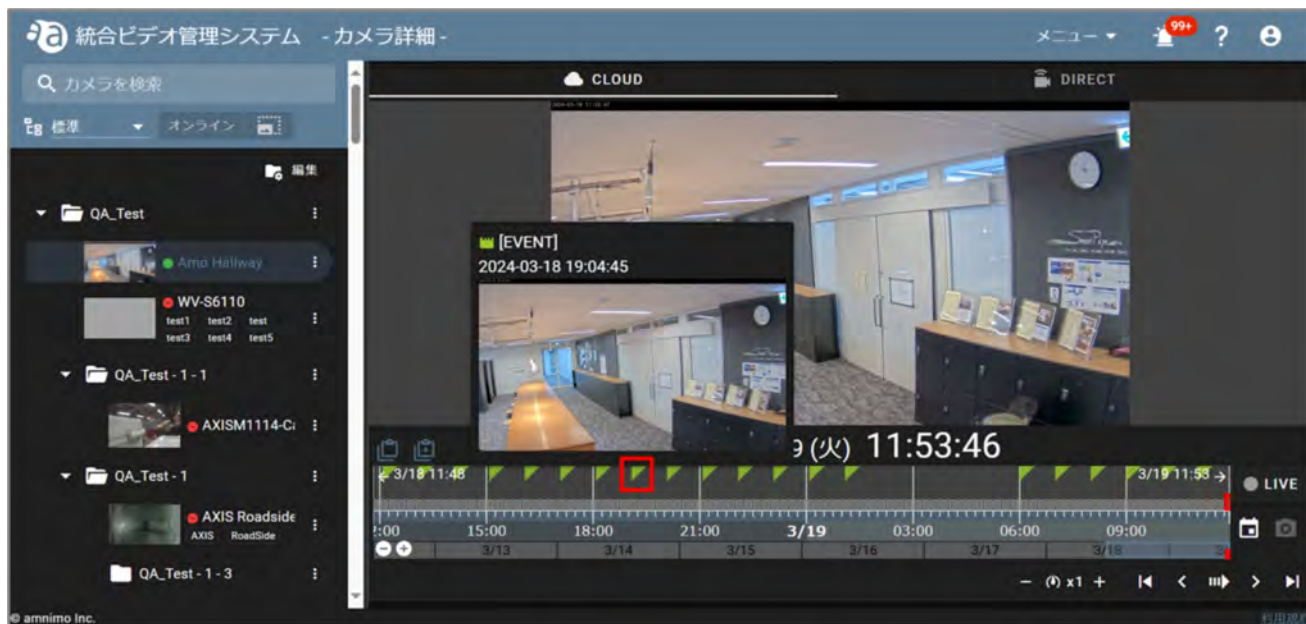


- 2 イベント発生時の映像が再生されます。

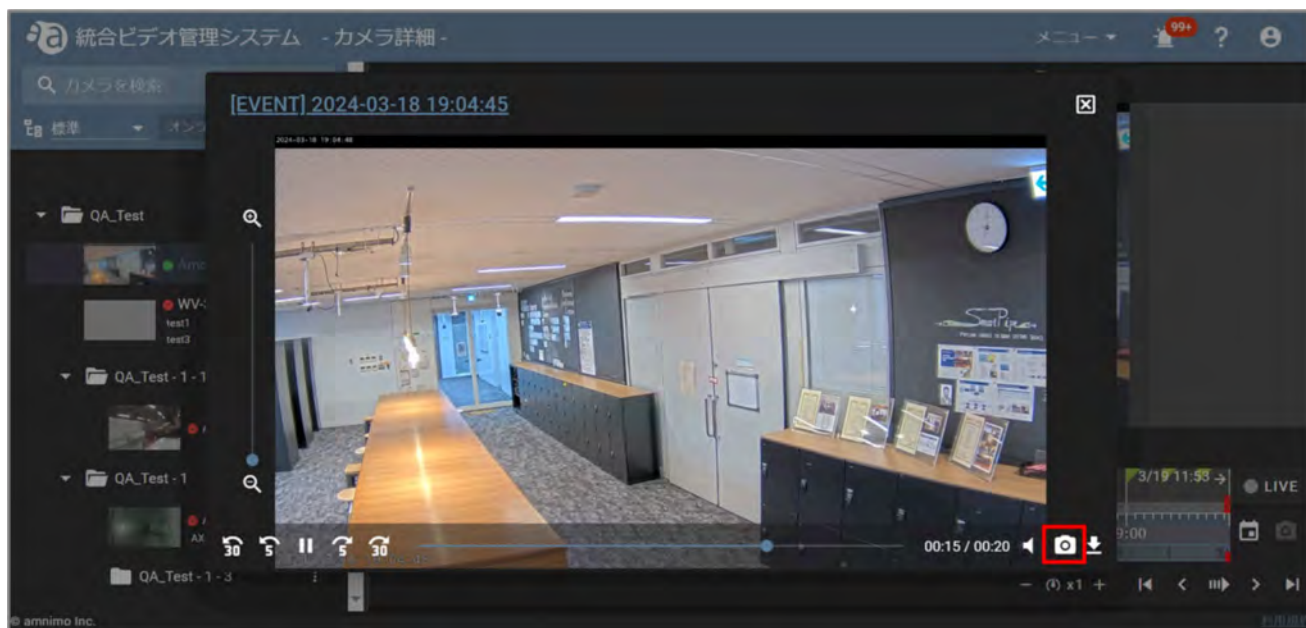


イベント発生時の映像からスナップショットを取得する

イベント発生時の映像からスナップショットを取得したいカメラを選択し、タイムラインからイベントを選択します。



イベント発生時の映像が再生されたら、カメラアイコンをクリックします。

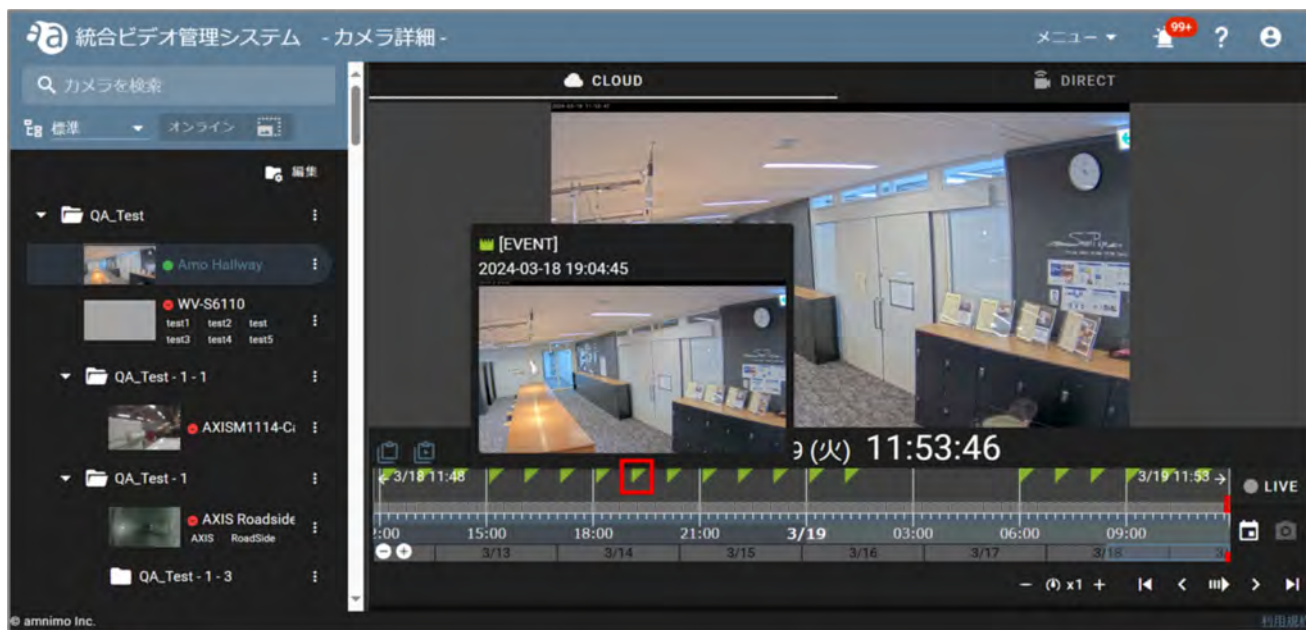


取得したスナップショットは、[クラウド保存動画 / 画像 ページ](#) で確認することができます。
 なお、クラウド保存動画 / 画像 ページは、メニューからアクセス可能です。



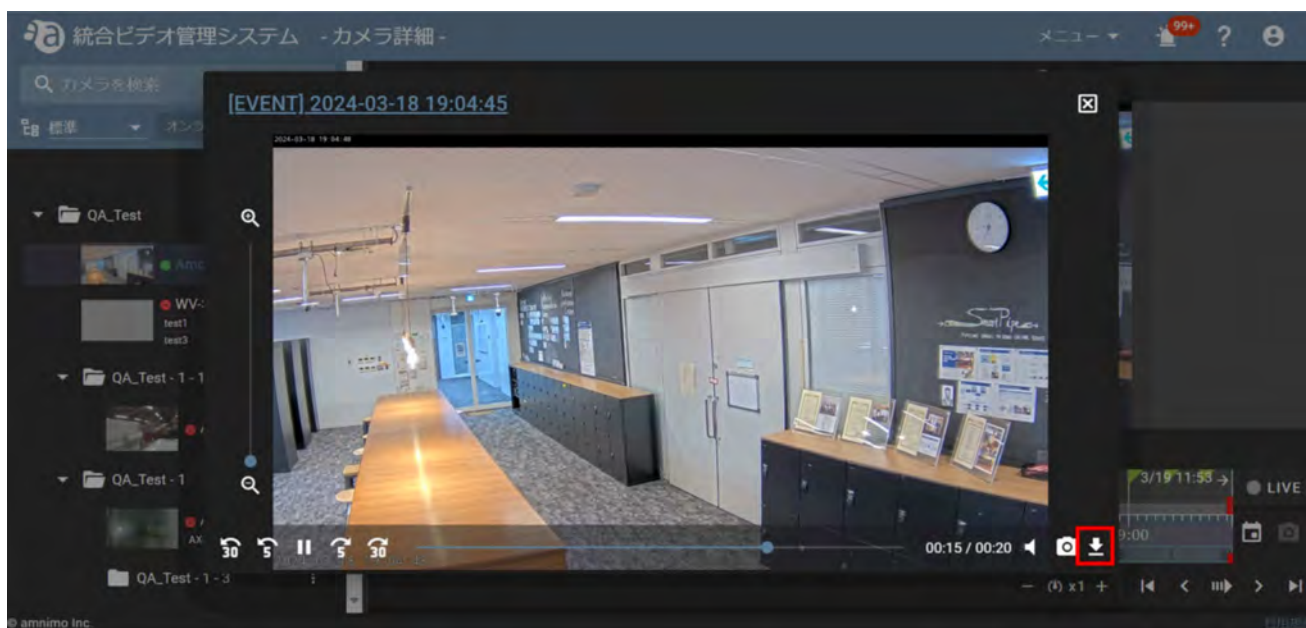
イベント発生時の映像をダウンロードする

1 イベント発生時の映像をダウンロードしたいカメラを選択し、タイムラインからイベントを選択します。



2

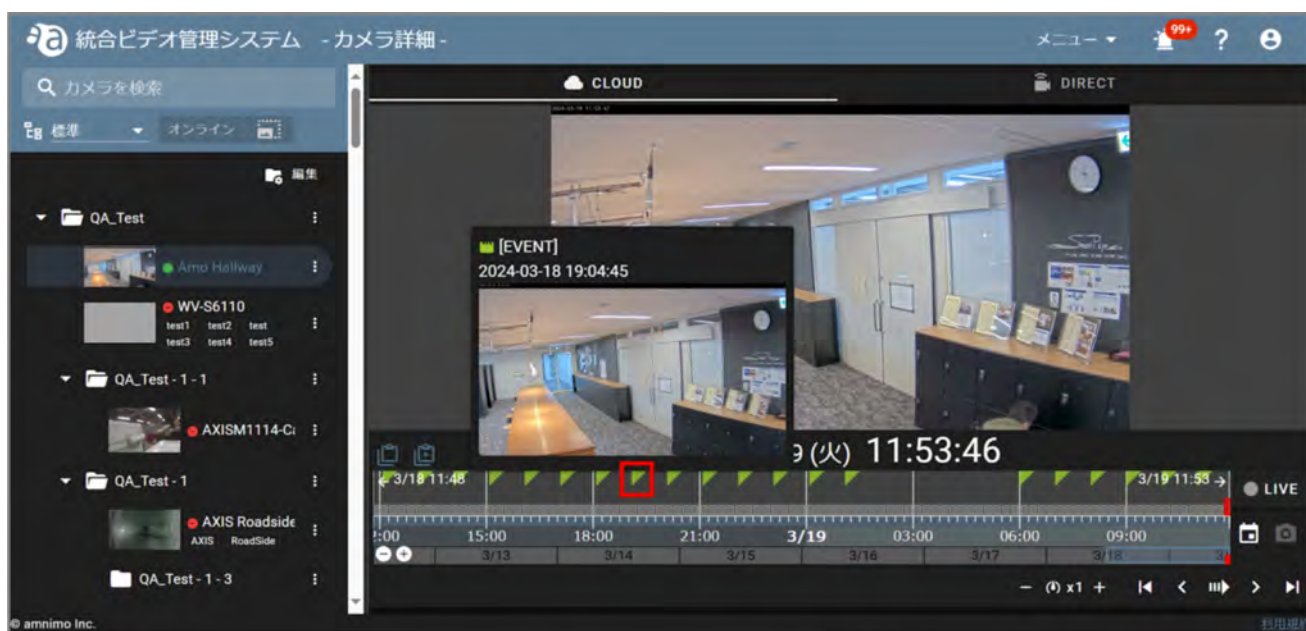
イベント発生時の映像が再生されたら、ダウンロードアイコンをクリックするとローカル PC に保存されます。



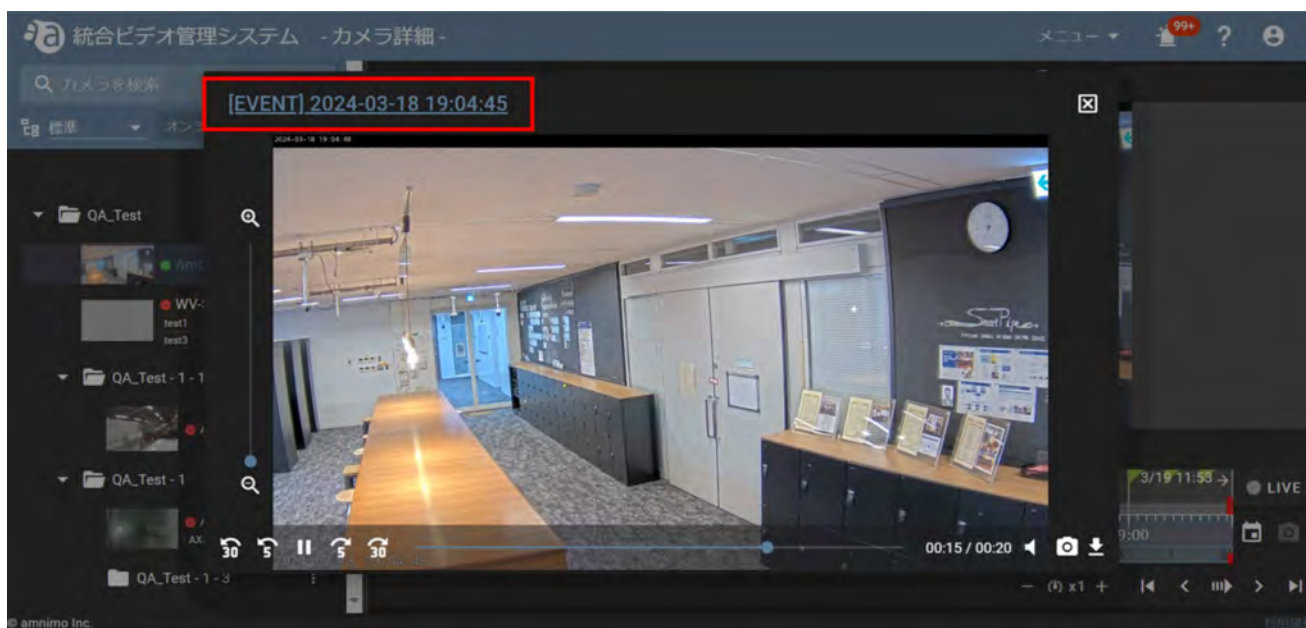
イベント一覧画面へ移行する

1

イベント発生時の情報を確認したいカメラを選択し、タイムラインからイベントを選択します。



- 2 イベント発生時の映像が再生されたら、再生画面左上のイベント発生日時をクリックします。



- 3 イベント一覧画面に移行し、再生していたイベントの情報が表示されます。

統合ビデオ管理システム - イベント一覧 -

メニュー 99+ ?

検出 5836 処理中 7 完了 26

イベントステータス 検出 処理中 詳細検索

	発生時刻	優先度	タイプ	テナント	カメラ名
☐	 2024-03-18 19:04:45		モーション検知	SubTenant2-QA team	Amo Hallway

1ページあたりの行数: 20 1-1 件目 / 1件

© amnimo inc. 利用規約

アムニモポータブルの録画映像を再生する

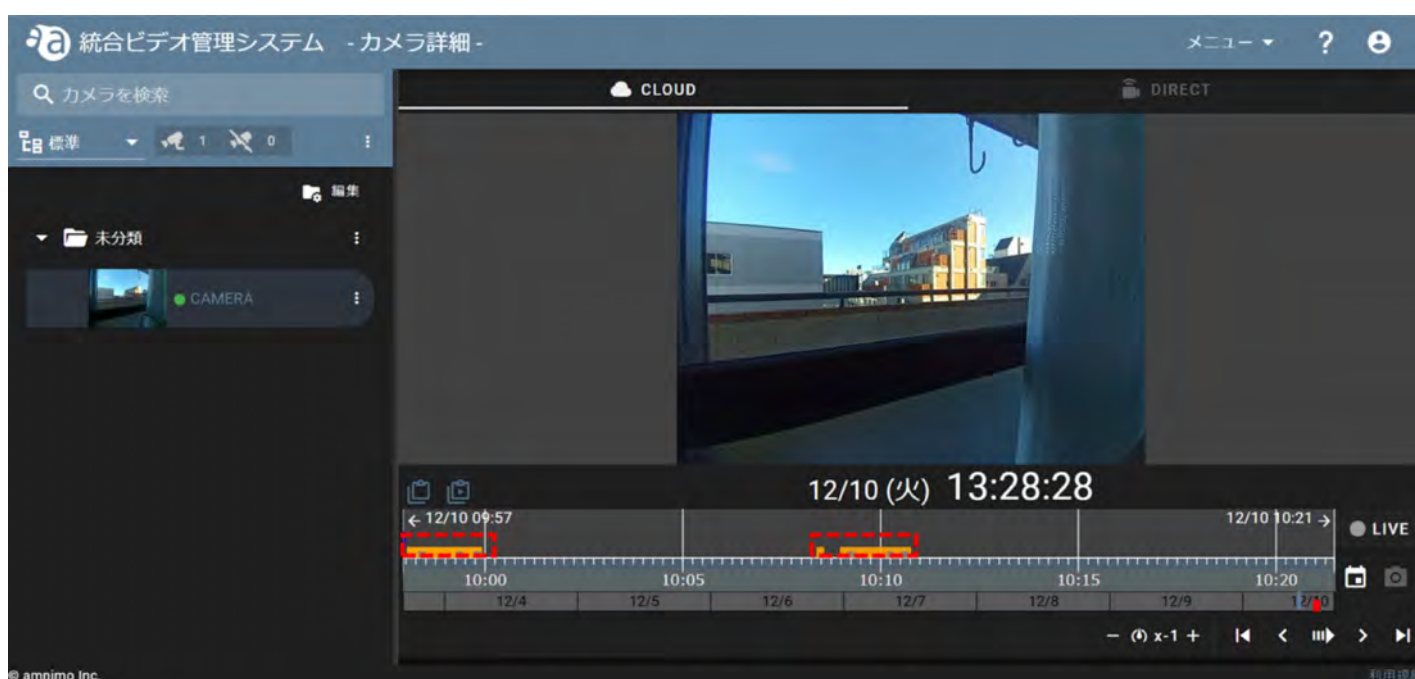
2025年1月10日

! WARNING

アムニモポータブルは、ご契約のあるお客様のみ利用が可能です。

アムニモポータブルの録画映像は、カメラ詳細画面のタイムラインバーにて、対象時間帯が黄色のバーとして表示されます。

タイムラインバー上で再生日時を指定することで、クラウドモードでVideo On Demand（以下、VOD）を再生します。



サムネイルを選択し再生する

1 VOD を再生したいカメラを選択し、録画履歴が存在する時間帯のサムネイルをクリックします。



カメラ画面上でカーソルを動かすと、「この時刻から再生」というメッセージと共に VoD 再生用のボタンが表示されるのでクリックします。



VOD を再生することができました。



VODは以下をクリックすることで操作ができます。

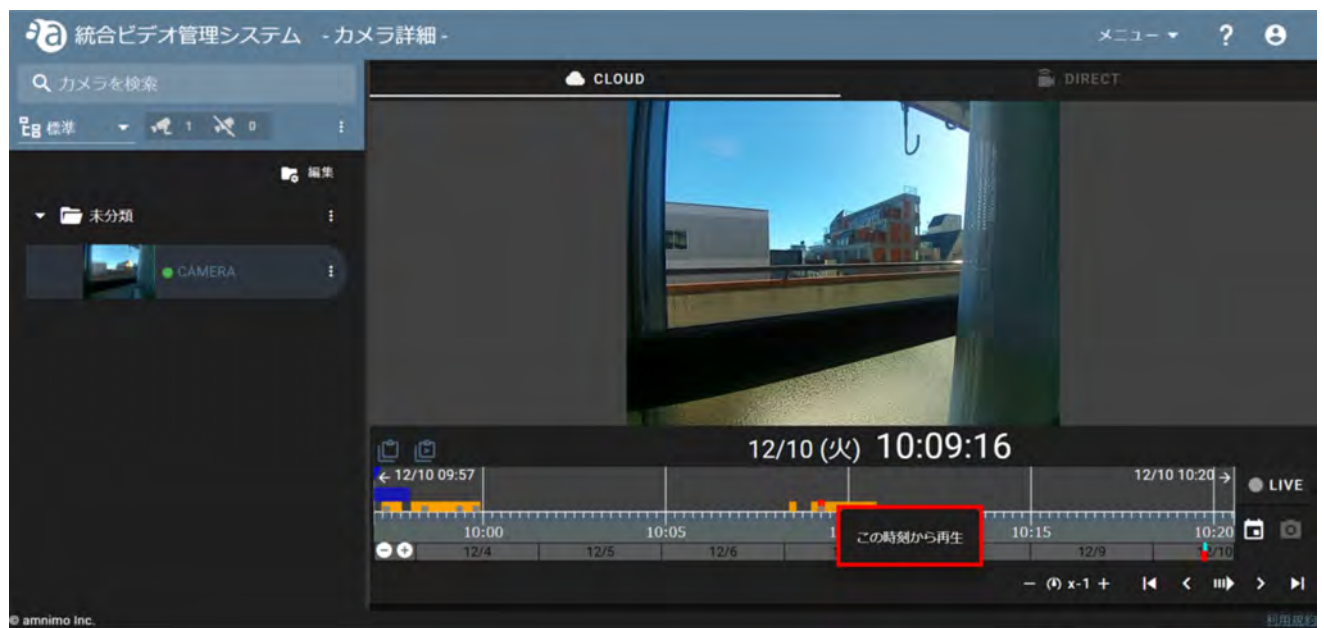
	VODを一時停止する
	VOD再生を停止し、サムネイル表示に戻る
	15秒戻る
	15秒進む

タイムラインを右クリックし再生する

VOD を再生したいカメラを選択し、タイムライン上でVODを再生したい日時にカーソルを合わせて右クリックします。



2 「この時刻から再生」をクリックします。



3 VOD を再生することができました。



VODは以下をクリックすることで操作ができます。

	VODを一時停止する
	VOD再生を停止し、サムネイル表示に戻る
	15秒戻る
	15秒進む

その他の機能

2024年7月12日

画面の切り替えと初期映像の保存（魚眼補正を有効にした場合）

魚眼補正を有効にしている場合、LIVE 映像画面で以下の機能が利用できます。

補正画面とオリジナル画面の切り替え

魚眼補正アイコンをクリックすると、魚眼補正されたレイアウトと、オリジナル（魚眼）の映像が切り替わります。



現在の表示を初期表示として保存

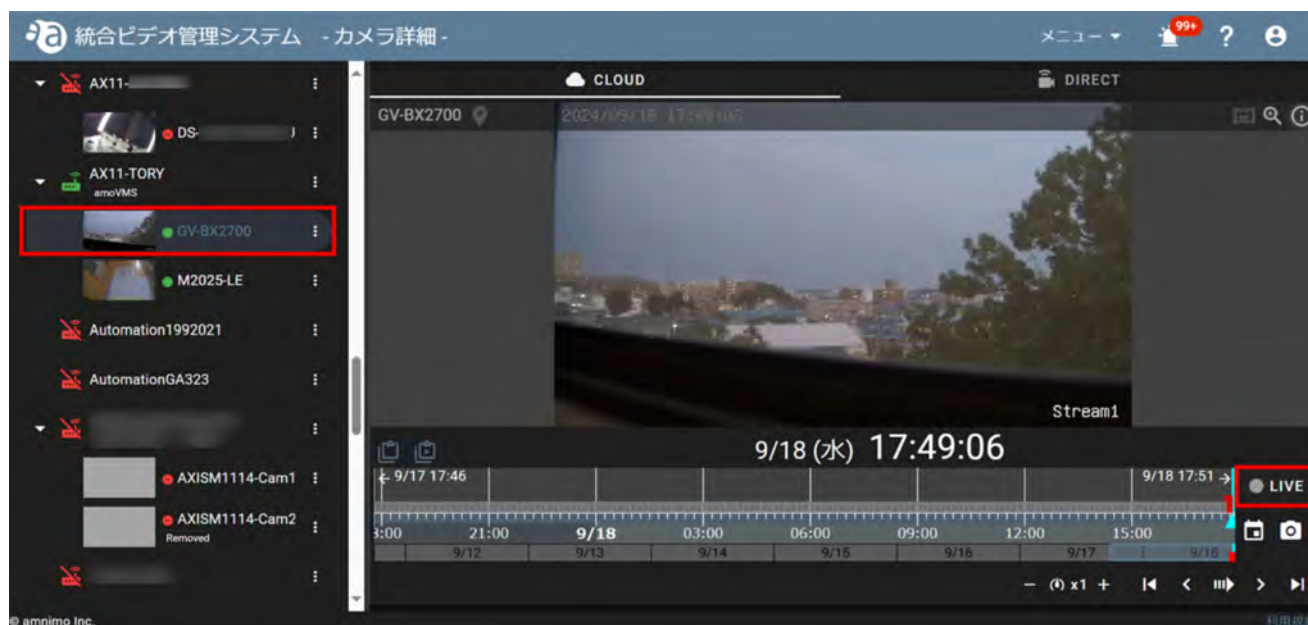
画面右下の保存アイコンをクリックすると、現在表示されている画面を初期表示として保存します。



ストリーム情報を確認する

クラウドモードでライブ再生中、カメラ詳細画面にてストリーム情報を確認することが出来ます。

- 1 ストリーム情報を確認したいカメラを選択し、【LIVE】をクリックします。



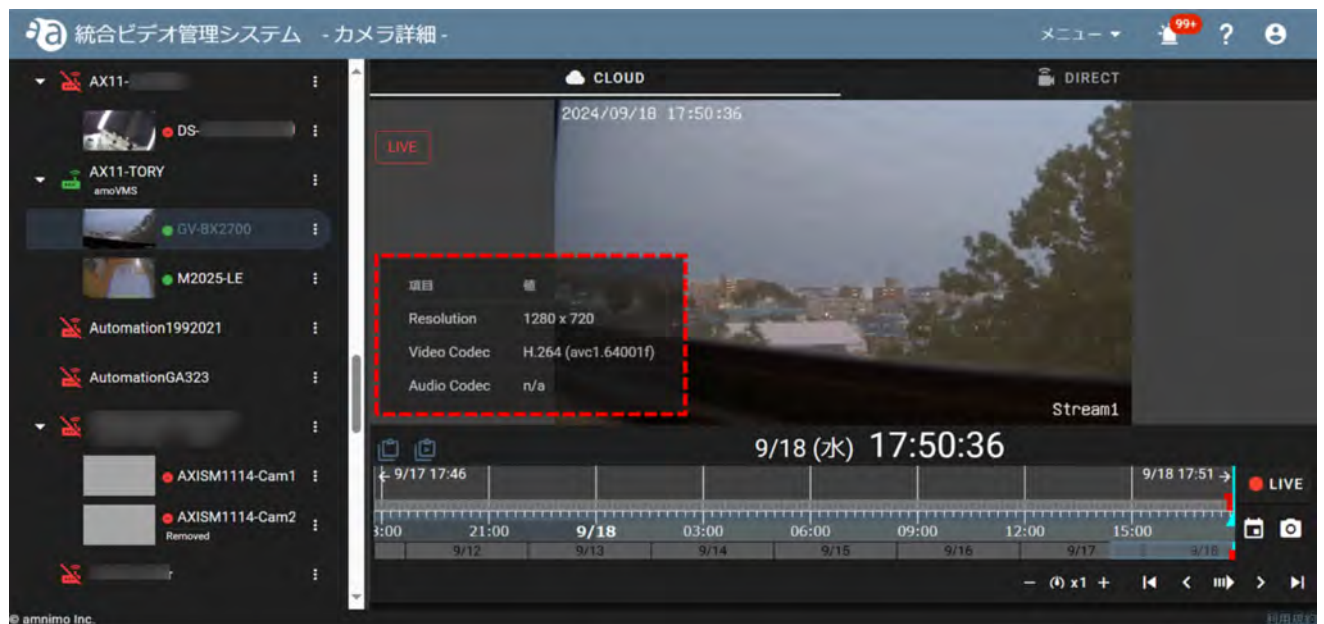
画面右上の【ストリーム情報】をクリックします。



ストリーム情報が表示されます

ストリーム情報の項目

- Resolution
- Video Codec
- Audio Codec



映像を再生する

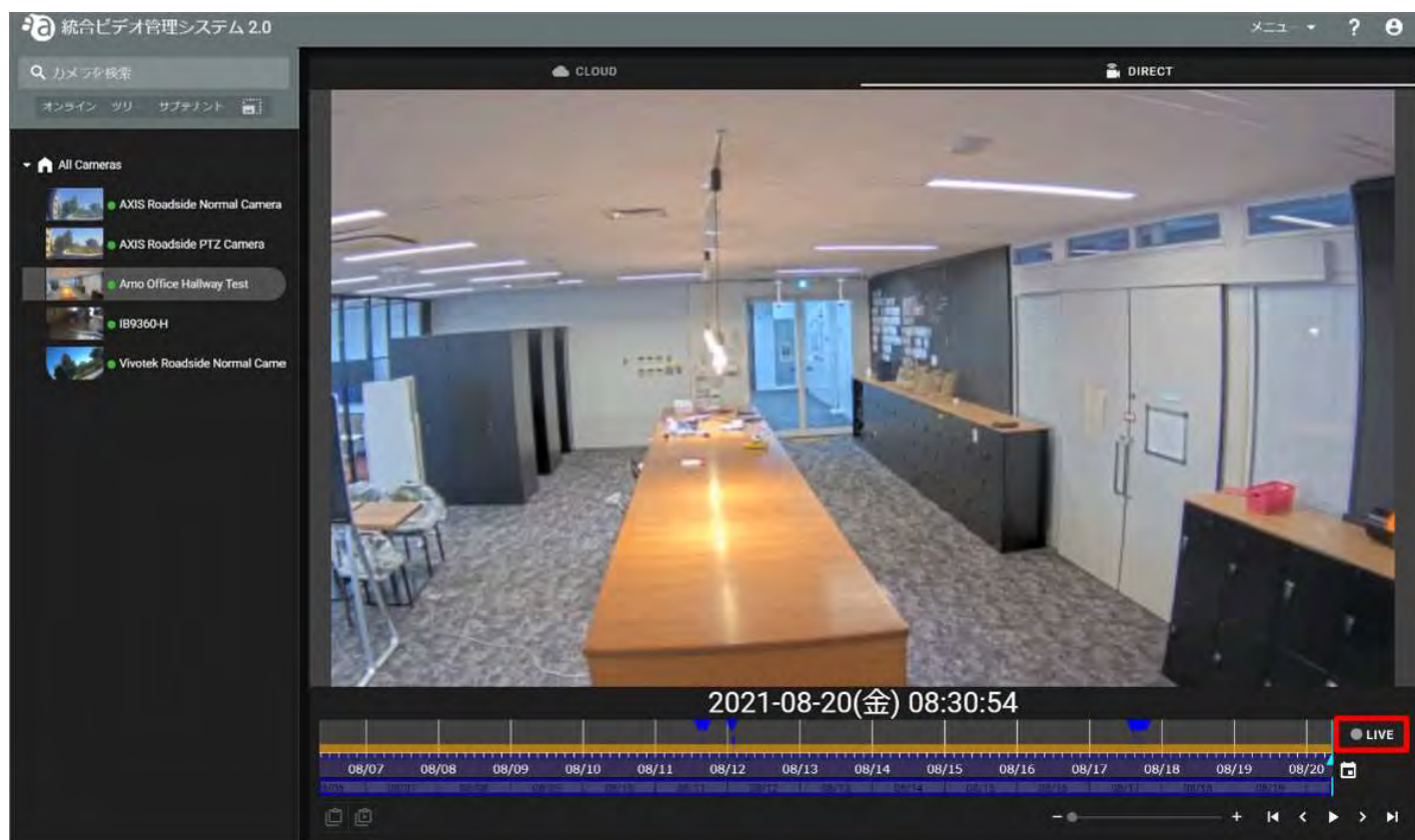
2024年7月12日

! WARNING

アムニモポータブルについて、DIRECT モードが無効である（DIRECT タブがグレースアウトされクリックができない）ため、本ページに載っている機能は利用できません。

LIVE 映像を再生する

LIVE 映像を再生したいカメラを選択し、[LIVE] をクリックすると、現在の映像が再生されます。



過去の映像を再生する

過去映像を再生するカメラを選択し、映像を再生したい日時を選択すると再生が始まります。

カレンダーから日時を選択する場合

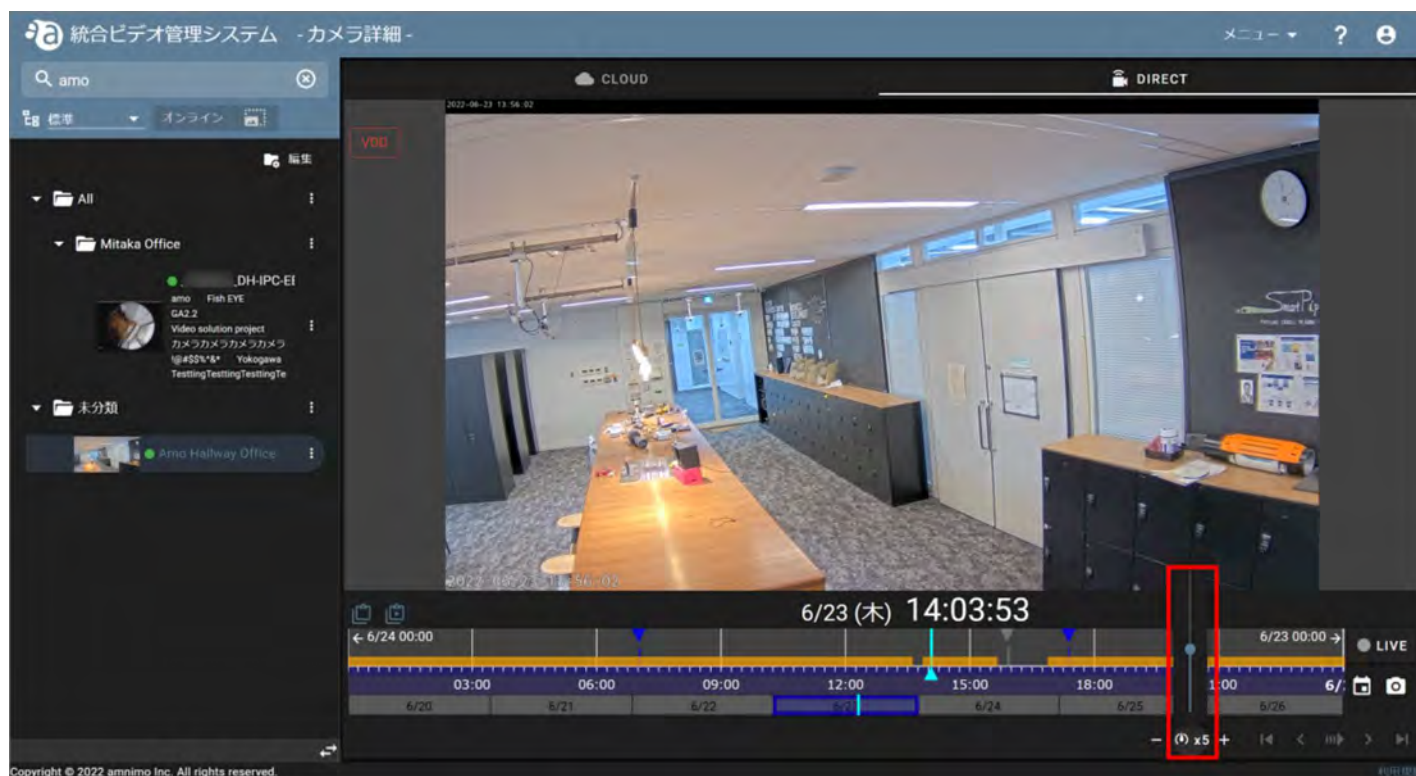


タイムラインバー上で日時を選択する場合



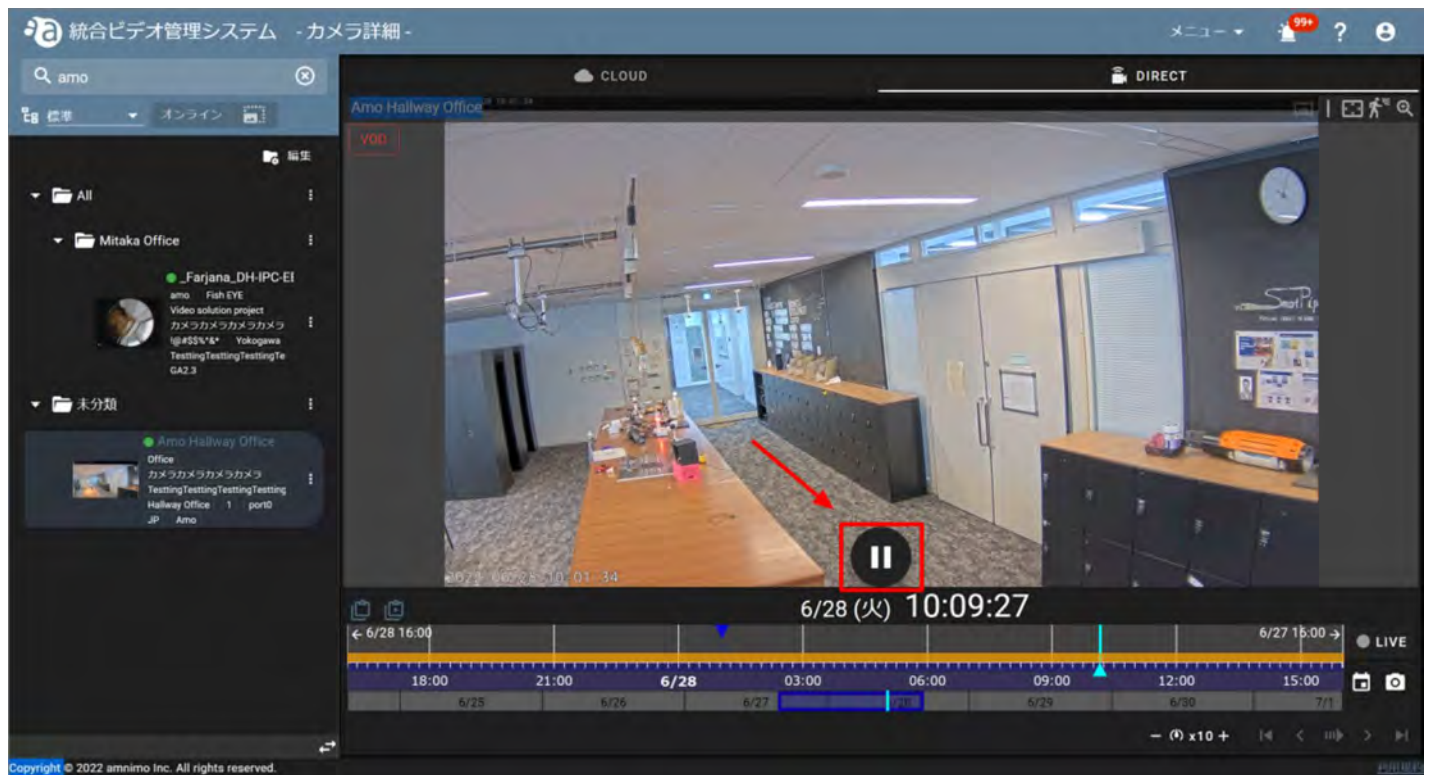
倍速再生

DIRECT モードから過去の映像を再生する際、画面のバー（下図）または、+ や - のボタンで倍速を選択できます。10倍速までの再生が可能です。



映像を停止する

映像を停止するには、画面にマウスを移動して一時停止アイコンをクリックします。



PTZ 操作をする

2024年7月12日

PTZ 操作とは、遠隔でカメラの向きを変えたり、ズーム操作を行うことを言います。

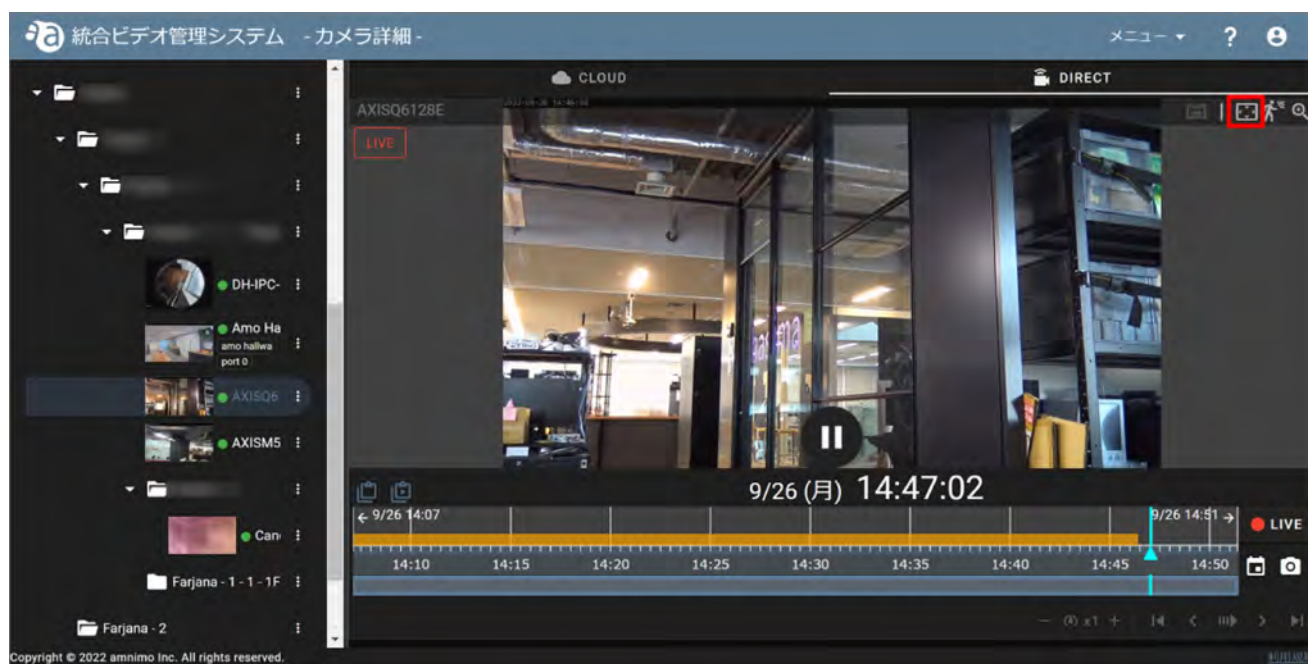
PTZ とは、パン（Panoramac：水平方向に操作）、チルト（Tilt：垂直方向に操作）、ズーム（Zoom：拡大縮小）のそれぞれの頭文字です。

! WARNING

アムニモポータブルおよび一部のカメラは PTZ の機能を持ちません。本機能は、PTZ 機能を持つカメラで動作します。

PTZ 操作を行う

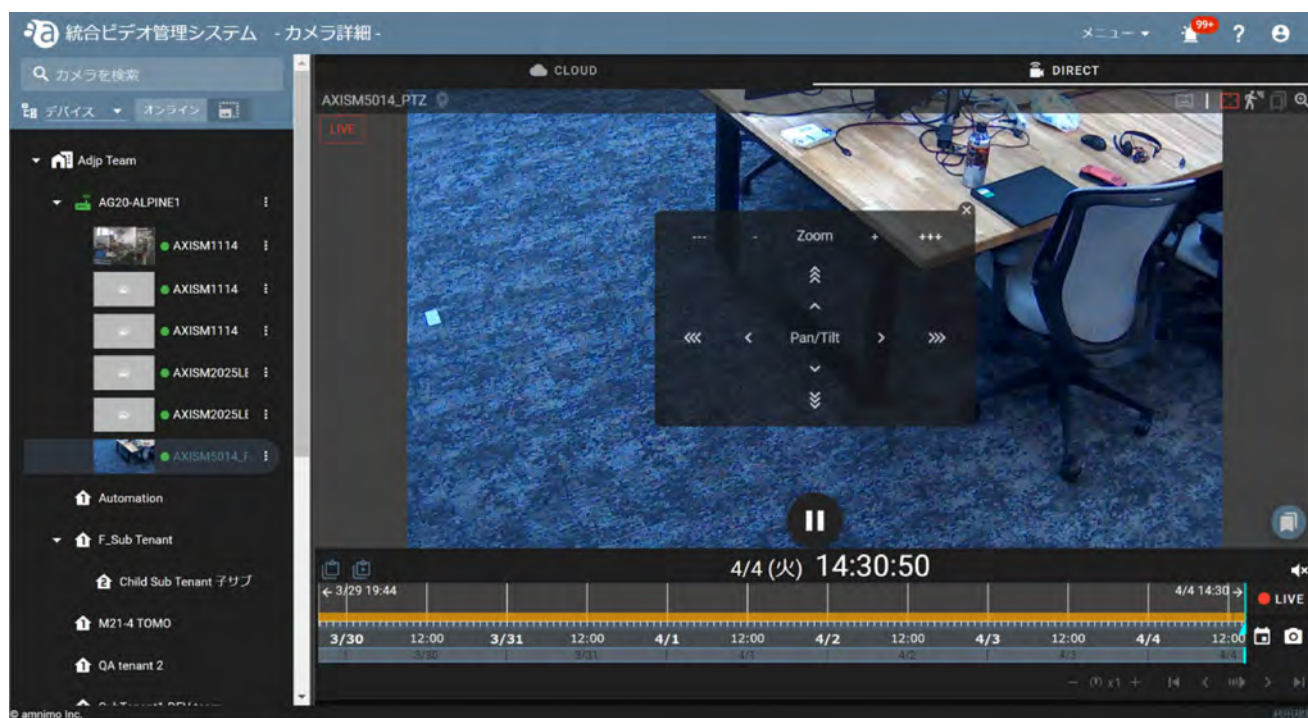
- 1 操作するカメラを選択し、画面右上の PTZ アイコンをクリックします。



- 2 各種操作をします。

カメラ自体を遠隔でPTZ操作する機能のため、録画される映像自体が変化します。

※一部のカメラでは、当機能が使えない場合があります。



Zoom

Pan / Tilt

Speed

もう一度、PTZ アイコンをクリックするか、PTZ 操作パネルの [×] をクリックすると、PTZ 操作が終了します。

PTZ 操作を禁止する

PTZの操作を禁止する設定が行えます。カメラが PTZ をサポートしていない場合、この操作は実行できません。（本操作はアプリケーション管理者のみが実行できます。）

対象のカメラの横のアイコンから、[カメラ設定] をクリックします。



- 2 「PTZ」タブにて、「PTZ操作禁止」トグルを「ON」にします。



PTZプリセットを登録する

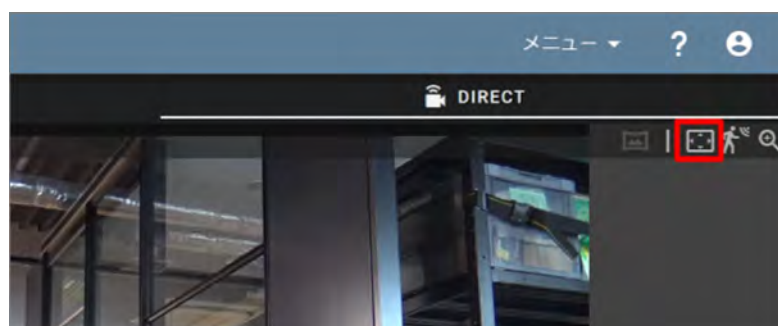
PTZ プリセットとは、対応カメラの向きやズームの状態を予め設定しておける機能です。



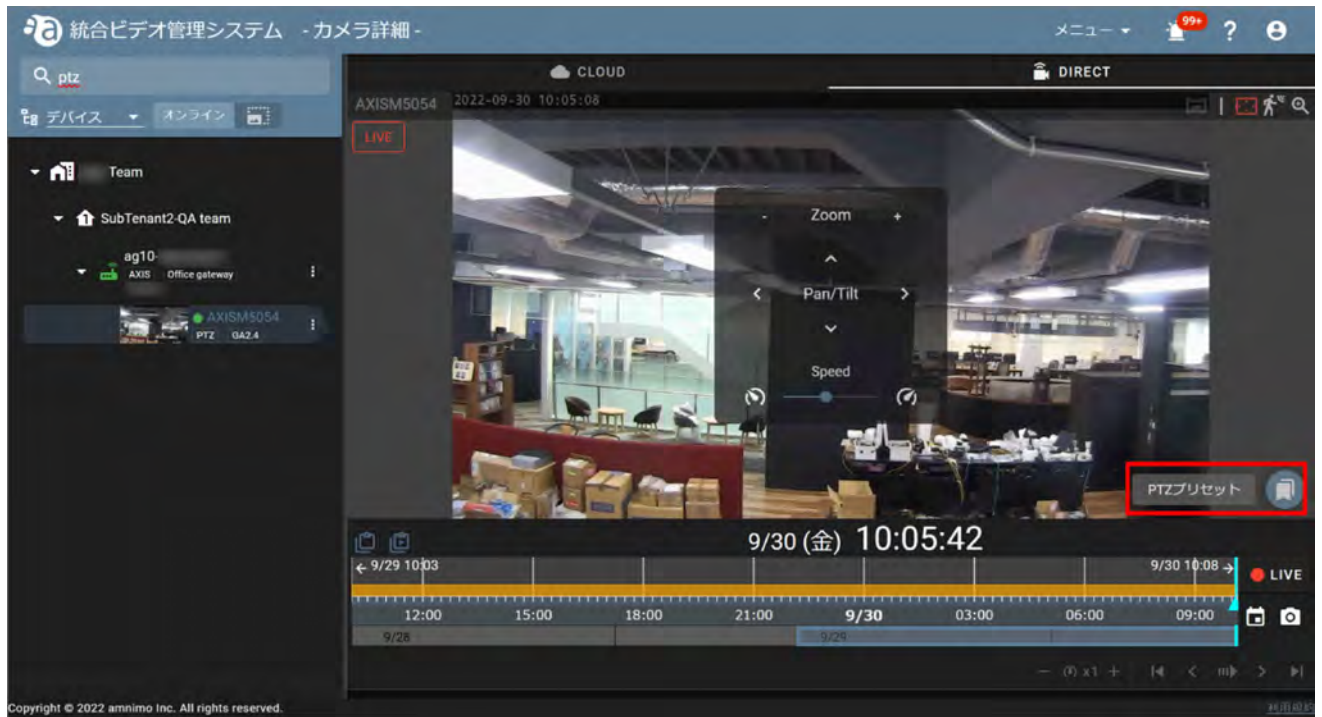
NOTE

amnimo VMS をご利用の場合、プリセット機能はご利用いただけません。

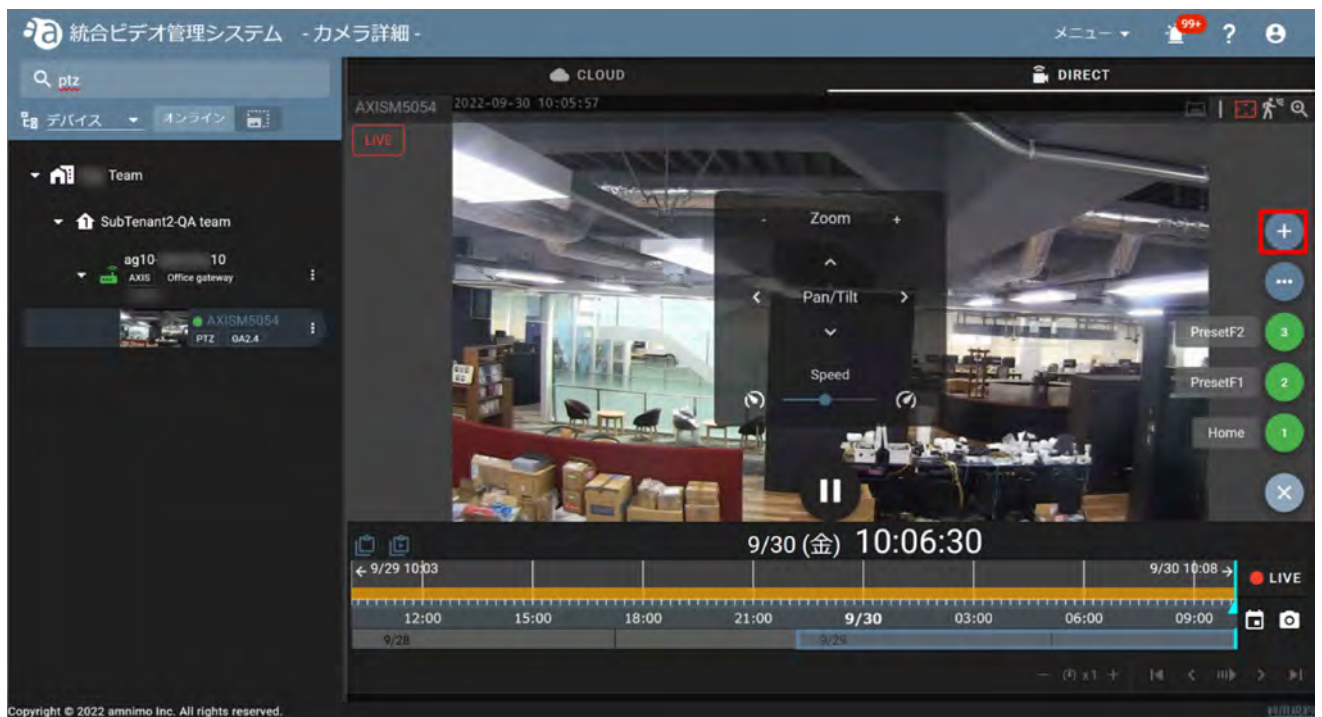
- 1 対象のカメラ画像を開きます。
- 2 PTZ アイコンをクリックし、プリセットに登録したい位置にカメラを移動したりズームを行います。



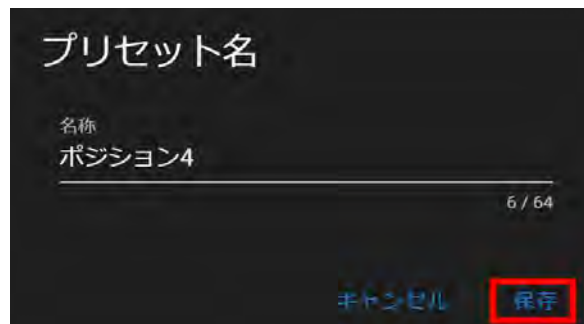
- 3 PTZ プリセットボタンをクリックします。



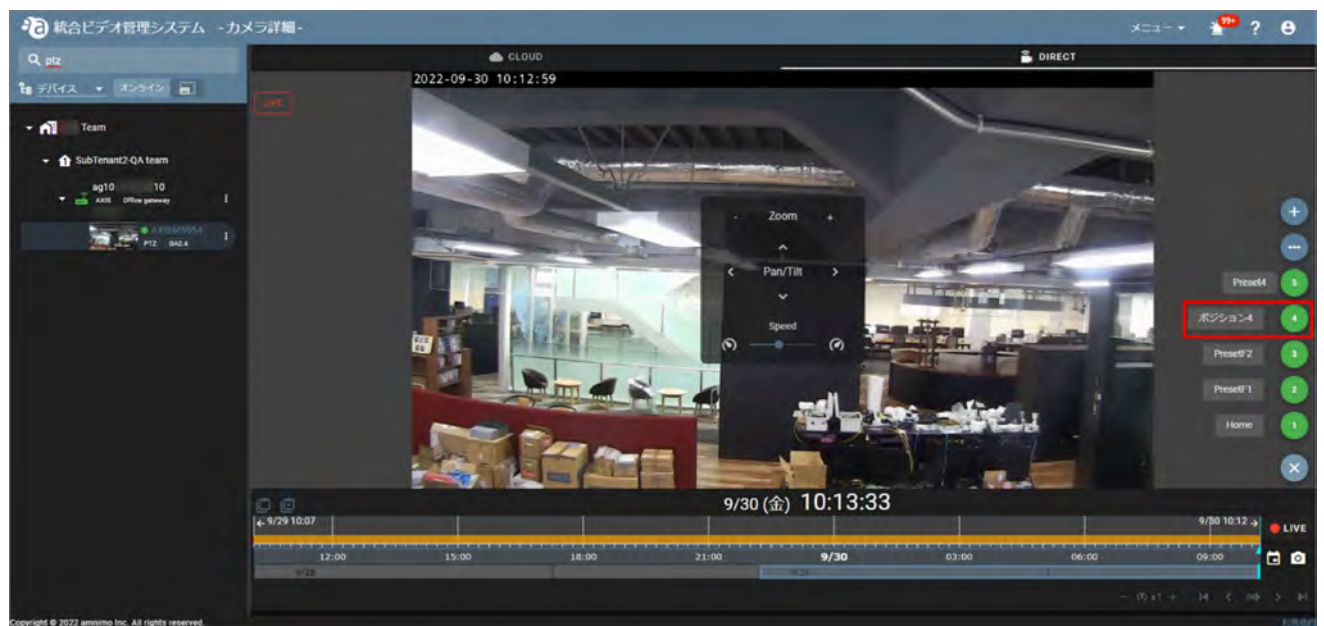
4 プリセット登録ボタンをクリックします。



5 プリセット名を入力し、「保存」をクリックします。



再度「PTZプリセット」から登録したプリセットの番号をクリックし、設定した角度と位置に移動することを確認します。



画面のプリセット番号ボタンが表示されない場合



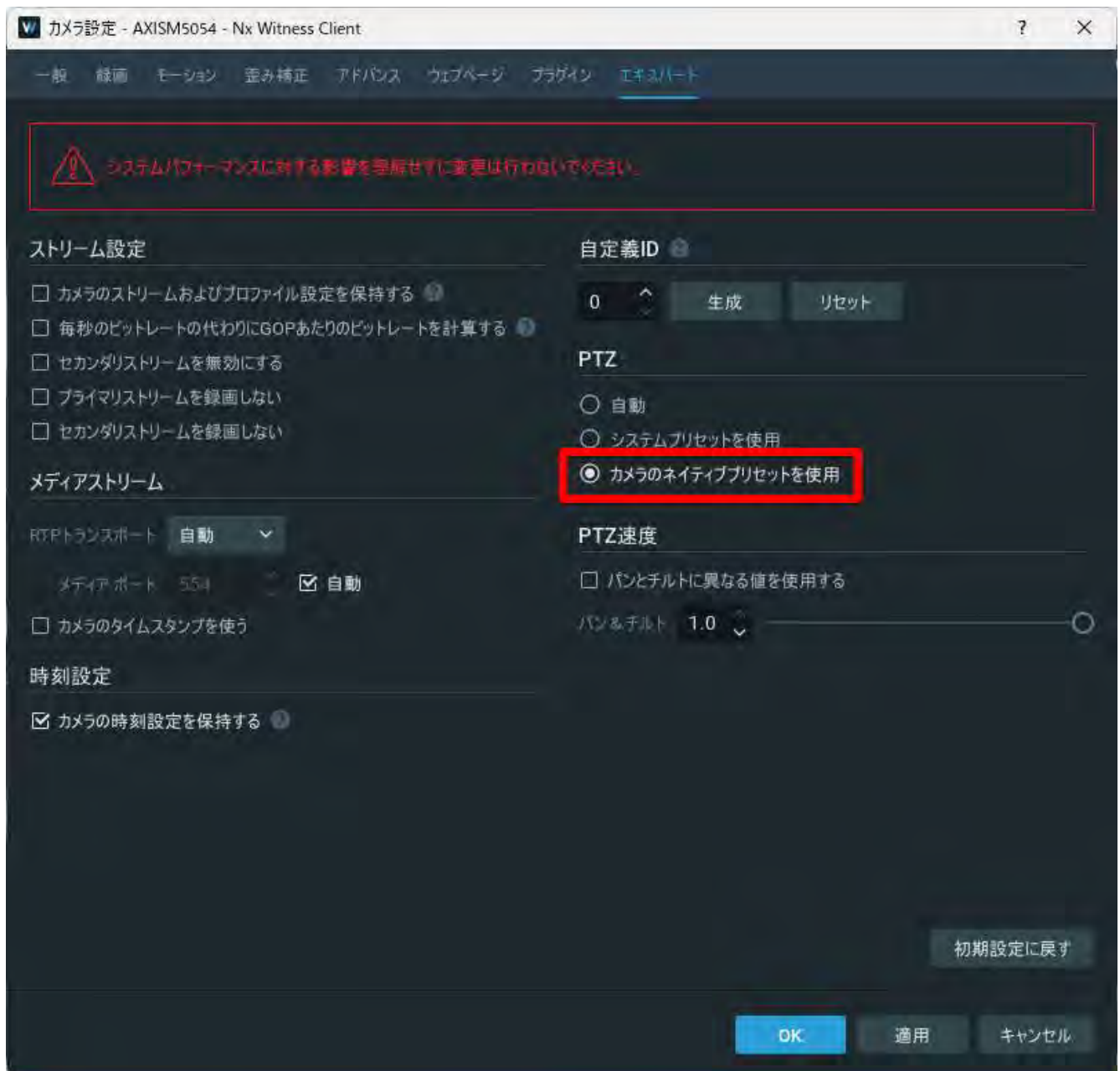
❗ PTZプリセットにおける注意事項

Nx Witness 側の設定でプリセットの保存先がカメラになっている場合や、カメラの機種によっては統合ビデオ管理システムからプリセット名を変更できないことがあります。

変更を試みると、そのプリセット名で新たなプリセットが追加されます。

この場合、一度プリセットを削除した後に改めてプリセットを追加することでプリセット名を変更できます。

Nx Witness の設定でプリセットの保存先がカメラになっている場合とは、カメラ設定のエキスパートタブにおいて下記の設定をした場合です。



PTZ ツアーの設定

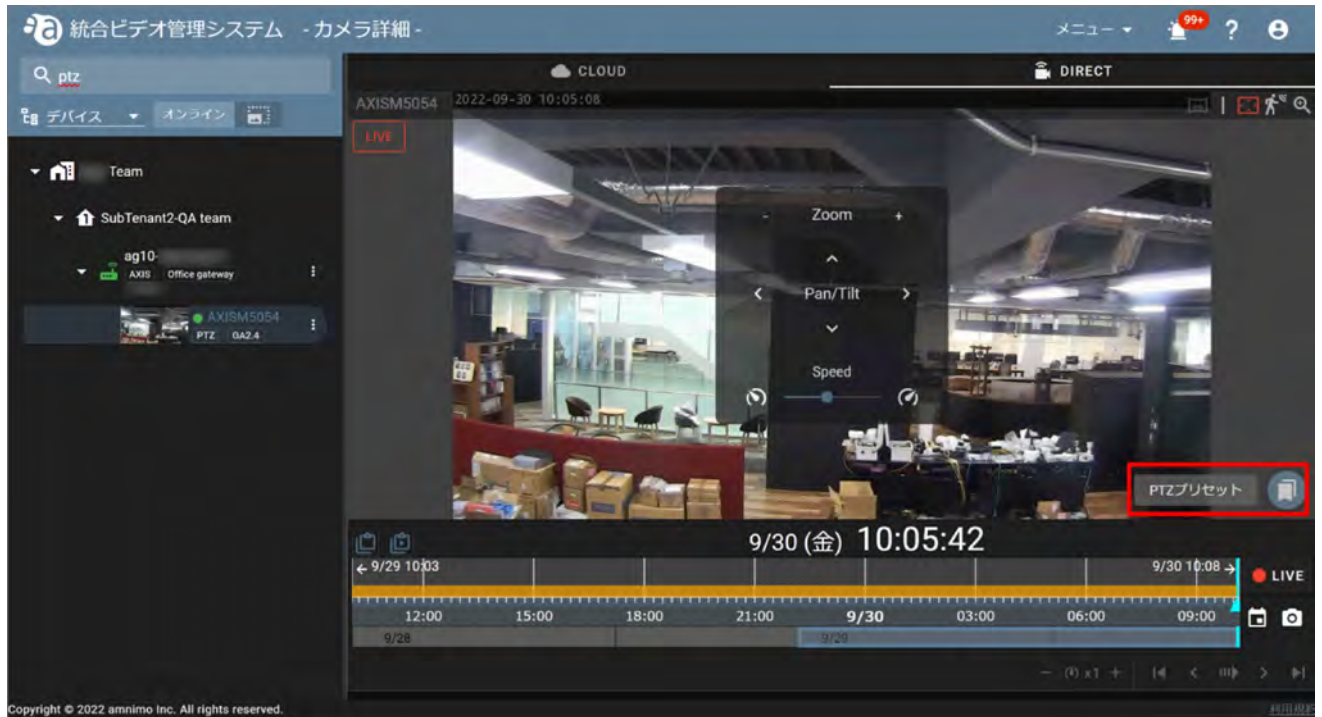
PTZ ツアーとは、対象のカメラに対して事前にプリセットしておいた位置を、順番に回る機能のことです。
Nx Witness と組み合わせることで、PTZ ツアーを統合ビデオ管理システムからも実行できます。

NOTE

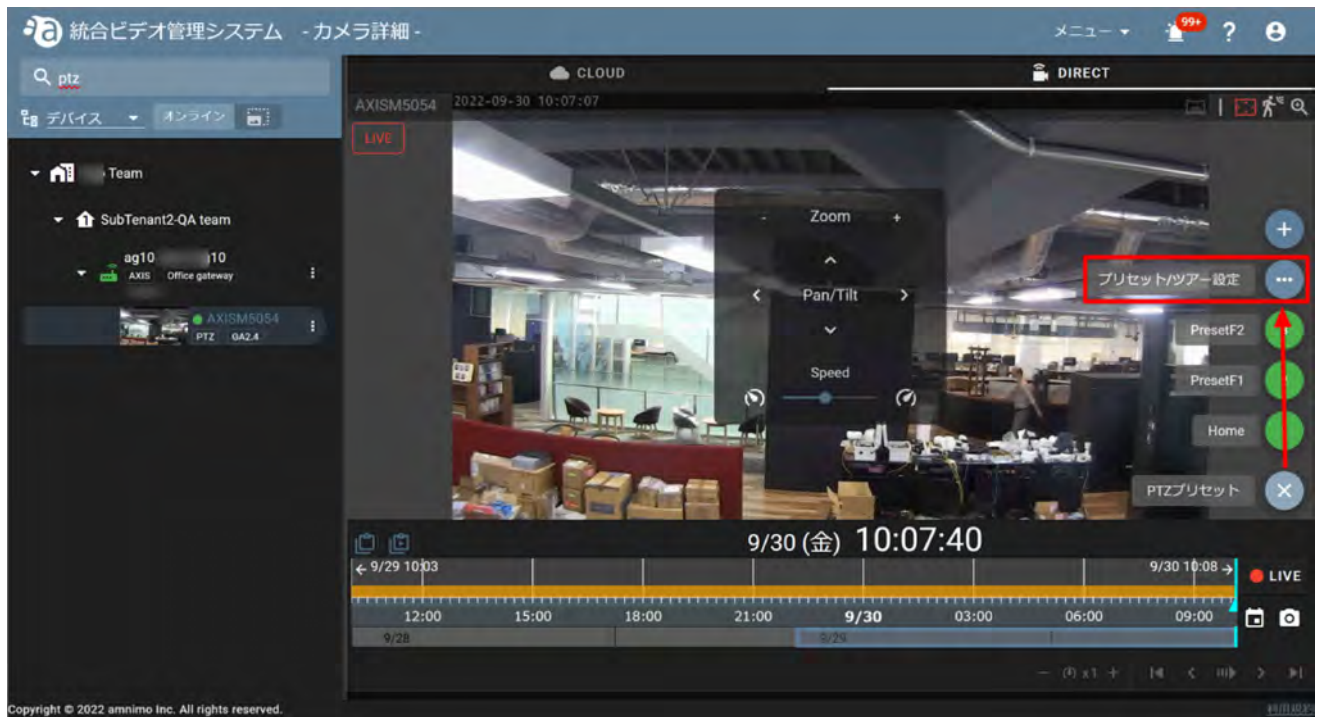
この操作をするには、事前に Nx Witness 側で PTZ ツアーを作成しておく必要があります。

『[PTZ ツアーを設定](#)』を参考に、Nx Witness で PTZ ツアーを作成します。

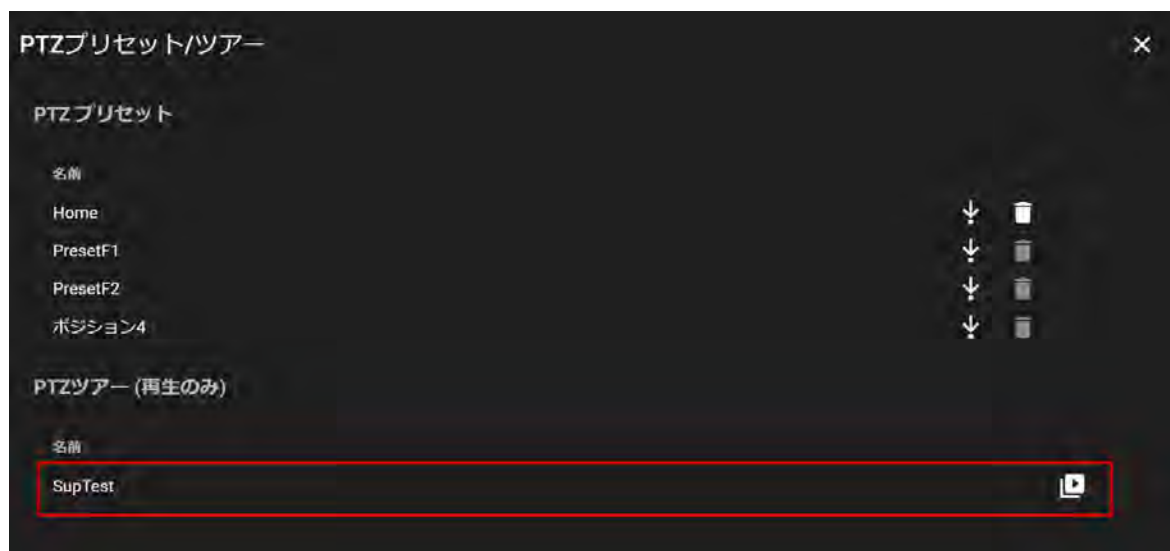
- 2 PTZ プリセットボタンをクリックします。



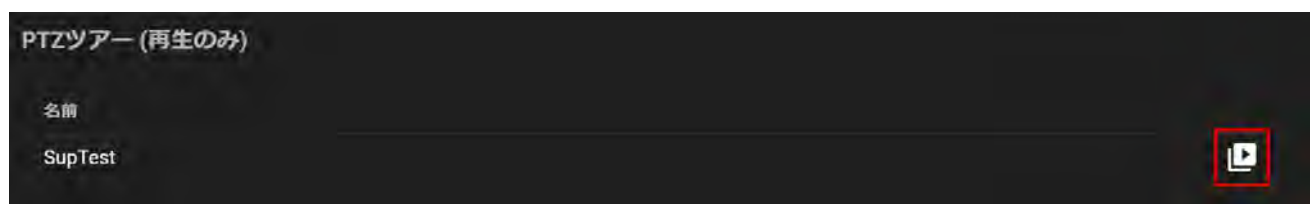
- 3 [PTZプリセット] ボタンから [プリセット/ツアー設定] をクリックして開きます。



Nx Witness で登録したツアーが表示されていることを確認します。（本手順では、Nx Witness で事前に”SupTest” というツアーを作成しています。）



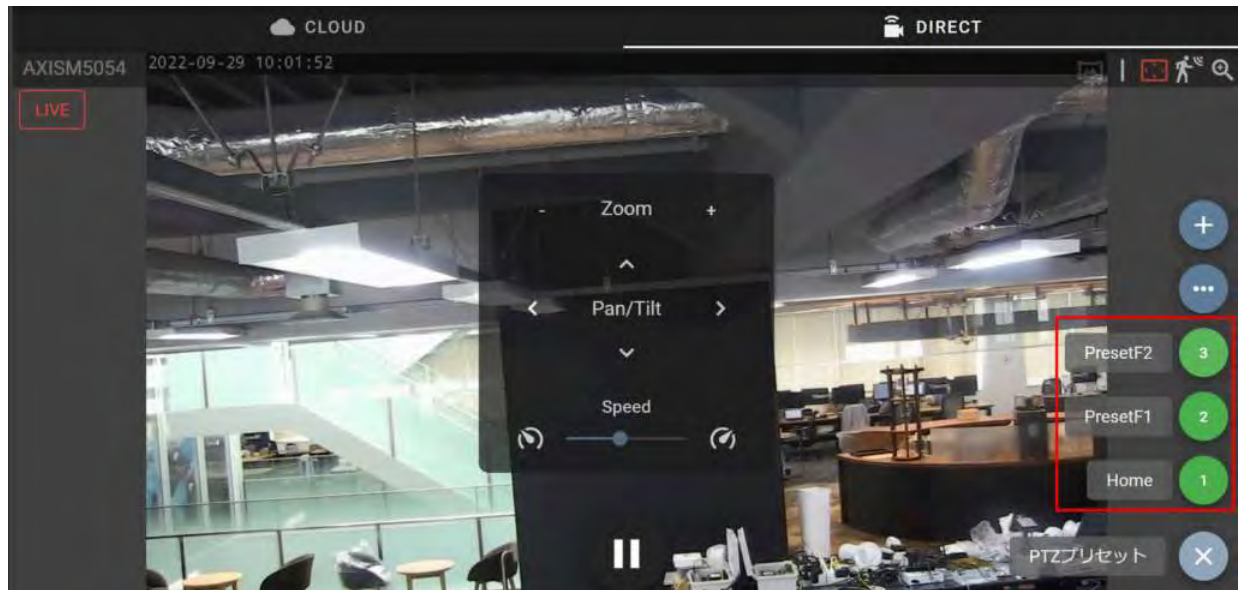
[ツアーを開始] ボタンをクリックして、ツアーを開始します。



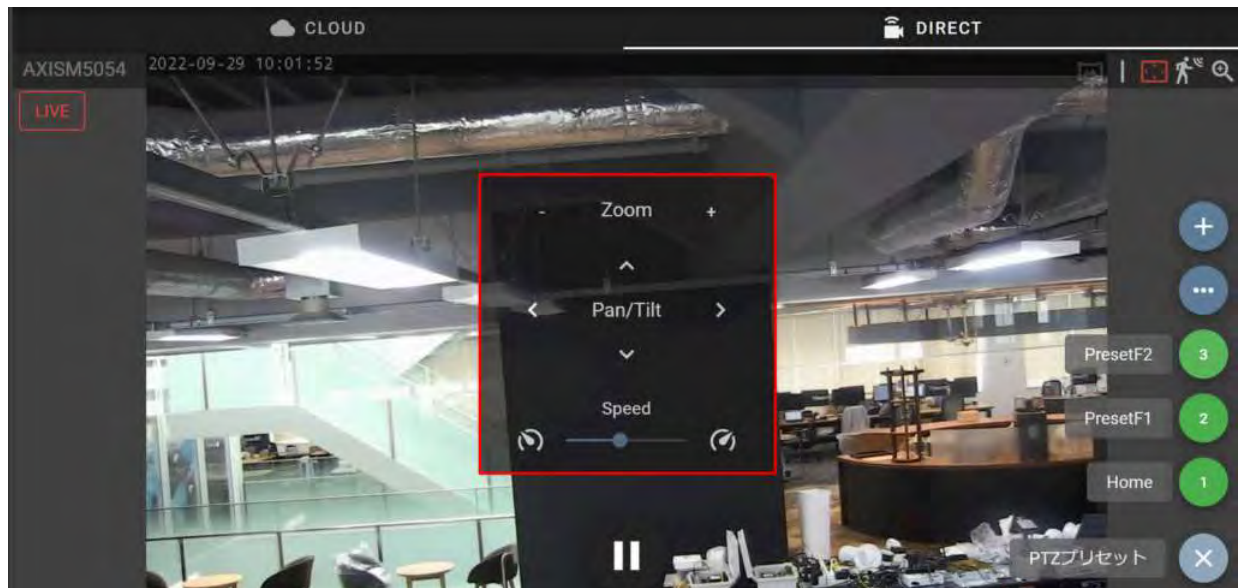
バックグラウンドでツアーが開始するので、[プリセット/ツアー設定] 画面を「×」をクリックして閉じます。

ツアーを停止するには、以下のいずれかの方法を実行します。

- プリセットされた静止ポジションを選択する



- PTZ 画面でカメラの向きを操作する



- DIRECT モードから CLOUD モードに移行する

スマートサーチ

2024年7月12日

スマートサーチとは、指定した範囲内で動作があった場合に、該当の映像を検索する機能です。
例) 夜間の人の出入りを確認する、敷地内の車両の出入りなどを確認する、など。

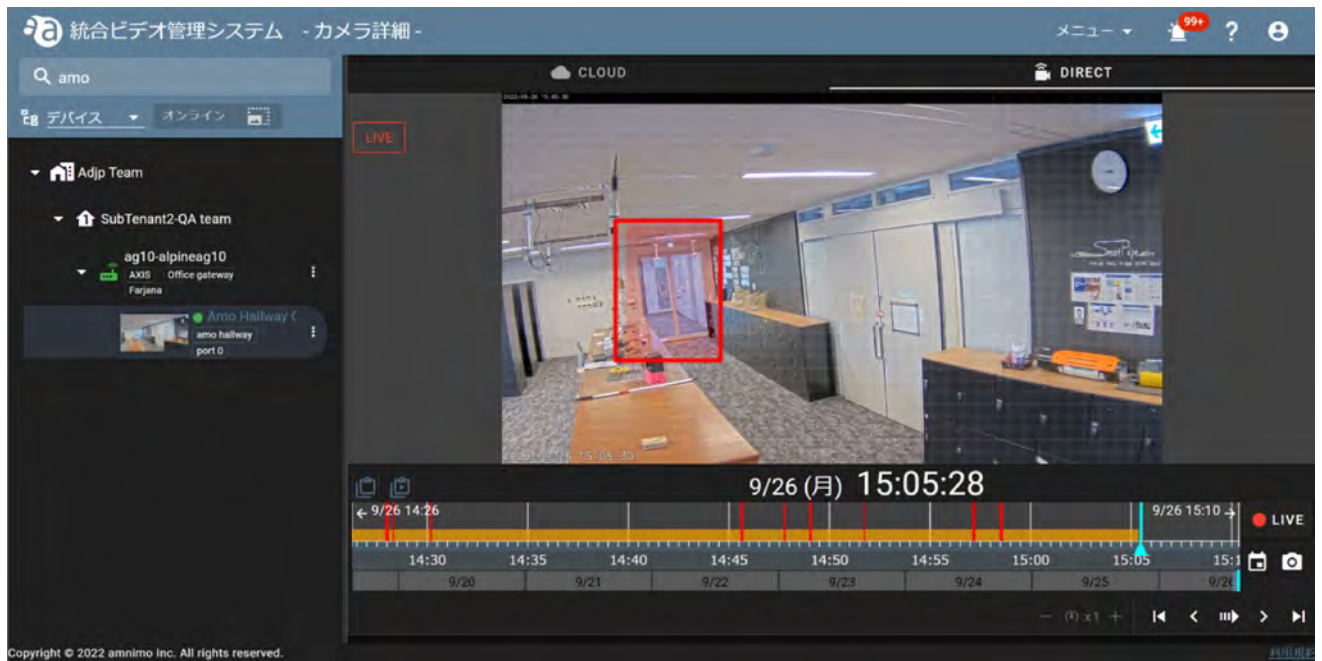
! WARNING

- ・ アムニモポータブルについて、DIRECT モードが無効である（DIRECT タブがグレイアウトされクリックができない）ため、本ページに載っている機能は利用できません。
- ・ amnimo VMS をご利用の場合は、本ページに載っている機能は利用できません。

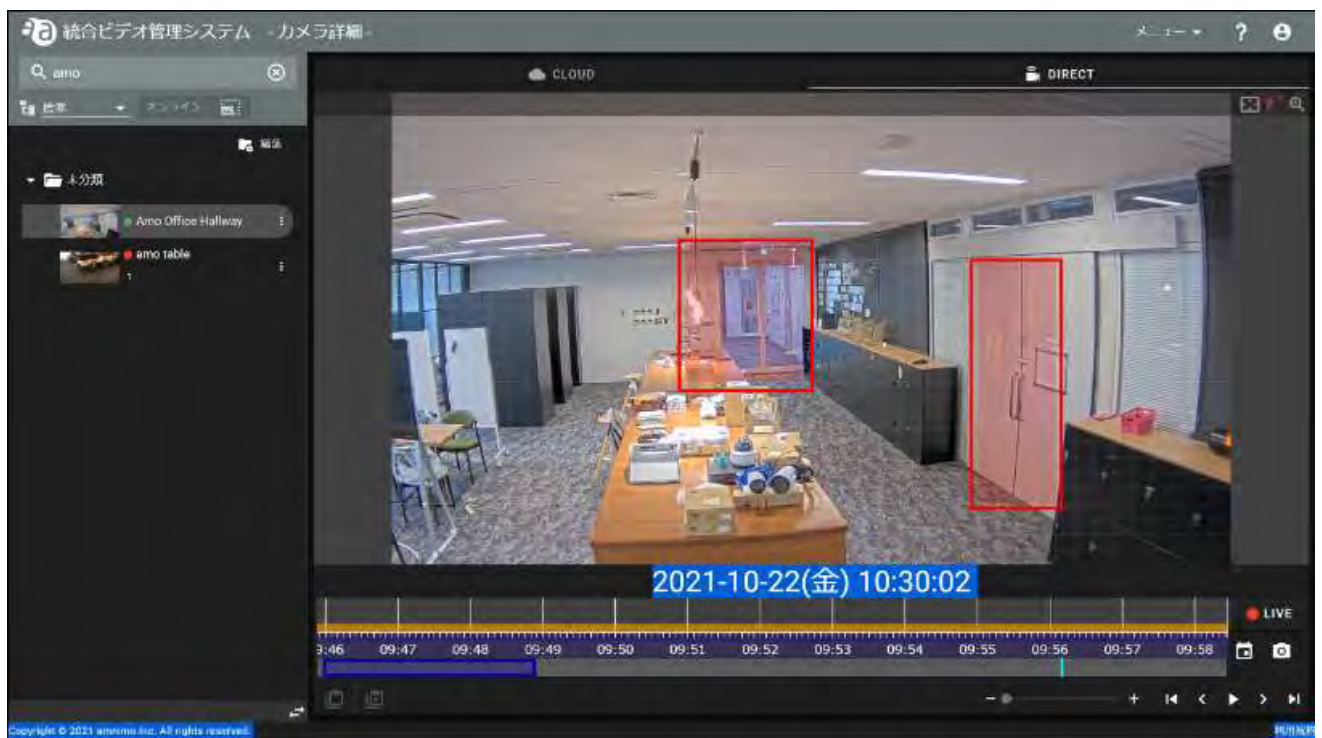
1 操作するカメラを選択し、画面のスマートサーチアイコンをクリックします。



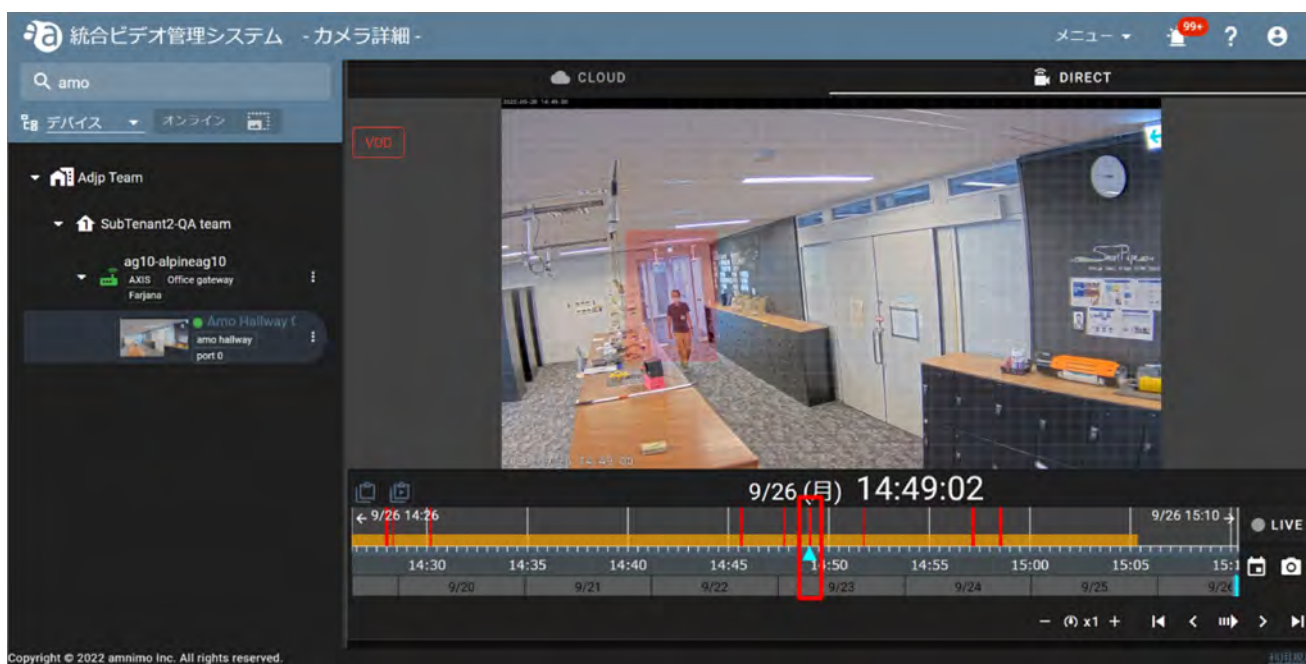
2 スマートサーチをしたいエリアをドラッグして指定します。動きがあった時刻が、タイムラインバー上で赤く表示されます。



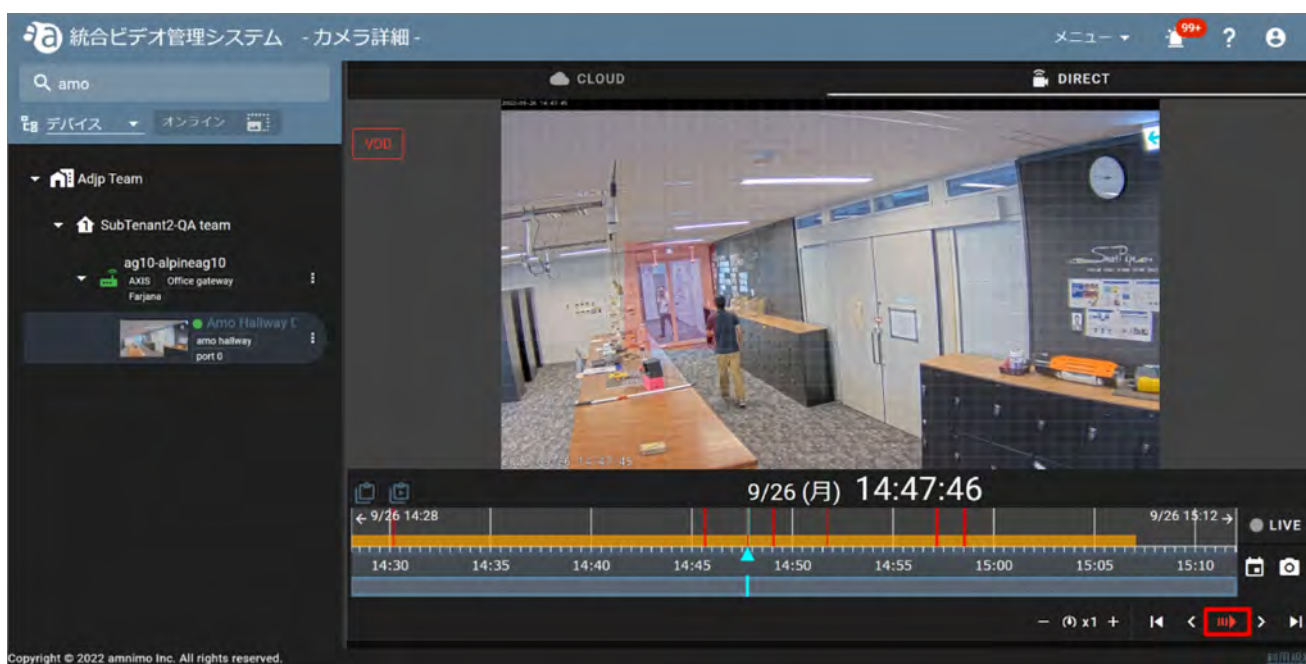
※ Shiftキー + ドラッグで複数領域を選択することもできます。



タイムラインバー上で、映像を確認したい時刻をクリックします。



再生をクリックすると、動きがあった映像が順次再生されます。



-  : スマートサーチの検出モーションを順次再生します。再度クリックすると通常の再生に戻ります。
- / + : 映像の再生速度を調整します。
- < / > : 前 / 次のモーションを再生します。
-  : 一番古いモーションを再生します。 / 一番新しいモーションを再生します。

もう一度、スマートサーチアイコンをクリックすると、スマートサーチ操作が終了します。



カメラの音声を聞く

2024年7月12日

ダイレクトモードでは、音声サポート機能が利用できます。対応しているカメラを利用している場合、LIVE 再生時と Video On Demand（録画）再生時に音声付きで映像の再生が可能です。
事前に Nx Witness で音声の設定が必要です。

NOTE

音声コーデックは AAC のみをサポートします。

WARNING

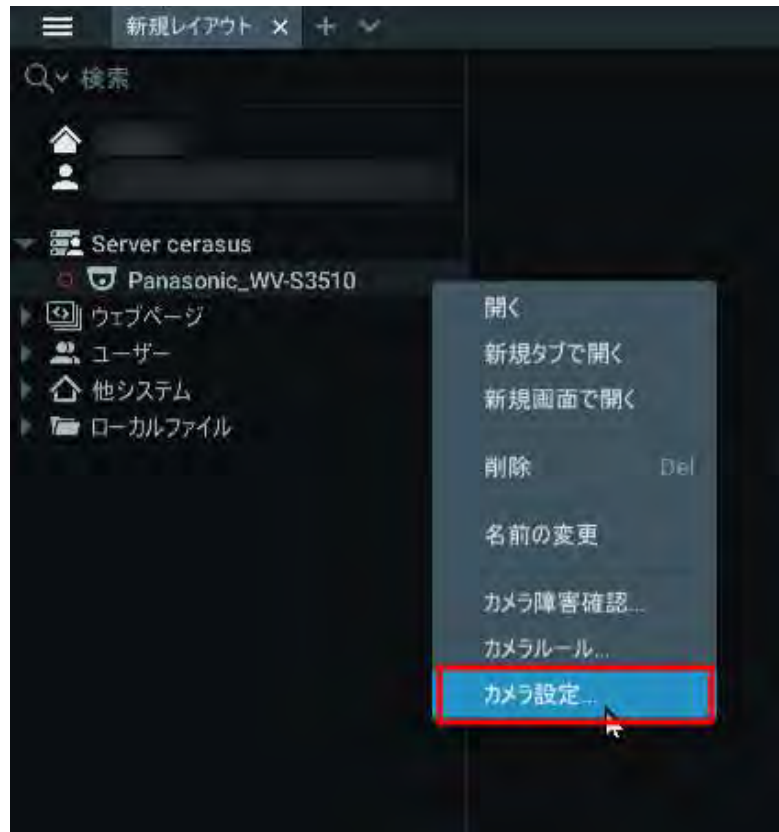
- 本機能では、最大 1 秒程度、音声が映像に遅れる場合があります。
- アムニモポータブルおよび amnimo VMS をご利用の場合、本ページに載っている機能は利用できません。

Nx Witness で音声の設定を行う

本機能を利用する場合、事前に Nx Witness での設定が必要となります。

音声を有効にする

- 1 Nx Witness デスクトップクライアントを開きます。
- 2 カメラを右クリックし、[カメラ設定]をクリックします。



3 [音声を有効にする] と [双方向音声を有効にする] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

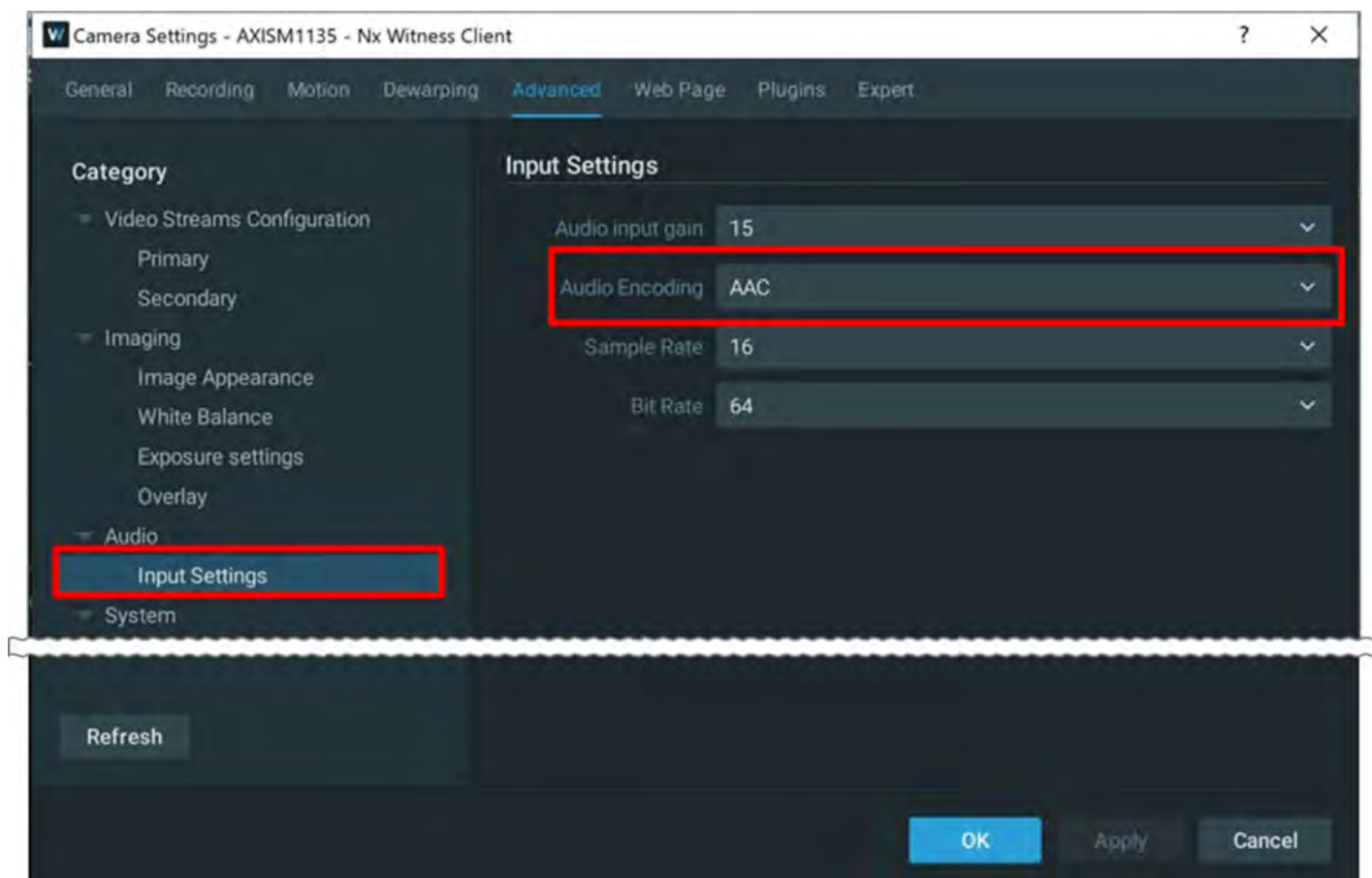
音声入力をしたい場合は [音声を有効にする] にチェックを、音声出力をしたい場合は [双方向音声を有効にする] にチェックを入れる必要があります。



オーディオコーデックを設定する

カメラ設定の“アドバンス”タブから、Audio > Audio Encoding の項目を見つけ、AAC を選択し、[OK] をクリックします。

※一部のカメラでは、アドバンスページに本項目が表示されないことがあります。（後述）

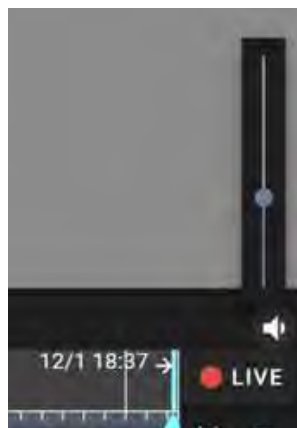


アドバンスページに Audio Encoding の項目が表示されない場合

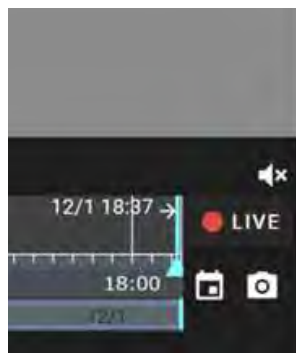


映像の音声を聞く

音声を聞きたいカメラの映像を再生し、ボリュームコントロールで音声の大きさを調節します。



 アイコンをクリックするとミュート（消音）することができます。



音声を出力する

統合ビデオ管理システムから、対象のカメラに対して音声出力が行えます。

Nx Witness から音声出力できる場合にのみ、統合ビデオ管理システムから音声出力が可能です。そのため、事前に Nx Witness から音声出力できることをご確認ください。

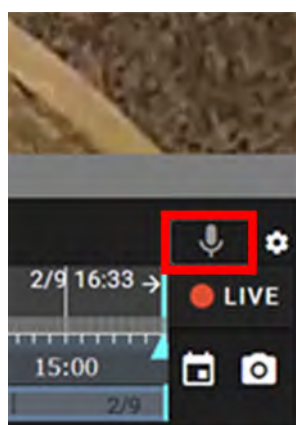
NOTE

本機能は、音声出力をサポートしているカメラで利用できます。

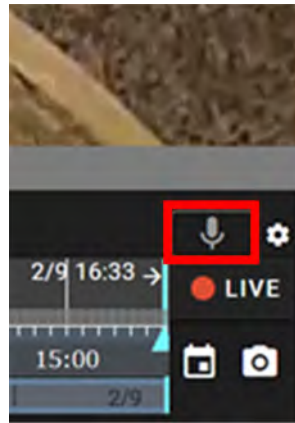
音声出力の機能が有効に設定されている場合、以下のようにマイクのアイコンが表示されます。

このアイコンをクリックすると、操作している PC のマイクを通してカメラから音声出力が行えます。（カメラに音声入力の機能がある場合、双方向で通話が可能。）

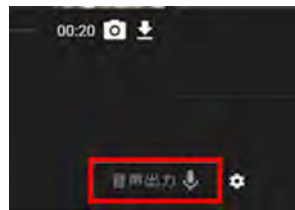
カメラ詳細ページ
(CLOUD モード)



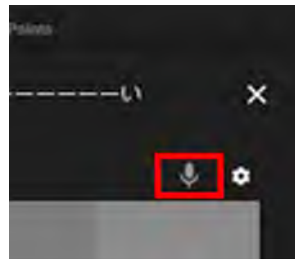
カメラ詳細ページ
(DIRECT モード)



イベント通知画面



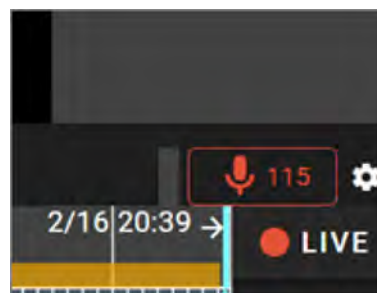
カメラ巡回画面



マイクのアイコン横にある、歯車のアイコンをクリックすると、操作している PC で利用できる音声入力のデバイスが選択できます。



音声出力は、マイクアイコンをクリックしてから 120 秒の間利用できます。残り時間は、図のようにカウントダウンされています。



スナップショットを取得する

2024年7月12日

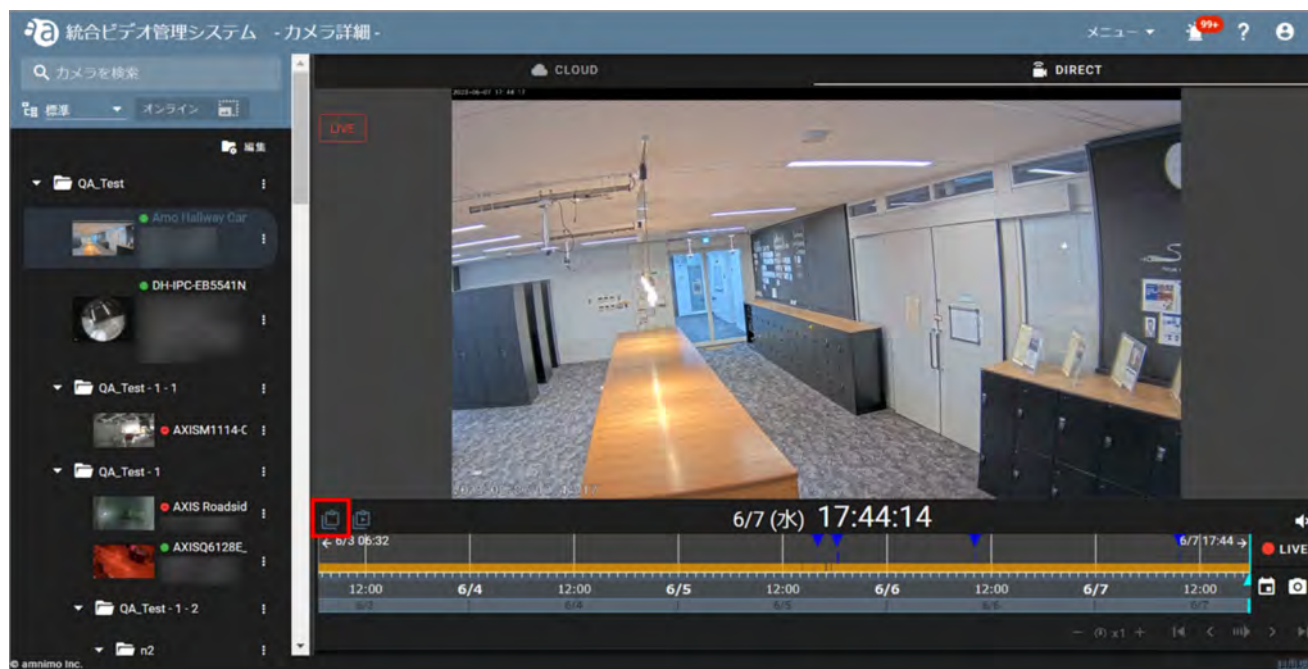
ダイレクト接続では、映像のスナップショットやビデオクリップを取得できます。
スナップショットとは、現在閲覧している動画の瞬間を画像として保存した画像のことを言います。

! WARNING

アムニモポータブルについて、DIRECT モードが無効である（DIRECT タブがグレイアウトされクリックができない）ため、本ページに載っている機能は利用できません。

任意の時刻のスナップショットを取得する

1 スナップショット取得ボタンをクリックします。



2 タイムラインバー上で日時を選択し、スナップショットの任意の名称を入力したら、「取得」をクリックします。

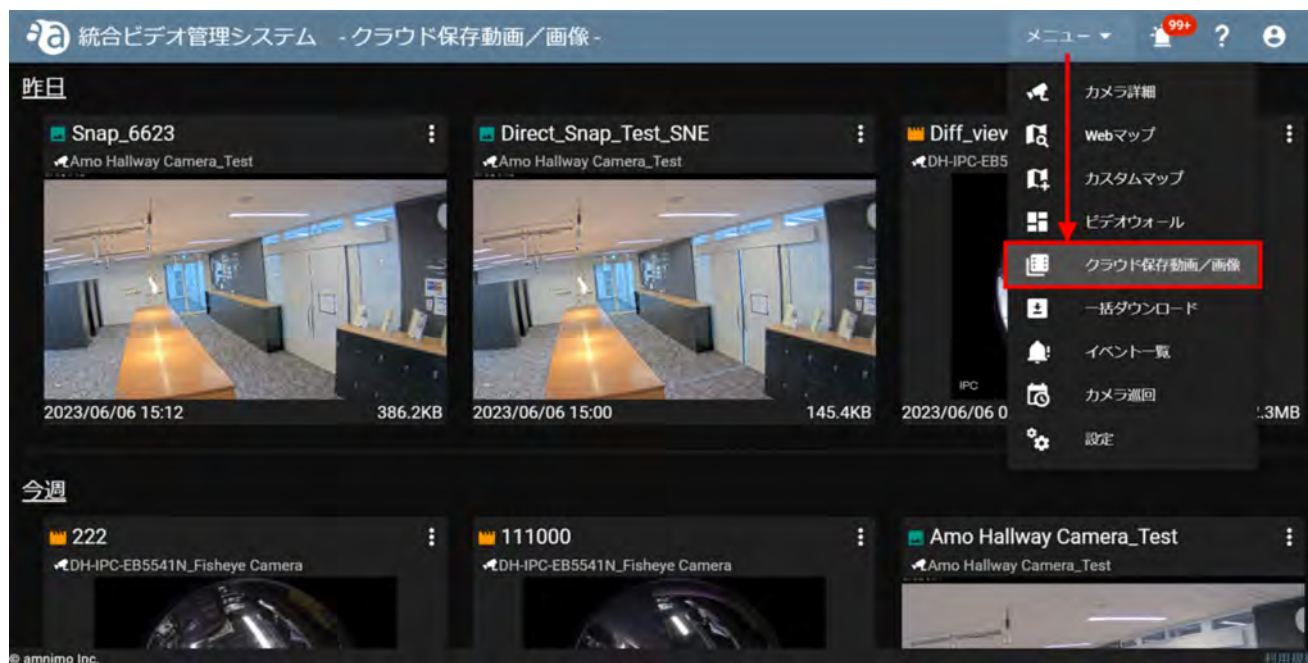
タイムラインをクリックして日時を選択



カレンダーから日時を選択

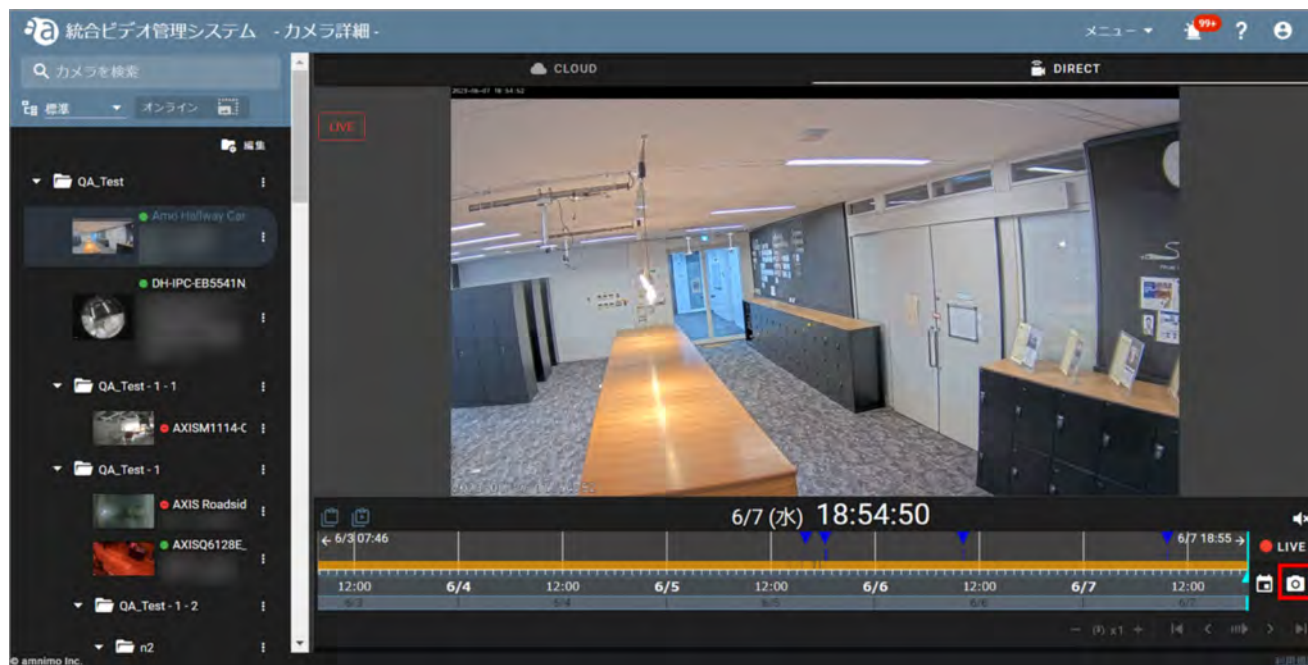


- 3 取得したスナップショットは、[クラウド保存動画 / 画像 ページ](#) で確認することができます。



表示中のカメラ映像のスナップショットを取得する

- 1 カメラアイコンをクリックします。



- 2 取得したスナップショットは、[クラウド保存動画 / 画像 ページ](#) で確認することができます。



ビデオクリップを取得する

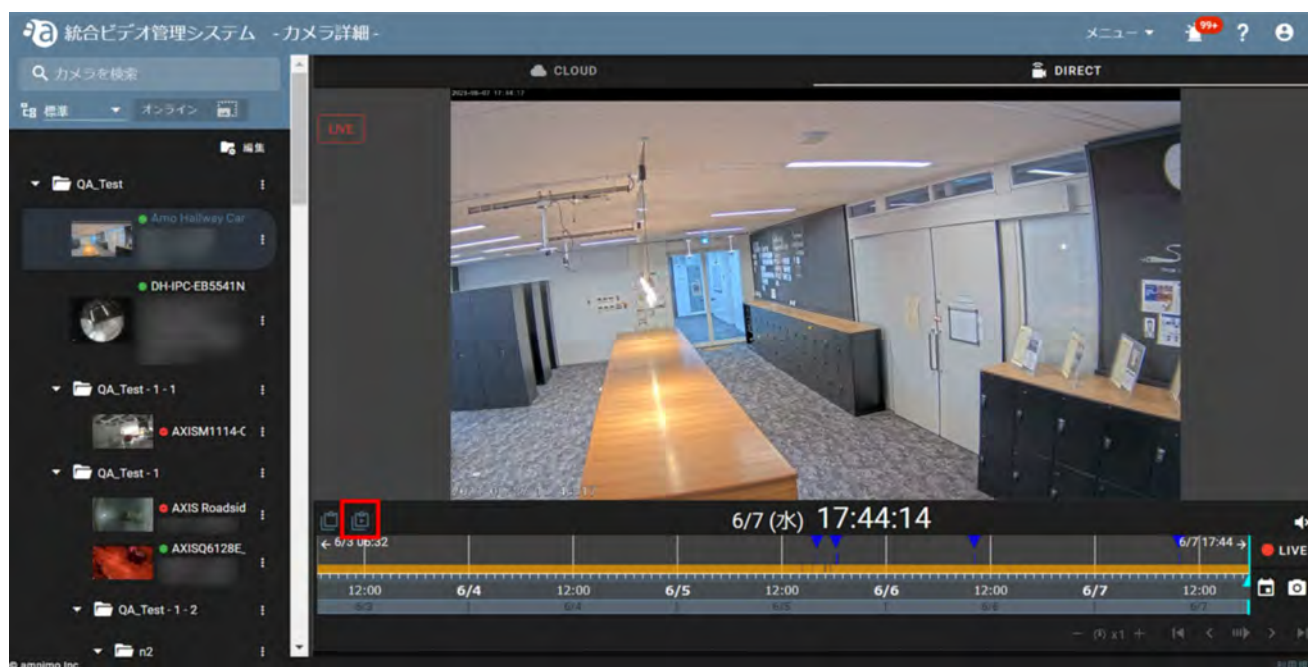
2024年7月12日

ダイレクト接続では、映像のスナップショットやビデオクリップを取得できます。
ビデオクリップとは、動画の一部を切り出して保存した映像のことを言います。

! WARNING

アムニモポータブルについて、DIRECT モードが無効である（DIRECT タブがグレイアウトされクリックができない）ため、本ページに載っている機能は利用できません。

1 ビデオクリップを取得したいカメラを選択し、ビデオクリップアイコンをクリックします。



2 タイムラインバー上で日時を選択するか、取得日時をクリックしてカレンダーから日時を選択します。ビデオクリップの任意の名称を入力したら、「取得」をクリックします。

タイムラインをクリックして日時を選択



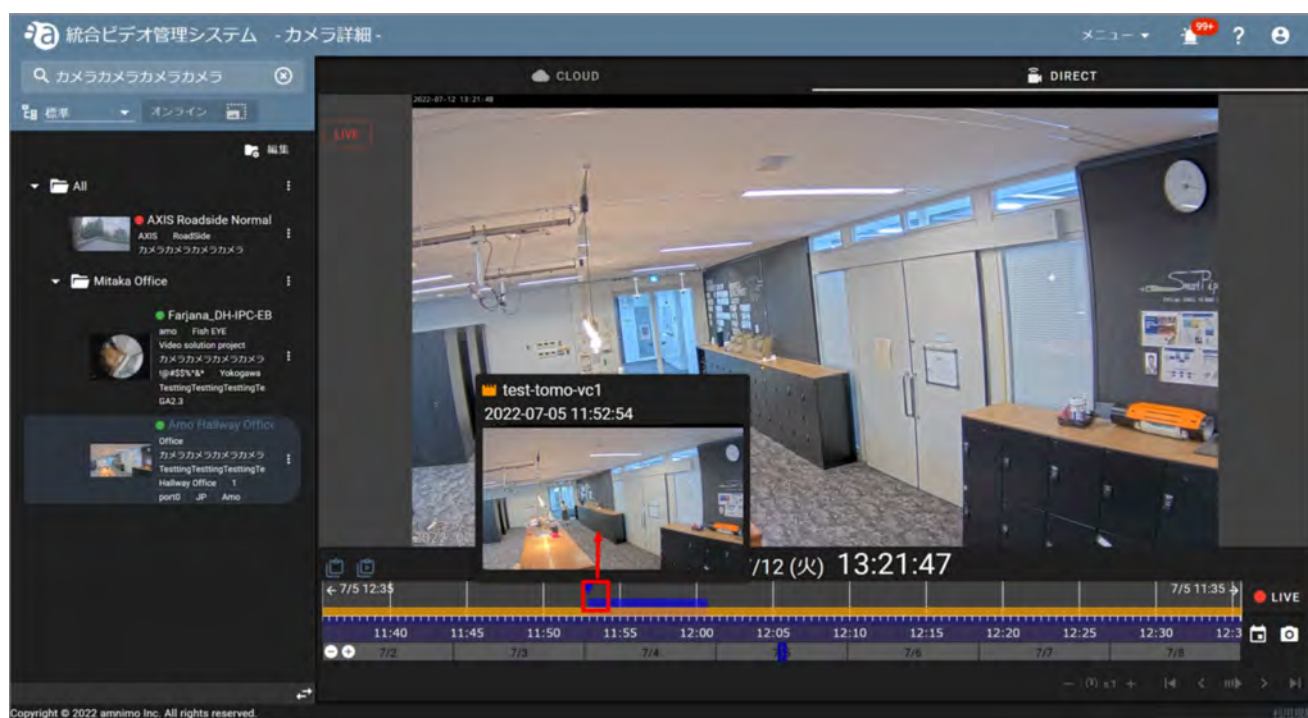
カレンダーから日時を選択



3 タイムラインバー上で、ビデオクリップの取得対象として選択した時間帯（破線で表示されている部分）にカーソルを合わせると、「取得中」という表示が現れます。



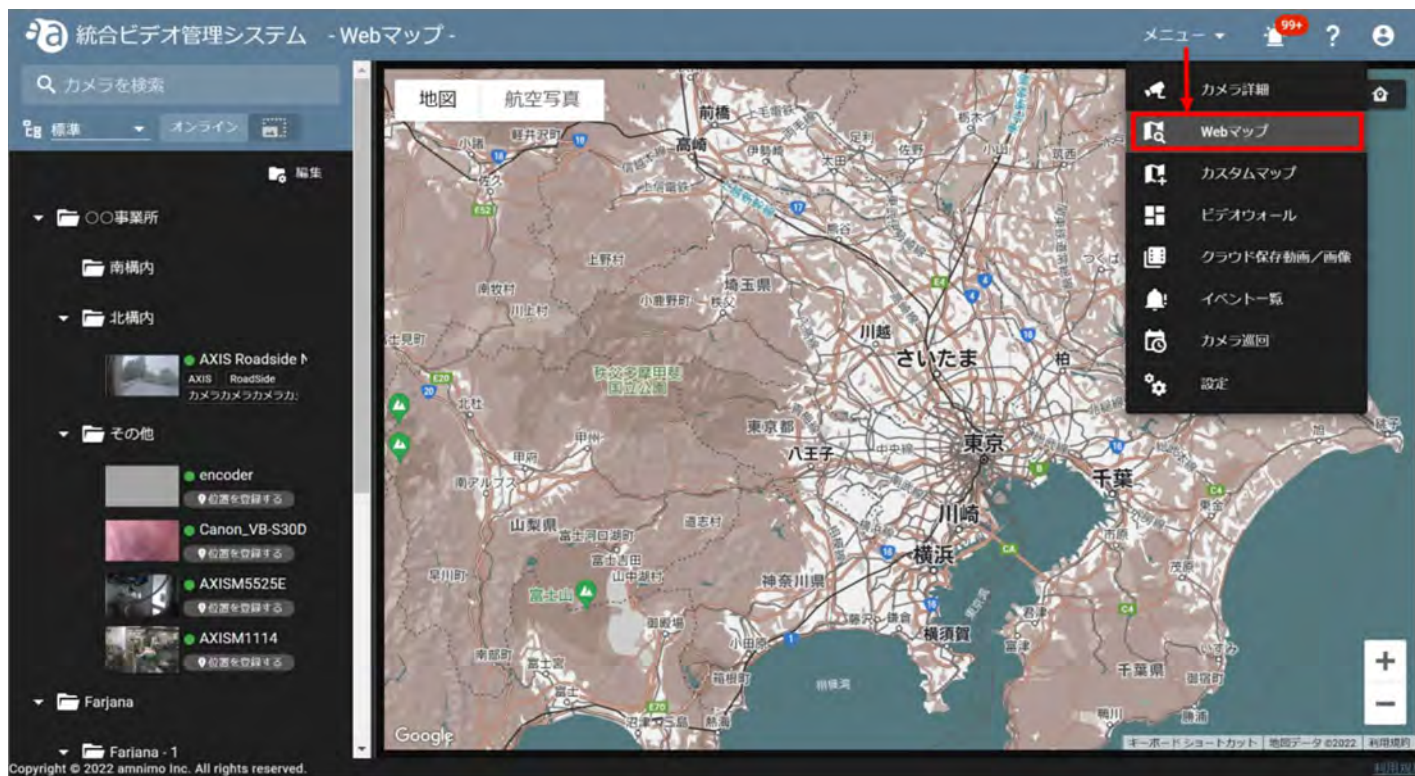
ビデオクリップの取得完了後、タイムラインバー上でビデオクリップを取得した時間帯（青く表示されている部分）をクリックすると、取得したビデオクリップを再生することができます。



マップ上にカメラアイコンを登録する

2024年7月12日

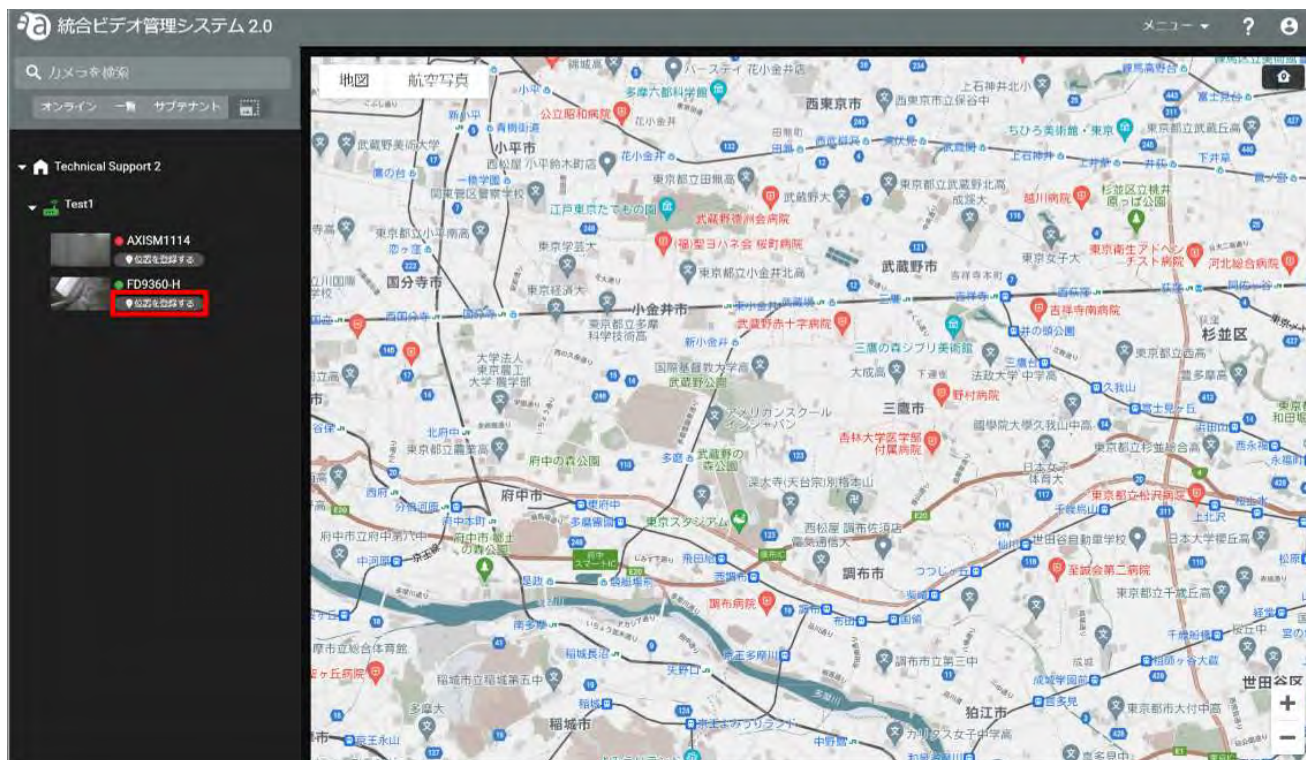
Webマップページでは、地図上でカメラアイコンの設定、確認することができます。



マップ上にカメラアイコンを登録する

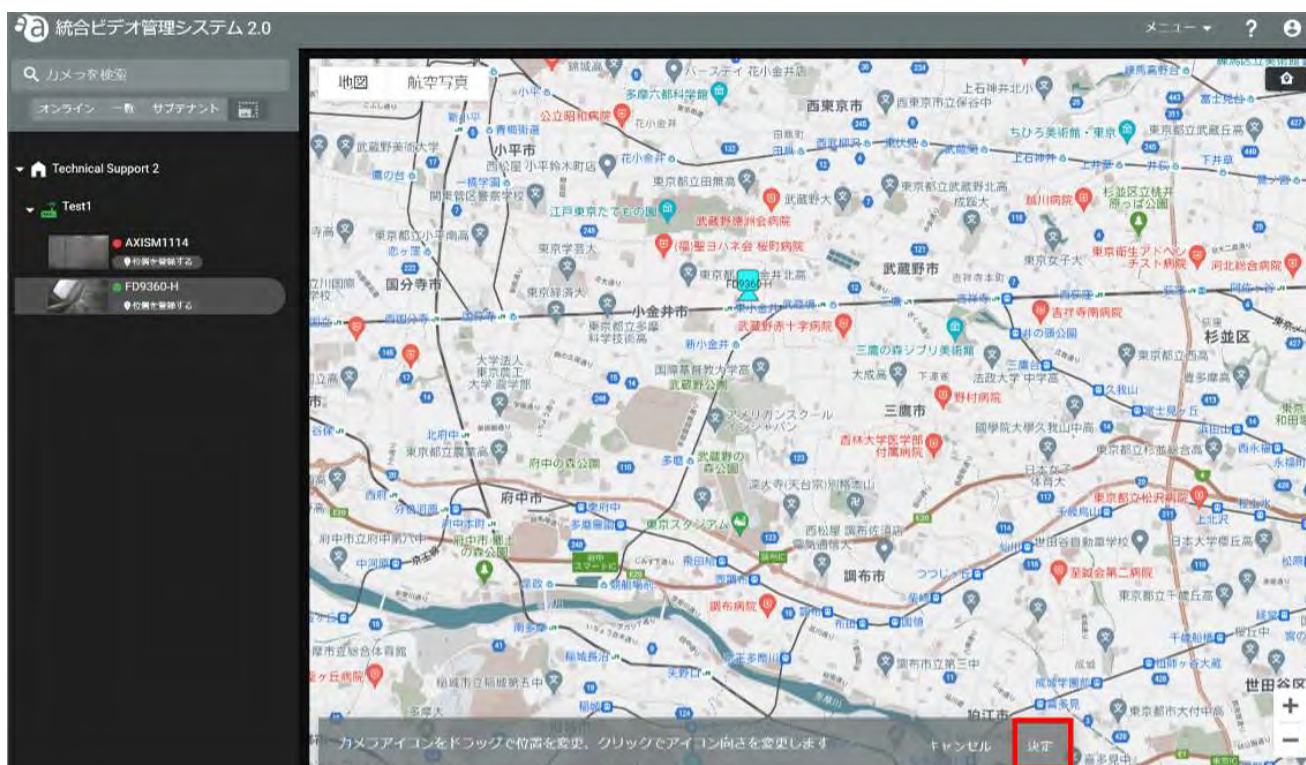
カメラの位置を地図上にカメラアイコンとして表示することが出来ます。このセクションでは、カメラアイコンの登録方法を説明します。

- 1 カメラリストに表示されている「位置を登録する」をクリックします。

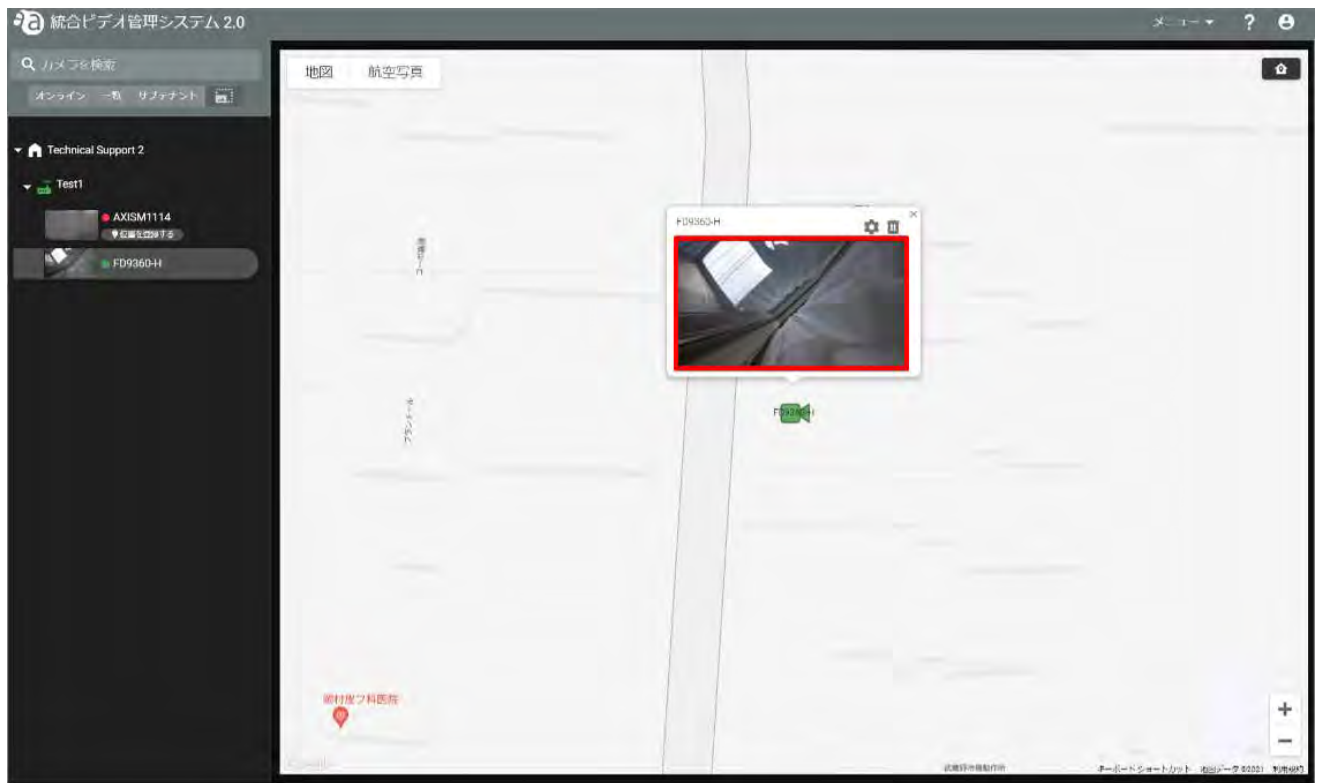


カメラアイコンをドラッグして位置を調整します。また、カメラアイコンをクリックするとカメラアイコンの向きを変更することができます。

[決定] をクリックすると、位置情報の登録が完了します。



なお、登録したカメラアイコンをクリックすると、最新のサムネイルが表示されます。
また、サムネイルをクリックすると、カメラ詳細ページにアクセスすることができます。

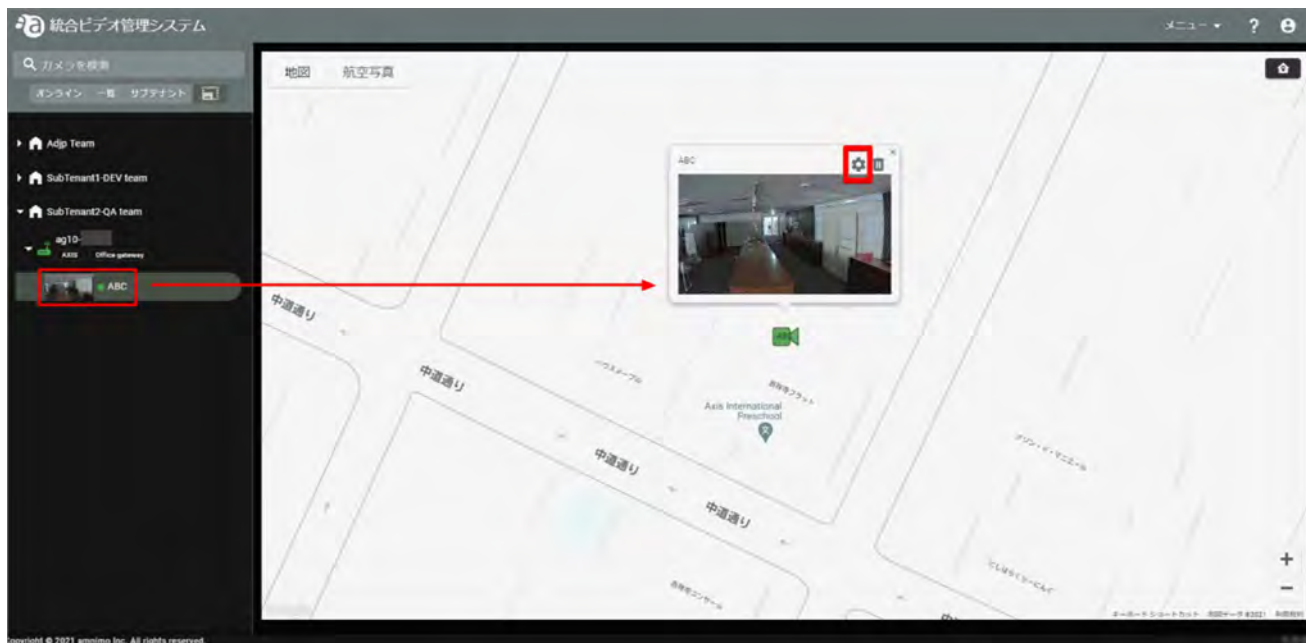


カメラアイコンを編集する

2024年7月12日

カメラアイコンは、位置と向きの変更をすることが出来ます。

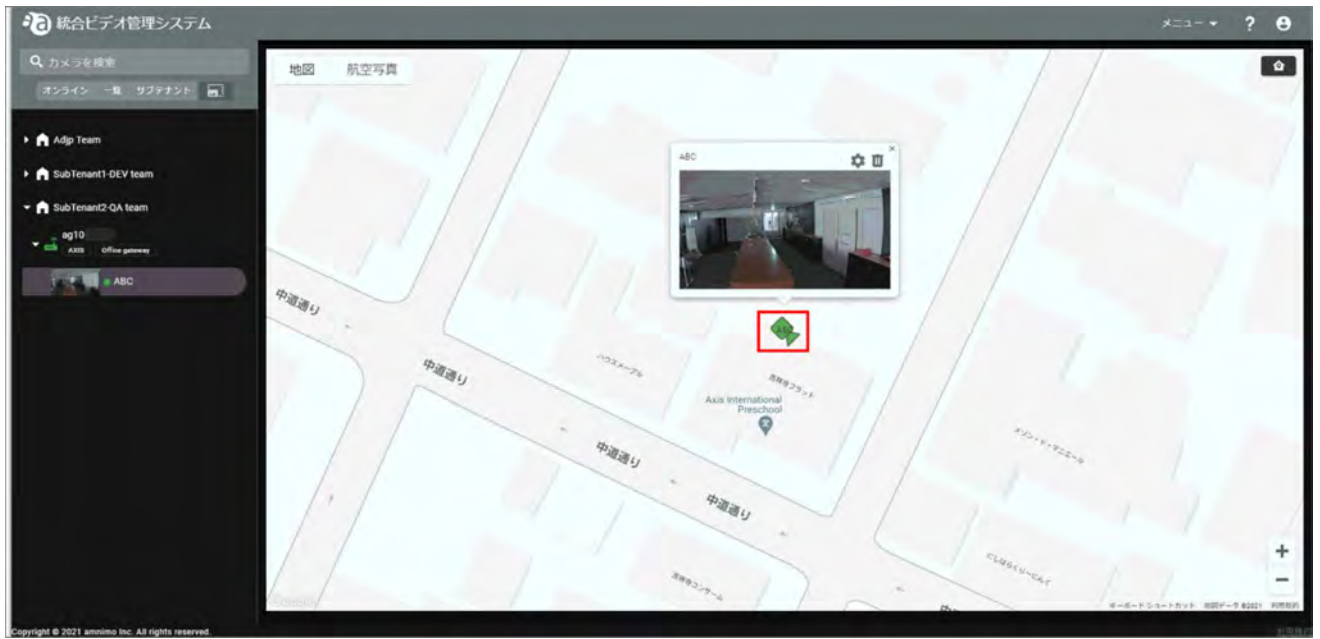
- 1 カメラリストより、カメラアイコンを編集したいカメラ名を選択し、設定アイコンをクリックします。



- 2 カメラアイコンの向きをクリックして変更しドラックして位置を移動したら、「決定」をクリックします。（この手順では向きだけを変更しています。）



3 カメラの向きが変更されたことを確認します。

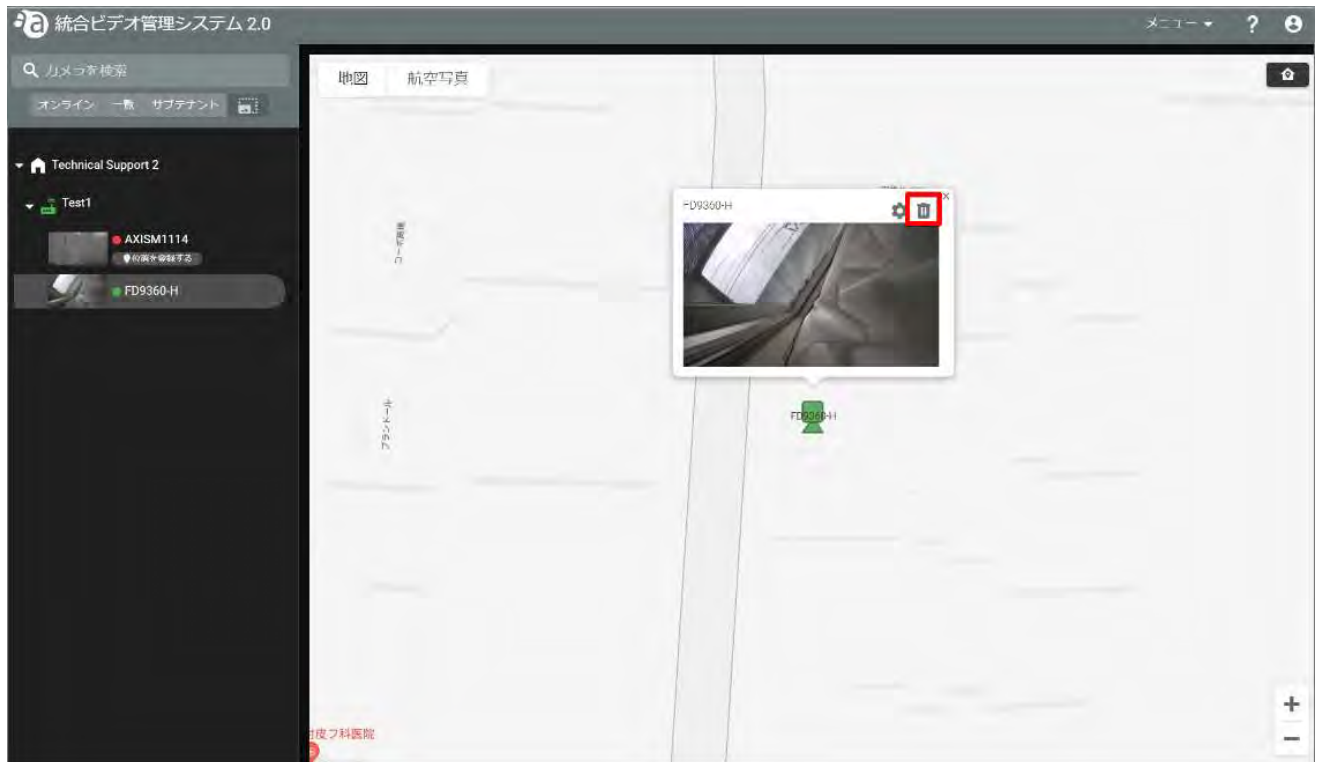


カメラアイコンを削除する

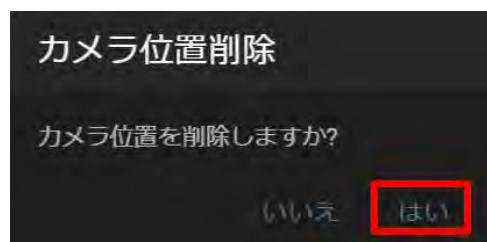
2024年7月12日

1 カメラリストより、カメラアイコンを削除したいカメラ名をクリックします。

2 削除アイコンをクリックします。



3 [はい] をクリックすると、カメラアイコンの削除が完了します。

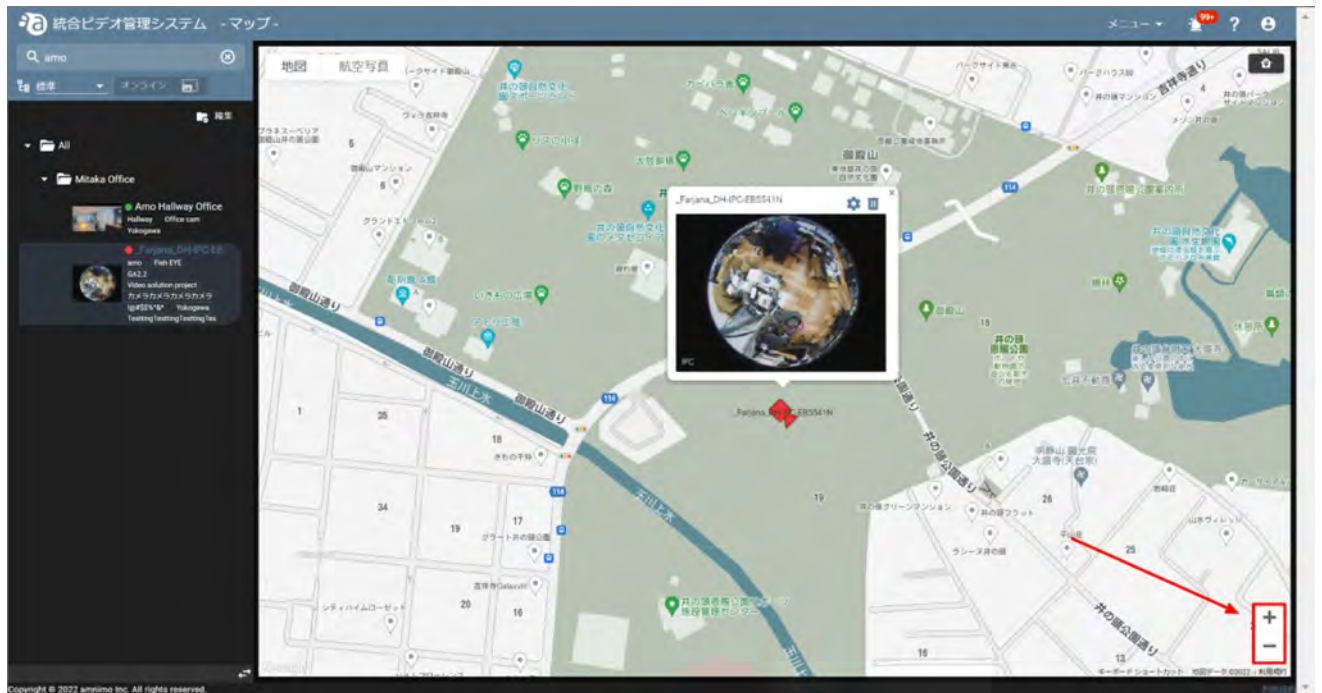


マップの初期表示位置を設定する

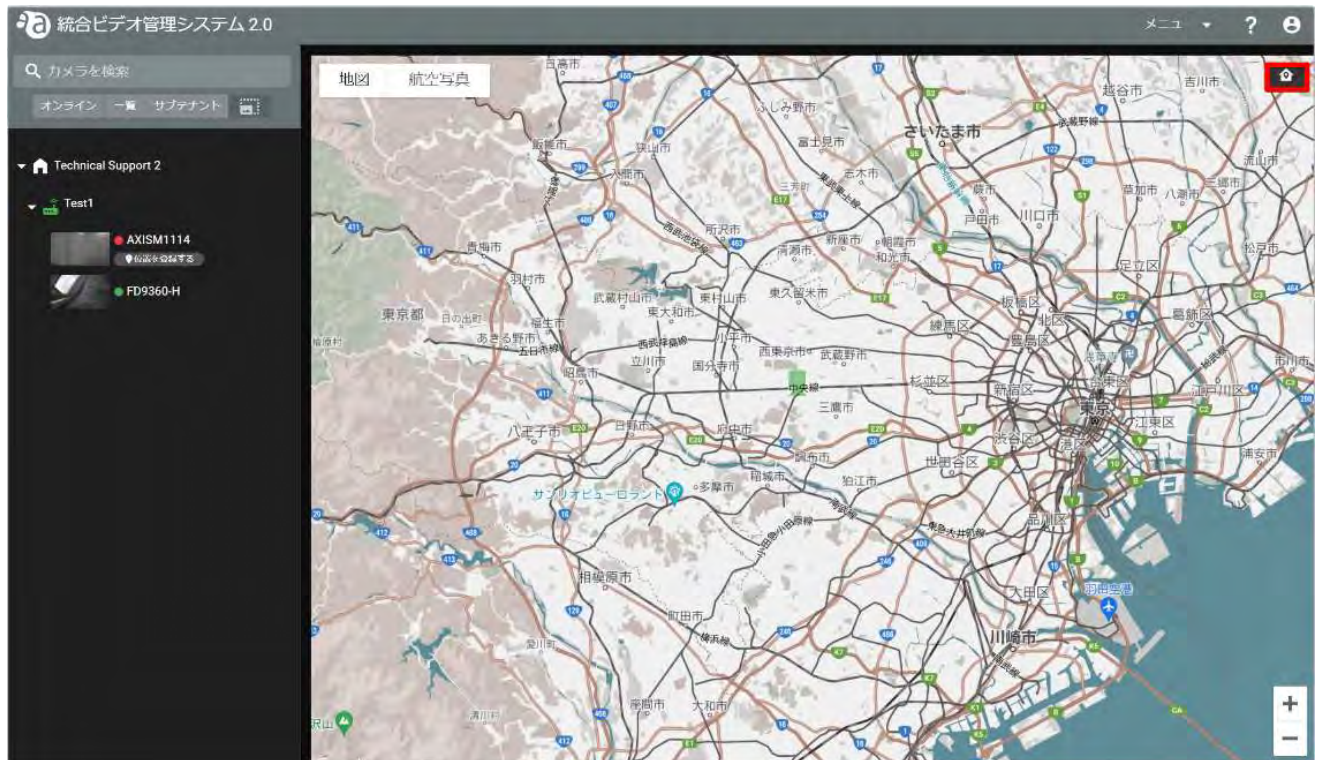
2024年7月12日

マップ画面の初期表示される位置を設定します。

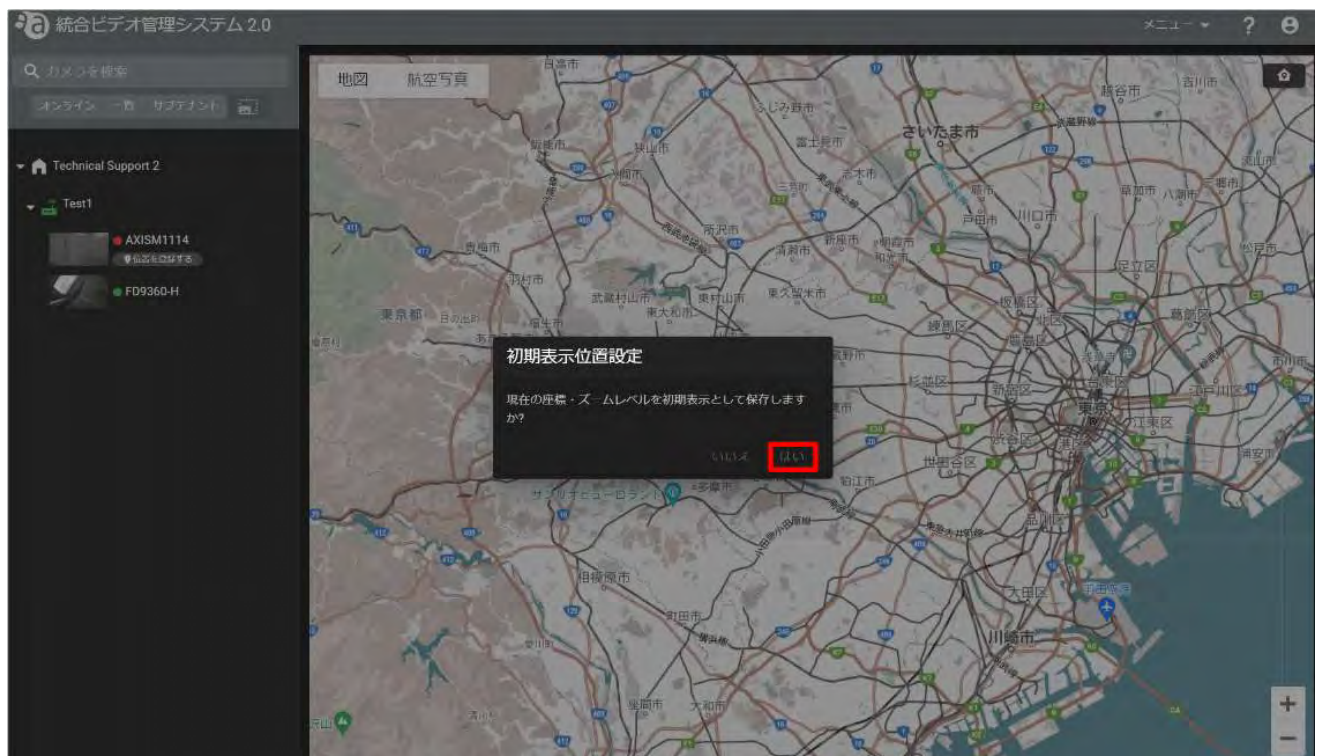
- 1 **+ / - アイコン**で初期表示したい位置を調整します。



- 2 **ホームアイコン**をクリックします。



3 「はい」をクリックすると、初期表示の位置設定が完了します。



カスタムマップの設定をする

2024年10月9日

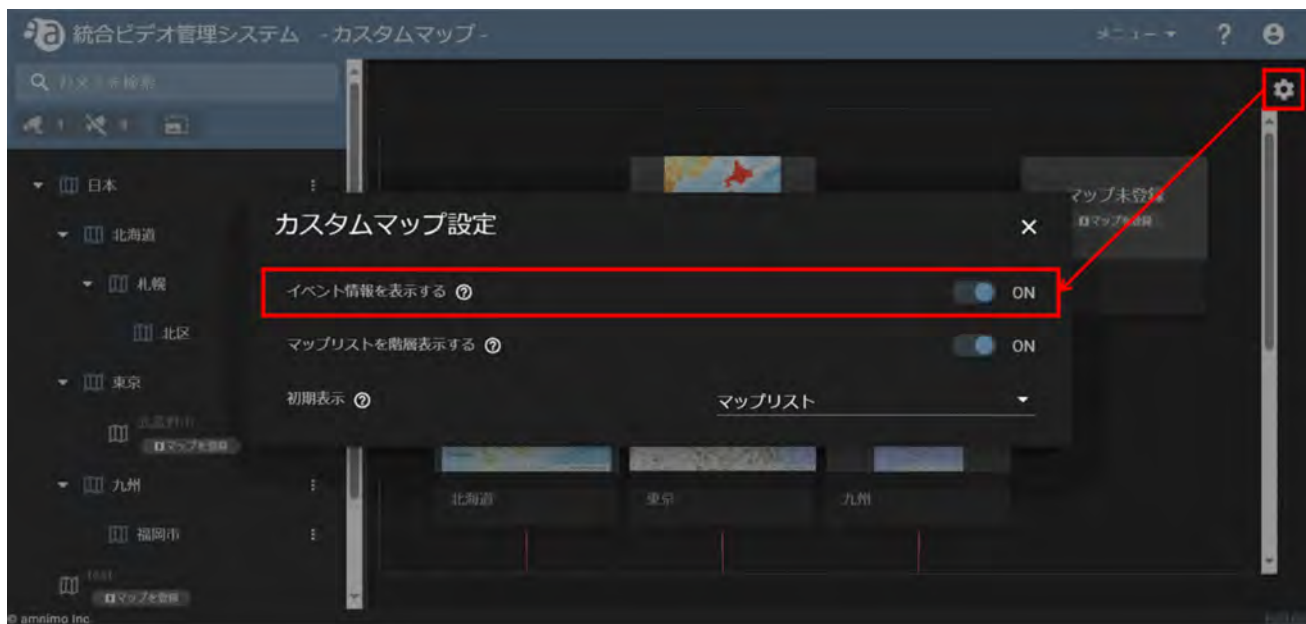
イベント情報の表示切替をする

「カスタムマップ 設定」でイベント情報の表示を有効にすると、イベント発生時に該当するカメラのアイコンがカスタムマップ上で点滅し、イベントの発生状況を確認することが出来ます。

このセクションでは、イベント情報の表示を有効にする方法を説明します。

- 1 画面右上の歯車アイコンをクリックし、「イベント情報を表示する」のトグルをONにします。

イベント情報の表示を無効にする場合は、「イベント情報を表示する」のトグルをOFFにします。



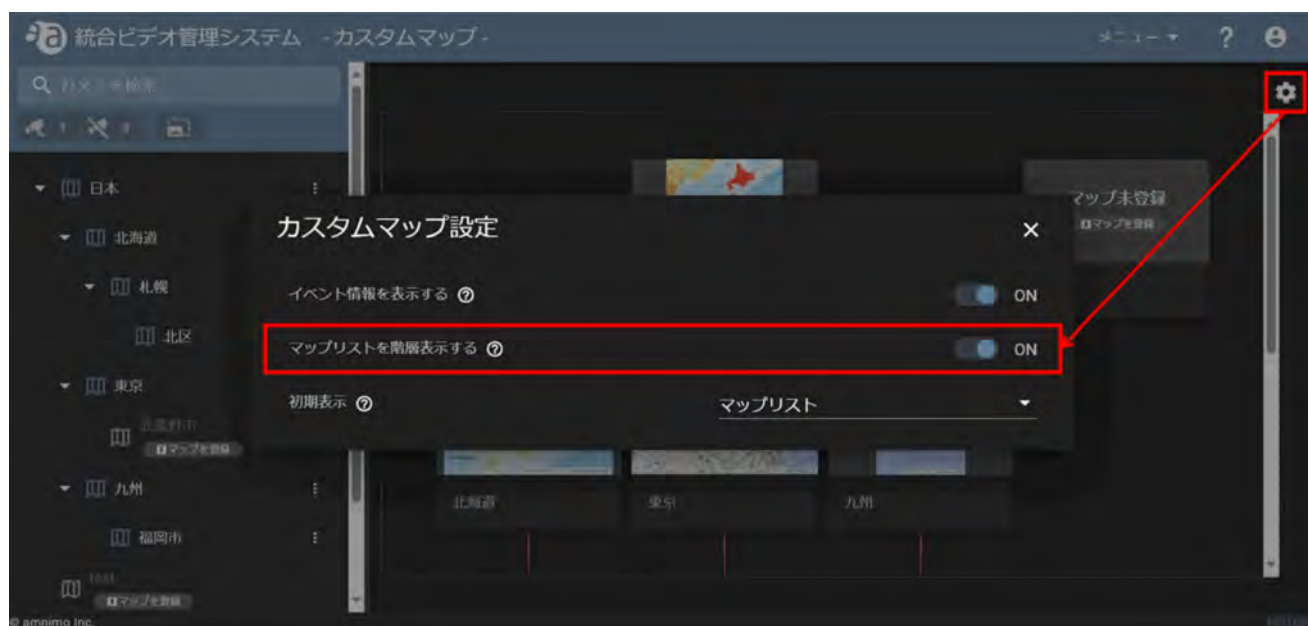
マップリストの表示形式を変更する

「カスタムマップ 設定」では、マップリストの表示形式（階層表示、一覧表示）を選択することが出来ます。初期値では、マップリストは階層表示されます。

このセクションでは、マップリストを階層表示する方法を説明します。

- 1 画面右上の歯車アイコンをクリックし、「マップリストを階層表示する」のトグルをONにします。

マップリストを一覧表示にする場合は、「マップリストを階層表示する」のトグルをOFFにします。



💡 マップの拡大と縮小

マップリストを階層表示しているときは、マウスのスクロールや拡大縮小ボタンでマップの拡大縮小が行えます。また、マウスでドラッグすることで見たいマップを中央に移動して閲覧出来ます。

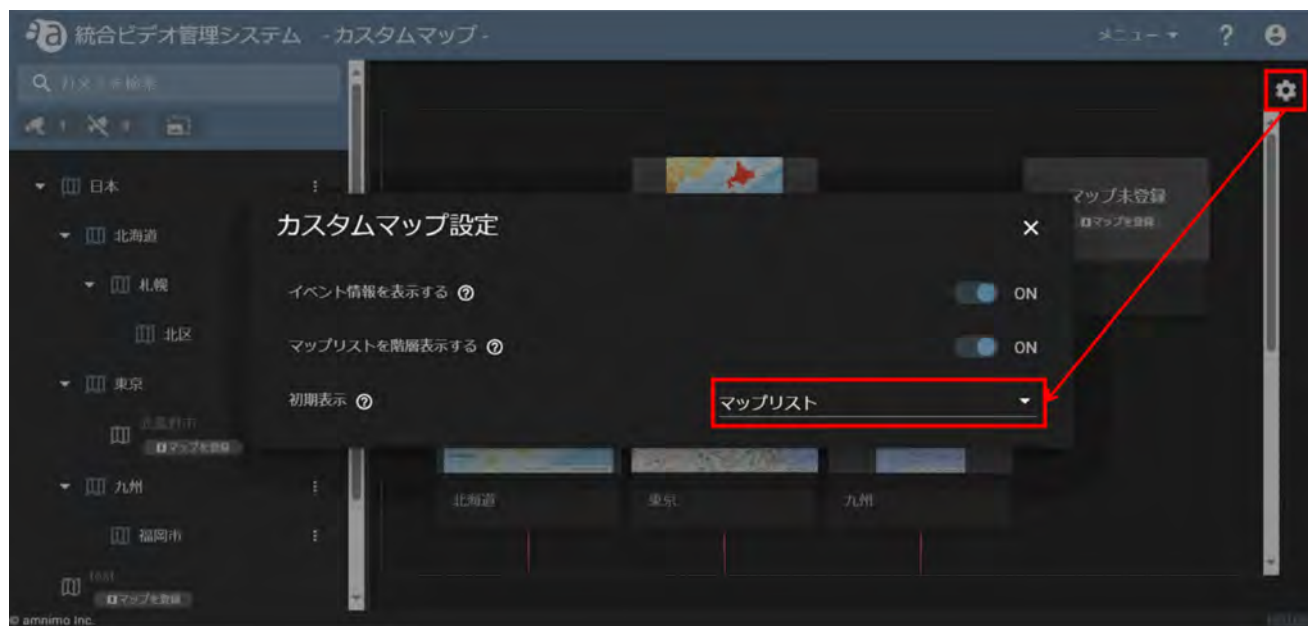
なお、限界まで拡大や縮小すると、図のように拡大縮小ボタンがグレースアウトします。



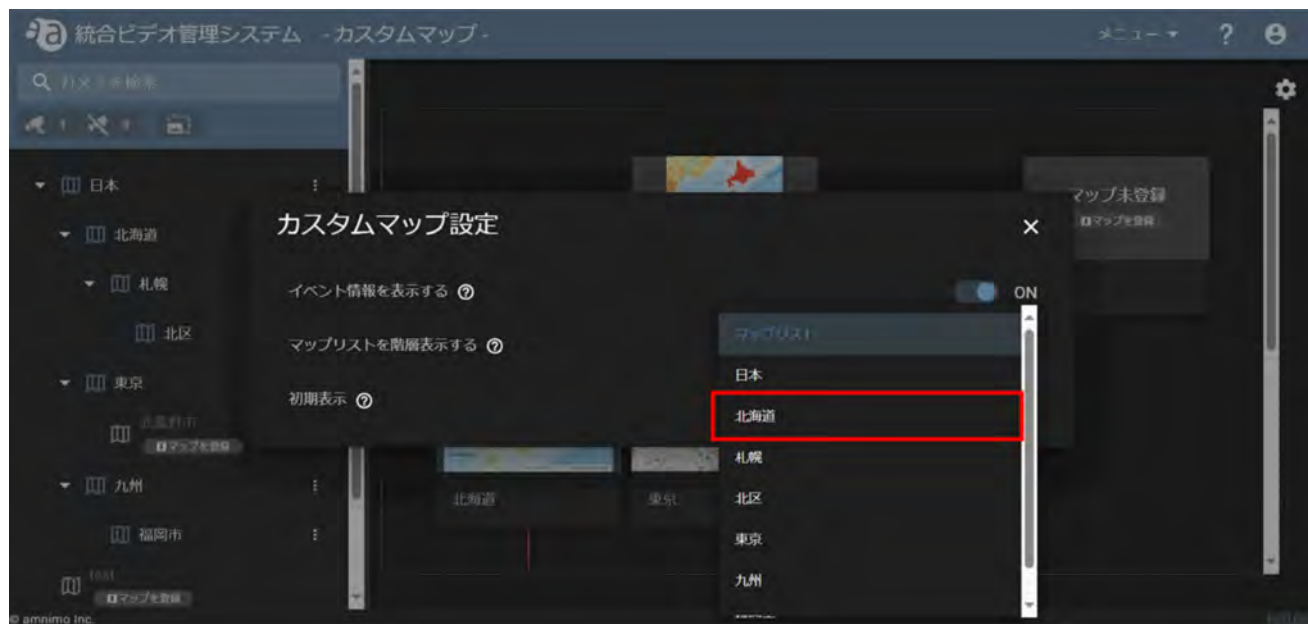
カスタムマップの初期表示画面を指定する

「カスタムマップ 設定」では、カスタムマップへのルーティング時に最初に表示されるマップもしくはマップリストを指定することが出来ます。

- 1 画面右上の歯車アイコンをクリックし、「初期表示」のダウンリストをクリックします。



- 2 初期表示する特定のマップもしくはマップリストを選択します。



カスタムマップを操作する

2024年7月12日

カスタムマップページでは、オリジナル地図画像を登録し、その上にカメラアイコンを設置して確認することができます。



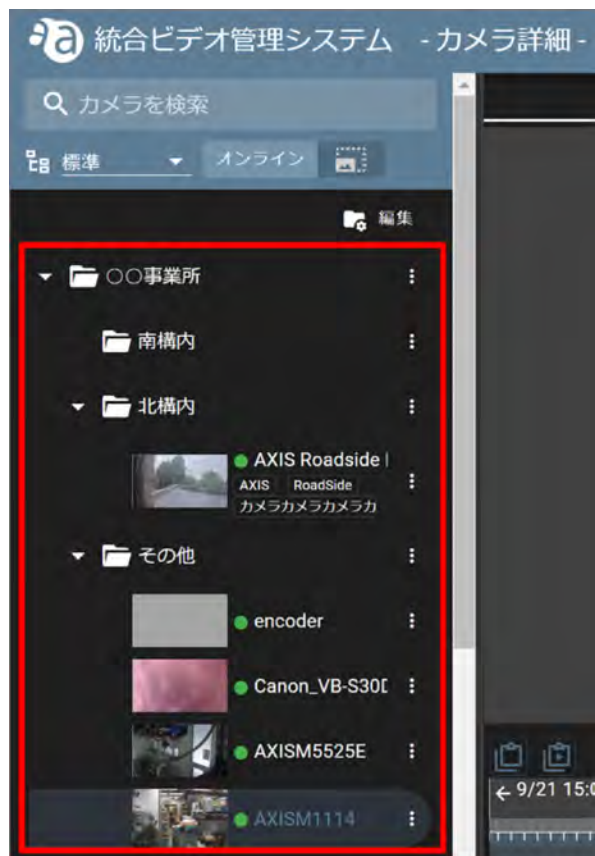
カスタムマップ画面

NOTE

カスタムマップビューは階層構造になっています。これは、カメラ詳細画面のサイドバーにある、「標準」ビューのフォルダ構造を反映しています。

地図の画像は、対応する各フォルダに登録することが出来ます。

カメラ詳細画面



カスタムマップ画面

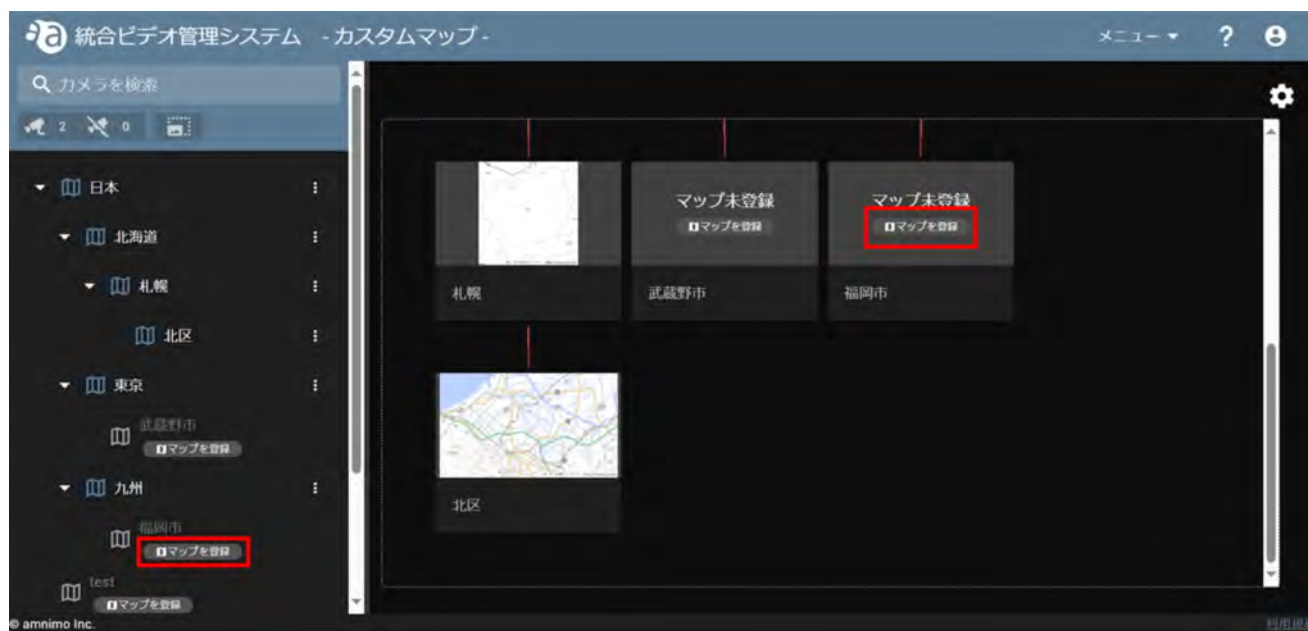


! WARNING

- カスタムマップ画面からはフォルダ追加は出来ません。
- フォルダを追加したい場合は以下のページを参照してフォルダを追加してから、対象のカメラをフォルダの下に移動しておいてください。
⇒ 『[カメラのフォルダ管理](#)』

カスタムマップを登録する

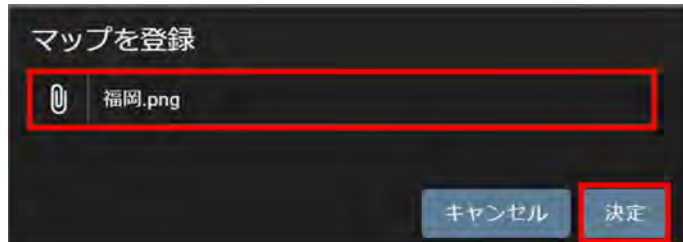
- 1 「[カメラのフォルダ管理](#)」を参照し、カメラ詳細画面からフォルダを追加します。
- 2 カスタムマップ画面を開き、サイドバー、またはメイン画面から「マップを登録」をクリックします。



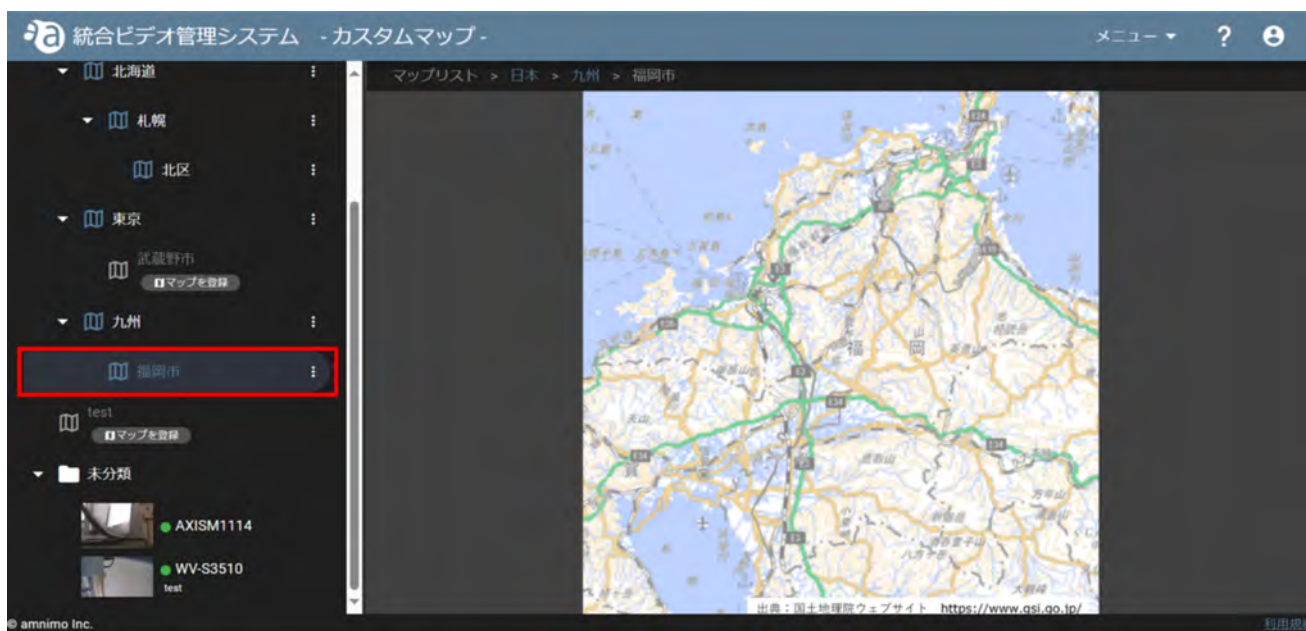
以下の画面が表示されたら、クリップのアイコンまたはテキストボックスをクリックし、登録したい地図画像を選択して「決定」をクリックします。

本手順では、「福岡」フォルダに、「福岡.png」画像を登録します。

(*.jpg または *.png ファイル形式の登録が可能です。画像ファイルの上限サイズは10MBです。)



図のように地図が登録されたことを確認します。



同様に、他の地図も登録します。

カスタムマップにカメラを登録する

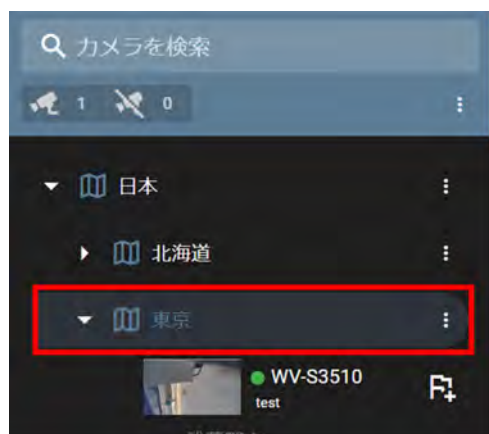
本例では、「東京」という名前のカスタムマップにカメラを登録します。

! WARNING

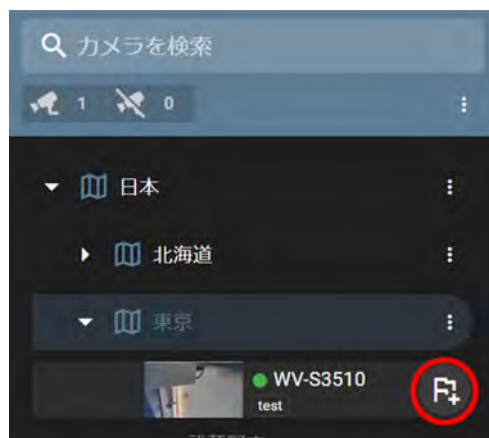
カメラ詳細画面からカメラを移動すると、設定した情報（マップやマップマーカ）は削除されるので、改めてマップの登録が必要です。

- 1 「[カメラのフォルダ管理](#)」を参照し、カメラを東京フォルダに追加しておきます。

- 2 カスタムマップ「東京」をクリックします。

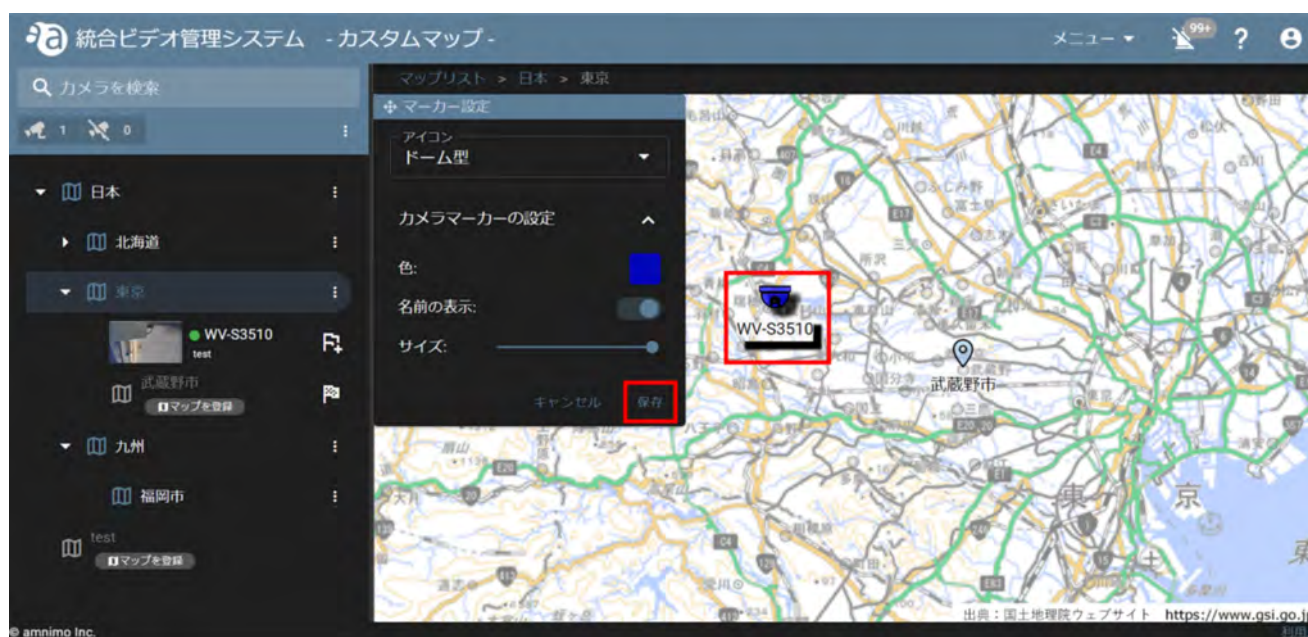


- 3 「東京」フォルダに属するカメラアイコンの横にある旗印アイコンをクリックします。



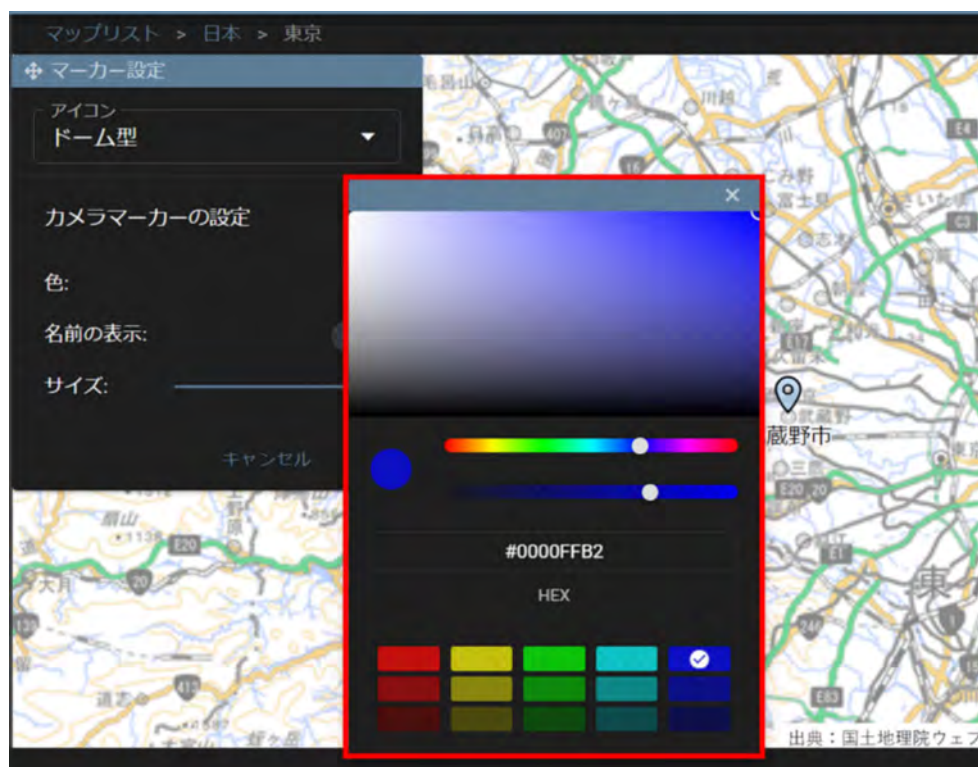
- 4 「マーカー設定」にて、下記を設定します。

- ・アイコン：マーカーのアイコンを「バレット型」か「ドーム型」から選択します。
- ・色：マーカーのアイコンの色を選択します。
- ・名前の表示：マーカーの名前の表示有無を選択します。
- ・角度（アイコンが「バレット型」のときのみ表示）：アイコンの角度を調整します。
- ・サイズ：アイコンのサイズを調整します。



カメラマーカーのアイコンの色設定について

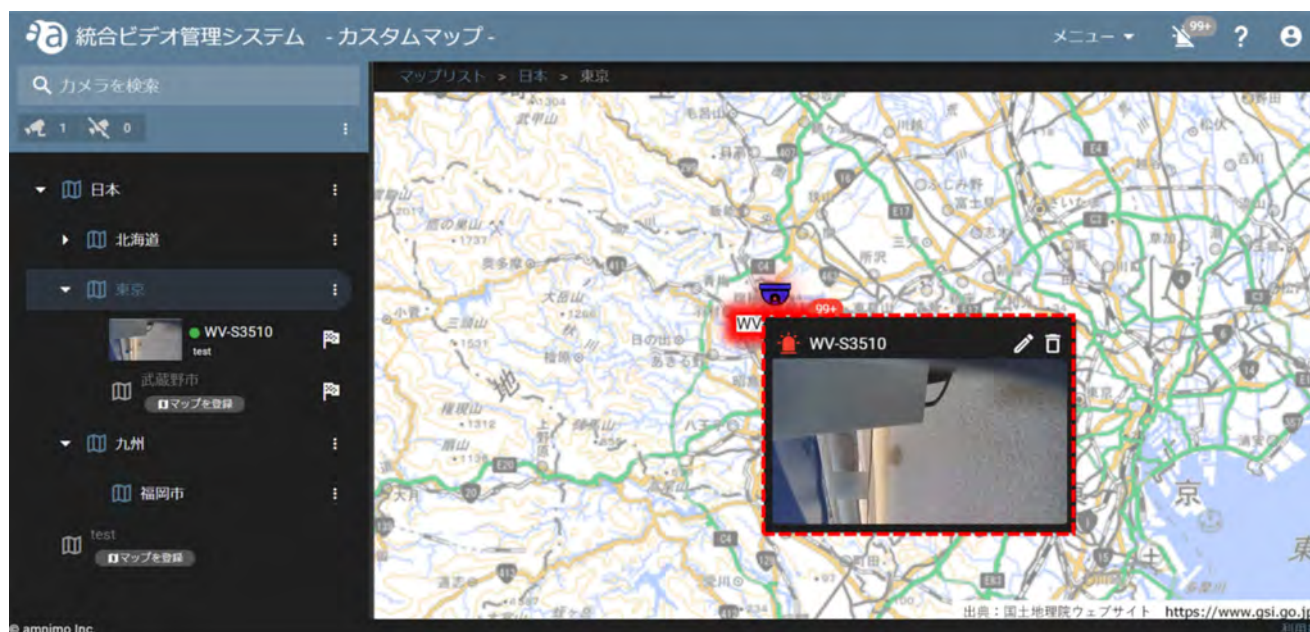
カラーピッカーで色を選択、または16進数で入力することで設定が出来ます。



5 カメラアイコンの位置をドラッグで設定したら、「保存」をクリックします。

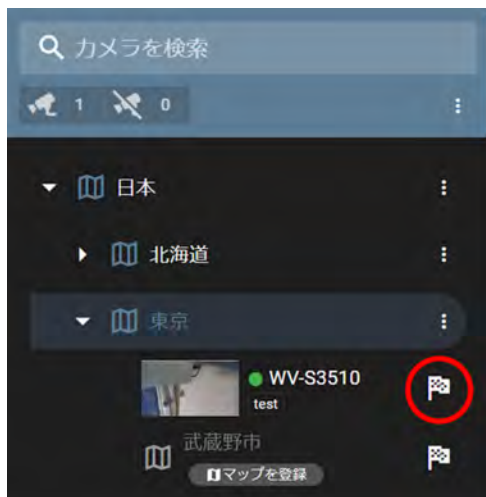
6 カメラアイコンにカーソルを合わせると、登録したカメラのサムネイルが表示されることを確認します。

サムネイルをクリックするとカメラ詳細ページが開きます。



マップからカメラを変更/削除する

変更/削除したいカメラの旗印のアイコン をクリックします。



カメラアイコンを変更する

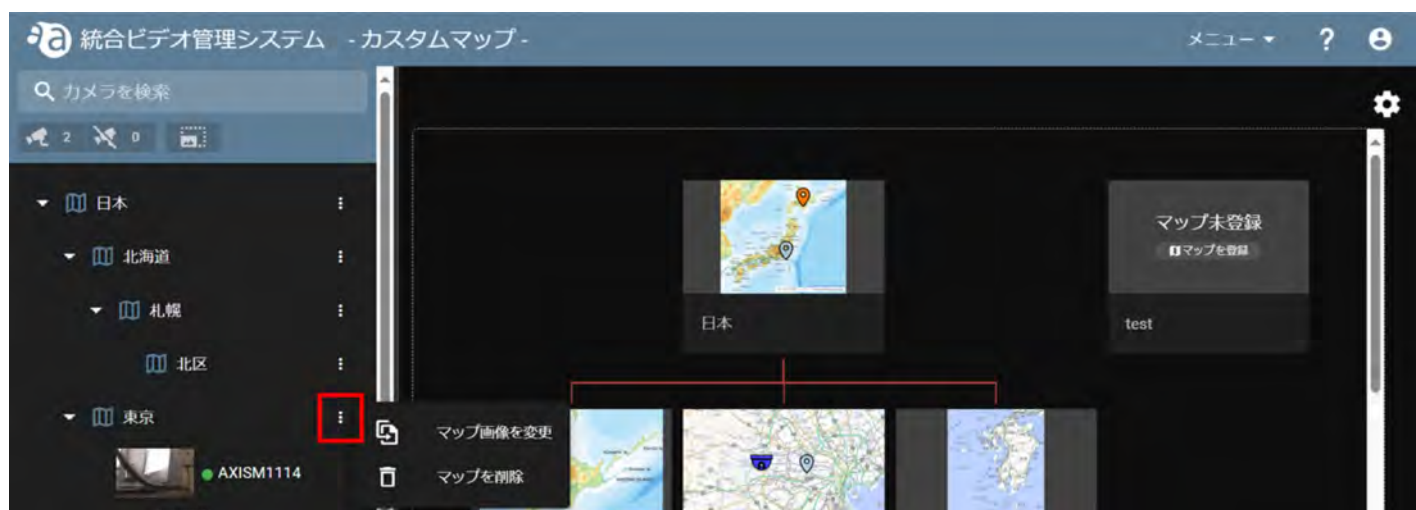


カメラアイコンを削除する



カスタムマップの画像を変更/削除する

変更/削除したいカスタムマップの 三点のアイコンをクリックします。



マップ画像の変更



マップ画像の削除



マップ上でのカメライベントを検知する

2024年7月12日

イベント通知を設定している場合、地図上のカメラアイコンが点滅してイベントの発生状況を確認することができます。

! WARNING

この機能を有効にするには、事前にイベント通知設定をする必要があります。

(参照『[イベント通知設定をする](#)』)



イベントを検知した場合、ポップアップ画面に  アイコンが表示され、クリックするとイベント一覧ページが開きます。(サムネイルをクリックした場合は、カメラ詳細ページが開きます。)



💡 イベント情報を表示しない場合

カスタムマップ設定にてイベント表示を無効にしてください。

(参照『[イベント情報の表示切替をする](#)』)



上位のマップから下位のマップを開く

2024年7月12日

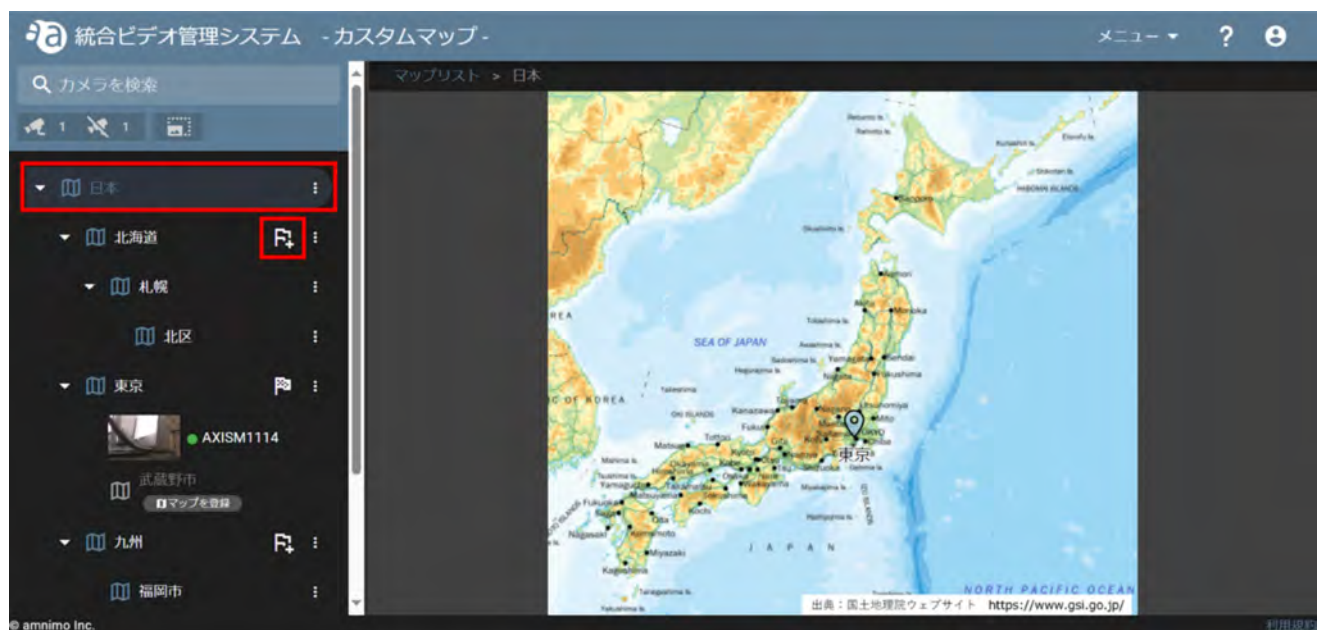
上位のマップをクリックしたときに、下位のマップがポップアップで開くように設定します。

たとえば、日本の地図を開いて、地図上の北海道をクリックした場合に、「北海道」の地図がポップアップするように設定できます。

また、ポップアップした地図をクリックすることで下位のマップが開かれ、地図上のカメラを探すこともできます。

1 上位マップのあるフォルダをクリックし、下位のマップがあるフォルダの旗印アイコンをクリックします。

本例では、日本のフォルダをクリックしたときに北海道のフォルダに表示される旗印アイコンをクリックします。



2 「マップオブジェクト設定」にて、下記を設定します。

- ・ マーカー：マーカーのアイコンを「アイコン」か「エリア」から選択します。
- ・ 色：マーカーの色を選択します。
- ・ 名前の表示：マーカーの名前の表示有無を選択します。
- ・ サイズ：アイコンのサイズを調整します。



アイコンで設定する



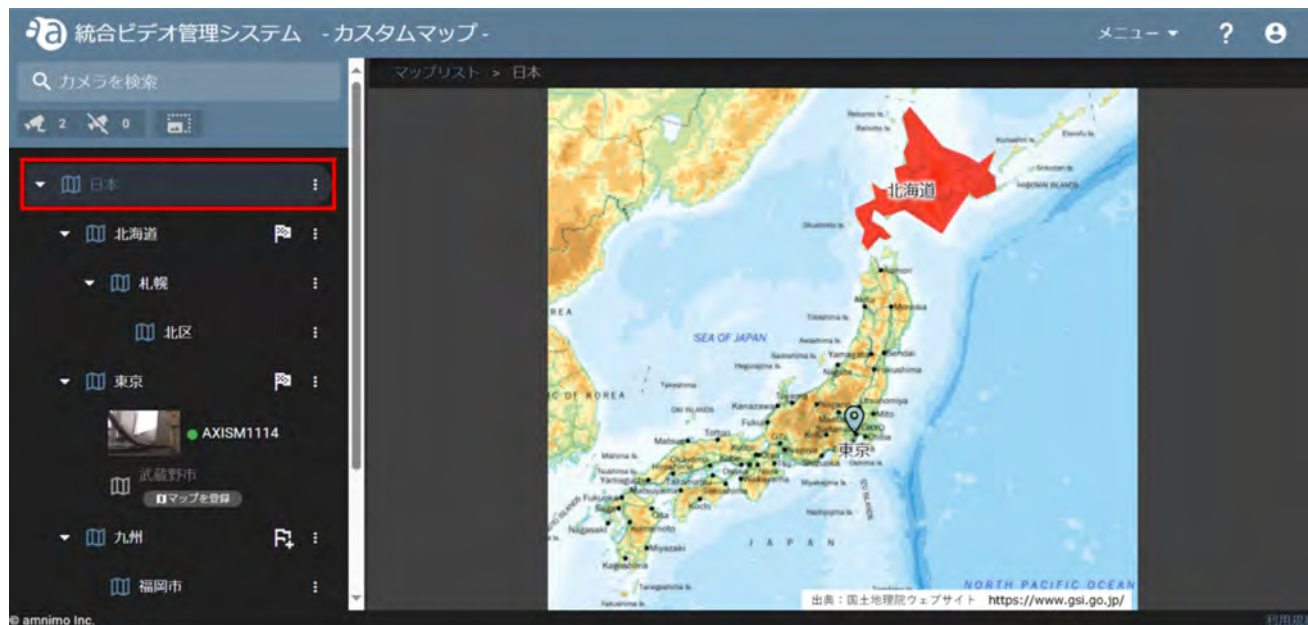
エリアで設定する



エリアやアイコンを変更/削除する

2024年7月12日

1 変更/削除したいエリアやアイコンが表示されるようカスタムマップを開きます。



2 エリアやアイコンにカーソルを合わせると、下位の地図がポップアップされるので、編集アイコン または ごみ箱アイコン をクリックします。



変更する



削除する



いろいろな場所からカスタムマップを開く

2024年7月12日

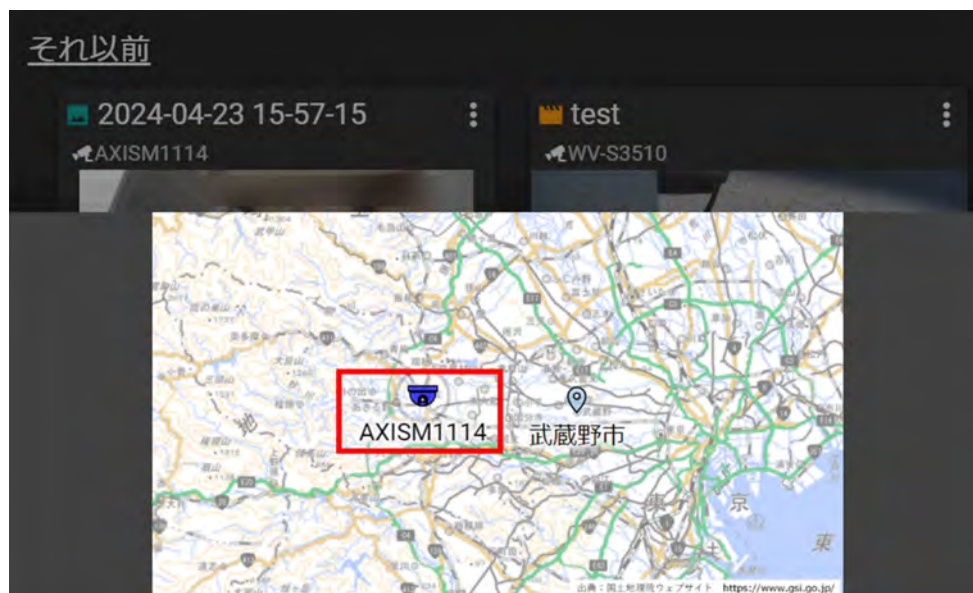
カスタムマップビューは、複数の場所から開くことができます。

【クラウド保存動画 / 画像】メニューから開く

- 1 【クラウド保存動画/画像】内のサムネイル内の[⋮]から、【マップ位置】をクリックします。

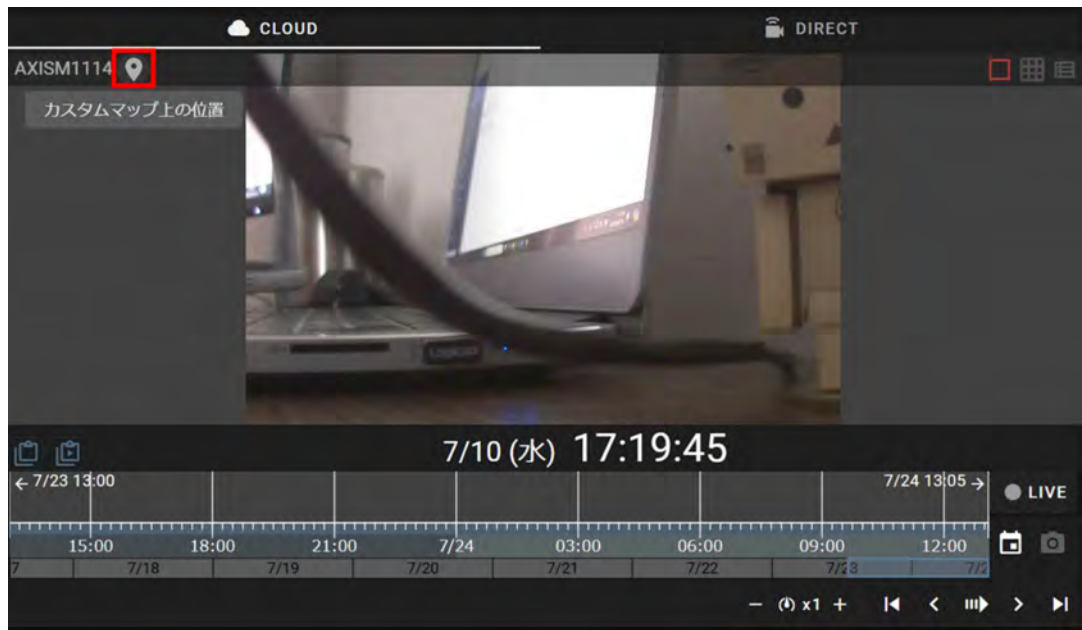


- 2 カメラがプロットされているカスタムマップが開きます。



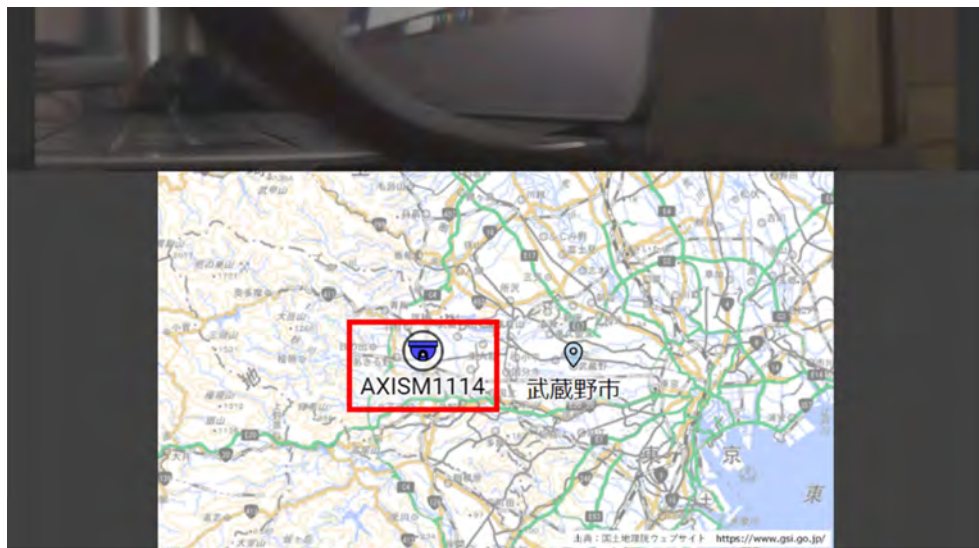
選択したカメラから開く（CLOUD/DIRECT）

- 1 カメラ詳細画面からカメラを選択して、マップアイコンをクリックします。



2

カメラがプロットされているカスタムマップが開きます。



タイムラプス動画を作成する

2024年7月12日

タイムラプス動画作成機能では、指定した条件に合わせて収集したサムネイルを利用し、タイムラプス動画を作成することが出来ます。

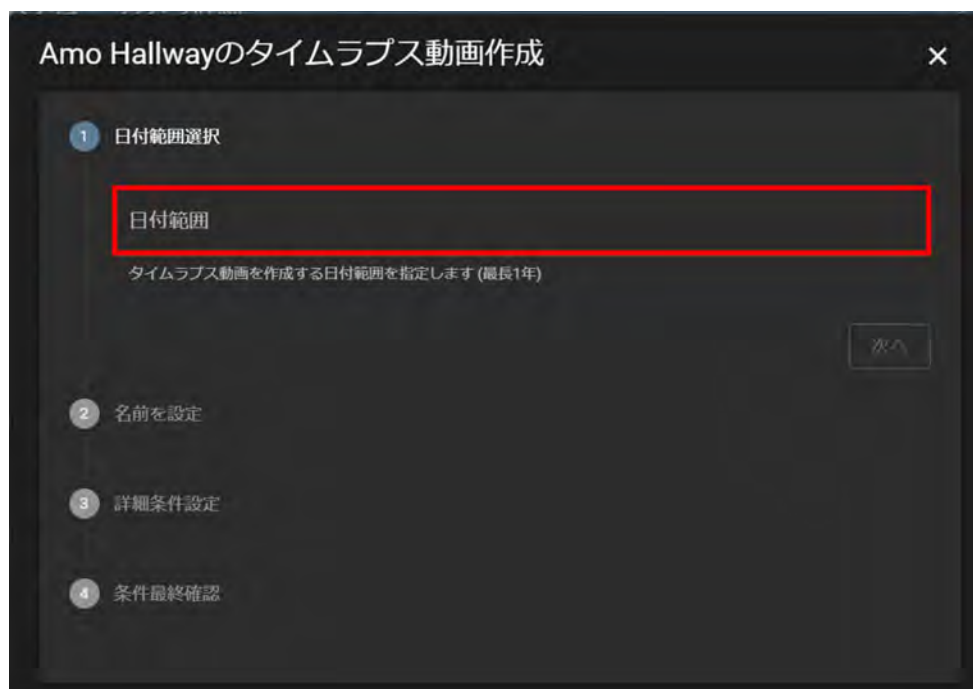
! WARNING

- ・ タイムラプス動画作成（ベータ機能）は正式版ではないため、サポートの対象外です。
- ・ ご使用にあたり、予期せぬ不具合が発生する可能性があることをご了承ください。

- 1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[タイムラプス動画作成] をクリックします。



- 2 タイムラプス動画作成画面が表示されるので、日付範囲選択にて [日付範囲] をクリックします。



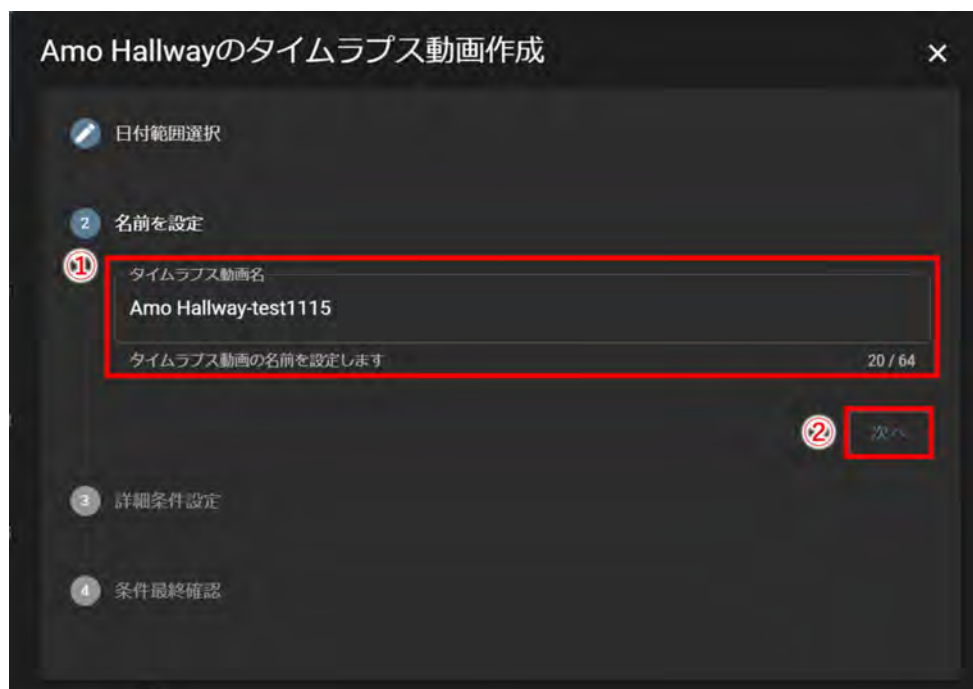
表示されたカレンダーにてタイムラプス動画を作成する日付範囲を指定し (①)、「次へ」をクリックします (②)。

設定可能な日付範囲は最長 1 年です。



タイムラプス動画の名前を設定し (①)、「次へ」をクリックします (②)。

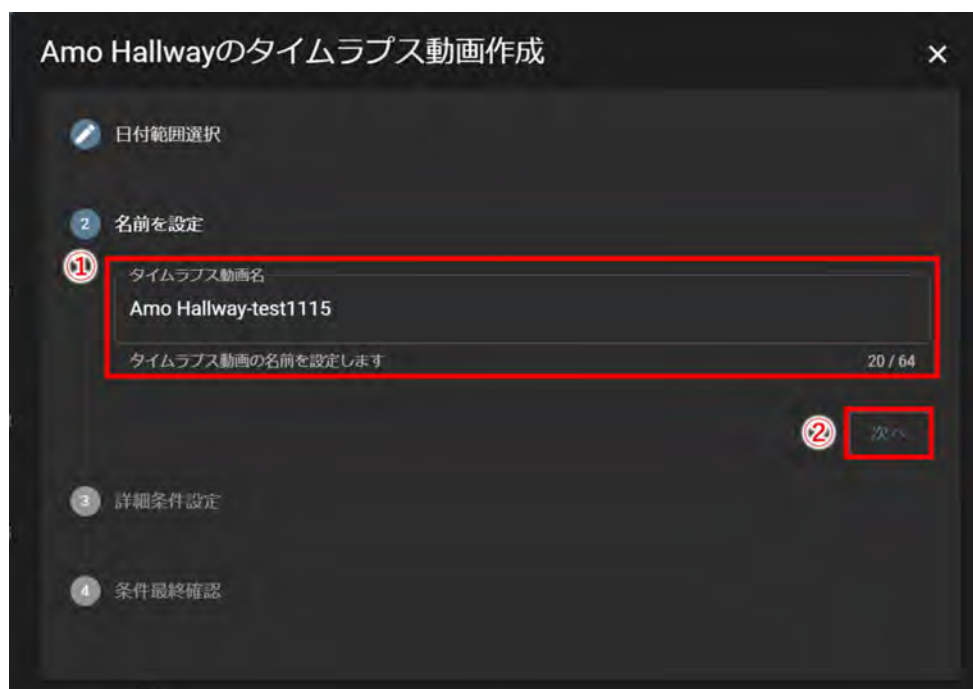
タイムラプス動画の名前はデフォルトがカメラ表示名になっています。最大で64文字設定可能です。



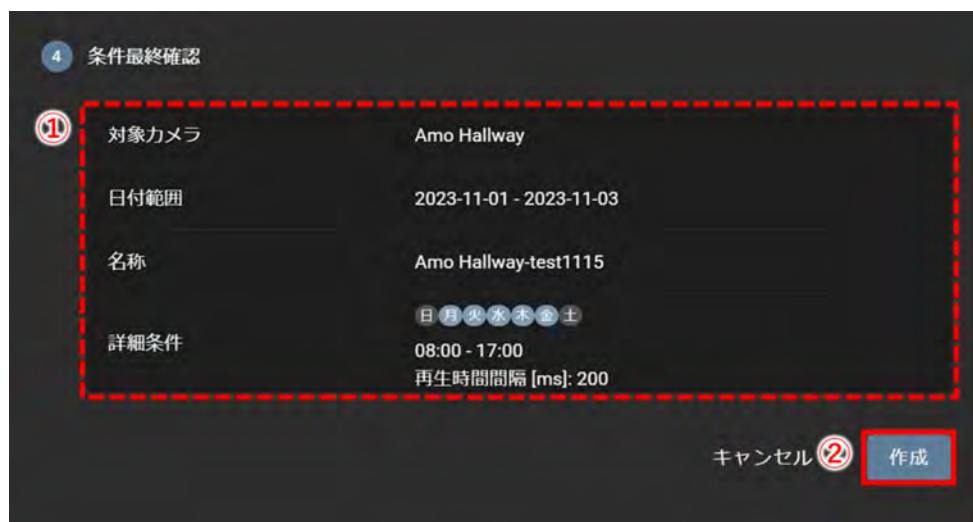
5 詳細条件を設定し（①）、[次へ]をクリックします（②）。

共通設定では、以下の設定が可能です。

曜日	タイムラプス作成対象の曜日
時間帯	タイムラプス取得対象の時間帯（30分間隔）
再生時間間隔	タイムラプス動画の各サムネイルの時間間隔（10ms間隔） 例：200msの場合、1秒間に5枚のサムネイルが表示。 ※作成されるタイムラプス動画の動画長に応じて設定可能な上限値は異なります。



6 設定した条件を確認し (①)、[作成] をクリックします (②)。



7 取得したタイムラプス動画は、[クラウド保存動画 / 画像ページ](#) で確認することができます。

クラウド保存動画 / 画像 ページは、メニューからアクセス可能です。

レポートを作成する

2024年7月12日

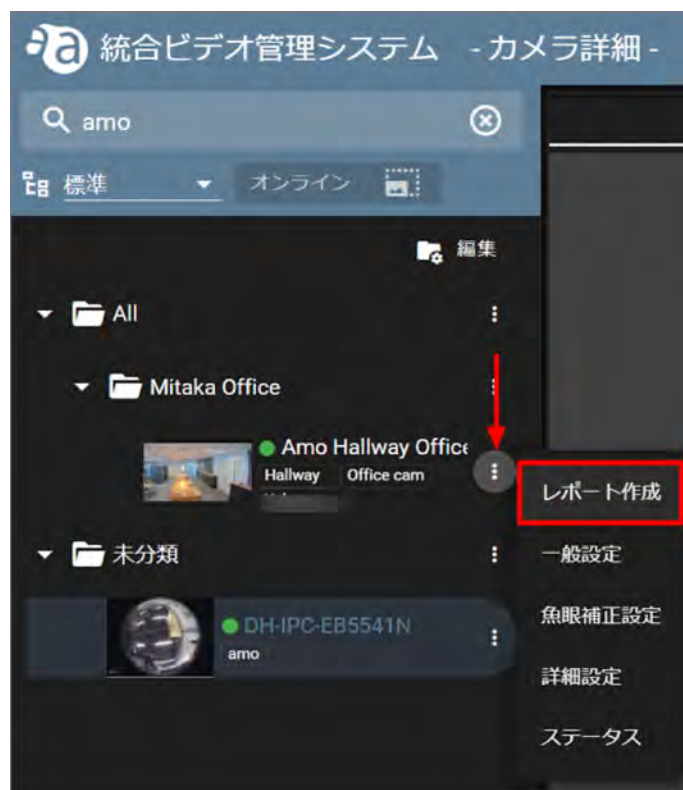
レポート作成機能では、取得したスナップショットを添付したレポートを作成することが出来ます。

! WARNING

- 本機能のご利用にはお申し込みが必要です。
- 作成したレポートは統合ビデオ管理システム上には保存されません。[キャンセル]をクリックすると記載した内容が失われます。
- レポートを保存したい場合は、[プレビュー/印刷]からPDFで保存するか、印刷をしてください。

直近に取得したサムネイルのレポートを作成する

- 1 対象のカメラの横のアイコンをクリックし、[レポート作成]をクリックします。



- 2 直近に取得されたサムネイル画像が自動で添付されたレポートが表示されるので、以下を入力します。

- ① **レポートタイトル** : レポートのタイトルを記載します。(30文字まで)
- ② **画像コメント** : 画像に対してコメントを記載します。(5行以内 100文字まで)

③ 全体報告事項 : 要約などを記載します。(10 行以内 500 文字まで)

レポート作成

レポートタイトル
2022-04-05

作成日時: 2022-04-05 (火) 13:12

報告者:

対象カメラと添付画像

カメラ名
Amo Hallway Office

フォルダ名
All > Mitaka Office

添付画像数
1

添付画像 1

画像撮影日時 2022/04/05 12:54 (18分前)

画像コメント
コメントを記入します

全体報告事項
要約などを記載します

キャンセル プレビュー/印刷

[プレビュー/印刷] をクリックすると、お使いのブラウザの機能でプレビュー/印刷画面が表示されます。ここからレポートを PDF で保存したり、印刷をしたりすることが出来ます。

印刷 2 枚

送信先 Adobe PDF

ページ すべて

カラー カラー

詳細設定

印刷 キャンセル

1. Amo Hallway Office

カメラ情報

テナント名	SubTenant2-QA team
ゲートウェイ名	eg10-alpine
タグ	[Hallway] [Office cam] [Yokogawa]
フォルダ名	[All] - [Mitaka Office]

添付画像

添付画像 1

画像撮影日時 2022-04-05 (火) 12:54:42

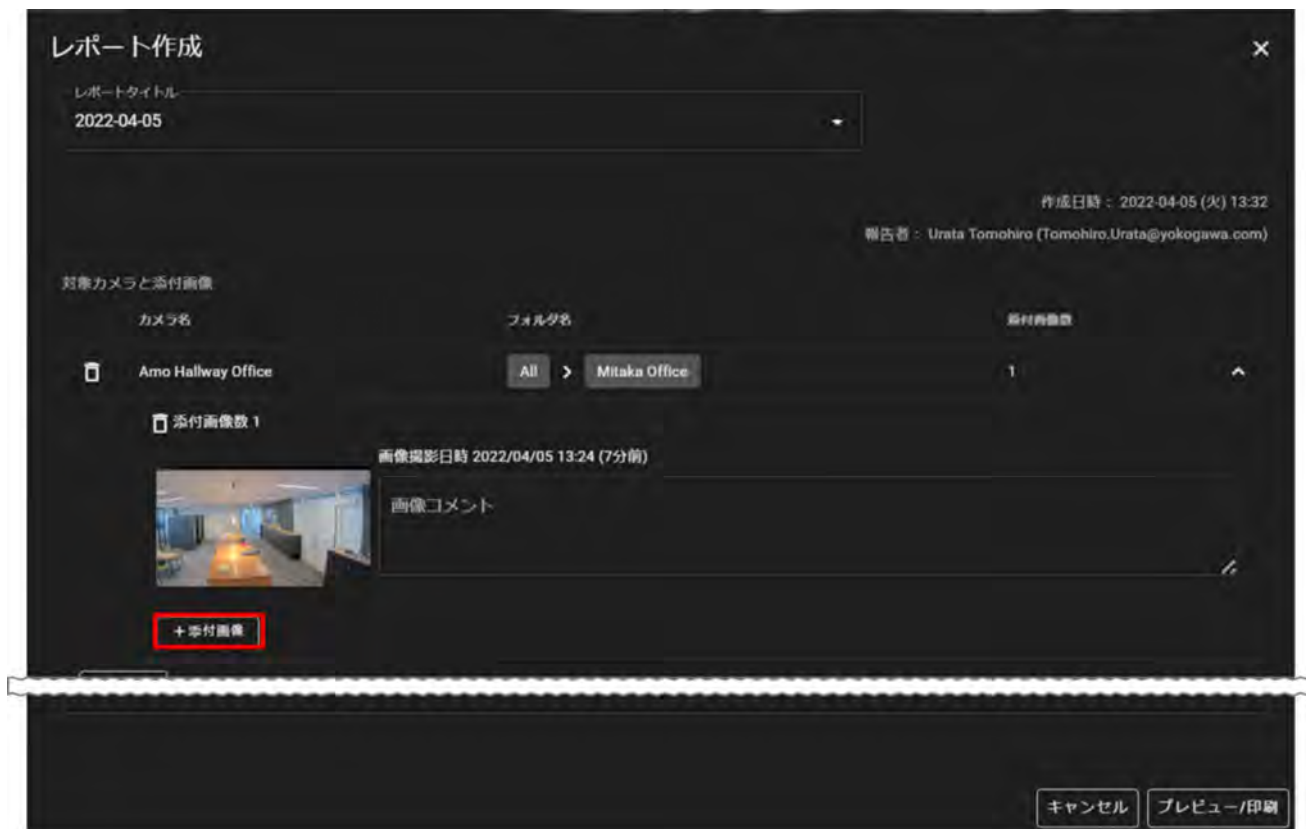
画像コメント コメントを記入します

Page 2

レポートに画像を追加する

各カメラに対して複数の画像を追加できます。（1 台のカメラにつき 10 画像まで）

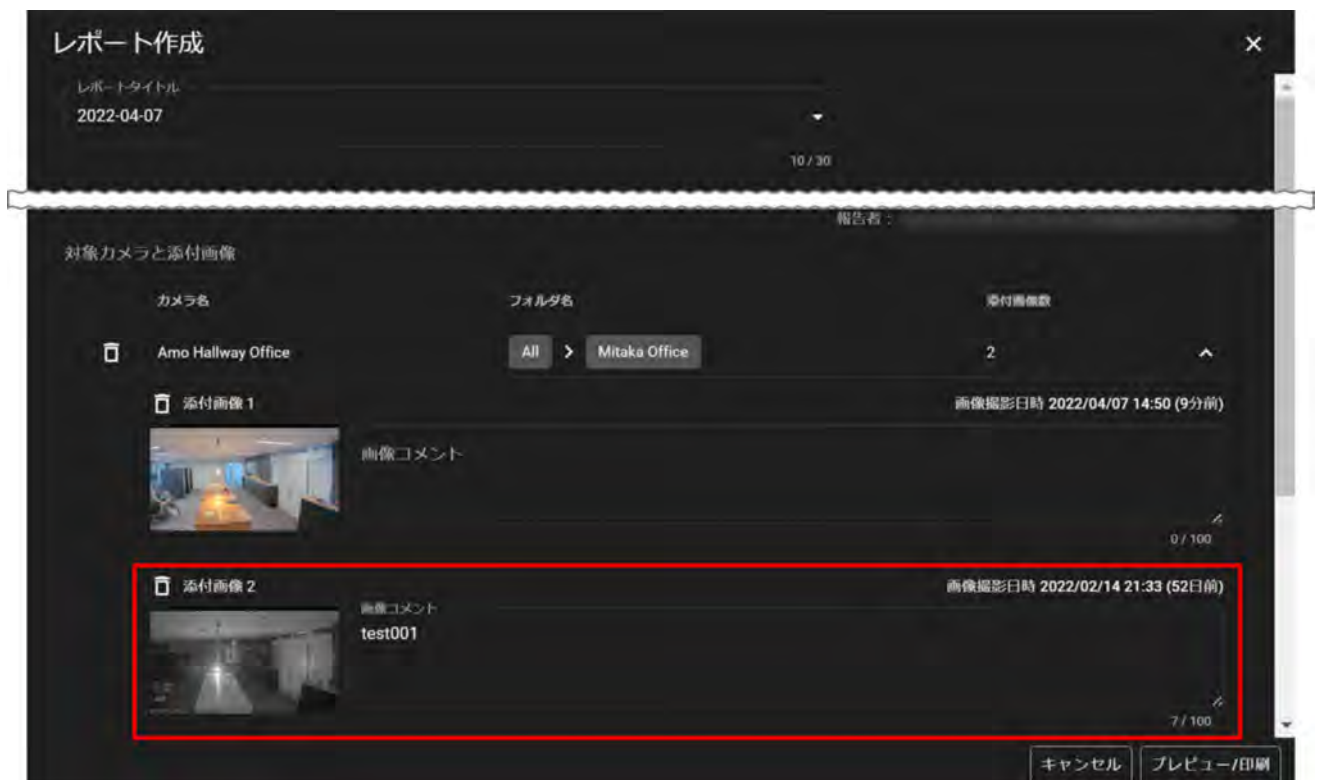
- 1 レポート作成画面で「+添付画像」をクリックします。



- 2 下図のように取得済みのサムネイルやスナップショットが表示されるので、添付したい画像をクリックします。



3 以下のように画像が追加されます。



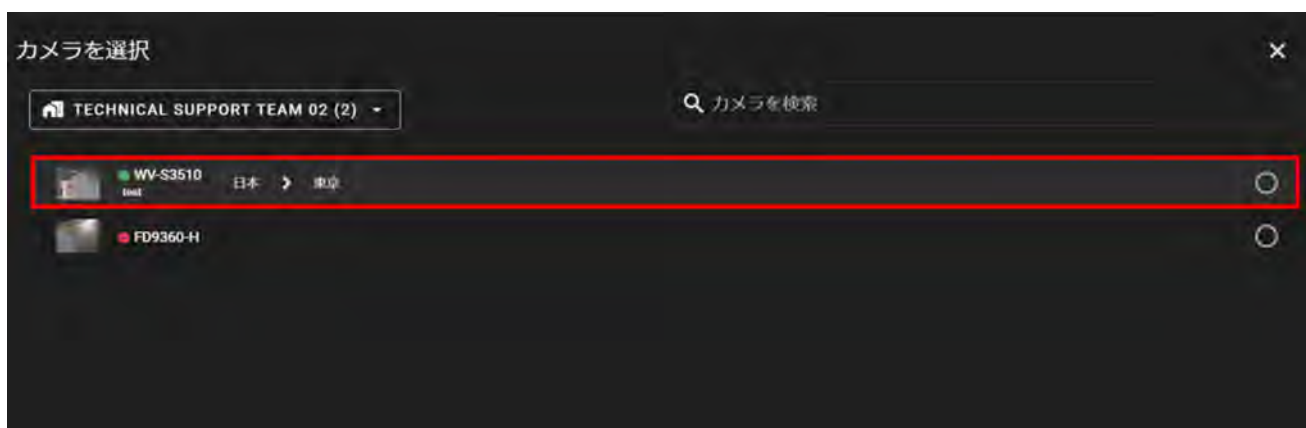
レポートに別のカメラを追加する

レポートには複数のカメラで取得した映像を含めることができます。（1 レポートにつき最大 20 台まで）

- 1 レポート作成画面で [+カメラ] をクリックします。



- 2 一覧から追加したいカメラ名を選択してクリックします。



- 3 下図のように、カメラが追加されます。



4

追加したカメラについても | + 添付画像 | から他の画像を追加することが出来ます。

レポートから画像やカメラを削除する

不要な画像やカメラは、削除アイコンからいつでも削除できます。※削除は警告なしで行われます。

画像を削除する場合



カメラを削除する場合



ビデオウォールにビューアー、カメラを追加する

2024年7月12日

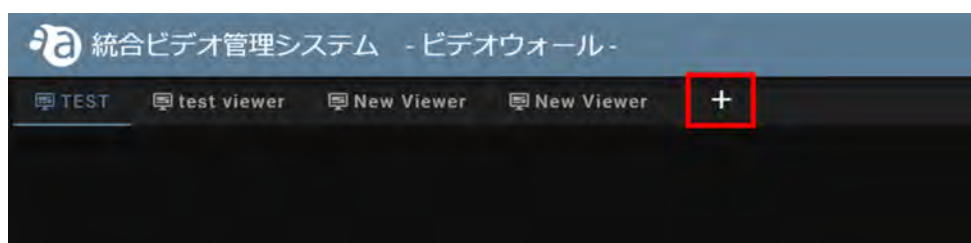
ビデオウォール画面では、カメラの映像を確認することができます。

ビューアーを追加する

ビデオウォールには、5 つまでビューアーを追加することが出来ます。

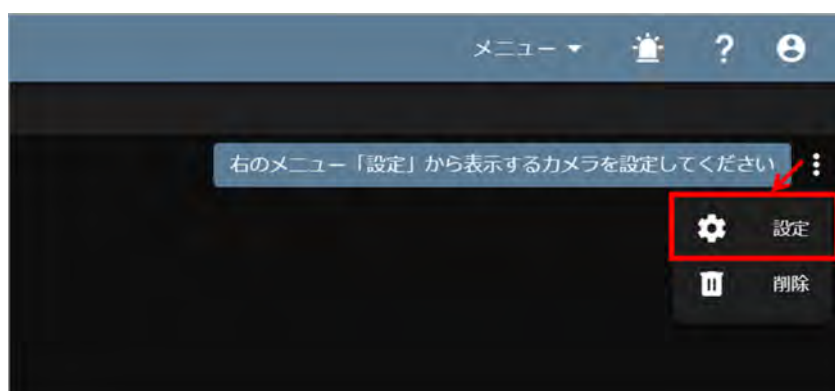
ビデオウォール画面を開き、画面上にある **+** をクリックします。

ビューアーが追加されると、[New Viewer] としてタブが追加されます。



ビューアーの設定（カメラ追加を含む）をする

ビューアーにカメラが追加されていない場合、以下の画面が表示されるので、画面右上のアイコンから「設定」をクリックします。



「ビューアー名」にビューアーの名前を入力 ①) します。「表示しないカメラ」リストから表示したいカメラを選択し、「表示するカメラ」リストへドラッグするか、+アイコンをクリックし ②)、保存します ③)。

※ 同様に、「表示するカメラ」から「表示しないカメラ」へカメラをドラッグするか、-アイコンをクリックすると、選択したカメラの映像はビューアーに表示されなくなります。



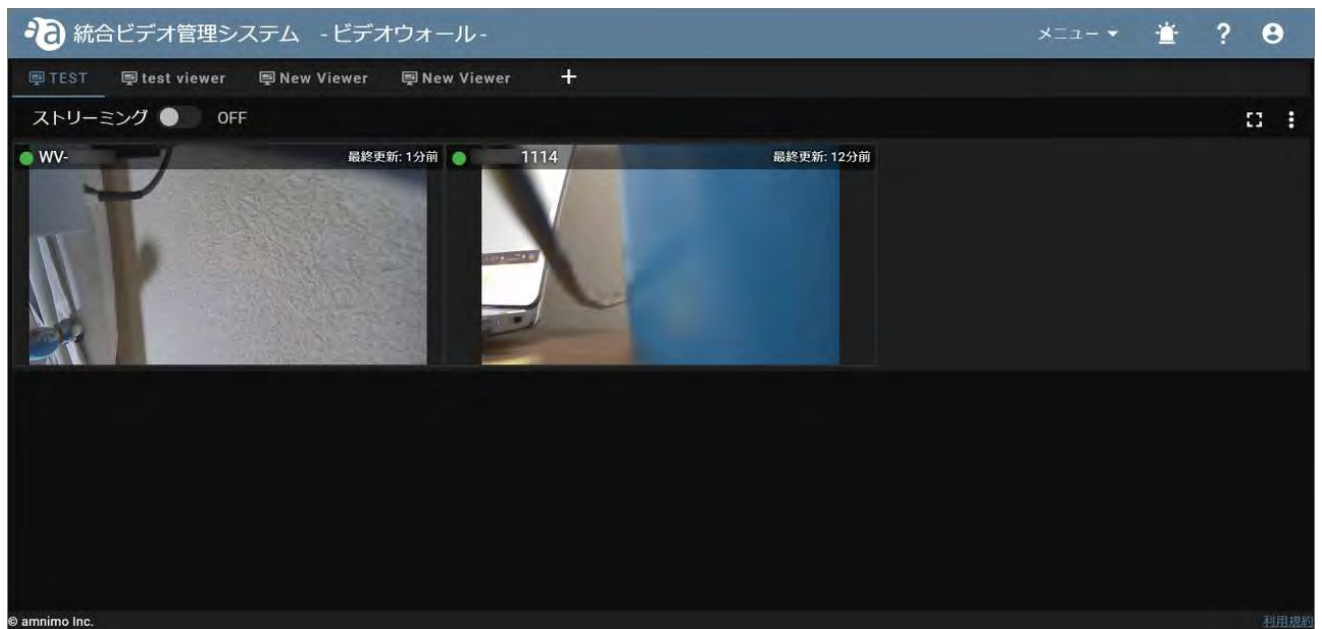
カメラの並べ替え

カメラ名の表示

カメラ名を重ねて表示

3

追加したカメラが、新しいビューアーに表示されていることを確認します。

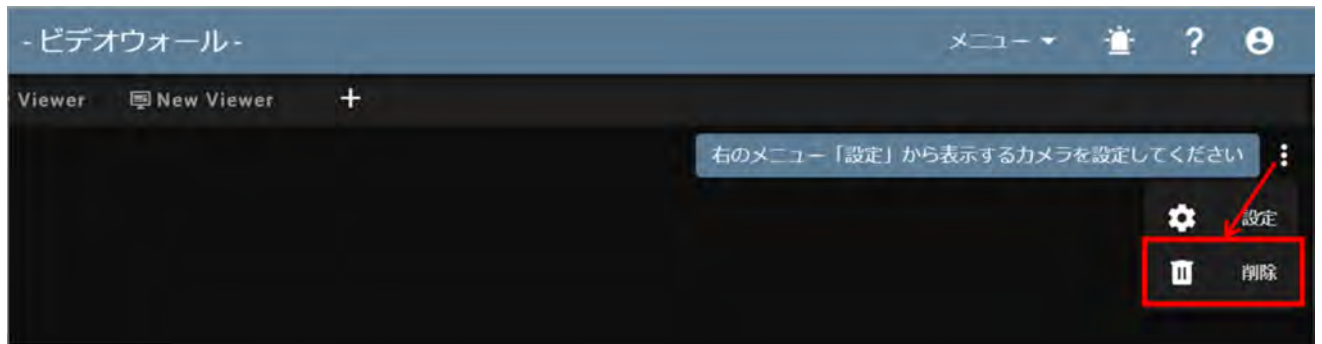


ビューアーを削除する

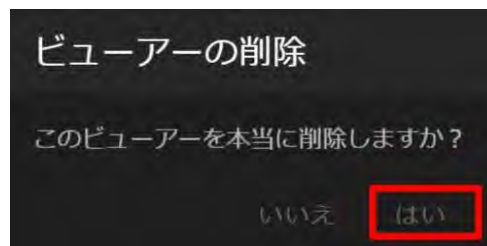
2024年7月12日

不要なビューアーは以下の手順で削除を行います。

- 1 削除したいビューアーを開き、画面右上のアイコンから「削除」をクリックします。



- 2 確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



サムネイルの配置と画面の切り替え速度を変更する

2024年7月12日

ビデオウォール画面に表示されるサムネイルを、行・列それぞれ幾つ配置するかの設定が出来ます。

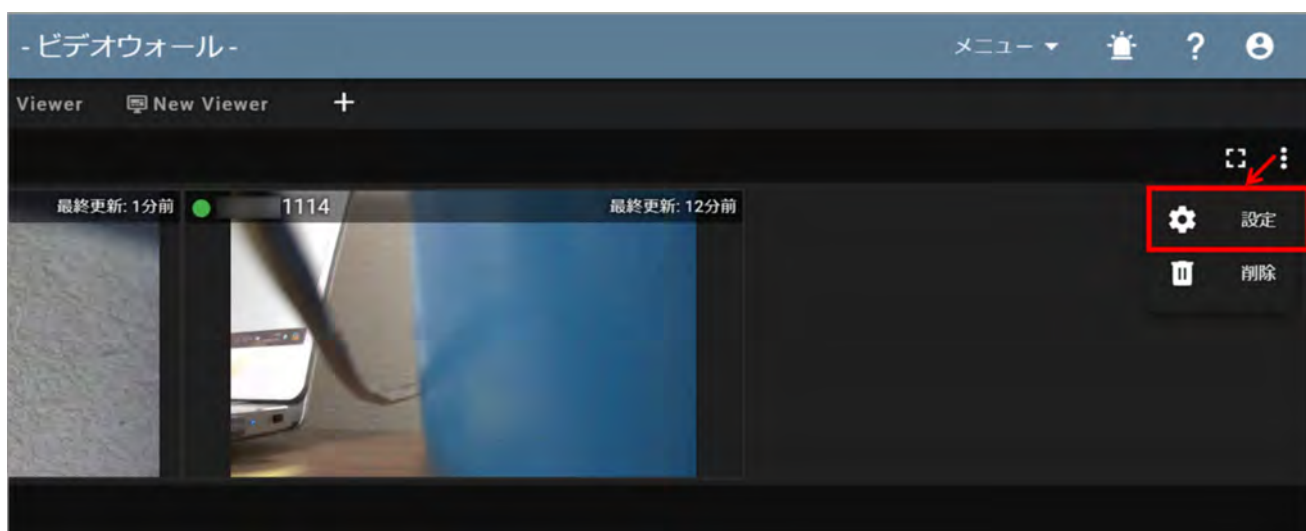
表示するサムネイルの数やサイズによっては、同一ビデオウォール内で複数ページに渡る場合があります。その場合、画面を切り替える速度を設定出来ます。

初期の値では、以下のように設定されています。

- サムネイルの表示：2行×3列
- 画面切り替え速度：5秒

初期値は以下の手順で変更することが出来ます。

1 変更を行いたいビューアーを開き、画面右上のアイコンから「設定」をクリックします。



2 サムネイルの配置（行・列）および、画面の切り替え速度を選択したら、「保存」をクリックして設定を保存します。

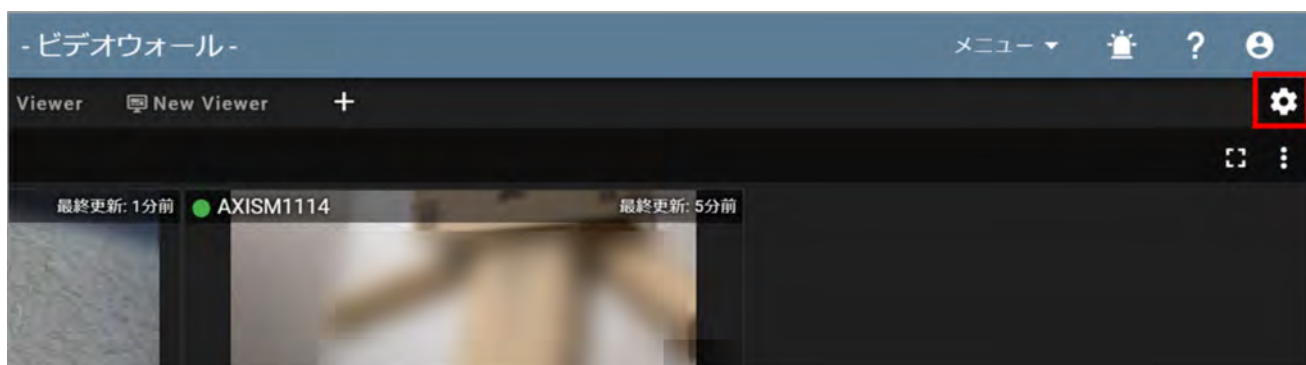


ビデオウォールの設定をする

2024年7月12日

ビデオウォール画面を開いた際に表示される初期表示ビューアーの指定ができます。また、フルスクリーンモードにするか設定することができます。

- 1 画面右上の歯車アイコンをクリックします。



- 2 「ビデオウォール表示設定」のポップアップが表示されるので、設定内容を選択します。



初期表示ビューアー

フルスクリーンでビデオウォールを開く

- 3 設定が完了したら、「ビデオウォール表示設定」のポップアップを閉じます。



ビデオウォール画面の再生

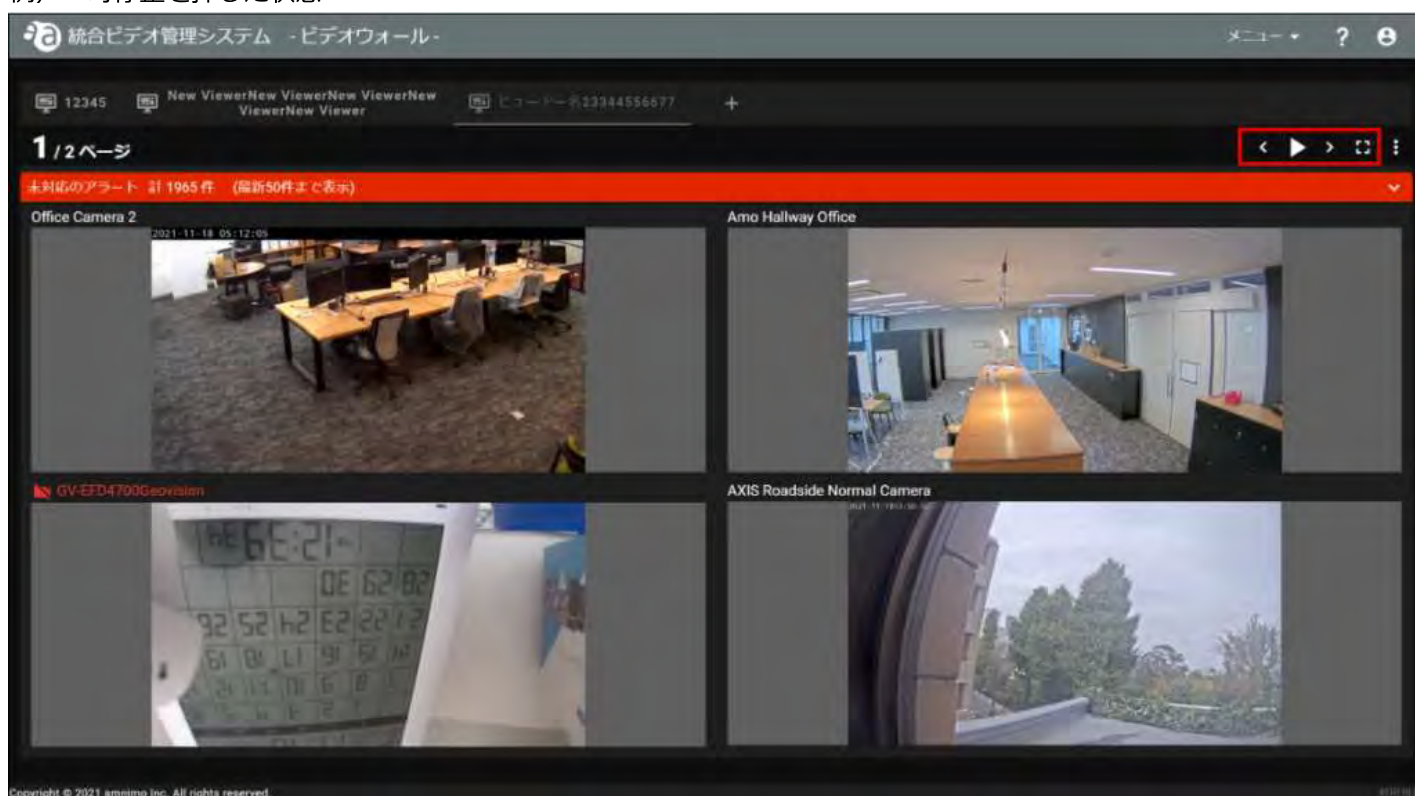
2024年7月12日

ビデオウォール画面は一時停止やページ送りをすることが出来ます。ここでは、ビデオウォール画面の操作について説明します。

ビデオウォール画面には以下のような操作ボタンがあります。

-  : 一時停止（再生時に表示されます）
-  : 再生（一時停止時に表示されます）
-  : 前のページに戻ります
-  : 次のページに進みます
-  : 全画面表示（F11 または ESC キーを押すと元のサイズに戻ります）

例）一時停止を押した状態



ストリーミング機能を有効にする

2024年7月12日

ストリーミング機能をONにすると、ビデオウォールでライブ映像を閲覧できます。

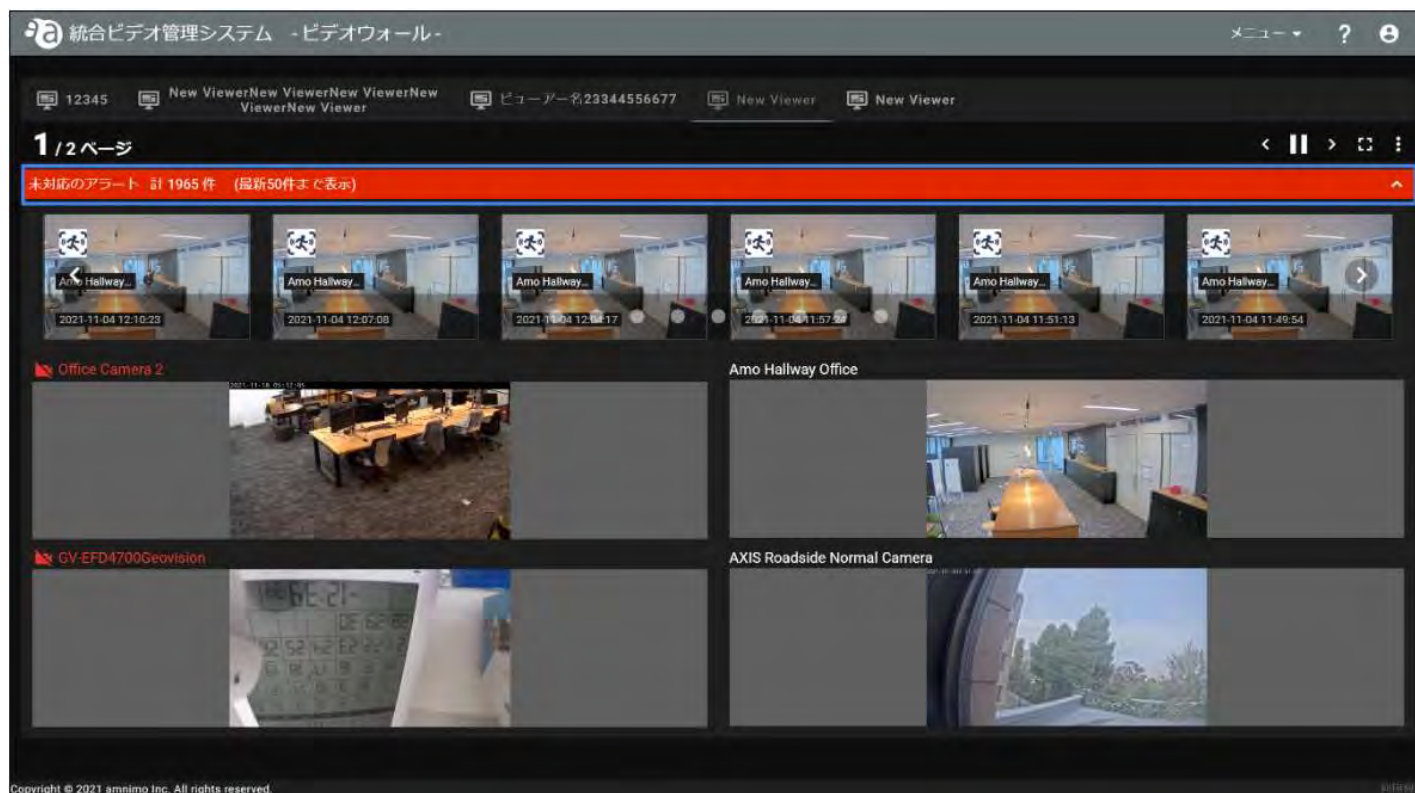


未対応のアラート

2024年7月12日

ビデオウォール画面で、[未対応のアラート]が表示されている場合、赤いバー（図の青枠）をクリックするとイベントが検出されている映像のサムネイルが表示されます。（最新 50 件まで表示）

また、個々のサムネイルをクリックすると、[イベント一覧]画面へ遷移し、詳細な内容を確認することができます。



< イベント一覧画面 > イベントについての詳細は [イベント一覧画面の操作] をご確認ください。

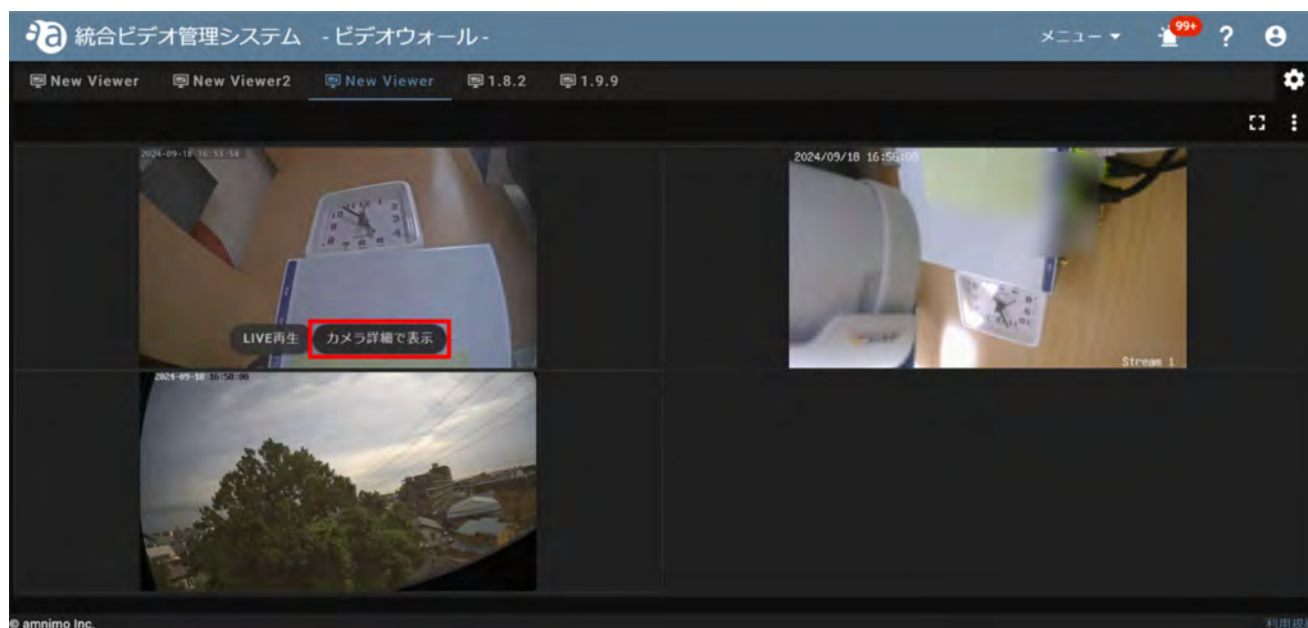
Copyright © 2021 animapix inc. All rights reserved.

ビデオウォールからカメラ詳細画面に遷移する

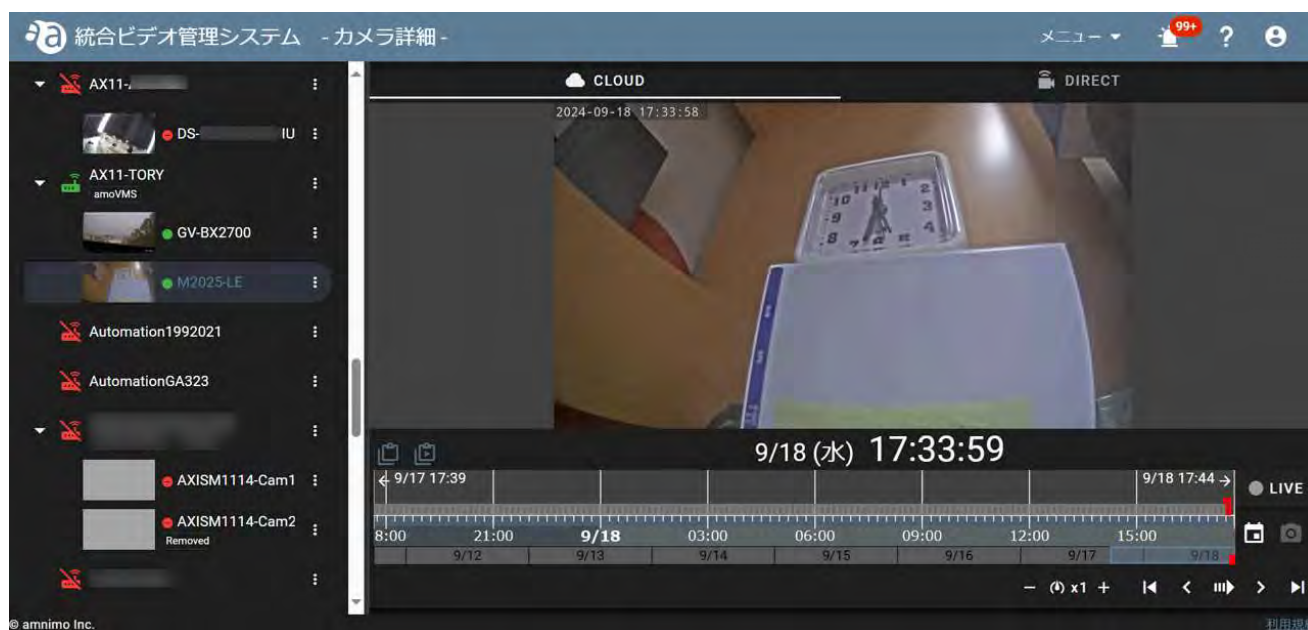
2024年10月9日

ビデオウォールからカメラ詳細画面へ遷移することが出来ます。

カメラ詳細を表示したいカメラのエリアでマウスを動かして、表示された「カメラ詳細で表示」をクリックします。



カメラ詳細画面が表示されます。



保存された動画や画像を再生する

2024年7月12日

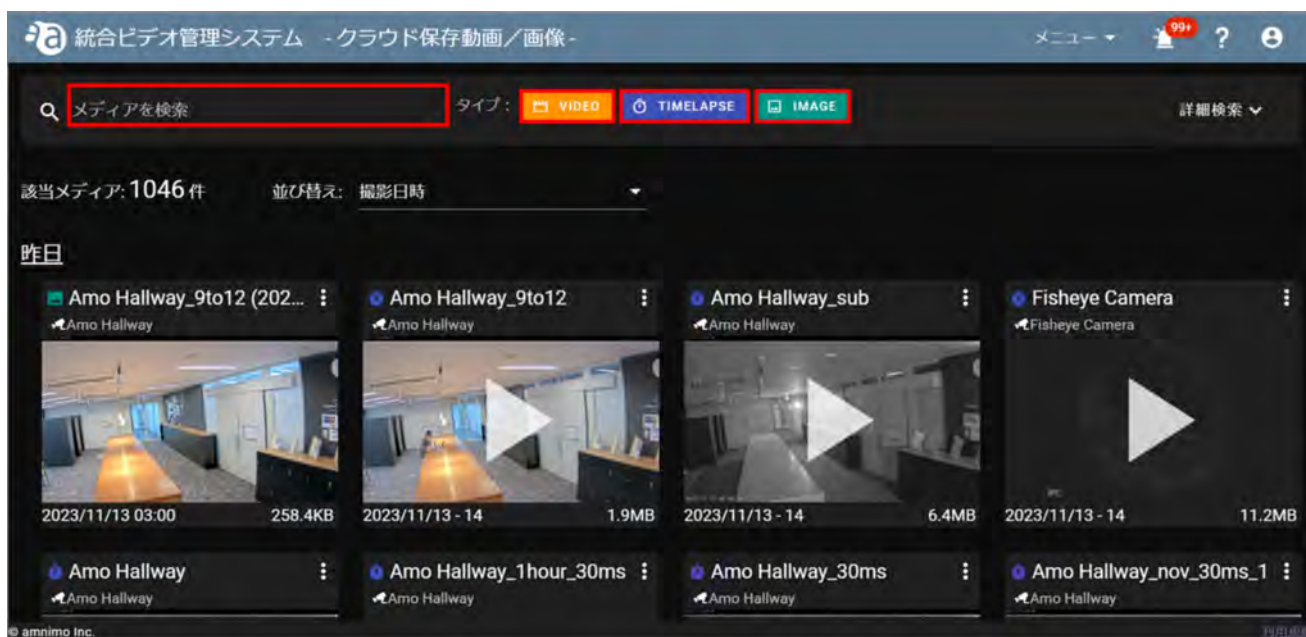
クラウド保存動画 / 画像画面では、クラウドに保存されている動画・画像を確認することができます。



動画と画像を再生する

1 確認したい動画 / 画像を検索し、表示します。

動画名 / 画像名、タイプ（動画 / タイムラプス動画 / 画像）でフィルタリングすることができます。



サムネイルをクリックすると、ポップアップで、動画 / 画像が表示されます。

< 動画 / タイムラプス動画 の操作 >

- ① スライダーを動かすと、映像が拡大したり縮小したりします。
- ② 左から、30 秒戻す、5 秒戻す、一時停止、5 秒進む、30 秒進めることができます。



動画をカメラ詳細ページで再生する

2024年7月12日

取得したビデオクリップの開始時間からの過去映像を カメラ詳細ページで再生することが出来ます。

NOTE

ご利用するデバイスにより、再生時のモードが異なります。

- アムニモポータブル：CLOUDモード
(録画データがクラウドに存在しない場合は再生できません。)
- アムニモポータブル以外：DIRECTモード
(録画データがデバイスに存在しない場合は再生できません。)

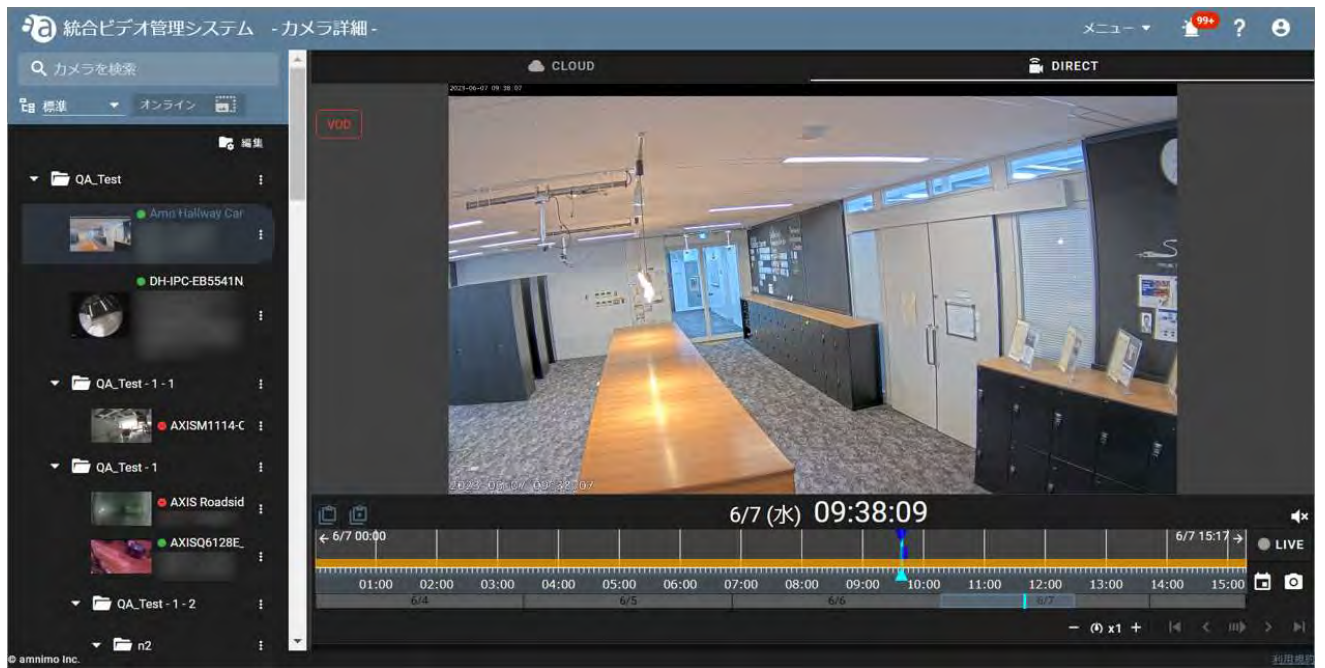
再生したい動画のサムネイルの右上にあるアイコンをクリックし、「カメラ詳細ページで再生」をクリックします。



カメラ詳細ページに自動で遷移し、Direct モードで映像が再生されます。

NOTE

アムニモポータブルをご利用の場合は、CLOUDモードで映像が再生されます。

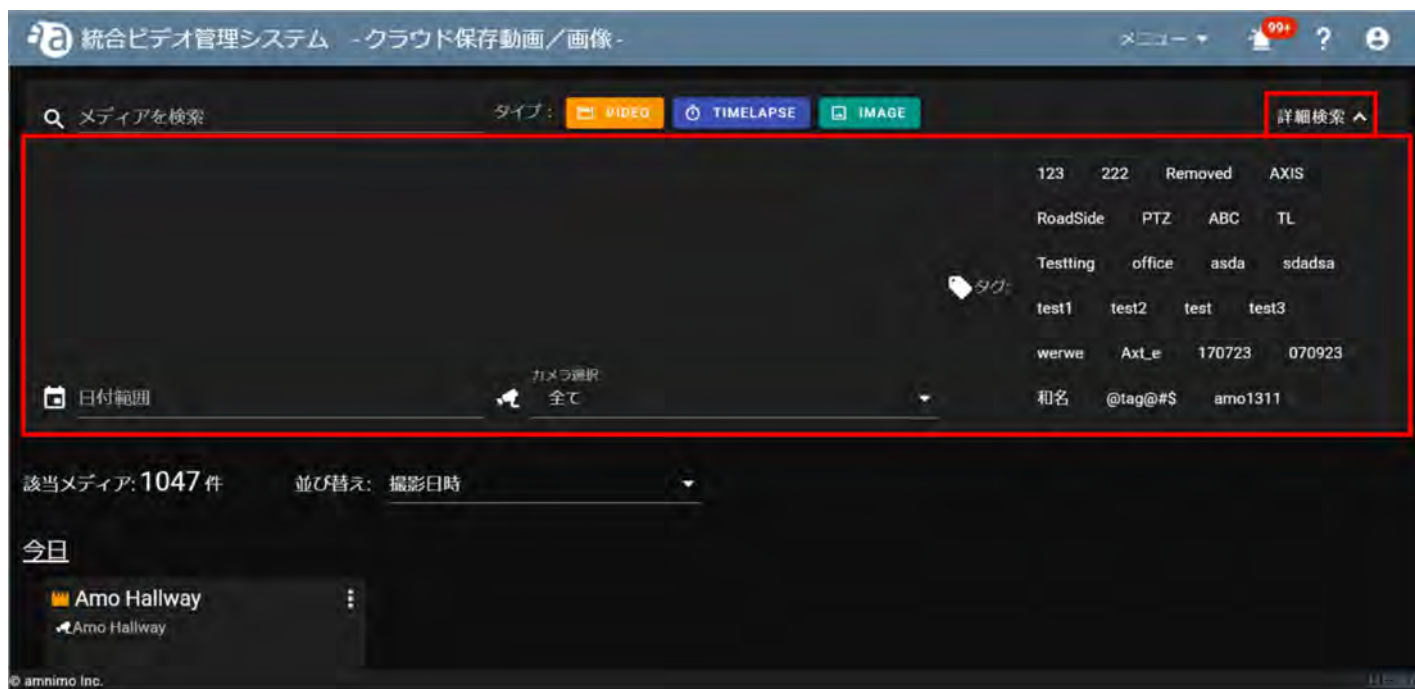


動画 や画像を詳細検索する

2024年7月12日

動画や画像は、日付やカメラで絞って検索することができます。

[詳細検索] をクリックし、探したい日付やカメラ、タグ等を選択すると即座に該当する動画や画像が表示されます。



保存された動画の音声を再生する

2024年7月12日

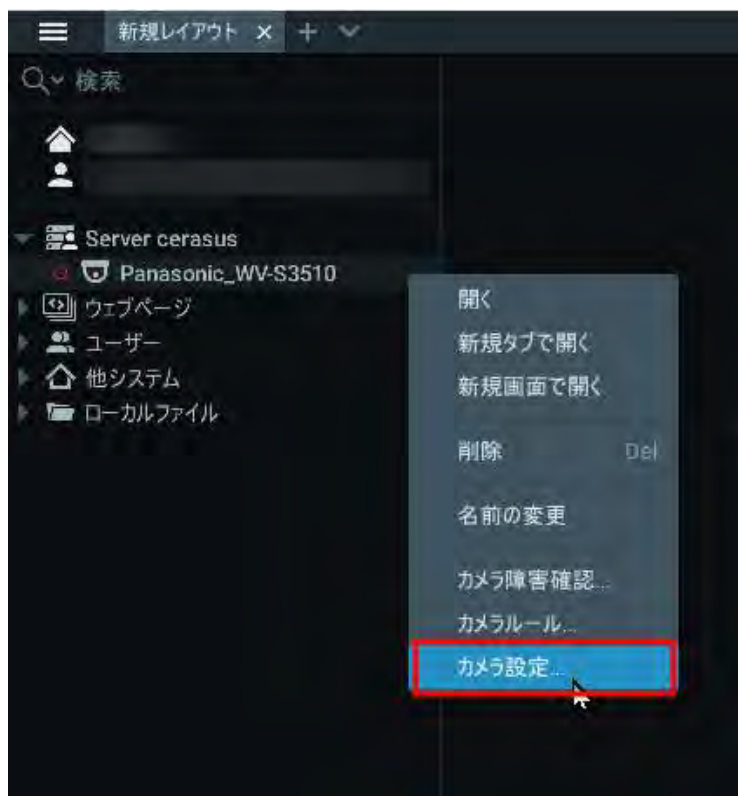
保存した動画に音声録音されていた場合、映像と一緒に再生することができます。

NOTE

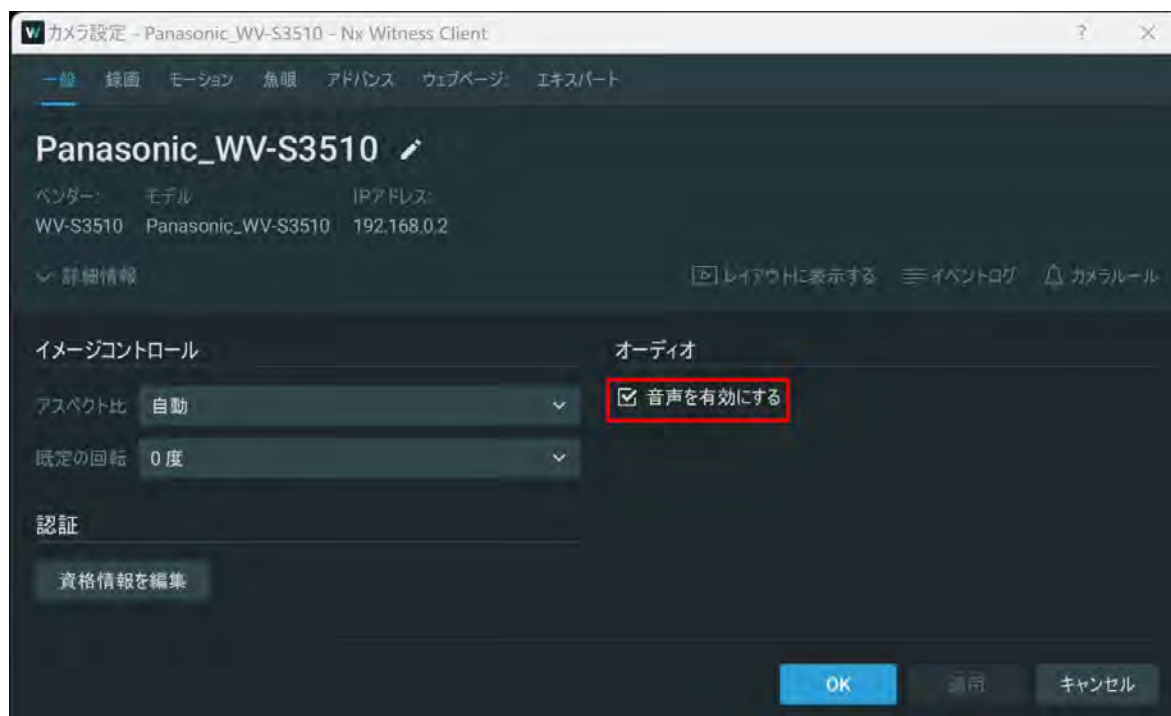
事前に NxWitness で音声を有効にし、録音しておく必要があります。

Nx Witness での設定

- 1 Nx Witness デスクトップクライアントを開きます。
- 2 カメラを右クリックし、[カメラ設定]をクリックします。



- 3 [音声を有効にする]にチェックを入れ[OK]をクリックします。



ボリュームをコントロールする

保存された動画を開き、図のボリュームコントロールで音声の大きさを調節できます。また、ボリューム調節アイコンをクリックするとミュート（消音）することが出来ます。



動画や画像をダウンロードする

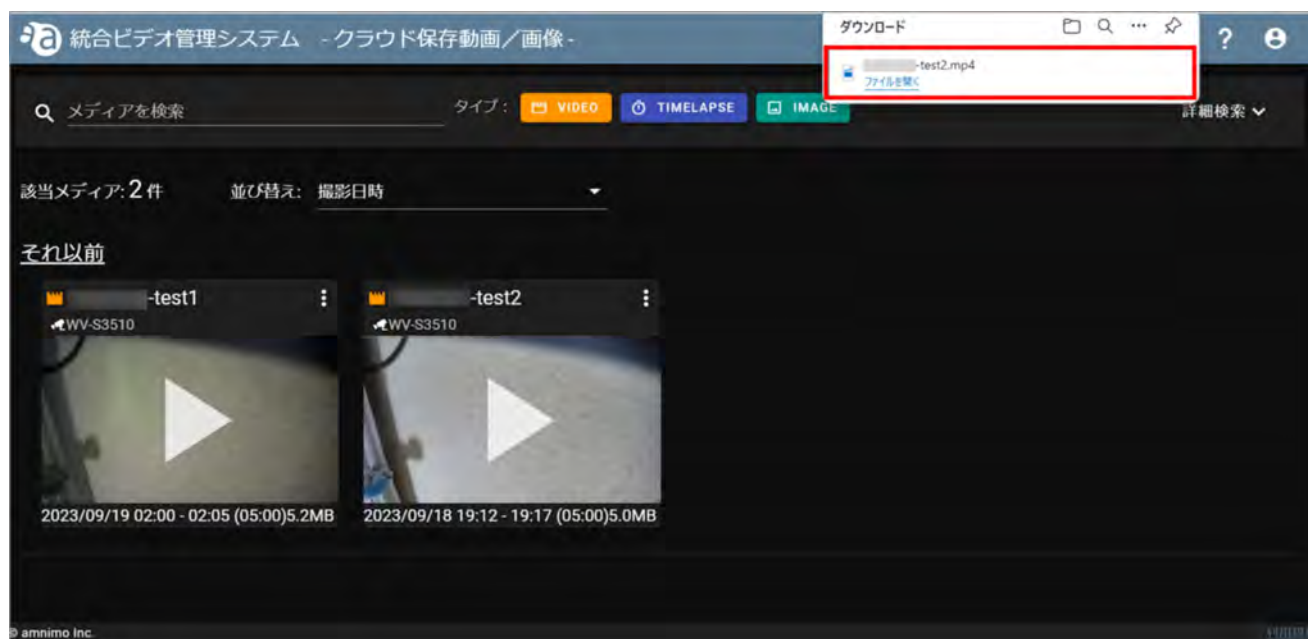
2024年7月12日

ダウンロードしたい動画 / 画像 のサムネイルの右上にあるアイコンをクリックし、「ダウンロード」をクリックします。



動画 / 画像がローカルパソコンにダウンロードされます。

動画の場合 mp4 形式、画像の場合 jpg 形式でダウンロードされます。



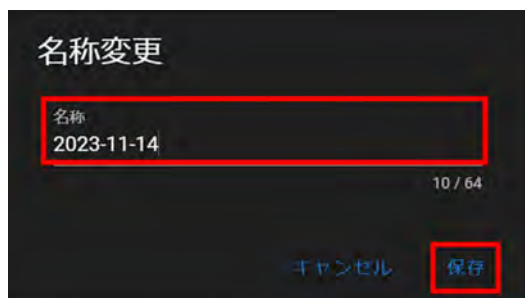
動画や画像の名前を変更する

2024年7月12日

1 名前の変更をしたい動画 / 画像のサムネイルの右上にあるアイコンをクリックし、[名称変更] をクリックします。



2 [名称変更] 画面が表示されるので、名称を変更します。



3 動画 / 画像の名称が変更されたことを確認します。

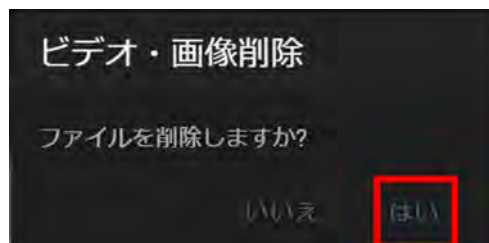
動画や画像を削除する

2024年7月12日

1 削除したい動画 / 画像のサムネイルの右上にあるアイコンをクリックし、「削除」をクリックします。



2 「はい」をクリックすると、動画 / 画像が削除されます。



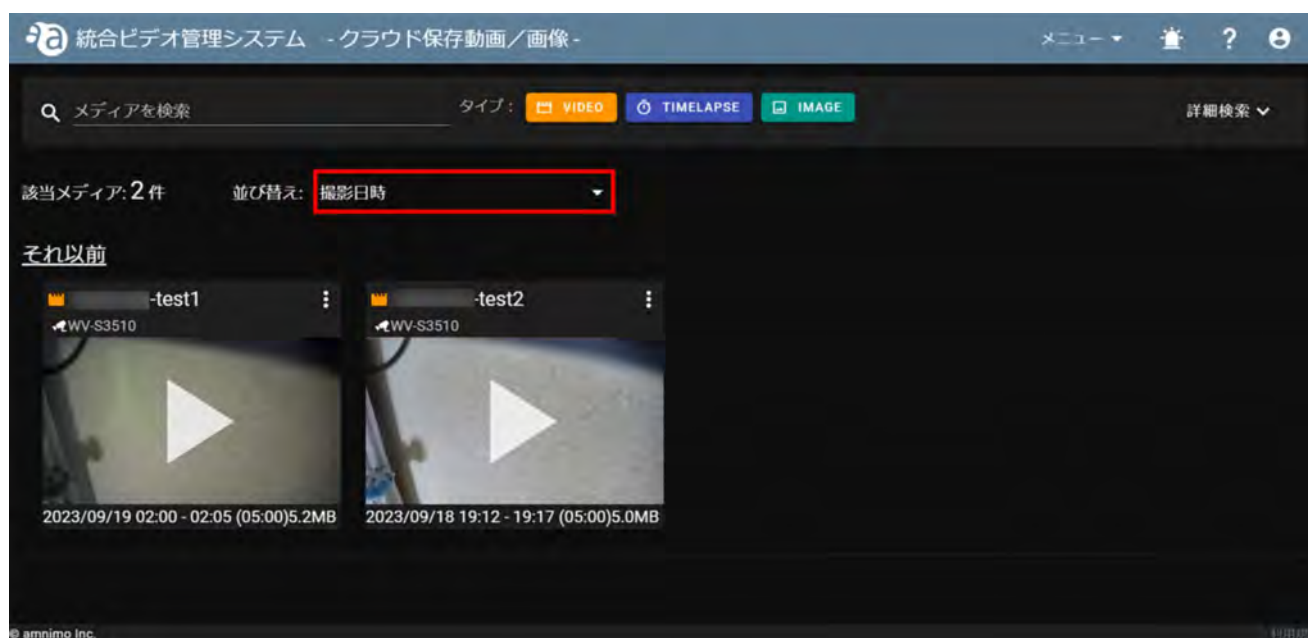
動画や画像を並び替える

2024年7月12日

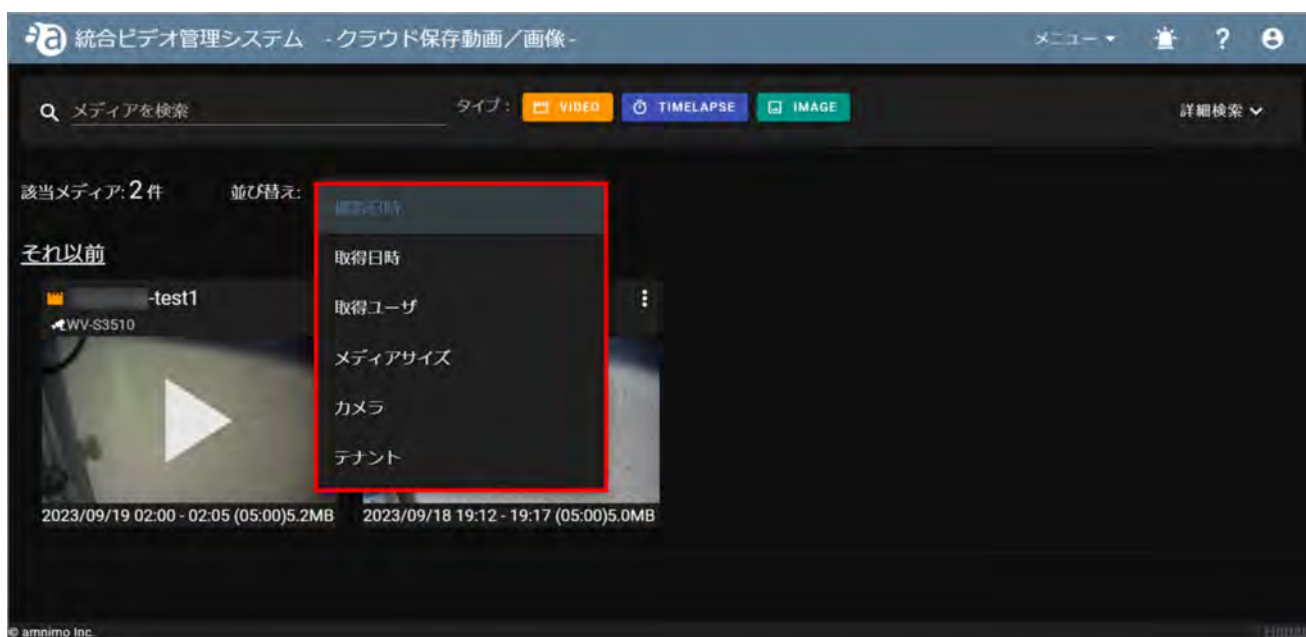
動画 / 画像は、以下のグループ毎に並べ替えることが出来ます。

- 撮影日時
- 取得日時
- 取得ユーザ
- メディアサイズ
- カメラ
- テナント

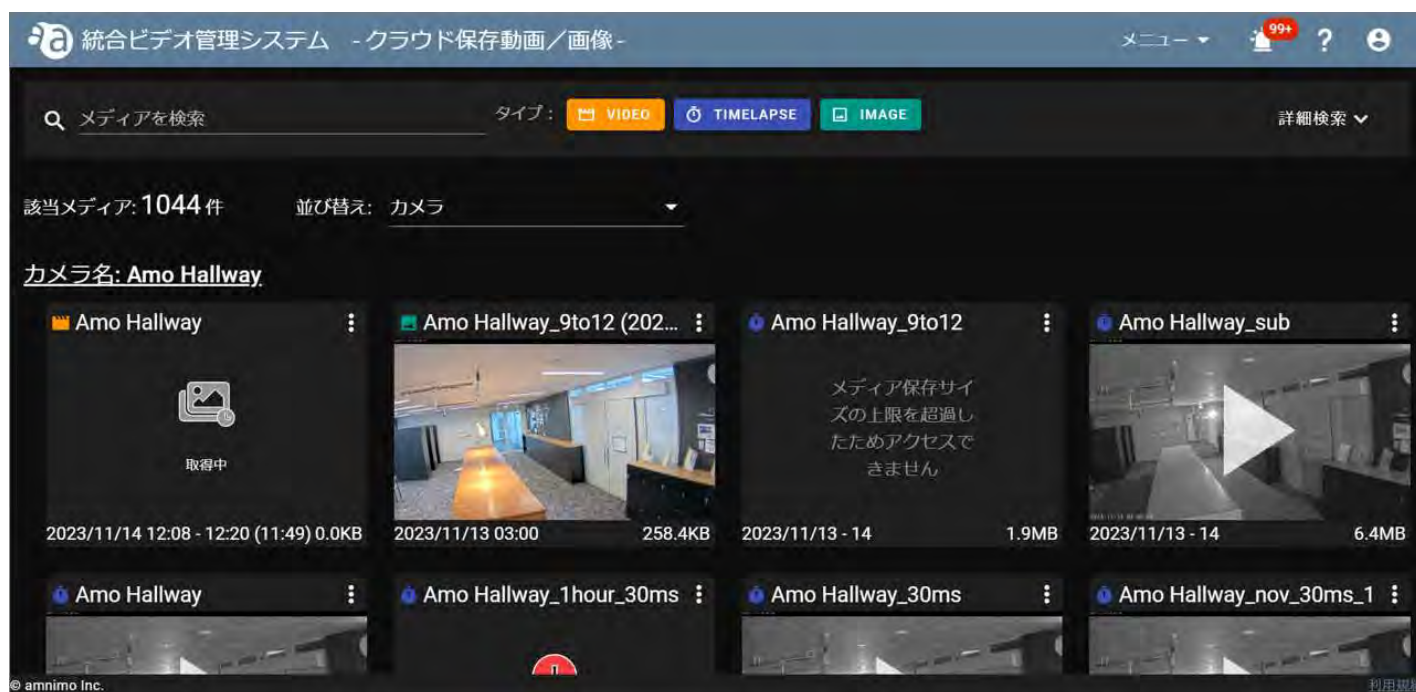
1 並び替え欄にある▼をクリックします。



2 以下のようなメニューが表示されるので、並べ替えたい項目を選択します。



カメラ毎に並べ替えた場合



魚眼補正された映像の表示を切り替える

2024年7月12日

補正画面とオリジナル画面の切り替え

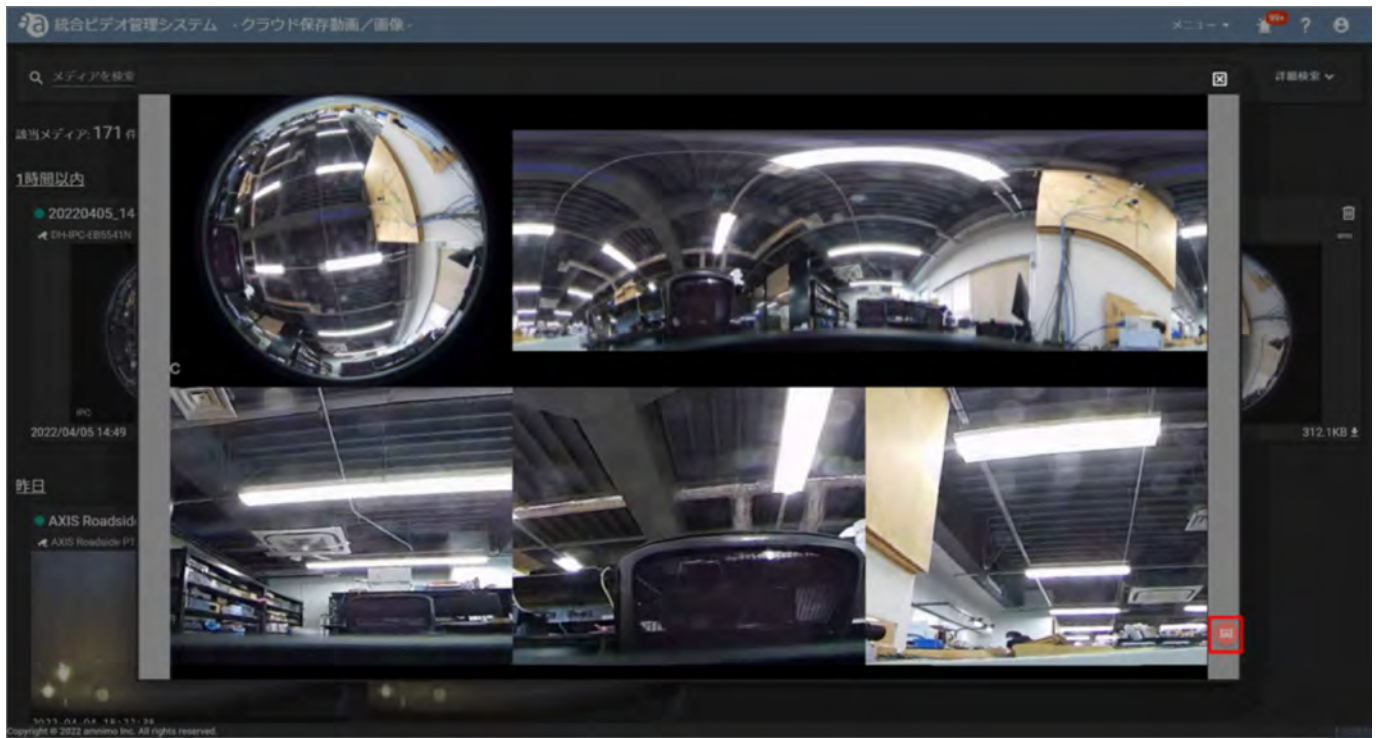
魚眼補正された映像のスナップショットやビデオクリップは、表示モードを切り替えることが出来ます。

各映像をクリックし、魚眼補正アイコン () をクリックすると、魚眼補正されたレイアウトと、オリジナル (魚眼) の映像が切り替わります。

オリジナル (魚眼) モード



魚眼補正モード



一括ダウンロードとは

2024年7月12日

一括ダウンロード機能では、1分以上最大24時間までのビデオクリップをダウンロードすることが出来ます。デバイスとの通信が不安定な環境や、途中で通信断が起きた場合でも、クラウド上へのビデオクリップの取得を継続できます。クラウド上への取得が完了した後に、ビデオクリップをPCにダウンロードできます。



一括ダウンロード画面

NOTE

- 一度にダウンロード出来るビデオクリップは24時間までです。
- ひと月にリクエスト出来る合計時間はお申込みの内容によって異なりますが、初期値は上限72時間で設定されています。
- 通信が途切れた場合でも、キャンセルしなければ最大7日間はタイムアウトせずに取得し続けます。
- 一台のデバイスが実行出来るのは、一つのリクエストまでです。
同一デバイスに複数のリクエストがある場合、現在のダウンロードが終了してから実行されます。
- 7日間経過しても取得が完了しない場合は、タイムアウトとなります。
- リクエストによってクラウド上に取得されたビデオクリップは、7日経過すると削除されます。

一括ダウンロードのリクエストを作成する

2024年7月12日

1 一括ダウンロード画面を開きます。

2 一括ダウンロードしたいカメラを選択します。

1. カメラ選択欄をクリックします。

2. テナント選択欄をクリックし (①)、プルダウンにて選択したいカメラが所属するテナント名をクリックします (②)。



3. 選択したいカメラ名をクリックします。



NOTE

カメラ選択後、カメラの親機名、カメラが属するテナント名、テナントの取得済み時間・取得可能時間が表示されます。

カメラが選択されるまでは、それぞれ空欄です。

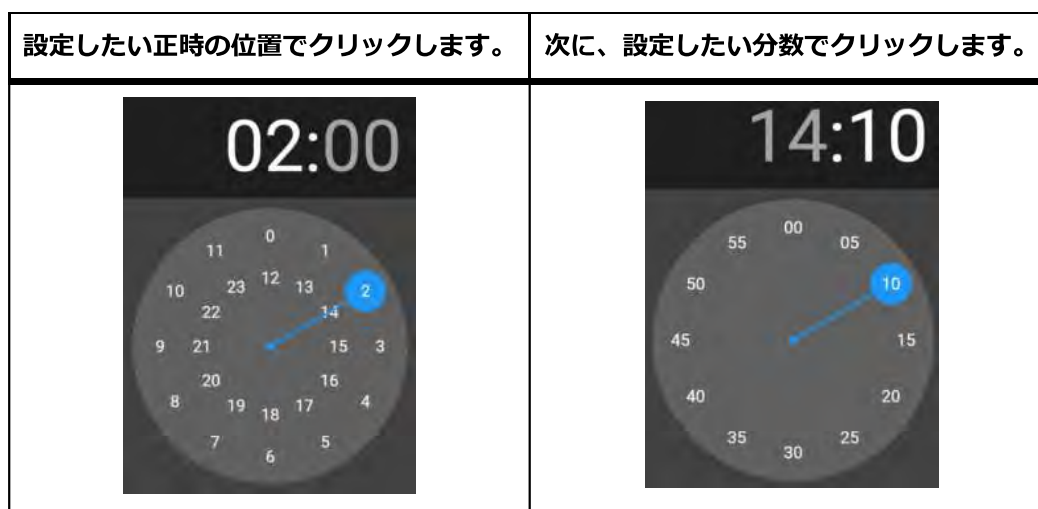
取得期間を選択します。〔開始日〕と〔終了日〕から日付、時計のアイコンから時間を選択できます。



取得時間について

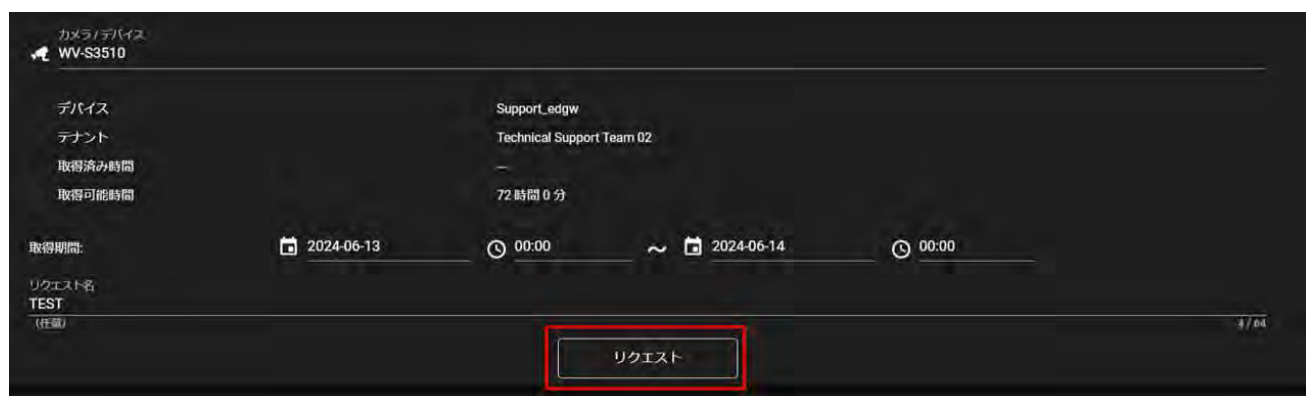
時刻をクリックすると、時計が表示されます。

※マウスのホイールを回すことでも、時刻が選択できます。



4 [リクエスト]をクリックすると、リクエストが作成されます。

リクエスト名は任意です。



5 リクエスト一覧にて、映像ファイルをダウンロードしたいリクエストのダウンロードアイコンをクリックします。



6 映像ファイルは zip ファイルとしてダウンロードされます。



NOTE

zip ファイルは、1 時間ごとに MP4 のファイルとして分割して構成されます。

名前	更新日時	種類	サイズ
 2022-08-30_00-00-00.mp4	2022/09/01 15:31	MP4 ファイル	292,160 KB
 2022-08-30_01-00-00.mp4	2022/09/01 15:31	MP4 ファイル	292,129 KB
 2022-08-30_02-00-00.mp4	2022/09/01 15:31	MP4 ファイル	292,291 KB
 2022-08-30_03-00-00.mp4	2022/09/01 15:32	MP4 ファイル	292,312 KB
 2022-08-30_04-00-00.mp4	2022/09/01 15:32	MP4 ファイル	291,975 KB
 2022-08-30_05-00-00.mp4	2022/09/01 15:32	MP4 ファイル	241,187 KB
 2022-08-30_06-00-00.mp4	2022/09/01 15:33	MP4 ファイル	238,392 KB
 2022-08-30_07-00-00.mp4	2022/09/01 15:33	MP4 ファイル	246,802 KB
 2022-08-30_08-00-00.mp4	2022/09/01 15:33	MP4 ファイル	248,461 KB
 2022-08-30_09-00-00.mp4	2022/09/01 15:33	MP4 ファイル	247,068 KB

リクエストの一時停止、再開、キャンセル、詳細

2024年7月12日

リクエストの一時停止



実行中のリクエストを一時停止します。一時停止の状態で7日間経過するとタイムアウトとなります。

リクエストの再開



一時停止中のリクエストを再開します。

リクエストのキャンセル



リクエストをキャンセルします。キャンセルしたリクエストは再開できません。

リクエストの削除



リクエストを削除します。

リクエストの詳細



リクエストの詳細を表示します。

リクエストの完了時の結果

2024年7月12日

取得完了
デバイスからのデータ取得およびデータの圧縮ZIP化が成功した場合

取得完了（一部キャンセル）
デバイスからのデータ取得が途中でキャンセルされ、一部データのみ圧縮ZIP化が成功した場合

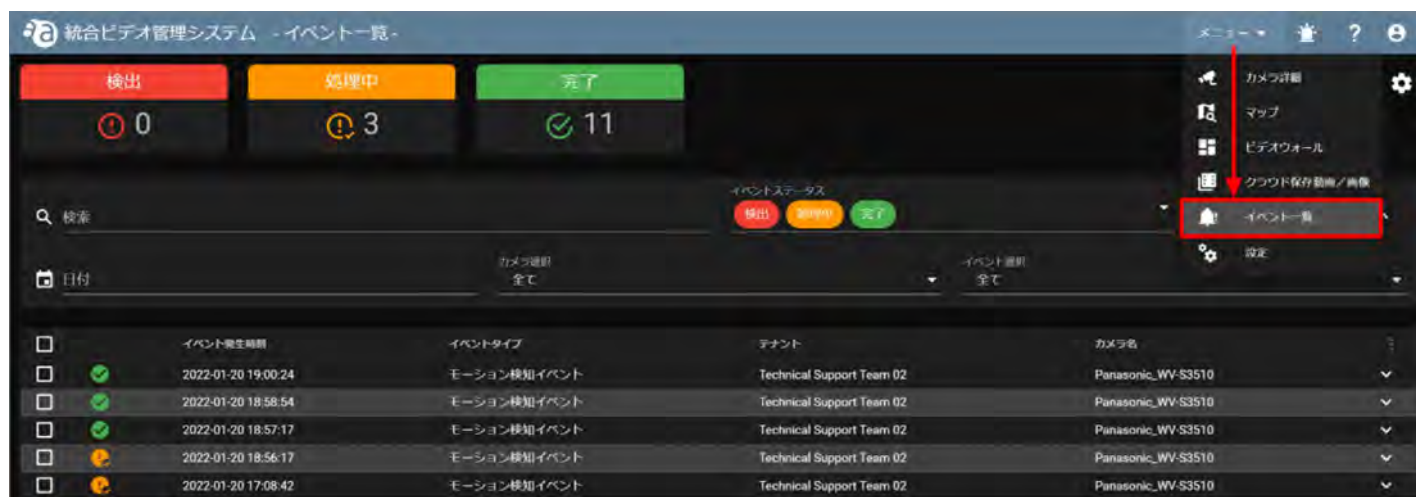
取得完了（一部取得失敗）
デバイスからのデータ取得が失敗し、一部データのみ圧縮ZIP化が成功した場合

ダウンロード期限切れ
クラウドに保存したデータのダウンロード期限が切れた場合

イベント通知設定をする

2024年7月12日

統合ビデオ管理システムでは、モーション検知等をイベントとして通知し、確認することができます。



NOTE

- 1 テナントあたりイベントの上限は 10000 件、保持日数は 90 日です。
- 1 テナントあたりのイベント数が 10000 件を超えた場合は、古いイベントから超過分を自動的に削除します。イベント件数が 10000 件に満たない場合でも、発生してから 90 日以上経過したイベントは自動的に削除します。

! WARNING

アムニモポータブルは Nx Witness が搭載されていないため、イベントに関する機能は利用できません。

イベント通知設定をする

統合ビデオ管理システムでモーション検知等をイベントとして検知するためには、Nx Witness 側で事前に設定が必要です。

NOTE

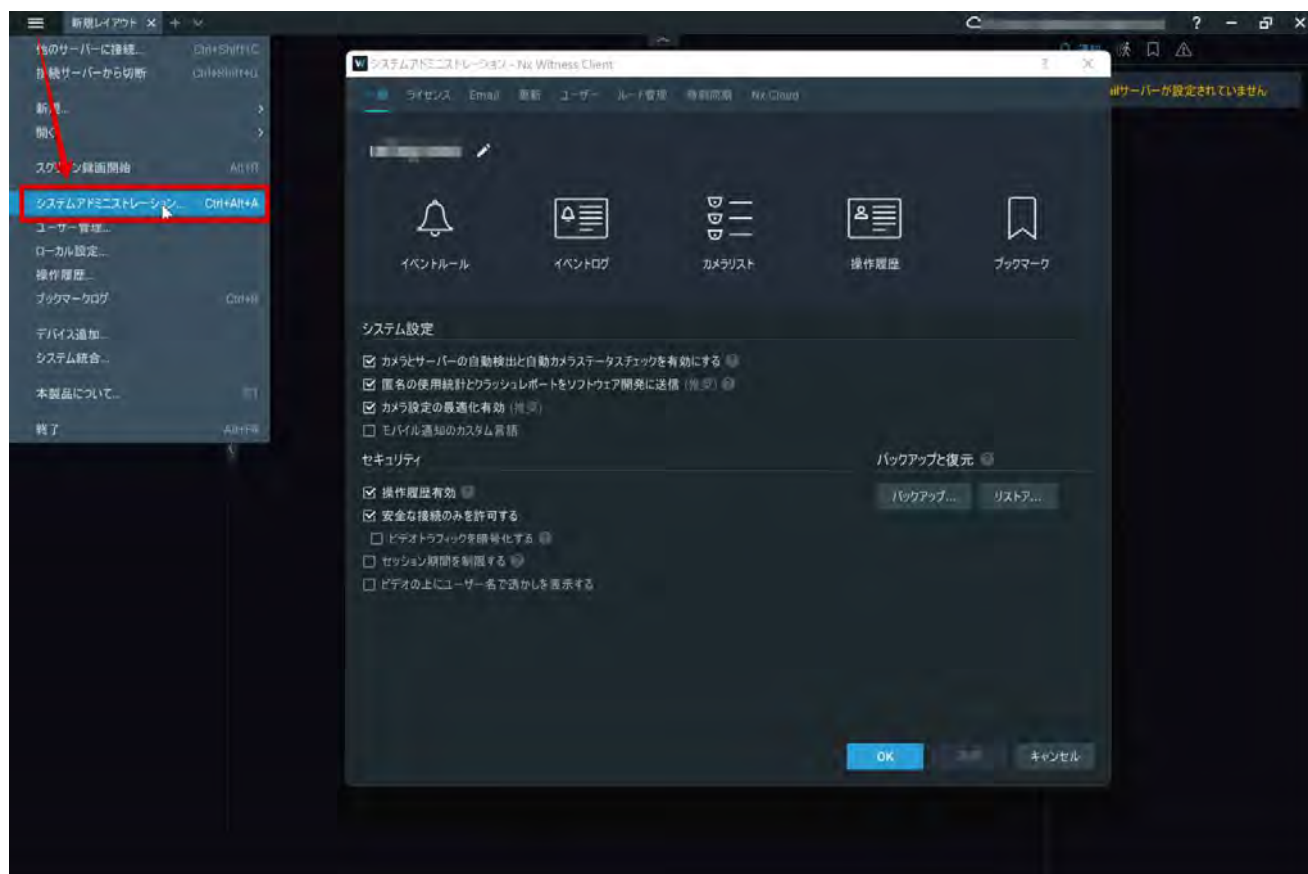
- 統合ビデオ管理システムで通知を受けられるのは、モーション検知とデジタル入力のみです。
- amnimo VMS をご利用の場合、本機能はご利用いただけません。

Nx Witness 側の設定

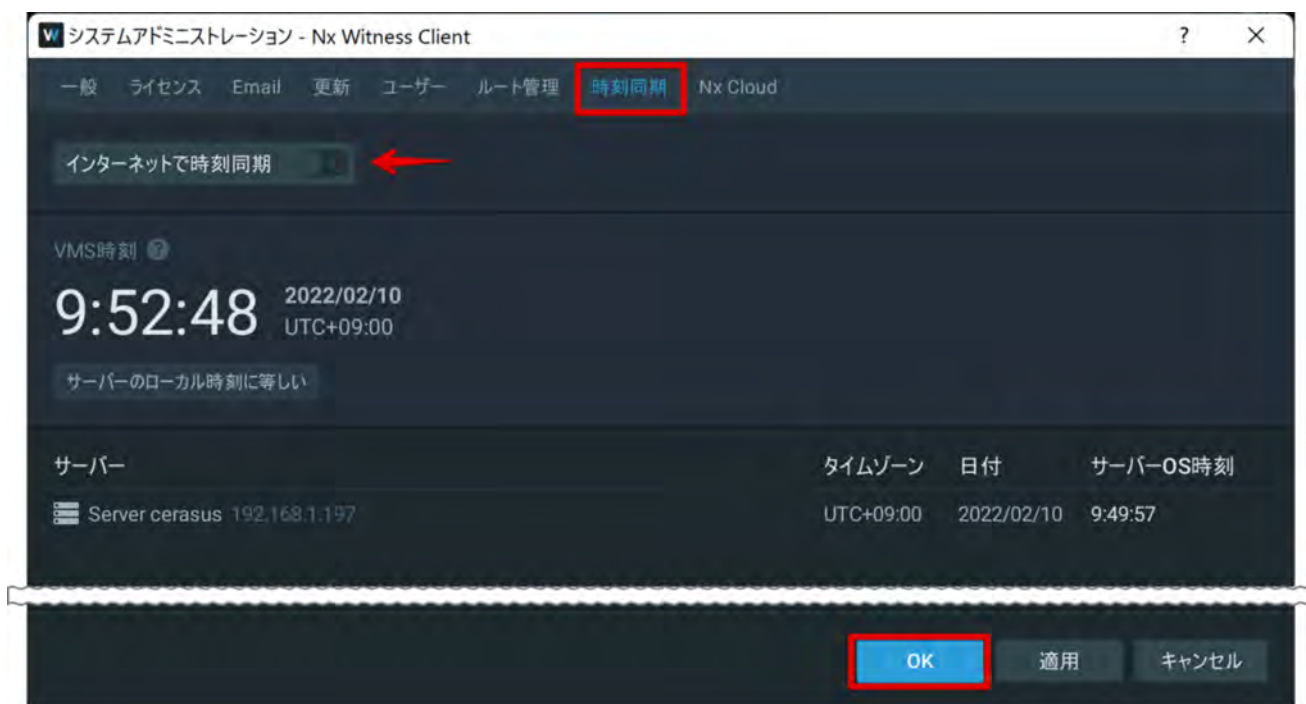
インターネットでの時刻同期を解除する

Nx Witness とインターネットとの時刻同期をオフにし、サーバー（Edge Gateway）の時刻と同期します。この作業をしない場合、イベント発生時刻が Edge Gateway の時刻とずれて表示されることがあります。

- 1 Nx Witness を立ち上げ、メニューから「システムアドミニストレーション」をクリックします。



- 2 「時刻同期」タブをクリックし、「インターネットで時刻同期」トグルをクリックして OFF にします。

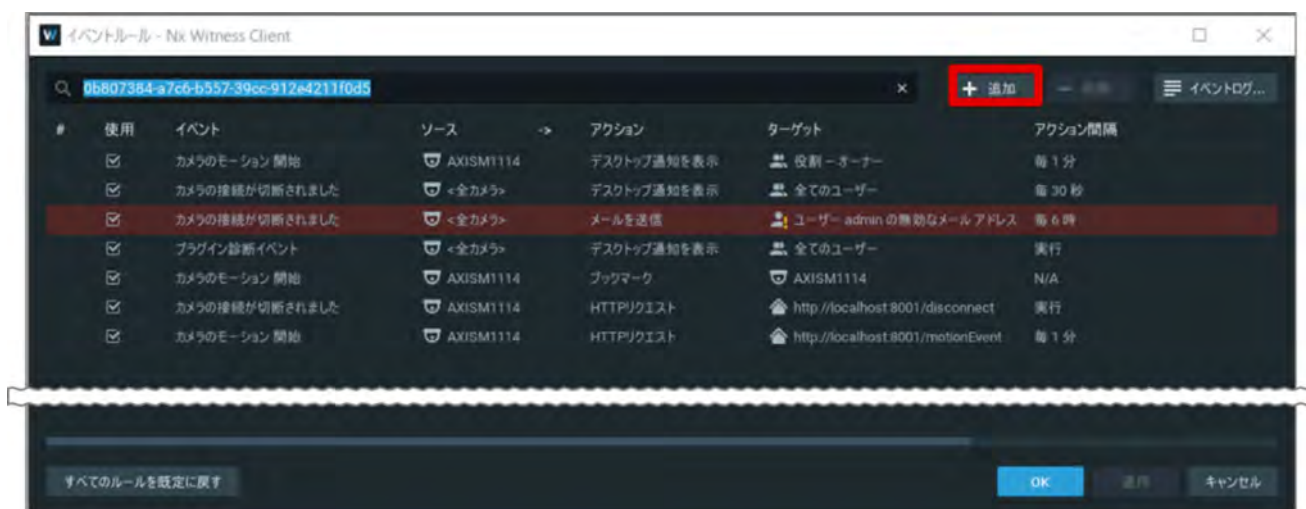


カメラルールを設定する

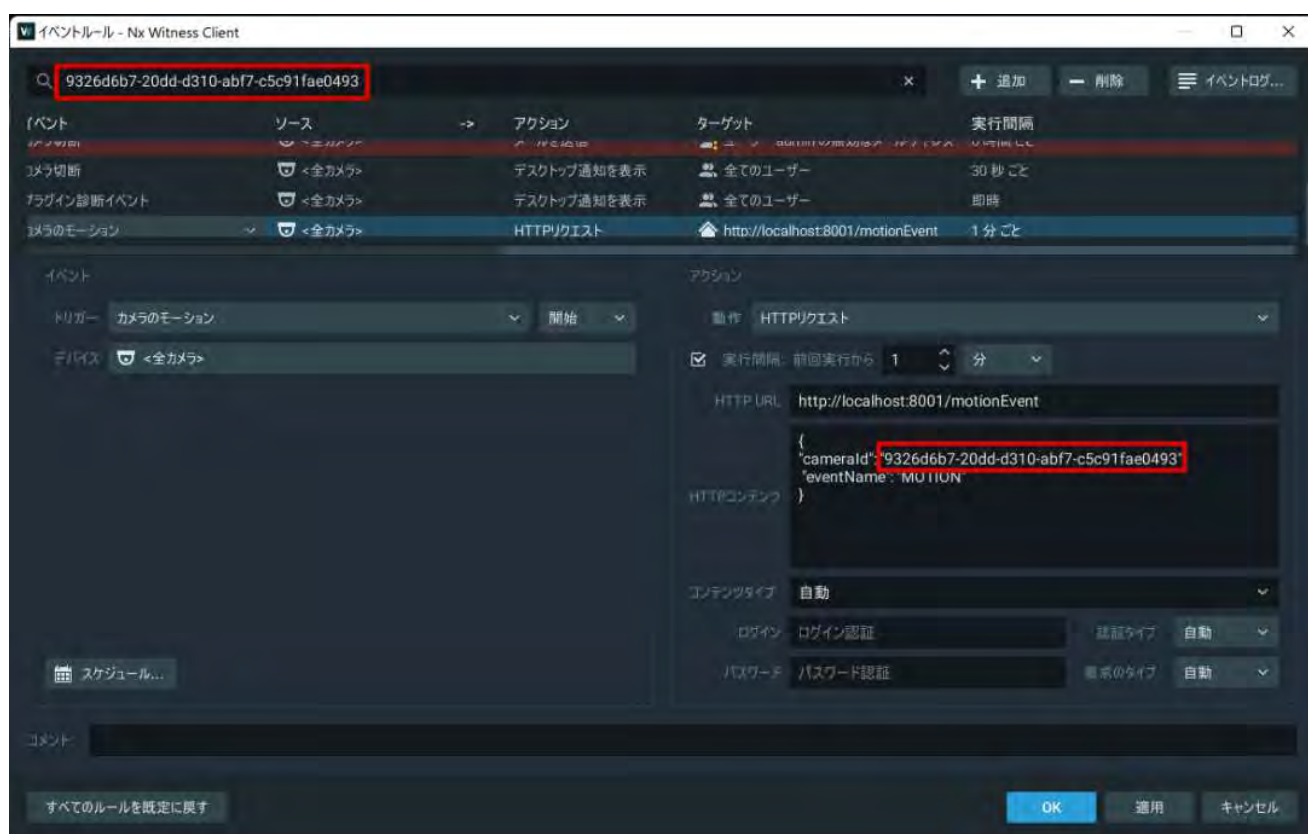
1 Nx Witness を立ち上げ、対象のカメラを右クリックし「カメラルール」をクリックします。



「追加」をクリックします。



イベントルールを設定します。



💡 カメラモーションがあったときにアラート検知する方法

<イベント>

- ・トリガー：カメラのモーション（開始）
- ・デバイス：対象のカメラ

<アクション>

- ・動作：HTTPリクエスト

- ・アクションインターバル(※)：1分
- ・HTTP URL：http://localhost:8001/motionEvent
- ・HTTP コンテンツ：


```
{
"cameraId": "XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", ←カメラのID (画像の左上部分に記載されているID) を入力し
ます。
"eventName": "MOTION"
}
```
- ・コンテンツタイプ：自動
- ・ログイン：空欄
- ・パスワード：空欄

💡 デジタル入力があったときにアラート検知する方法

<イベント>

- ・トリガー：カメラのI/O入力（開始）
- ・デバイス：対象のカメラ

<アクション>

- ・動作：HTTPリクエスト
- ・アクションインターバル(※)：1分
- ・HTTP URL：http://localhost:8001/motionEvent
- ・HTTP コンテンツ：


```
{
"cameraId": "XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX", ←カメラのID (画像の左上部分に記載されているID) を入力し
ます。
"eventName": "DigitalInput"
}
```
- ・コンテンツタイプ：自動
- ・ログイン：空欄
- ・パスワード：空欄

💡 AG シリーズでデジタル入力（D IN）と Nx Witness を連携している場合で、デジタル入力があったときにアラート検知する方法

📝 NOTE

この設定を行うには、事前にエッジゲートウェイで *amnimo-dmoni* の設定をしておく必要があります。

➡ [エッジゲートウェイデベロッパーズマニュアル](#)

[3.4.1 amnimo-dimoni の設定](#)

<イベント>

- ・トリガー：汎用イベント（開始）
- ・キャプションに含まれる：EVENT_DI

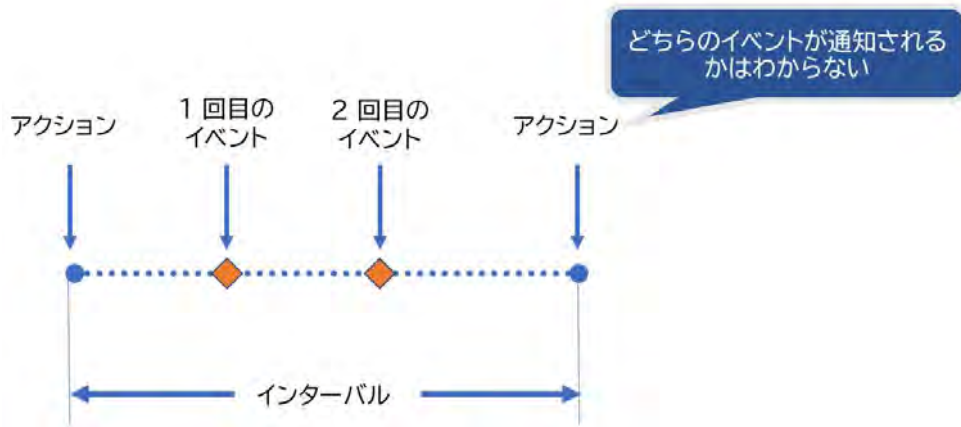
<アクション>

- ・動作：HTTPリクエスト
- ・アクションインターバル(※)：1分
- ・HTTP URL：http://localhost:8001/motionEvent
- ・HTTP コンテンツ：

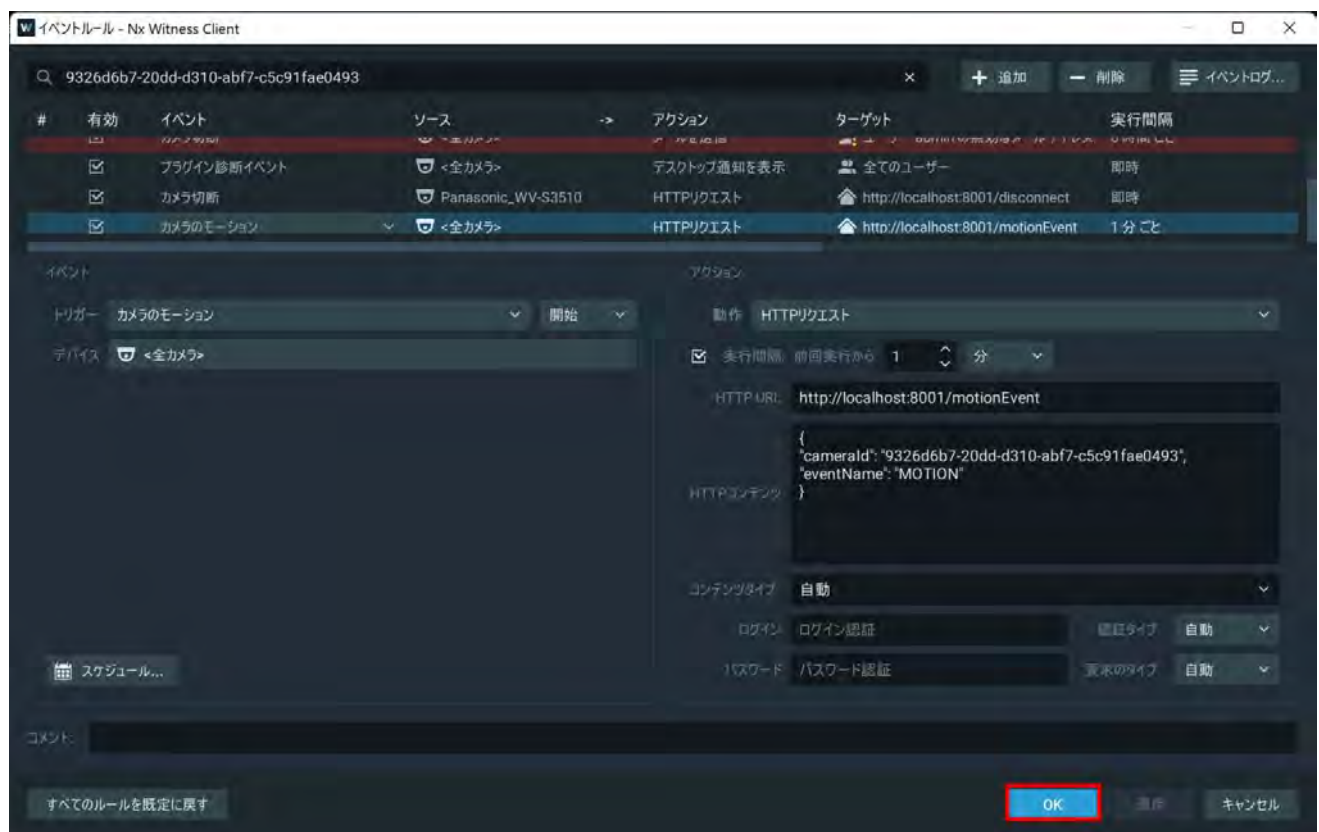

```
{
"cameraId": "XXXXXXXXXXXXXXXXXX", ←カメラのID (画像の左上部分に記載されているID) を入力します。
"eventName": "DigitalInput"
}
```
- ・コンテンツタイプ：自動
- ・ログイン：空欄
- ・パスワード：空欄

※アクションインターバルでは、アクションの発生する間隔を設定します。アクションを即実行したい場合は、[即時]を選択してください。

※インターバル中に複数回発生したイベントについては、次のアクション発生時にどのイベントが選ばれるかはわかりません。



[OK] をクリックすると、設定が完了します。



統合ビデオ管理システム側の設定

Nx Witness で設定したイベント（※）は、イベント一覧から確認することが出来ます。

また、イベントが発生した場合にブラウザ上で通知を受けられます。ここでは、統合ビデオ管理システムで通知を行う手順について説明します。

※ 統合ビデオ管理システムで通知を受けられるのは、モーション検知とデジタル入力のみです。

- 1 メニューから「イベント一覧」をクリックして開きます。



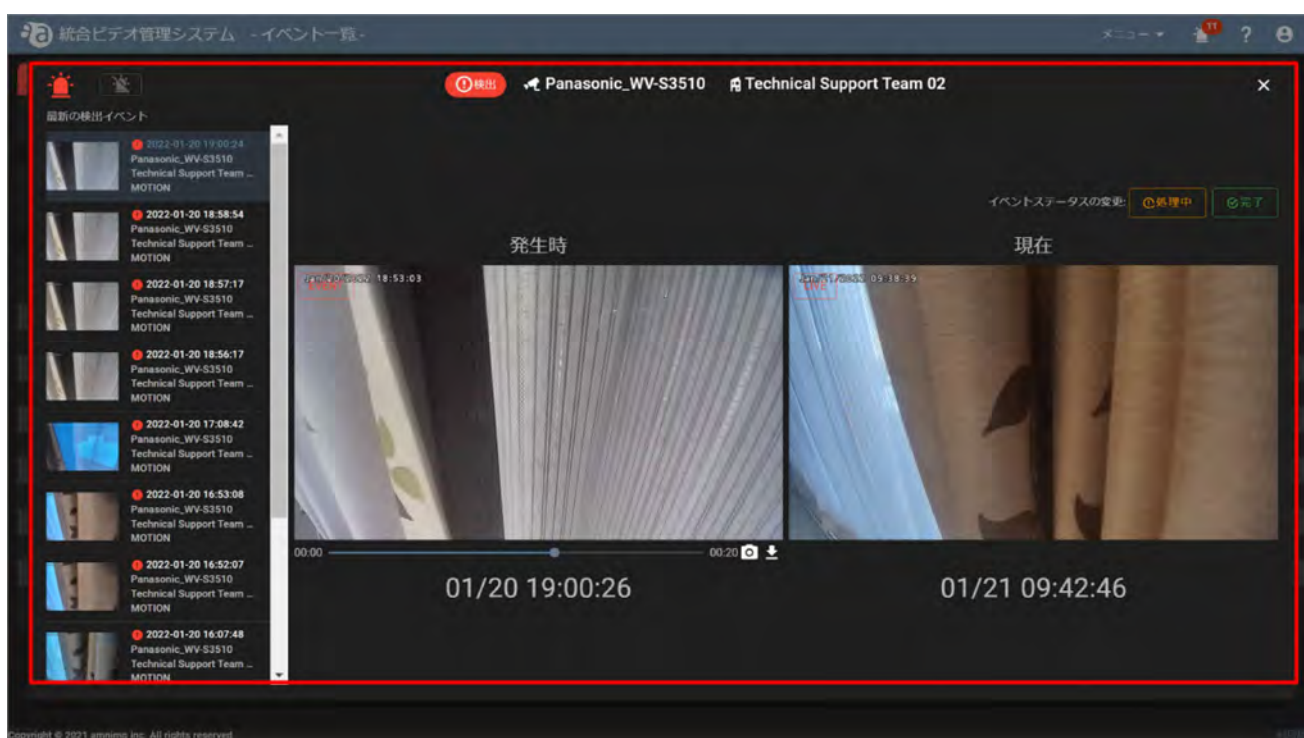
- 2 画面右上の歯車アイコンをクリックし、「イベント通知設定画面」を開きます。



3 通知方法を設定したら、画面を閉じます。



イベント通知を有効にする	発生したイベントをイベント通知アイコン()でお知らせしたり、ポップアップでイベント通知画面を表示する等の通知機能を有効にします。(イベント通知アイコンに表示される数字は検出されたイベントの数です。)
通知対象設定	通知対象のカメラと通知対象のイベントを指定します。条件に一致したカメラとイベントについて通知されます。(通知対象イベントタイプは”モーション検知”と”デジタル入力”のみです。)
自動的にイベントを表示する	新規に通知対象イベントが発生した際、自動的にイベント通知画面を表示します。(下図)
通知音を鳴らす	イベント通知画面で通知音(ブザー音)を鳴らします。



イベント通知アイコンと通知音

2024年7月12日

NOTE

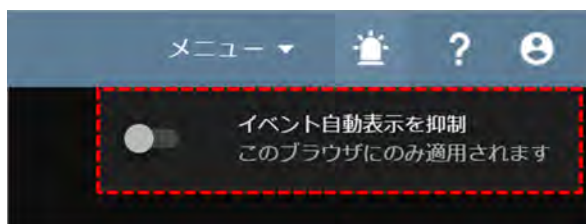
イベント通知設定をしていない場合は、イベント通知アイコンは表示されません。

1 イベントが発生すると画面右上のイベント通知アイコンに検出されたイベントの数が表示されます。



2 イベント通知設定で『自動的にイベントを表示する』設定をしている場合、イベント通知アイコンをマウスオーバーすると、「イベント自動表示を抑制」設定が表示されます。

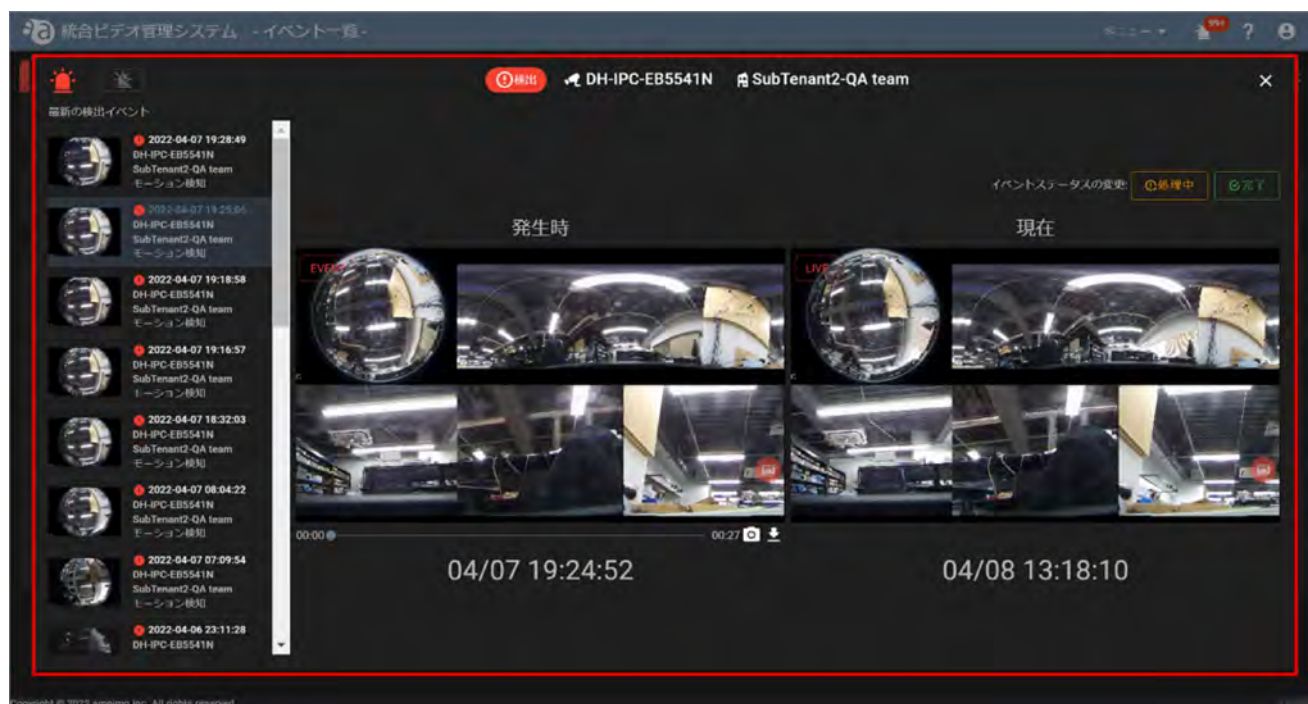
トグルを ON にすると、いま利用しているブラウザでイベント通知ページへ自動で遷移しなくなります。



3 イベント通知アイコンをクリックすると、以下のようなイベント通知ページが表示されます。

検出されたイベントは自動で再生され、映像の上でクリックすると一時停止と再生を切り替えられます。

- イベントを検出していない場合は、イベント通知アイコンをクリックしても、イベント通知画面は開きません。
- イベント通知画面では、最新 20 件のイベントがリスト表示されます。イベントが 1 件の場合はリストは表示されません。



『通知音を鳴らす』設定をしている場合、音声を停止するまで通知音が鳴り続けます。
通知音停止アイコンをクリックすると音声は停止します。



イベントを確認したら、画面を右上の×をクリックして閉じると、イベント一覧の画面に戻ります。

NOTE

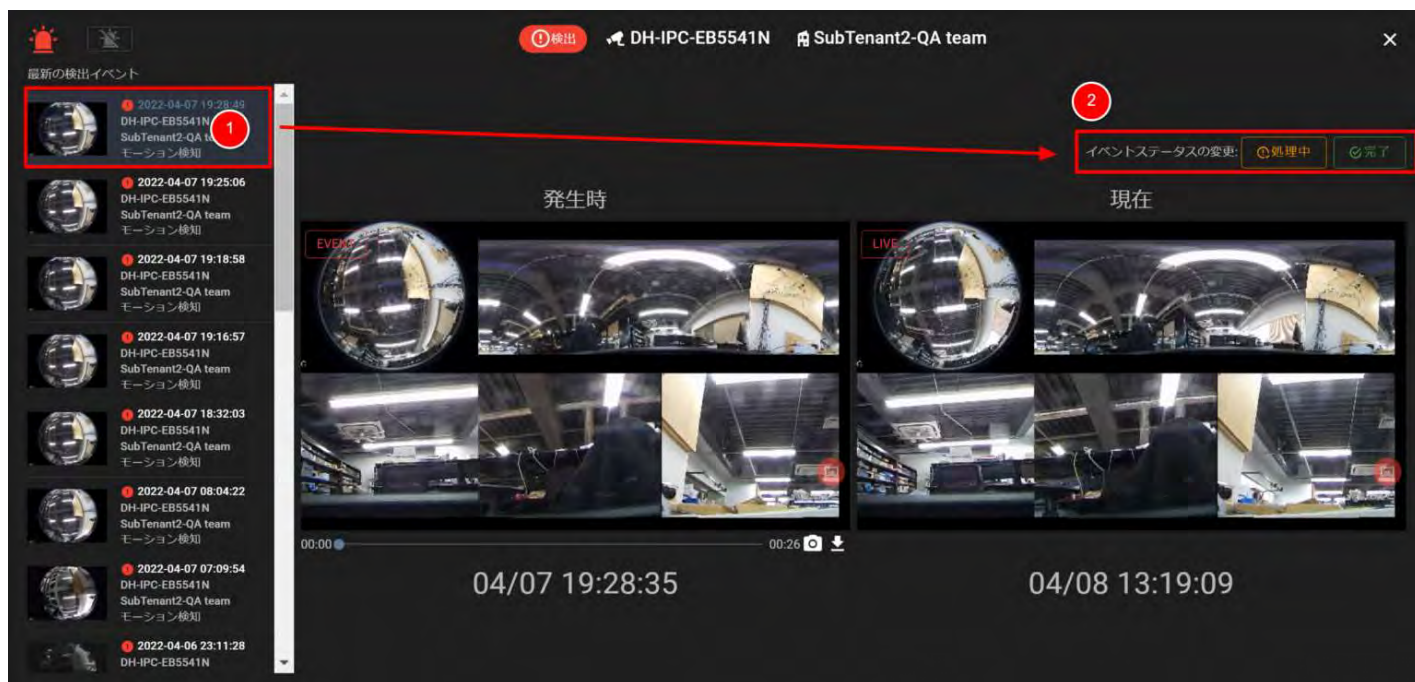
ステータスを変更した後は、イベント通知アイコンをクリックしても、イベント通知画面は開きません。

イベントのステータスを変更する

2024年7月12日

イベント通知画面からイベントのステータスを変更することが出来ます。

イベントを選択し (①)、イベントステータスの変更 (②) から ” 処理中 ” または ” 完了 ” をクリックします。



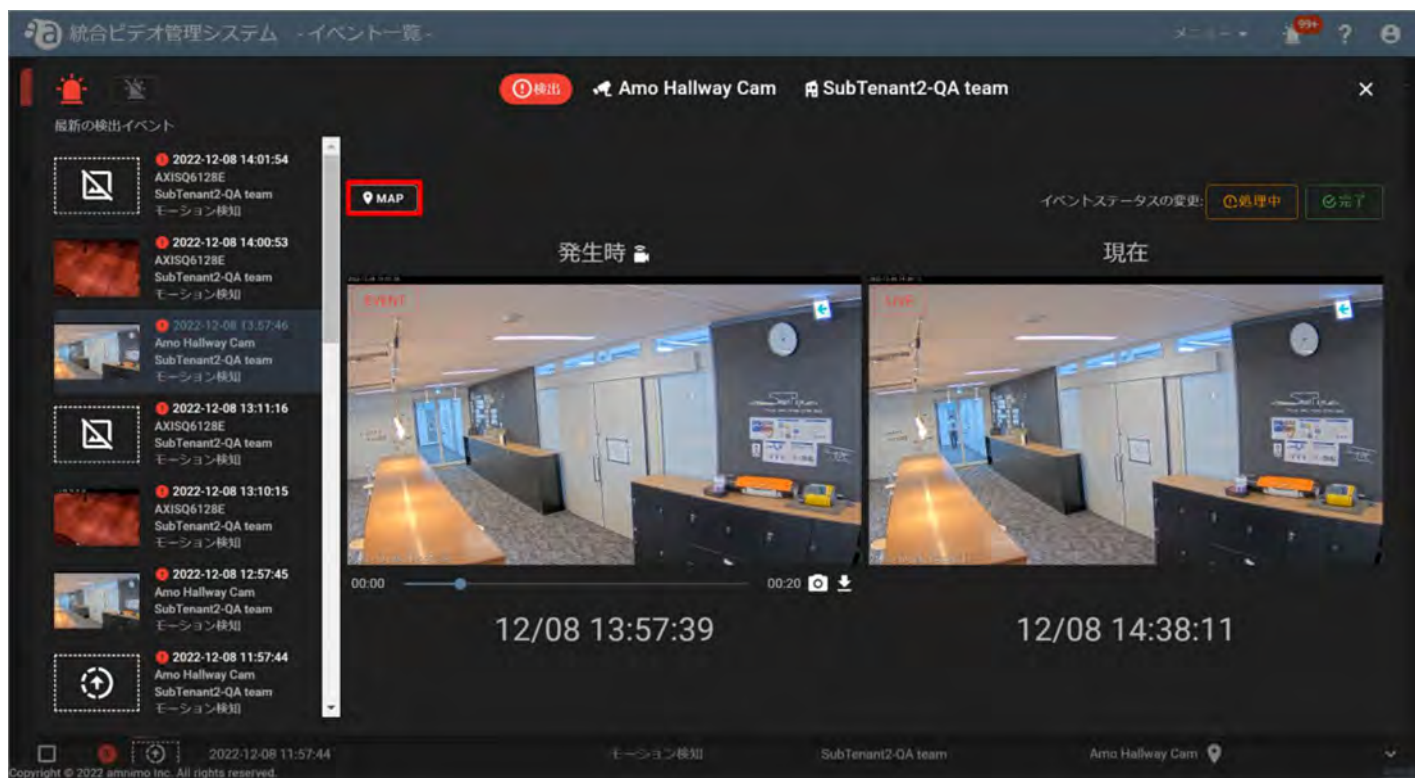
NOTE

イベントのステータスを変更すると、イベント通知アイコンの数字が消えます。

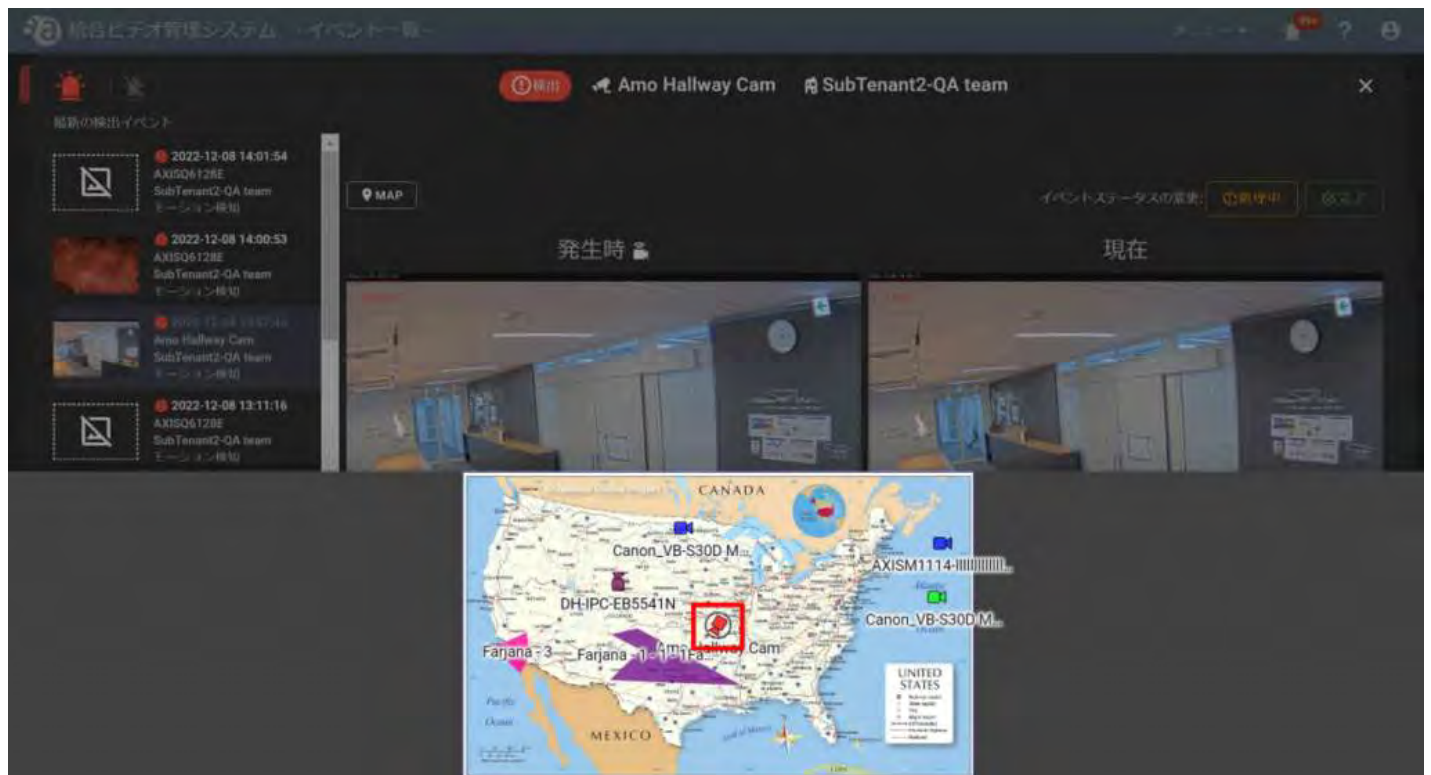
イベントが生じたカメラの場所をマップで確認する

2024年7月12日

カメラが[カスタムマップ](#)に登録されている場合、イベント通知画面で以下のように地図のアイコンが表示され、クリックするとマップがポップアップされます。



マップアイコンをクリックしたところ

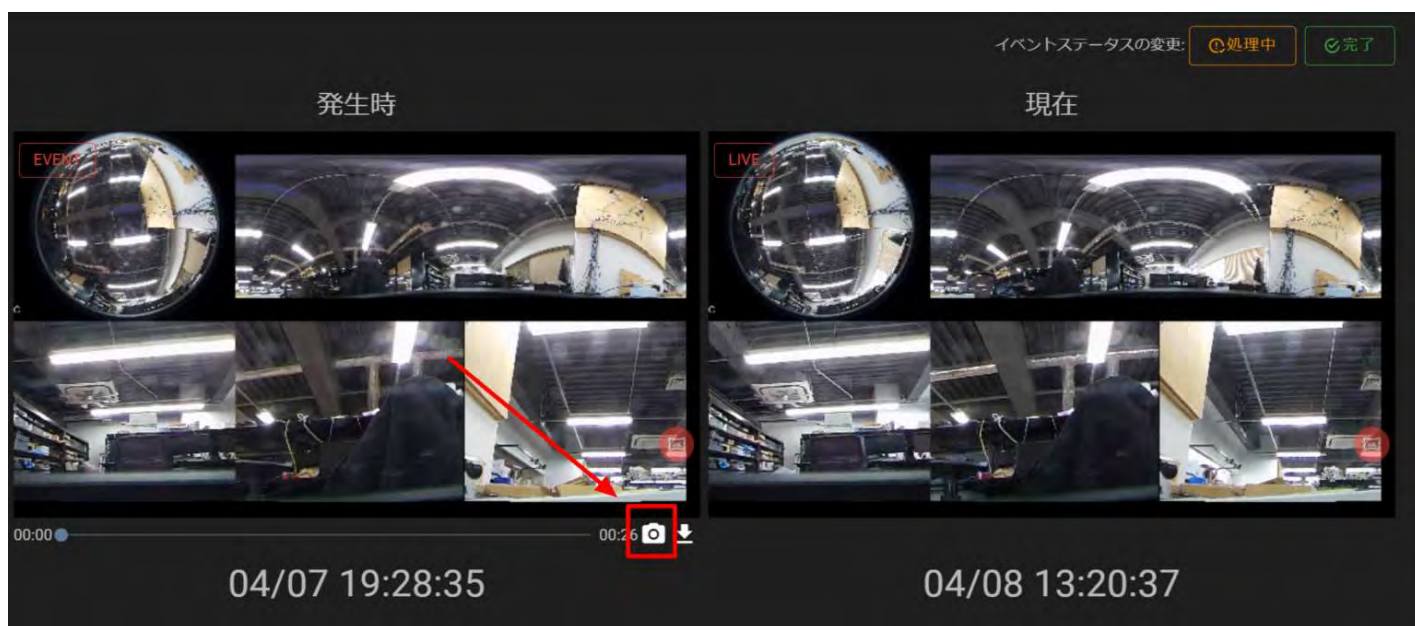


イベント発生時の動画からスナップショットを取得する

2024年7月12日

イベント発生時の映像はスナップショットとして保存することが出来ます。

イベントを再生中にスナップショットアイコン (📷) をクリックするとクラウドに保存され、[クラウド保存動画 / 画面] から確認できます。



イベント発生時の動画をダウンロードする

2024年7月12日

イベント発生時に表示された映像でダウンロードアイコン（）をクリックするとローカル PC に保存されます。

イベントステータスの変更: 🔄 処理中 ✅ 完了

発生時

EVENT



00:00 00:26  

04/07 19:28:35

現在

LIVE



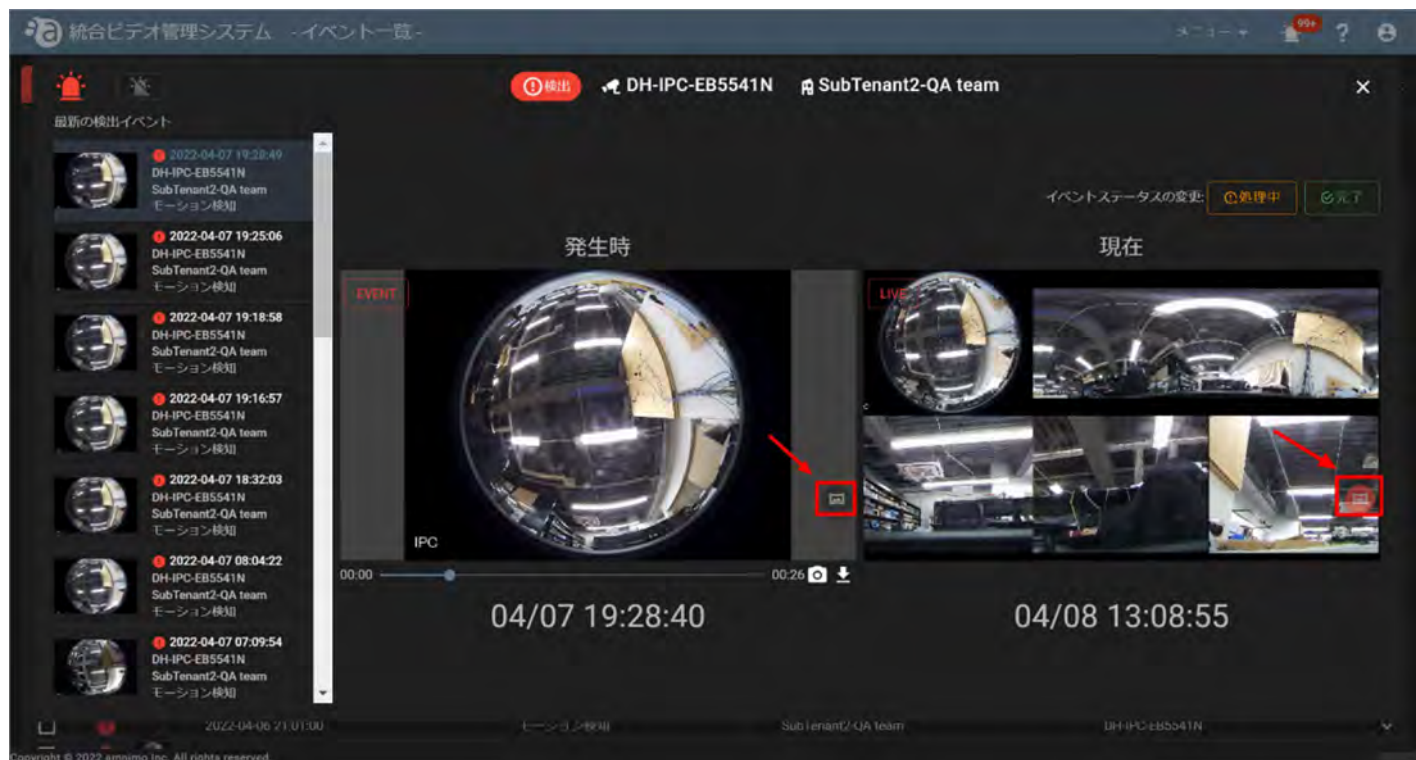
04/08 13:21:30

補正画面とオリジナル画面を切り替える（魚眼補正された映像）

2024年7月12日

魚眼補正された映像のイベントは、表示モードを切り替えることが出来ます。また、スクロールすることで拡大縮小や向きを変更することも可能です。

各映像をクリックし、魚眼補正アイコン（）をクリックすると、魚眼補正されたレイアウトと、オリジナル（魚眼）の映像が切り替わります。



オリジナル（魚眼）モード



魚眼補正モード

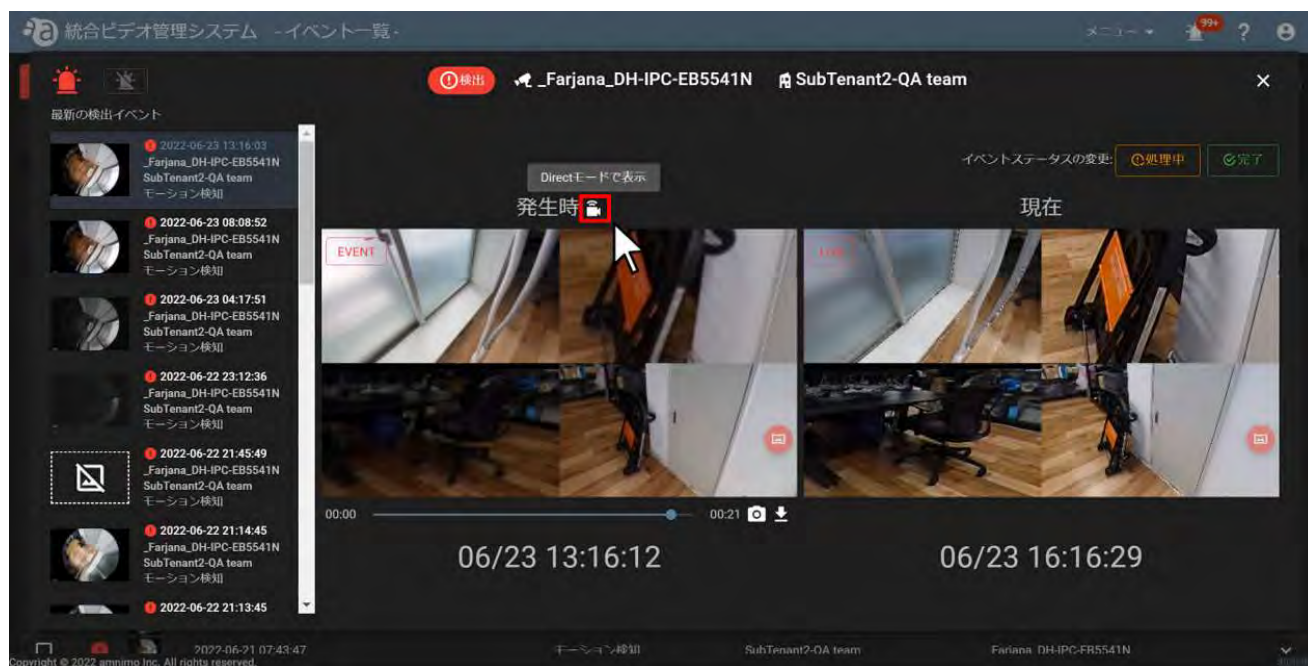


イベント通知画面の映像をDirect モードで再生する

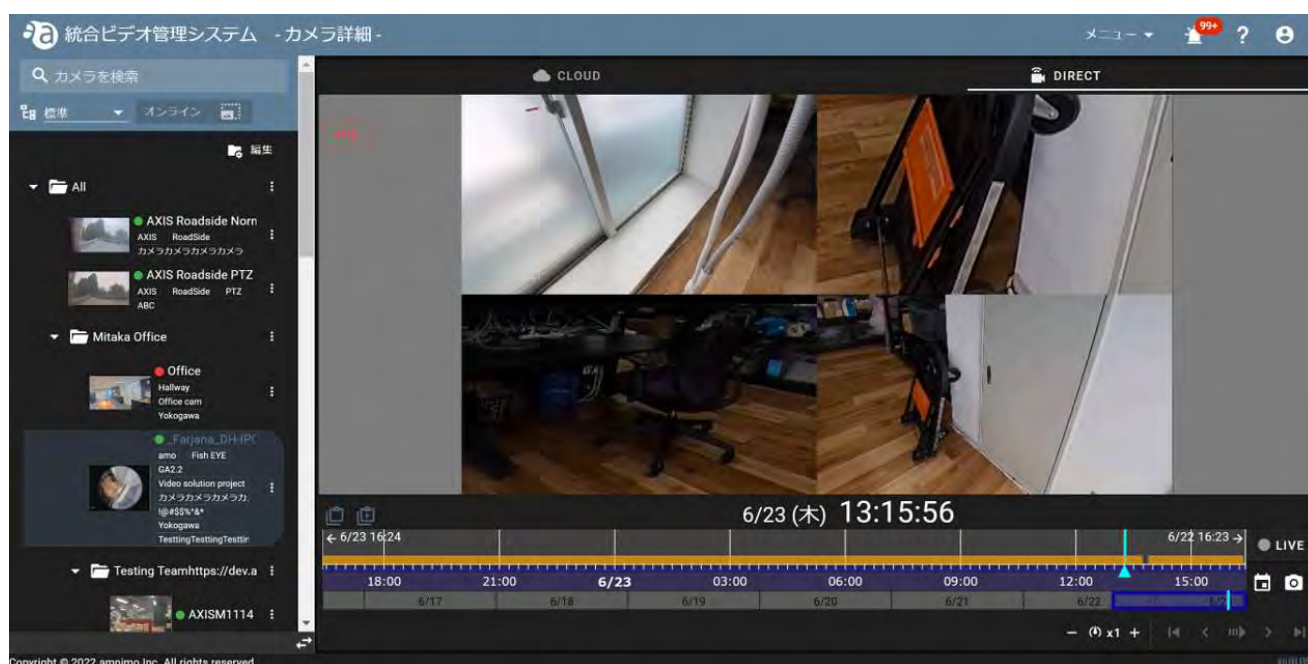
2024年7月12日

イベント通知画面で表示されている映像を、Directモードで再生することが出来ます。イベントが10秒以上ある場合などに便利な機能です。

1 再生したいイベントのカメラアイコンをクリックします。



2 カメラ詳細画面の Direct モードに遷移し、イベントが発生した時間帯の映像が再生されます。

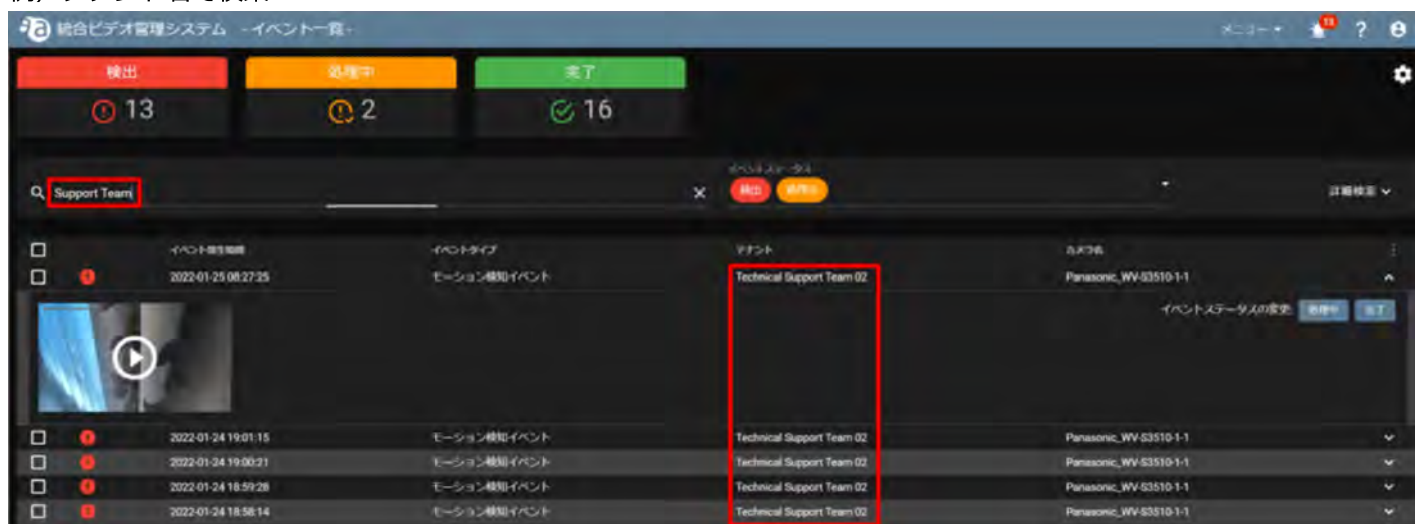


イベントを検索する

2024年7月12日

イベント一覧画面では、イベントタイプやテナント名、イベントステータス（検出 / 処理中 / 完了）から既存のイベントを検索することができます。

例）テナント名で検索



また、イベントの数が多い場合などは、詳細検索機能を使うことでより絞り込んだ検索が出来ます。以下の項目をそれぞれ指定することで、確認したいイベントをフィルタリングして表示します。

- 日付
- カメラ選択
- テナント選択
- イベント選択



イベントを再生する

2024年7月12日

検知したイベントは、再生ボタンをクリックして再生することが出来ます。

- 1 再生したいイベントについて右端のアイコンをクリックして展開します。



- 2 サムネイルに表示される再生ボタンをクリックすると再生されます。

- ① スライダーを動かすと、映像が拡大したり縮小したりします。
- ② 左から、30 秒戻す、5 秒戻す、一時停止、5 秒進む、30 秒進めることが出来ます。



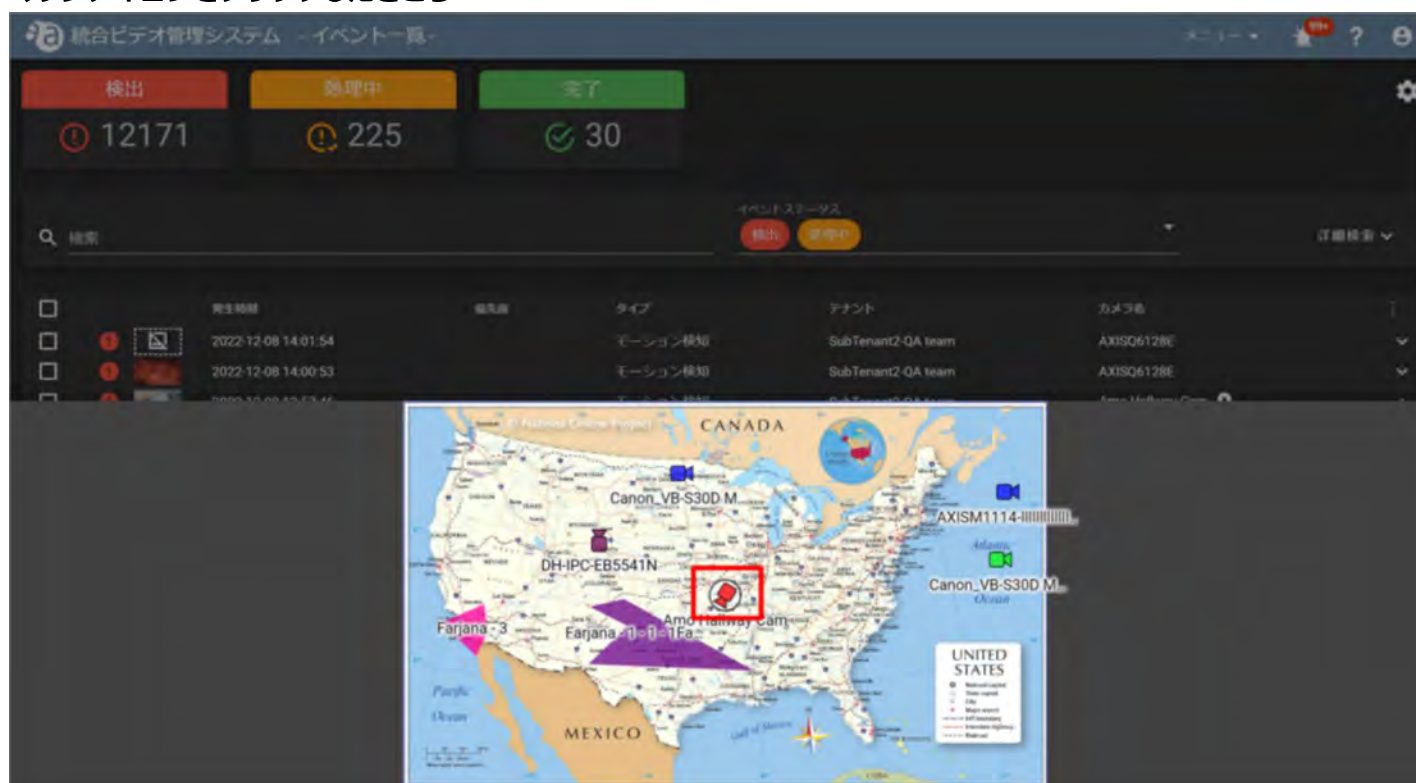
イベントが生じたカメラの場所をマップで確認する

2024年7月12日

カメラが[カスタムマップ](#)に登録されている場合、以下のようにカメラ名の横に地図のアイコンが表示され、クリックするとマップがポップアップされます。



マップアイコンをクリックしたところ

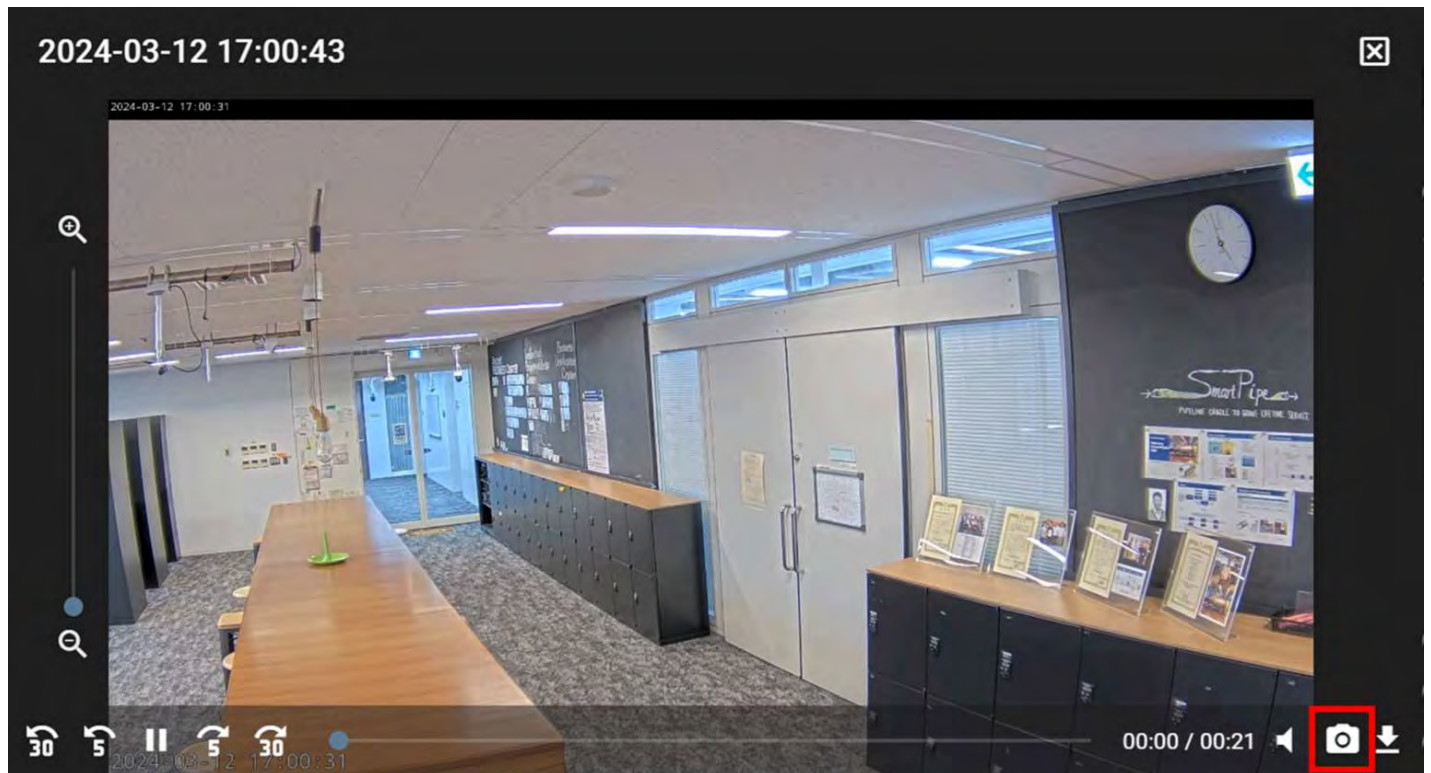


イベント発生時の動画からスナップショットを取得する

2024年7月12日

イベント発生時の映像はスナップショットとして保存することが出来ます。

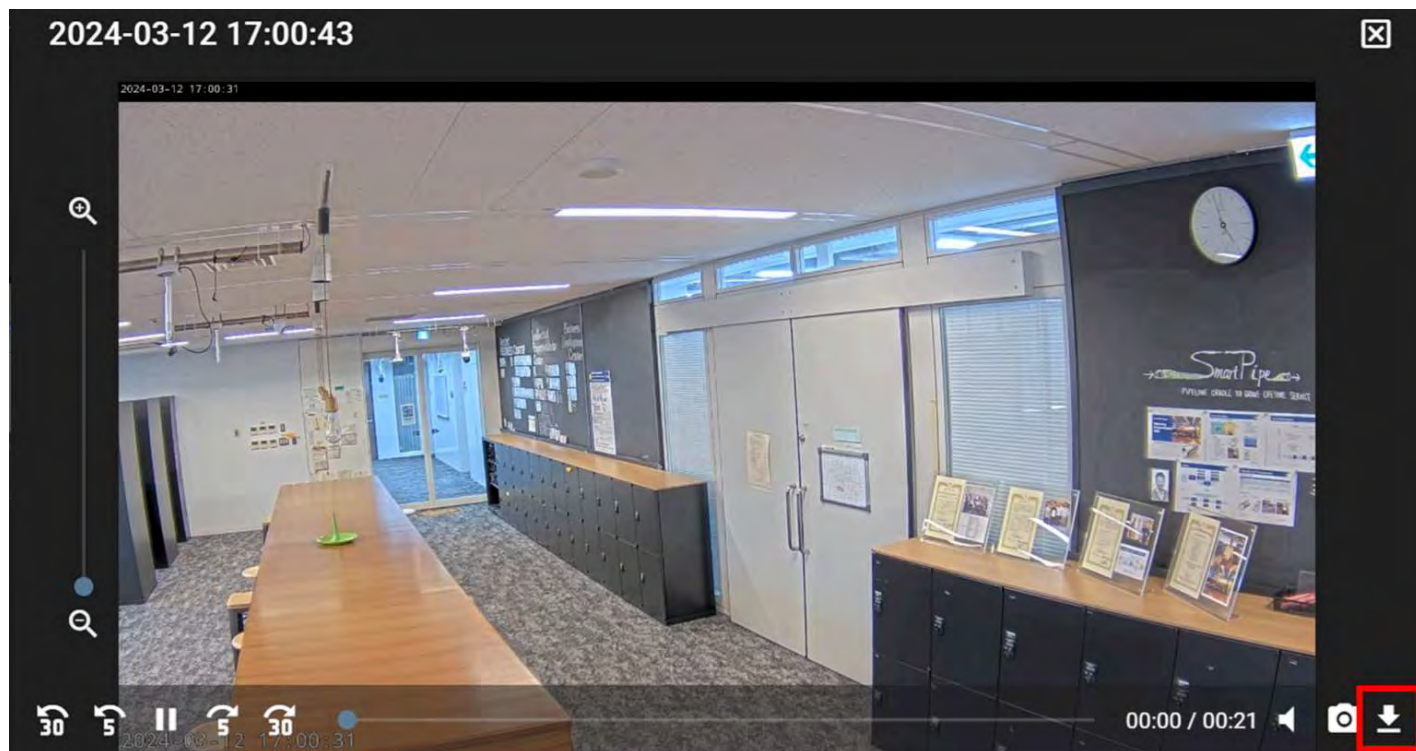
イベントを再生中にスナップショットボタン (📷) をクリックするとクラウドに保存され、[クラウド保存動画 / 画面] から確認できます。



イベント発生時の動画をダウンロードする

2024年7月12日

イベントを再生中にダウンロードボタン (📄) をクリックするとローカルPCに保存されます。



イベントへ対応内容を入力する

2024年7月12日

イベント一覧にあるイベントごとに、対応者や優先度、コメントなどの情報を入力できます。

一覧から、レポートを作成したいイベントをクリックします。



下図のような入力項目が表示されるので、対応者、優先度をそれぞれドロップボックスから選択します。イベントメモを記載し、保存アイコンをクリックします。

対応者は一覧から選択できるほか、直接入力できます。



イベント情報をレポートとして出力する（本機能をお申込みされている場合）

2024年7月12日

イベントごとに、レポートを出力することができます。本機能は、『レポート作成』と同じ機能となります。

1 「イベントへ対応内容を入力する」を参考に、レポートを出力したいイベントについて情報を入力します。

2 必要事項の記入が完了したら、「レポート作成」をクリックします。



3 以降の操作は、『[レポートを作成する](#)』 - 『[直近に取得したサムネイルのレポートを作成する](#)』手順 2 以降と同じ作業を繰り返します。

イベントステータスを変更する

2024年7月12日

検知したイベントは、イベント一覧画面からステータスを変更できます。

[メニュー]>[イベント一覧]を開き、ステータスを変更したいイベントについて▼をクリックすると、イベントステータスの変更ボタンが表示されます。

イベントの状態に応じてステータスを変更してください。



NOTE

一度イベントステータスを変更すると、元のステータスには戻せません。



複数のイベントステータスを一度に変更する

2024年7月12日

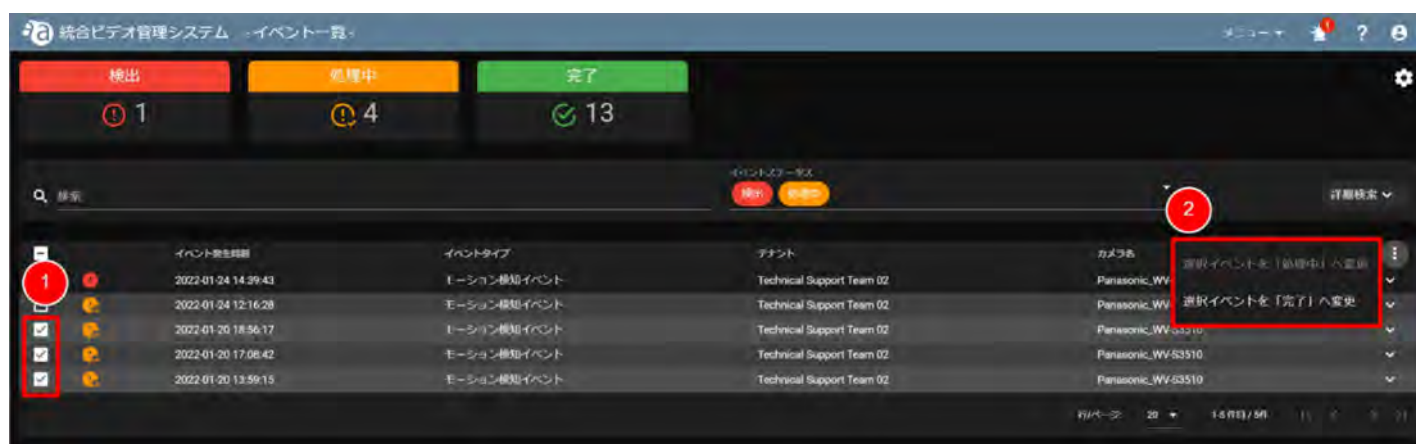
複数のイベントのステータスを一度に変更する場合は、変更したいイベントをチェックボックスで選択します。

NOTE

- ”完了”のイベントに対し、『選択イベントを「完了」へ変更』を選択してもステータスは変わりません。
- ”処理中”のイベントに対し、『選択イベントを「処理中」へ変更』を選択してもステータスは変わりません。

一部のイベントを選択する

[メニュー]>[イベント一覧]を開き、ステータスを変更したいイベント(①)をそれぞれチェックし、をクリックしてステータスを変更します。(②)



全てのイベントを選択する

下図のチェックボックス(①)にチェックを入れ、をクリックしてステータスを変更します。(②)

統合ビデオ管理システム - イベント一覧

検出 1 処理中 4 完了 13

検索 イベントステータス 検出 処理中 完了 詳細検索

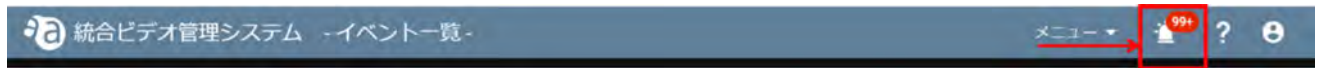
選択	イベント発生時刻	イベントタイプ	テナント	カメラ名	操作
☒	2022-01-24 14:59:43	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV	選択イベントを「処理中」へ変更
☒	2022-01-24 14:26:47	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV	選択イベントを「完了」へ変更
☒	2022-01-24 12:16:28	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV	
☒	2022-01-24 11:49:25	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV-S3510	
☒	2022-01-20 19:00:24	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV-S3510	
☒	2022-01-20 18:58:54	モーション検知イベント	Technical Support Team 02	Panasonic_WV-S3510	

イベント通知画面からステータスを変更する

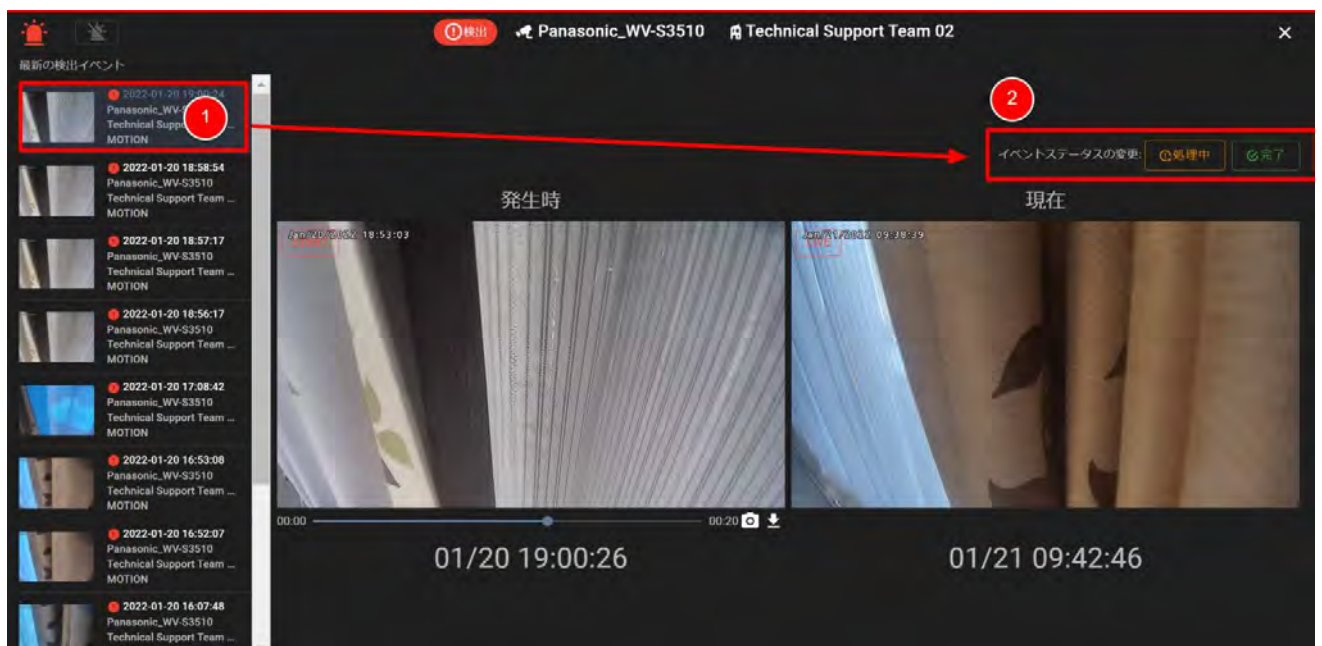
2024年7月12日

通知設定をしている場合、イベント通知画面からもステータスを変更できます。

- 1 イベント通知アイコンをクリックしてイベント通知画面を表示します。



- 2 それぞれのイベントをクリックし (①)、イベントステータスを " 処理中 " または " 完了 " に変更 (②) します。



- 3 イベント一覧画面で、それぞれのステータスの数が変わったことを確認します。



NOTE

イベントのステータスを変更すると、イベント通知アイコンの数字が消えます。(🖼️)。

カメラ巡回を追加する

2024年7月12日

カメラ巡回機能は、あらかじめ設定した巡回計画に従ってライブ映像の遠隔監視をサポートします。見回りをしたい箇所にカメラを設置し、統合ビデオ管理システムと連携することによって、スタッフ（人）が見て回る稼働を減らすことも出来ます。最大 30 の巡回計画を登録することが出来ます。

! WARNING

本機能のご利用にはお申し込みが必要です。

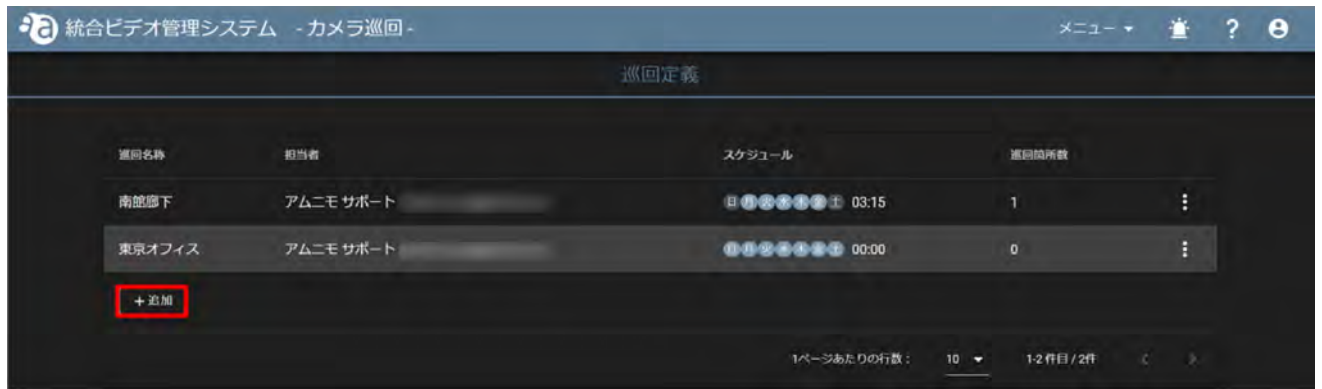


カメラ巡回機能画面

カメラ巡回を追加する

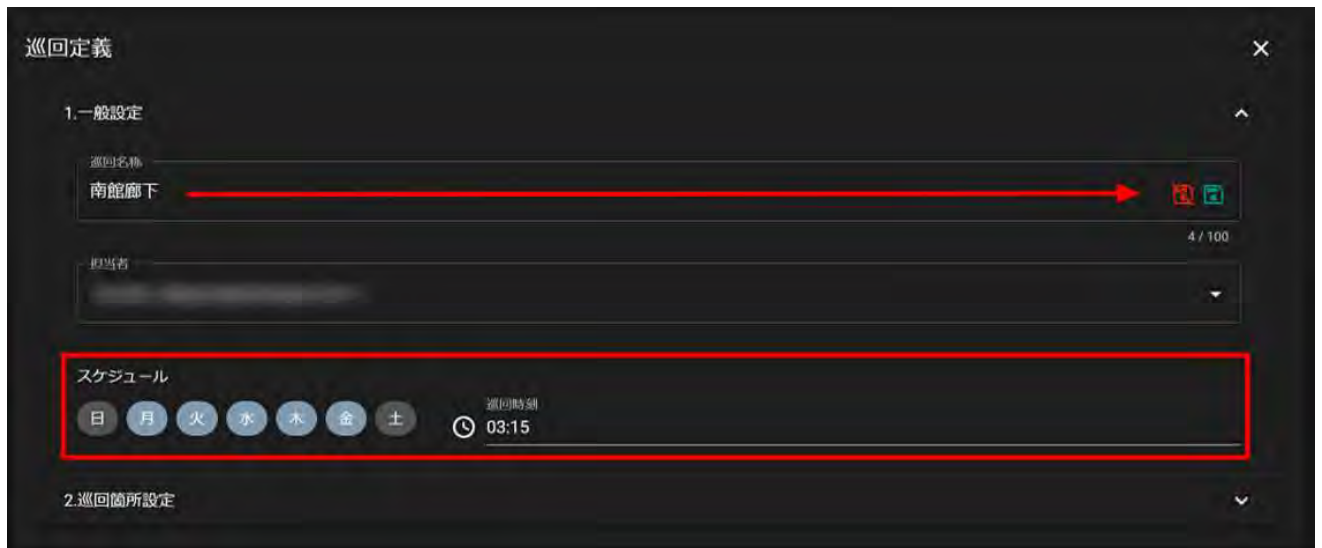
以下の手順で、カメラ巡回を追加します。

- 1 [+追加] をクリックします。



2 以下の項目を入力します。

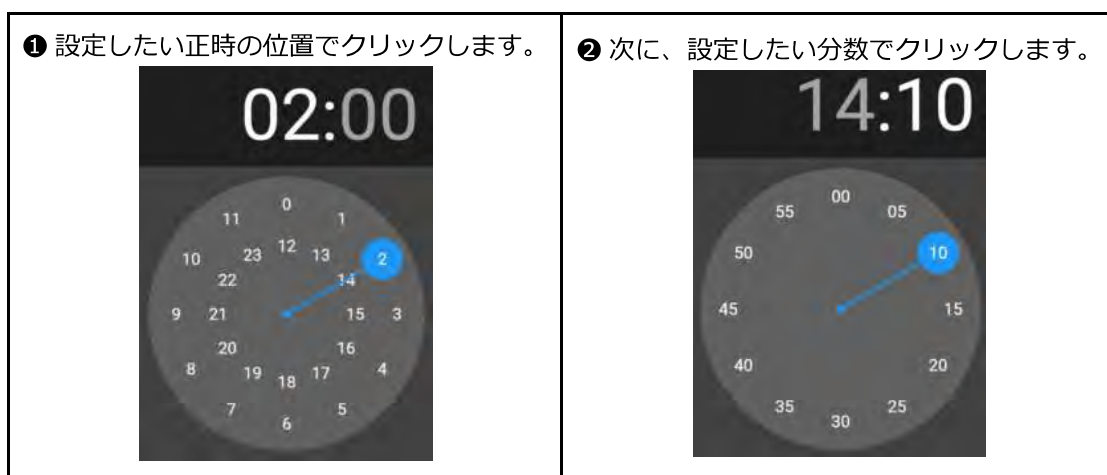
- ・巡回名称：名称を入力し、保存ボタンをクリックします。
- ・担当者：直接入力するか、ドロップダウンリストから担当者を選択します。
- ・スケジュール：巡回する曜日と時刻を選択します。



巡回時刻について

時刻をクリックすると、時計が表示されます。

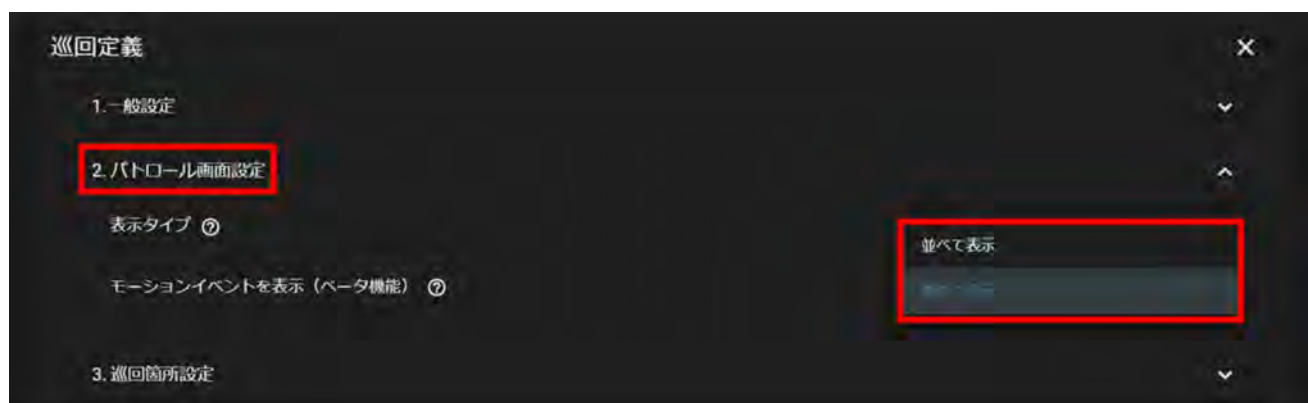
※マウスのホイールを回すことでも、時刻が選択できます。



※午前は外側の数字、午後は内側の数字

3

[2. パトロール画面設定] をクリックし、表示タイプを選択します。



表示タイプについて

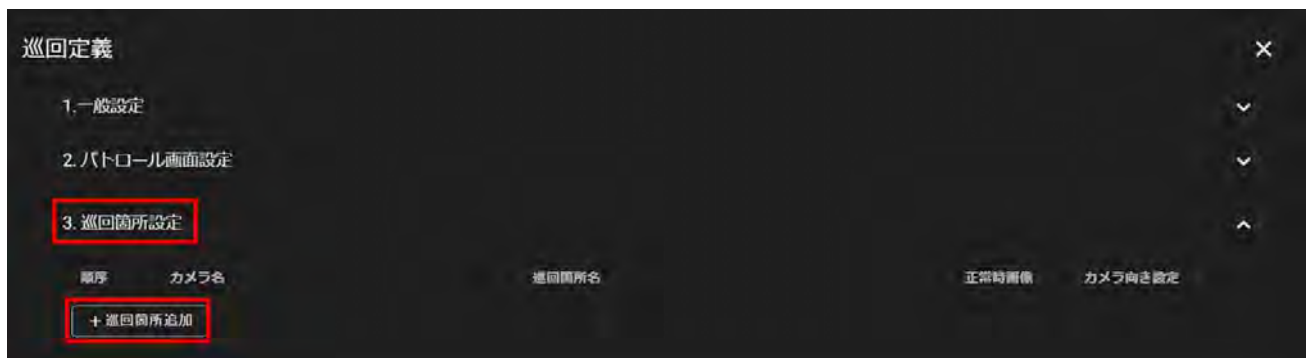
正常時画像とライブ映像の表示方法について、[重ねて表示する]、もしくは [並べて表示する] の2タイプから選択します。



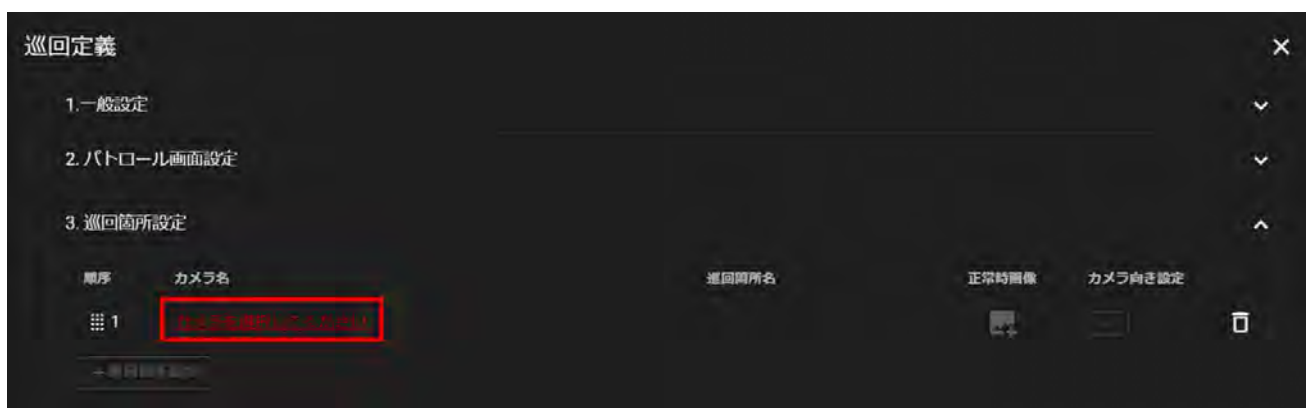
WARNING

- ・ モーションイベントを表示（ベータ機能）は正式版ではないため、サポートの対象外です。
- ・ ご使用にあたり、予期せぬ不具合が発生する可能性があることをご了承ください。

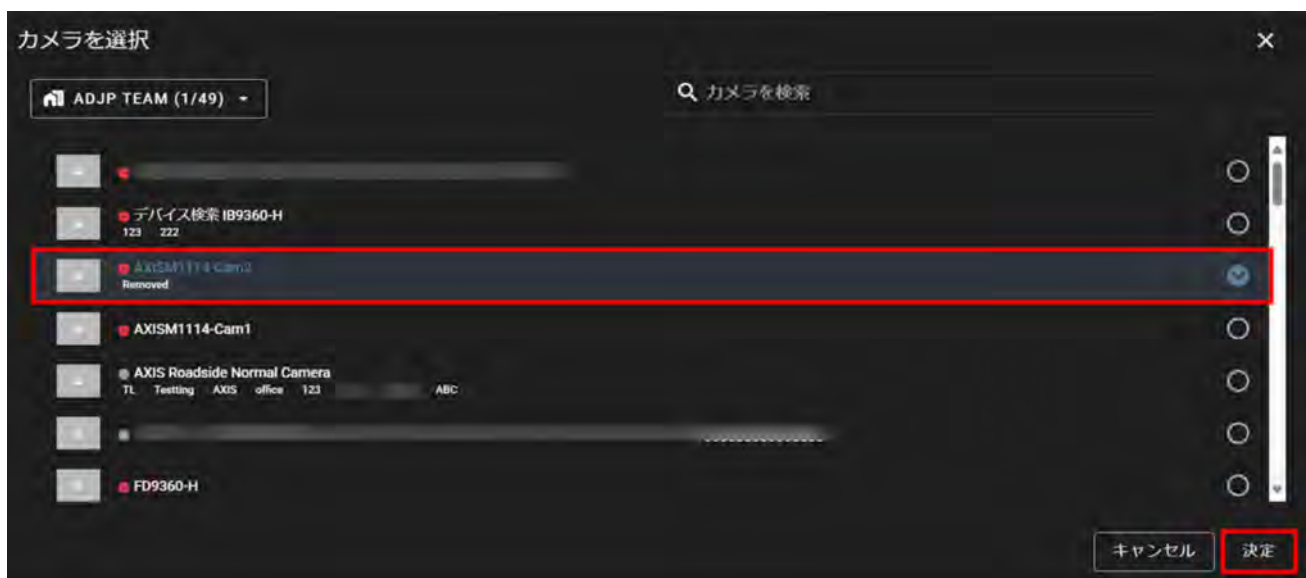
4 [3.巡回箇所設定] をクリックし、[+巡回箇所追加] をクリックします。



5 カメラを選択してくださいという文字をクリックします。



6 巡回箇所に設定したいカメラを選択し、[決定] をクリックします。

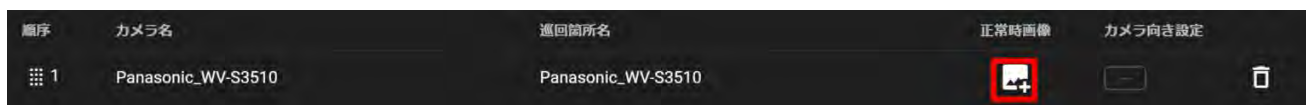


7 巡回箇所名をクリックすると入力画面が表示されるので、わかりやすい名前を付けます。



8 正常時の画像を設定します。

① [正常時画像] の項目にあるアイコンをクリックし、正常時の画像を選択します。



② 正常時画像を以下の画面から選択します。（ここに表示される映像は、サムネイルもしくは取得済みのスナップショットです。）



③ 以下のように、サムネイルが表示されます。



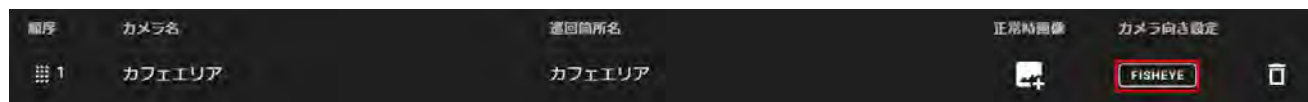
カメラの向き設定を行います。（魚眼カメラのみ）

! WARNING

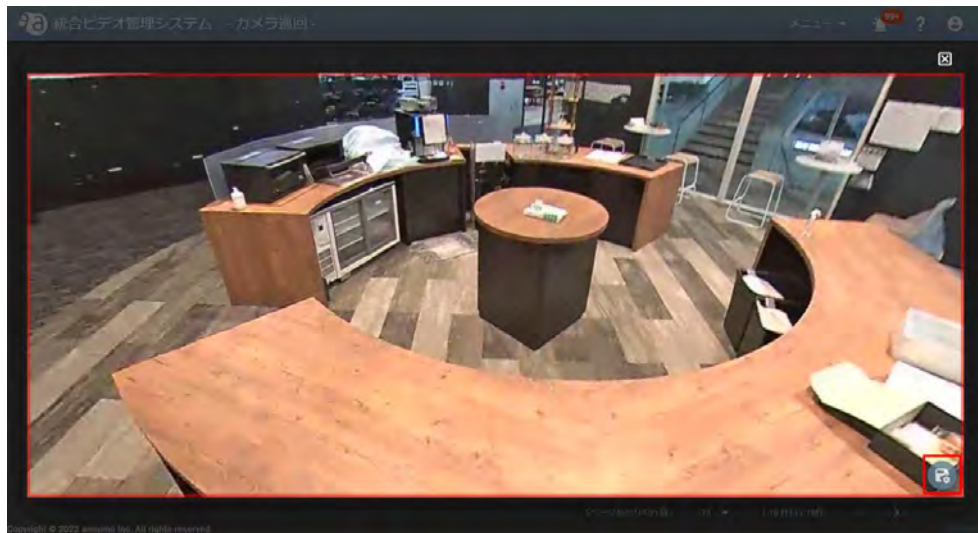
本設定を行うには、事前にカメラ詳細の魚眼補正設定を有効にする必要があります。

⇒『[魚眼補正設定をする](#)』

① カメラの向き設定で [FISHEYE] をクリックします。



② 映像が表示されるので、マウスの移動やホイールのスクロールで、カメラの向きを決定し、保存ボタンをクリックします。



10

巡回箇所を追加する場合は、「+巡回箇所追加」から同様の作業を繰り返します。



以上の操作でカメラ巡回が追加されます。

カメラ巡回を実行する

2024年7月12日

カメラ巡回は以下の手順で実行します。

- 1 実行したい巡回定義の行にあるアイコンをクリックし、「実行」をクリックします。

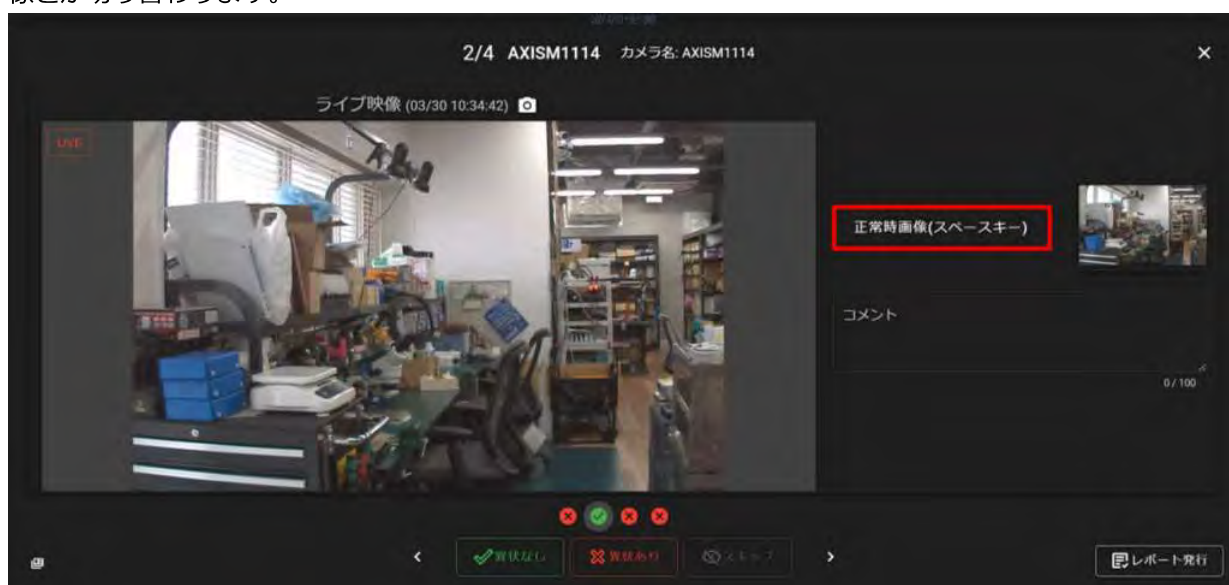


- 2 巡回を行います。

巡回の実施

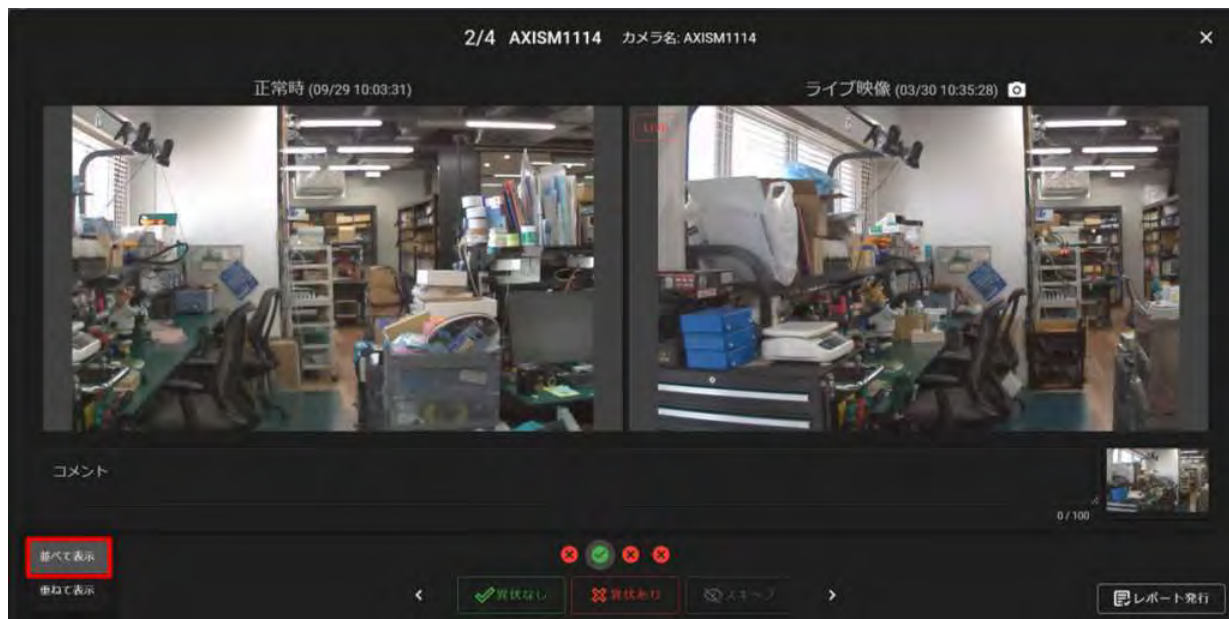
1. 正常時画像とライブ映像を比較して、コメントを入力します。（未入力可）

①[正常時画像（スペースキー）]をクリックまたは、スペースキーを押下すると、ライブ映像と正常時画像とが切り替わります。

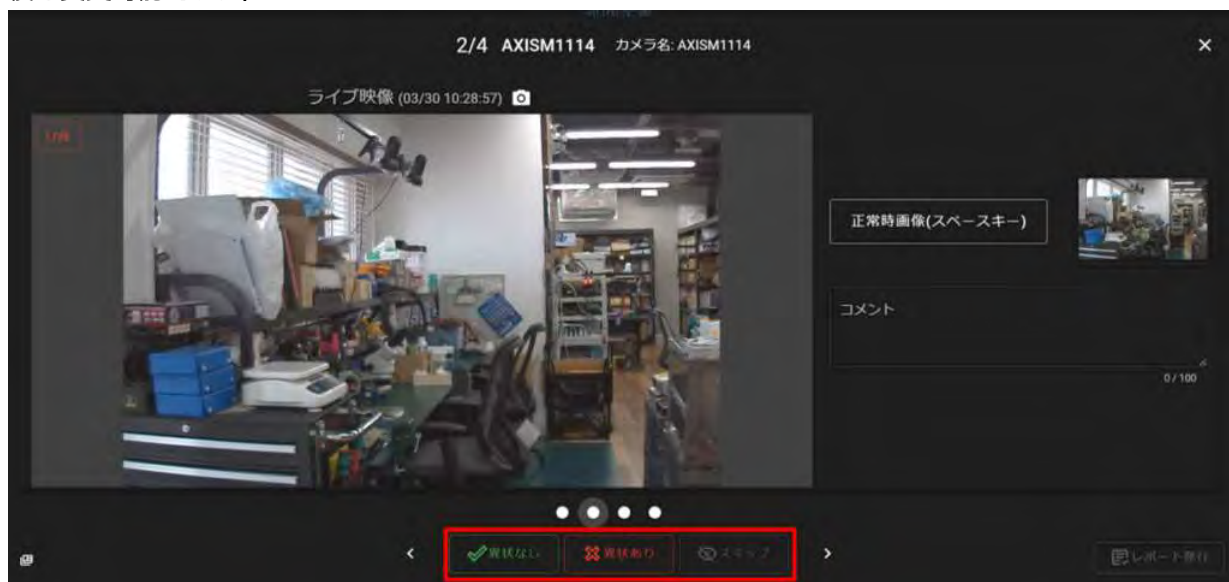


②画面左下のアイコンをクリックして [並べて表示] を選択すると、以下のように左右に並べて比較するこ

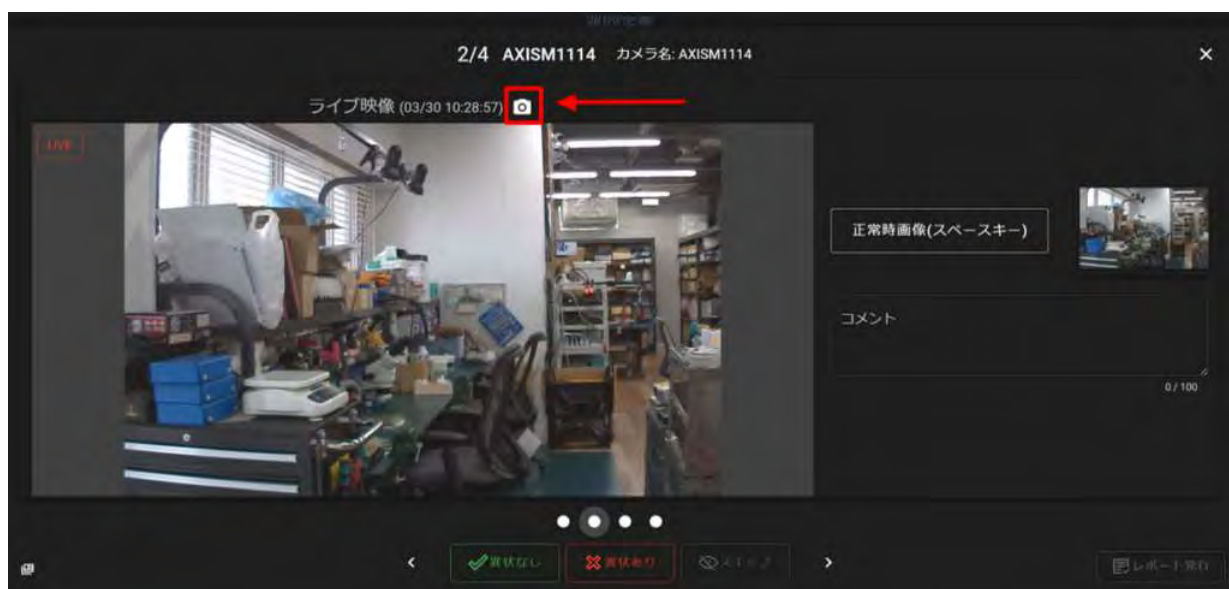
とも出来ます。



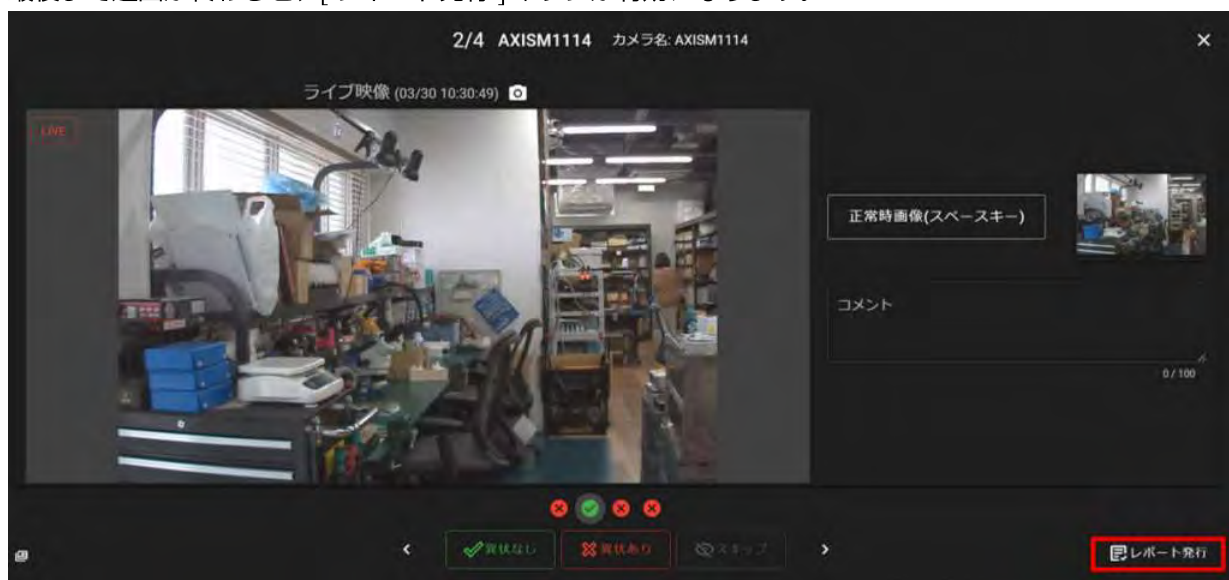
2. “異常なし/異常あり/スキップ”のいずれかの確認結果を選択してクリックします。（選択内容はクリック後も変更可能です。）



3. 後述するレポート用に、ライブ映像の再生が始まると自動でスナップショットが取得されます。また、必要であればカメラのアイコンをクリックすれば手動でも取得できます。



4. 確認結果をクリックすると、次のカメラに進むので、同様に確認結果を選択します。（確認結果の左右の <> をクリックすることでも次のカメラへ移動出来ます。）
5. 最後まで巡回が終わると、[レポート発行] ボタンが有効になります。



レポートを発行します。

! WARNING

- 作成したレポートは統合ビデオ管理システム上には保存されません。[キャンセル] をクリックすると記載した内容が失われます。
- レポートを保存したい場合は、[プレビュー/印刷] から PDF で保存するか、印刷をしてください。

レポートの発行

1. 手順 2 でカメラ巡回が終了したら、[レポート発行] をクリックします。
2. レポート作成画面が表示されるので、「レポートタイトル」、「報告者」、「巡回者」、「全体報告書」欄に報告内容を記載し、[プレビュー/印刷] をクリックします。

レポート作成

レポートタイトル

巡回報告

4 / 30

作成日時: 2022-09-29 (木) 10:44

報告者:

全体報告事項

巡回名	arbol
巡回者	
巡回日時	2022-09-29 (木) 10:44
巡回箇所数	3

全体報告書

南館A 廊下の電球が切れかかっています

キャンセル

プレビュー/印刷

3. 印刷プレビュー画面が表示されるので、内容を確認して印刷や PDF への出力を行います。

2. AXISM1114

巡回時画像	
画像撮影日時	2022/09/29 11:04
カメラ	AXISM1114
結果	異常あり
コメント	

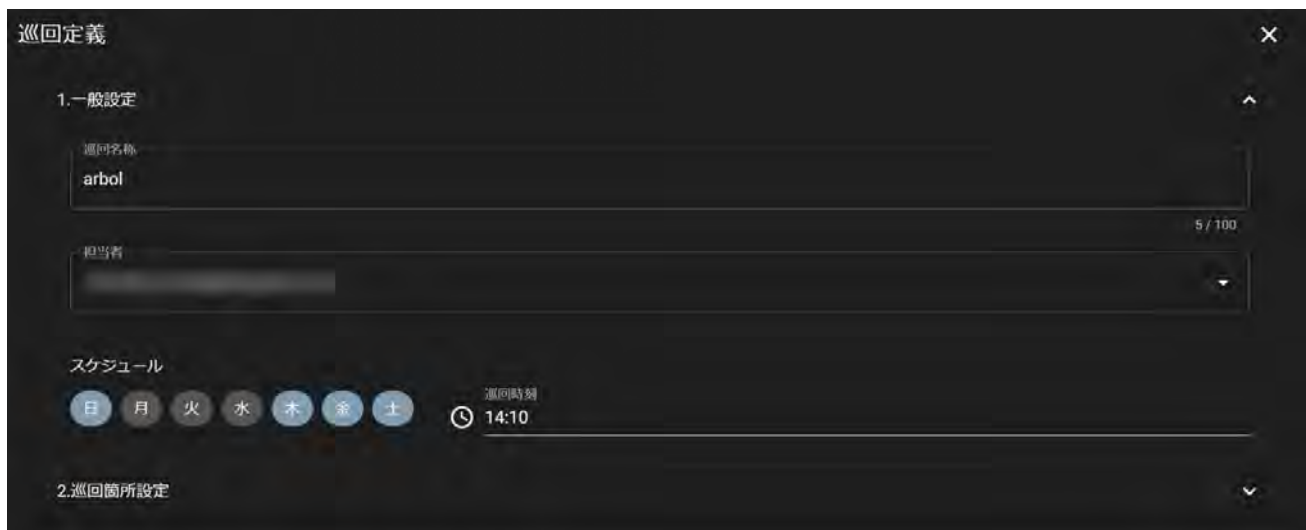
カメラ巡回を編集する

2024年7月12日

1 編集したい巡回定義の行の右端にあるアイコンをクリックし「編集」をクリックします。

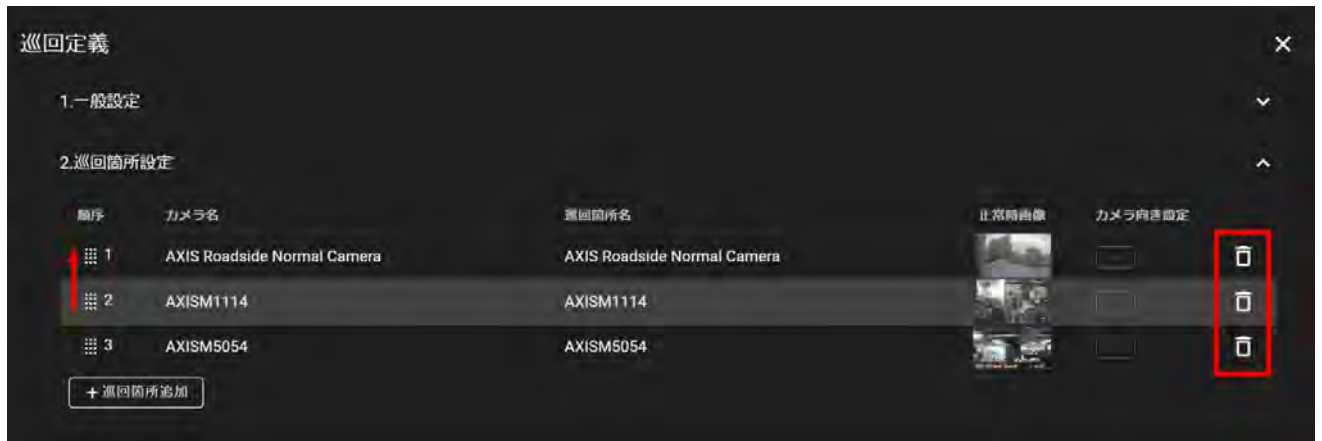


2 「1.一般設定」内で、修正したい個所を編集します。



3 同様に、「2.巡回箇所設定」を開き、修正したい個所を編集します。

順序の列にあるアイコンをドラッグすると、巡回するカメラの順番を変更できます。
ごみ箱アイコンをクリックするとカメラを巡回対象から削除できます。



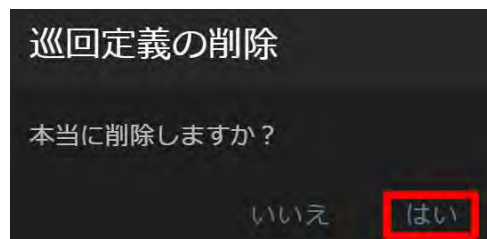
カメラ巡回を削除する

2024年7月12日

1 削除したいカメラ巡回の行の右端をクリックし「削除」をクリックします。



2 確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。



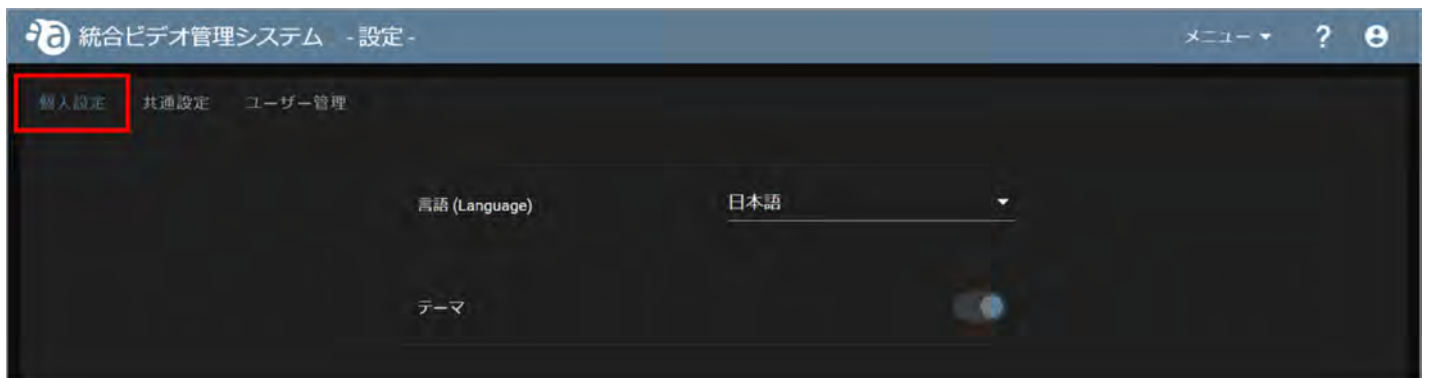
個人設定

2024年7月12日

個人設定では、以下の設定が可能です。

- 言語設定
- テーマカラー

[個人設定] タブより、各種設定を変更します。



共通設定

2024年7月12日

共通設定では、以下の設定が可能です。

サムネイル更新周期	全カメラのサムネイルの更新周期を選択します。
ライブストリーミングタイムアウト時間	ライブ映像を再生後、自動的にライブ映像を停止するまでの時間を選択します。
ダイレクト接続タイムアウト時間	ダイレクト接続後、自動的にダイレクト接続を終了するまでの時間を選択します。

1 [共通設定] タブより、各種設定を変更します。



2 [保存] をクリックすると、設定が保存されます。



ユーザー管理

2024年7月12日

ユーザー管理方法をご紹介します。詳しくは、権限表をご参照ください。

NOTE

現在ログインしているユーザー自身の設定変更は行えません。

- 1 [ユーザー管理] タブより、権限の付与 / 削除をします。



- 2 [保存] をクリックして、ユーザー管理を完了します。



- 1.

ヘルプ

2024年7月12日

? をクリックすると、マニュアルや FAQ、問い合わせフォームにアクセスできます。

- 統合ビデオ管理システムマニュアル
- デバイス管理システムマニュアル
- よくあるご質問（FAQ）
- お問い合わせフォーム

